

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化 改修工事

図面目録									
建築工事		建築工事		建築工事		建築工事		建築工事	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-001	特記仕様書（新営）1	A-038	B1・1階 平面図 【改修前】	A-075	1階 展開図5 【改修前・後】	A-112	法チェック図1 (採光・換気・排煙)	A-148	展開図4 【改修前・改修後】
A-002	特記仕様書（新営）2	A-039	B1・1階 平面図 【改修後】	A-076	2階 展開図1 【改修前・後】	A-113	法チェック図2 (採光・換気・排煙)	A-149	展開図5 【改修前・改修後】
A-003	特記仕様書（新営）3	A-040	2階 平面図 【改修前】	A-077	2階 展開図2 【改修前・後】	A-114	法チェック図3 (採光・換気・排煙)	A-150	展開図6 【改修前・改修後】
A-004	特記仕様書（新営）4	A-041	2階 平面図 【改修後】	A-078	2階 展開図3 【改修前・後】	A-115	法チェック図4 (採光・換気・排煙)	A-151	展開図7 【改修前・改修後】
A-005	特記仕様書（新営）5	A-042	3階 平面図 【改修前】	A-079	2階 展開図4 【改修前・後】	A-116	法チェック図5 (消防 有窓・無窓検討)	A-152	E X P. J 詳細図
A-006	特記仕様書（新営）6	A-043	3階 平面図 【改修後】	A-080	2階 展開図5 【改修前・後】	A-117	各部詳細図1	A-153	仮設計図1
A-007	特記仕様書（新営）7	A-044	P H階・屋根平面図 【改修前】	A-081	2階 展開図6 【改修前・後】	A-118	各部詳細図2	A-154	仮設計図2
A-008	特記仕様書（新営）8	A-045	P H階・屋根平面図 【改修後】	A-082	3階 展開図1 【改修前・後】	A-119	各部詳細図3	A-155	特別教室棟防水詳細図
A-009	特記仕様書（改修）1	A-046	北立面図・南立面図 【改修前】	A-083	3階 展開図2 【改修前・後】	A-120	各部詳細図4		
A-010	特記仕様書（改修）2	A-047	北立面図・南立面図 【改修後】	A-084	3階 展開図3 【改修前・後】	A-121	各部詳細図5		
A-011	特記仕様書（改修）3	A-048	東立面図・西立面図 【改修前】	A-085	3階 展開図4 【改修前・後】	A-122	各部詳細図6		
A-012	特記仕様書（改修）4	A-049	東立面図・西立面図 【改修後】	A-086	B1・1階 天井伏図 【改修前】	A-123	各部詳細図7		
A-013	特記仕様書（改修）5	A-050	東立面図 【改修前・後】	A-087	B1・1階 天井伏図 【改修後】	A-124	各部詳細図8		
A-014	特記仕様書（改修）6	A-051	断面詳細図1 【改修前】	A-088	2階 天井伏図 【改修前】	A-125	各部詳細図9	S-001	構造特記仕様書
A-015	特記仕様書（改修）7	A-052	断面詳細図1 【改修後】	A-089	2階 天井伏図 【改修後】	A-126	防水平面図1	S-002	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）
A-016	配置図・付近見取図（改修前）	A-053	断面詳細図2 【改修前】	A-090	3階・P H 天井伏図 【改修前】	A-127	防水平面図2	S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）
A-017	配置図・付近見取図（改修後）	A-054	断面詳細図2 【改修後】	A-091	3階・P H 天井伏図 【改修後】	A-128	防水詳細図1	S-004	鉄骨工作標準図（1）
A-018	仕上表（増築部）	A-055	断面詳細図3 【改修前】	A-092	B1・1階 建具配置図 【改修前】	A-129	防水詳細図2	S-005	鉄骨工作標準図（2）
A-019	改修前・改修後 仕上表1（改修部）	A-056	断面詳細図3 【改修後】	A-093	B1・1階 建具配置図 【改修後】	A-130	外構平面図 【改修前】	S-006	鋼管杭標準図（1）
A-020	改修前・改修後 仕上表2（改修部）	A-057	断面詳細図4 【改修前】	A-094	2階 建具配置図 【改修前】	A-131	外構平面図 【改修後】	S-007	柱脚標準図
A-021	改修前・改修後 仕上表3（改修部）	A-058	断面詳細図4 【改修後】	A-095	2階 建具配置図 【改修後】		<EV棟増築>	S-008	合成スラブ標準図
A-022	改修前・改修後 仕上表4（改修部）	A-059	1階 平面詳細図1 【改修前・後】	A-096	3階 建具配置図 【改修前】	A-132	B1階 平面詳細図 【改修前】	S-009	A L C 標準図
A-023	改修前・改修後 仕上表5（改修部）	A-060	1階 平面詳細図2 【改修前・後】	A-097	3階 建具配置図 【改修後】	A-133	B1階 平面詳細図 【改修後】	S-010	ボーリング柱状図
A-024	敷地面積求積図・敷地内建物面積表 ・敷地内建物面積表	A-061	1階 平面詳細図3 【改修前・後】	A-098	P H階 建具配置図 【改修前】	A-134	1階 平面詳細図 【改修前】	S-011	梁伏図、基礎詳細図・地中梁リスト 雑配筋図
A-025	棟別面積図1	A-062	1階 平面詳細図4 【改修前・後】	A-099	P H階 建具配置図 【改修後】	A-135	1階 平面詳細図 【改修後】	S-012	部材リスト、スラブ配筋図
A-026	棟別面積図2	A-063	2階 平面詳細図1 【改修前・後】	A-100	B1・1階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-136	2階 平面詳細図 【改修前】	S-013	軸組図1
A-027	棟別面積図3	A-064	2階 平面詳細図2 【改修前・後】	A-101	2階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-137	2階 平面詳細図 【改修後】	S-014	鉄骨詳細図
A-028	棟別面積図4	A-065	2階 平面詳細図3 【改修前・後】	A-102	3階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-138	3階 平面詳細図 【改修前】		
A-029	棟別面積図5	A-066	2階 平面詳細図4 【改修前・後】	A-103	P H階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-139	3階 平面詳細図 【改修後】		
A-030	日影図1	A-067	3階 平面詳細図1 【改修前・後】	A-104	建具表1	A-140	P H階 平面詳細図 【改修前】	EV-01	エレベーター詳細図1
A-031	日影図2	A-068	3階 平面詳細図2 【改修前・後】	A-105	建具表2	A-141	P H階 平面詳細図 【改修後】	EV-02	エレベーター詳細図2
A-032	平均地盤面算定図1	A-069	3階 平面詳細図3 【改修前・後】	A-106	建具表3	A-142	断面図、EVホール建具表 【改修後】	EV-03	エレベーター詳細図3
A-033	平均地盤面算定図2	A-070	P H階 平面詳細図1 【改修前・後】	A-107	建具表4	A-143	矩計図 【改修前】	EV-04	エレベーター詳細図4
A-034	平均地盤面算定図3	A-071	1階 展開図1 【改修前・後】	A-108	建具表5	A-144	矩計図 【改修後】	EV-05	エレベーター詳細図5
A-035	平均地盤面算定図4	A-072	1階 展開図2 【改修前・後】	A-109	建具表6	A-145	展開図1	EV-06	エレベーター詳細図6
A-036	平均地盤面算定図5	A-073	1階 展開図3 【改修前・後】	A-110	1階・2階 区画壁位置図 各室面積計算表	A-146	展開図2 【改修前・改修後】	EV-07	エレベーター詳細図7
A-037	平均地盤面算定図6	A-074	1階 展開図4 【改修前・後】	A-111	3階 区画壁位置図 各室面積計算表	A-147	展開図3 【改修前・改修後】	EV-08	エレベーター詳細図8

目録

工事特記仕様書																																																							
<p>I. 工事名 津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事</p> <p>II. 工事概要</p> <p>1. 工事場所 津市 河芸町千里ヶ丘 地内</p> <p>2. 敷地面積 18,407.48m²</p> <p>3. 工事内容</p> <p>棟名称 弓降機棟、普通教室棟A・普通特別教室棟、普通教室棟B・特別教室棟 構造 弓降機棟 S造 普通教室棟A・普通特別教室棟、普通教室棟B・特別教室棟 RC造 建築面積 弓降機棟 13.06m² 普通教室棟A・普通特別教室棟、普通教室棟B・特別教室棟 3,407.29m² 延べ面積 弓降機棟 56.48m² 普通教室棟A・普通特別教室棟、普通教室棟B・特別教室棟 6,715.79m² 工事項目 普通教室棟A・普通特別教室棟、普通教室棟B・特別教室棟 改修工事</p>																																																							
<p>ではない。</p> <p>※ 本工事は、通常授業時に限らず夏休み中であっても部活動等の利用をしながらの改修工事となるため、施工に先立ち、学校及び市監督員と協議の上、施工工程を作成し、市監督員の承諾を得てから工事を行うこと。</p> <p>※ 外壁補修（浮き部、ひび割れ補修等）は、原則、休日等の授業が行われていない時にに行うものとする。</p> <p>※ 外部鉄部塗替えにおいて、下地調整ケレン時に集じん機付きディスクグライダーの使用又は湿潤化し飛散発生するなど粉塵の飛散防止に努めること。</p> <p>※ 防火戸等の特定防火設備の改修は、原則、お盆期間を利用し作業を行うこと。</p> <p>※ 高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。</p> <p>※ 工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合せのうえ計画し、施工すること。</p> <p>※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。</p> <p>※ 既設人研ぎ及びSUS製手洗い改修については、2学期以降の学校運用に支障が無いよう、夏休みを利用して市検査課の中間検査（書類を含む）を受け、引き渡すこと。但し、学校との協議により運営に支障がない範囲であれば、施工範囲を変更できるものとする。</p> <p>※ 作業着手までの校内調査は事前に学校及び市監督員の承認を得るものとし、学校終了後、休校日等の学校運営に影響を与えない範囲とする。</p> <p>※ 人研ぎ手洗い撤去に起源する断水作業については原則7月末までに行い、8月以降の施設運営に支障がないように努めること。ただし、当施設が選挙会場となった場合、選挙当日に水の利用が可能な状態にすること。</p> <p>※ 8月以降の駐車場エリアは夜間においても屋内運動場一般開放利用者が使用する為、安全に務めること。</p> <p>※ 下記に示す諸室の改修工事について、2学期または3学期以降の学校運用に支障が無いよう、市検査課の中間検査（書類を含む）を受け、引き渡すこと。なお、下記に中間検査対象箇所及び引渡し計画時期を示す。但し、学校との協議により運営に支障がない範囲であれば、施工範囲を変更できるものとする。 (8月中引渡) <普通教室棟A・普通特別教室棟> ・ 内部改修部（普通教室、廊下（手洗い改修含む）、階段室） ・ 外壁 南面 ・ 建具改修 <普通教室棟B> ・ 内部改修部（普通教室、廊下） ・ 建具改修 <特別教室棟> ・ 建具改修</p> <p>※ 各諸室（1クラス30名程度）について、作り付け家具のほか、机等の備品があるため、作業に際し移設及び養生を適宜行うこと。 (平面詳細図参照) なお、下記に各諸室の主要な備品を明記する。 ・ 普通教室：机、椅子及び教卓 ・ 弓降口：下足入れ、掲示板、案内板等 ・ 廊下：掲示板、タブレット保管庫、スチール棚等</p> <p>・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p>																																																							
<p>・ 分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成等</td> <td>・ 有・無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>・ 有・無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>① 有・無</td> <td>・ 手作業 ① 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>・ 有・無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td>① 有・無</td> <td>・ 手作業 ① 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・ 有・無 ()</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>9. 化学物質の濃度測定 (1.5.9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>施設用途</th> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>イチルベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>パラジン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校、教育施設</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>住宅</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定対象化学物質 (●で示したものとする。)</p> <p>対象箇所 (・図示(面番号：)・())</p> <p>測定方法 (・パッシブ法 ・アクティブ法)</p> <p>測定時期 ()</p> <p>報告書提出部数 2部</p> <p>標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。</p> <p>當緒工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁當緒部整備課監修（最新版））に従い撮影する。</p> <p>提出部数 1部 用紙は上質紙とする。</p> <p>なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年3月1日付け国営建技第14号）」による。</p> <p>⑩ 特別な材料の工法</p> <p>⑪ 騒音・振動の防止</p> <p>⑫ 工事写真 (1.2.4)</p> <p>⑬ 完成図等 (1.7.1) (1.7.2) (1.7.3)</p> <p>⑭ 完成写真</p> <p>⑮ 設備工事との取合い</p> <p>⑯ 設計GL</p> <p>⑰ 養生その他</p> <p>⑱ 事故の発生時</p> <p>⑲ 消防法関係の手続き</p> <p>⑳ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置</p>			工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有・無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有・無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	① 有・無	・ 手作業 ① 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有・無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	① 有・無	・ 手作業 ① 手作業、機械作業の併用	その他	・ 有・無 ()	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	イチルベンゼン	スチレン	パラジン	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●	●	住宅	●	●	●	●	●	●	●	その他	●	●	●	●	●	●	●
工程	作業の有無	分別解体等の方法																																																					
造成等	・ 有・無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																																																					
基礎・基礎ぐい	・ 有・無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																																																					
上部構造部分・外装	① 有・無	・ 手作業 ① 手作業、機械作業の併用																																																					
屋根	・ 有・無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																																																					
建築設備・内装等	① 有・無	・ 手作業 ① 手作業、機械作業の併用																																																					
その他	・ 有・無 ()	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																																																					
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	イチルベンゼン	スチレン	パラジン																																																
学校、教育施設	●	●	●	●	●	●	●																																																
住宅	●	●	●	●	●	●	●																																																
その他	●	●	●	●	●	●	●																																																

① 不正軽油の使用の禁止	1) 一般事項 工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。	③ 土工事 ② 屋外広告物 ① 監督員事務所 ② 監督員事務所の設備・備品 ③ 仮設便所 ④ 工事用水 ⑤ 工事用電力 ⑥ 足場	3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1) 又は2) に掲げる者と同等の知識・経験を有する者	⑦ 交通誘導警備員 ① 埋戻し及び盛土 ② 建設発生土の処理 3. 山留めの撤去 ① 杭の施工管理 ② 適用基準 ③ 施工記録 ④ 根拠資料 5. 試験杭及び試験掘 ⑥ 支持層 ⑦ 水平方向の位置ずれ 8. 杭の載荷試験 9. 地盤の載荷試験 10. 既製コンクリート杭 11. 鋼杭地業 12. 場所打ち 13. 地盤改良 14. 砂及び砂利 15. 捨コンクリート 16. 床下防湿層	⑤ 鉄筋工事 ② 溶接金網 ③ 内法直径 ④ 緩手 ⑪ 鋼杭地業 12. 場所打ち 13. 地盤改良 14. 砂及び砂利 15. 捨コンクリート 16. 床下防湿層	(参考表) <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>杭径(mm)</th><th>杭長</th><th>継手数</th><th>セット数</th><th>長期設計支持力(kN/本)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></tbody></table> <p>先端形状 ·開放型 ·閉そく型 施工方法 ·セメントミルク工法 ·オーガーの支持層への掘削深さ ·()m ·図示(図面番号:) ·杭の支持層への根入れ深さ ·()m ·図示(図面番号:) ·根固め液及び杭周固定液の管理試験 ·標準仕様書[4.3.4(6)(c)] ·() ·特定埋込杭工法 ·杭の根入れ深さ ·()m ·図示(図面番号:) 継手 ·アーク溶接 ·無溶接継手(工法:) 杭頭の処理 ·行う ·行わない</p> <p>⑪ 鋼杭地業 ④ 施工方法 受注者は、杭の施工期間中は、1週間にごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。 特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項（第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。</p> <p>⑤ 試験杭及び試験掘 ⑥ 支持層 ⑦ 水平方向の位置ずれ ⑧ 杭の載荷試験 ⑨ 地盤の載荷試験 ⑩ 既製コンクリート杭 ⑪ 鋼杭地業 ⑫ 場所打ち ⑬ 地盤改良 ⑭ 砂及び砂利 ⑮ 捨コンクリート ⑯ 床下防湿層</p> <p>施工方法 ·アースドリル工法 ·リバース工法 ·オールケーシング工法 ·鋼管コンクリート杭工法 拡底 ·行わない ·行う() 杭の根入れ深さ ·()m ·図示(図面番号:) 孔壁の超音波測定 ·行う ·行わない 帯筋の加工及び組立 ·図示(図面番号:) 鉄筋の最小かぶり厚さ ()mm 鉄筋かごの補強 ·図示(図面番号:) 継手 ·重ね継手 ·() コンクリートの種別 ·A種 ·B種 設計基準強度 ()N/mm² セメントの種類 ·高炉セメントB種 ·() スランプ(cm) ·18 ·() 構造体強度補正值(S) ·3N/mm² ·()</p> <p>施工方法 ·六価クロム溶出試験 ·室内配合試験 ·一軸圧縮試験</p> <p>砂利 ① 再生クラッシャラン ·切込砂利 ·切込碎石 ·() 砂 ·シルト ·山砂 ·川砂 ·碎砂 ·() 施工範囲 ① 図示(図面番号:S-01, S-11, S-12) 厚さ(mm) ① 60 ① (80) ① (150) ·上上がりレベルを計測し、記録すること。</p> <p>厚さ(mm) ① 50 ·() 施工範囲 ① 図示(図面番号:S-01, S-11, S-12) ① 上上がりレベルを計測し、記録すること。</p> <p>施工範囲 ① 図示(図面番号:S-12) ポリエチレンフィルム厚さ ① 0.15mm以上 ·() ① 床下泥層の重や幅、其基礎へのみ詰めは、250mm以上とする</p>	種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考																						種類の記号 ① SD295A ② SD345 径 ① D16以下 ② D19以上 備考
種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考																													



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 40
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2025. 2. 21.	設計番号 N○
管理建築士	設計者				変更・訂正	.
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				.	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考	図面名称	縮尺	図面 No A-003
	建築工事特記仕様書 3 (新営)	S=NS	
		.	
		.	
		.	

⑨ 防 水 工 事	1. アスファルト 防水 (表9.2.3) ~(表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3)	種別 施工箇所	3. 合成高分子系 ルーフィング シート防水 (9.4.2) (9.4.3) (9.4.4) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.4.3)	種別 軽歩行(S-F2,-M2) ・軽歩行・非歩行 施工箇所	3. テラゾ (10.2.1) (表10.2.2)	テラゾタイル 使用部位 種石の種類 種石の大きさ 寸法による区分 表面仕上	8. 床及び階段 の石張り 石裏面処理 ・適用する(浸透性吸水防止剤) 裏打ち処理 ・適用する(浸透性吸水防止剤)	
	改質アスファルトルーフィングシート 種類・標準仕様書[表9.2.3]~[表9.2.8] 厚さ・標準仕様書[表9.2.3]~[表9.2.8]	・図示() ・図示()	ルーフィングシート 種類・標準仕様書[表9.4.1]~[表9.4.3] 厚さ・標準仕様書[表9.4.1]~[表9.4.3]	・図示() ・図示()				
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類・標準仕様書[表9.2.5]~[表9.2.8] 厚さ・標準仕様書[表9.2.5]~[表9.2.8]	・図示() ・図示()	可塑剤移行防止用シート ・発泡ポリエチレンシート 固定金具 材質、寸法形状 ・図示(面番号:)	・()				
	絶縁用シート ・ポリエチレンフィルム(厚さ0.15mm以上) ・フラットヤーンクロス(70g/m ²)		断熱材 種類、厚さ ・機械的固定工法 ・接着工法 図示(面番号:)					
	押え金物 ・アルミニウム製L-30×15×2.0(mm) 断熱材 ・屋根保護防水断熱工法 厚さ()mm ・屋根露出防水断熱工法 種類()厚さ()mm	・図示(面番号:)	仕上塗料 ・図示(面番号:)種類()使用量() 防湿用フィルムの設置 ・有り ・無し					
	(表9.2.3) ~(表9.2.6)		屋根保護防水 立上り部の保護工法 乾式保護材 ・使用する 立上り部保護れんが ・JIS R 1250 断熱工法における立上り部への断熱材及び絶縁シート 設置する 脱気装置 ・設置数量 図示(面番号:)種類()	・()	屋内保護密着工法 モルタル塗り厚さ 立上り部の保護モルタル塗厚さ 7mm以下 目地処理(接着工法) PC下地 ・図示(面番号:) 増張り(S-F1, SI-F1) PC入隅部 ・図示(面番号:)			
	(表9.2.8) (表9.2.7)		機械的固定工法 風圧力に対応した工法 脱気装置 ・設置数量 図示(面番号:)種類()					
	(表9.2.8) (表9.2.7)		屋根露出防水における仕上塗料 ・図示(面番号:)種類()使用量()					
	(表9.2.9)		屋内防水密着工法における保護層 ・図示(面番号:) E-1の工程3 ・行う ・行わない					
	(9.2.4)		防水層の下地モルタル塗り ・図示(面番号:) 立上りのコンクリート打放し仕上げの種別 種別 ・B種 ・()					
	屋根露出防水絶縁断熱工法 ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 ・図示(面番号:)							
	(9.2.5)		保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・水下80mm以上 床タイル張り ・水下60mm以上 立上り部の保護方法 ・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え ・モルタル押え(屋内等) ・()					
	2. 改質アスファルト シート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1) ~(表9.3.3)	種別 施工箇所	4. 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)	施工箇所 平場 立上 Y-1 Y-2	5. ケイ酸質系 塗布防水 (9.6.4)	受金物の材質、形状、寸法 ・図示(面番号:) アンカーカーの材質及び寸法 材質・SS400 あと施工アンカーカーの材質及び寸法 ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスマッシュ巻き25~35φ 石材の厚さ 25mm以上 石裏面処理 ・適用する 裏打ち処理 ・適用する 下地ごしらえ ・流し筋工法 ・あと施工アンカーカー工法 ・あと施工アンカーカー横筋流し工法 目地一般目地 目地幅 ・6mm以上 シーリング材の有無 ・有り ・無し 伸縮調整目地 位置 ・標準仕様書[表11.1.1] シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(面番号:)	9. 笠木、甲板等 (10.2.2) (10.3.3)	取付け金物 ・標準仕様書[10.2.2](3)(7)の各後段 ・()
	改質アスファルトシート 種類・標準仕様書[表9.3.1]~[表9.3.3] 厚さ・標準仕様書[表9.3.1]~[表9.3.3]	・図示() ・図示()	5. 外壁湿式工法 (10.2.2) (10.2.3)	受金物の材質、形状、寸法 ・図示(面番号:) アンカーカーの材質及び寸法 材質・SS400 あと施工アンカーカーの材質及び寸法 ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスマッシュ巻き25~35φ 石材の厚さ 25mm以上 石裏面処理 ・適用する 裏打ち処理 ・適用する 下地ごしらえ ・流し筋工法 ・あと施工アンカーカー工法 ・あと施工アンカーカー横筋流し工法 目地一般目地 目地幅 ・6mm以上 シーリング材の有無 ・有り ・無し 伸縮調整目地 位置 ・標準仕様書[表11.1.1] シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(面番号:)	10. 隔て板 (10.7.3)	10. 隔て板 (10.7.3)		
	粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3] 厚さ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3]	・図示() ・図示()	6. 内壁空積工法 (10.2.2) (10.3.3) (10.4.2) (10.4.3)	受金物の材質、形状、寸法 ・図示(面番号:) アンカーカーの材質及び寸法 材質・SS400 あと施工アンカーカーの材質及び寸法 石材の厚さ 20mm以上 下地ごしらえ ・あと施工アンカーカー横筋流し工法 目地一般目地 目地幅 ・6mm以上 伸縮調整目地 位置 ・6mごと シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(面番号:)	11. 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 (11.1.3)	位置 ・標準仕様書[表11.1.1] ・図示(面番号:)		
	押え金物の材質、形状、寸法 ・アルミニウム製L-30×15×2.0(mm) 仕上塗料 ・図示(面番号:)種類()使用量()		7. 外壁乾式 工法 (10.2.2) (10.5.2) (10.5.3) (表10.2.4)	金物の種類、形状、寸法 ・図示(面番号:) 取り付け工法 ・スライド方式 ・ロッキング方式 アンカーカーの材質及び寸法 材質・SUS304 あと施工アンカーカーの材質及び寸法 石材の厚さ 30mm以上(外壁) 25mm以上(内壁) たば用穴の位置 ・図示(面番号:) 裏打ち処理 ・適用する 風圧力に対応した工法 ・図示(面番号:) 目地 目地幅 ・8mm以上 シーリング材 ・適用する	タ イ ル 工 事	11. 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 (11.1.3)		
	脱気装置 ・設置数量 図示(面番号:)種類()		10. 石 工 事	1. 共通 (10.1.3) 2. 天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)	1. 共通 ・割付 ・図示(面番号:) 2. 天然石 使用部位 種類(名称) 寸法(mm) 表面仕上げ 工法 形状 床 ・粗磨き ・() 壁 ・水磨き ・()	2. タイル張り (11.1.4) (表11.2.3) (11.2.2) (11.2.3) (11.3.2) (11.3.3) (11.3.4) (表11.3.2)	2. タイル張り (11.1.4) (表11.2.3) (11.2.2) (11.2.3) (11.3.2) (11.3.3) (11.3.4) (表11.3.2)	
	断熱材 ・屋根露出防水絶縁断熱工法 種類()厚さ()mm 防湿用シートの設置 ・有り ・無し		1. 共通 (10.1.3) 2. 天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)	1. 共通 ・割付 ・図示(面番号:) 2. 天然石 使用部位 種類(名称) 寸法(mm) 表面仕上げ 工法 形状 床 ・粗磨き ・() 壁 ・水磨き ・()	3. ジェットバーナー仕上面 パフ仕上 ・あり ・なし	3. ジェットバーナー仕上面 パフ仕上 ・あり ・なし	3. ジェットバーナー仕上面 パフ仕上 ・あり ・なし	

木工事	1.木材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) (表12.2.1)	木材の含水率 部材名称 下地材 造作材	種別 A種 B種 A種 B種	ミディアムデンシティーファーバーボード (MDF) 表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等 ・ 図示 (図面番号:)	7.接合具等 (12.2.2) (表12.2.3) ~(表12.2.5)	造成材の化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 諸金物の形状、寸法、材質 ・ 図示 (図面番号:)	④とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	材種 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 配管用鋼管 (白管) ・ () 表面処理鋼板の塗膜の種類 耐酸被覆鋼板 材質等 受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔 軒どいの取付け間隔 (多雪地域) ・ 0.5m以下 鋼管製といい防露巻工法 ・ 標準仕様書 [表13.5.4] ・ ()	15 左官工事	1.ラス系下地 (15.2.4)	通気工法 ・ 二層下地 ・ 単層下地 直張り工法 ・ ラスマルタル下地 ・ ラシートマルタル下地 ラス及び補強用平ラス 材料記号 ・ K ・ ()					
	2.製材 (12.2.1)(2)(7)	「JAS 1083」による製材	寸法 等級 含水率 保存処理 県産材	下地用製材 ・ 図示 (:)	・ ()	防腐・防蟻 ・ 防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	適用部材、保存処理性能区分 ・ 図示 (図面番号:)	薬剤の塗布等 処理方法 ・ 薬剤の製造所の仕様 ・ () 附属書A (規定)に基づく表面処理用木材保存剤による処理 薬剤の種類、適用部材 ・ 図示 (図面番号:) 薬剤の接着剤への混入 ・ () 合板等の加圧注入 ・ () 防虫処理 ・ ()		2.せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5)	せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ ()					
	(12.2.1)(2)(4) (表12.2.2)	「JAS 1083」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率 ・ 図示 (図面番号:)	・ A種 ・ ()	造作用材の材面の品質 ・ A種 ・ ()	樹種 部位 樹種 県産材	・ ()	・ ()	・ ()		木質系セメント板の種類、厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ ()						
	3.集成材等 (12.2.1)(3)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等	品名・樹種・寸法 見付材面数	見付材面の品質 化粧薄板厚さ	・ ()	9.RC造等の間仕切組及び床組 (12.4.1)	間仕切組に用いる木材 ・ 杉 ・ 松 ・ () 床組に用いる木材 (土間仕切組の土台、転ばし大引、転ばし根太) ・ ひのき ・ 保存処理材 ・ ()	表面処理の種別 ・ AB-1 ・ AB-2 ・ AC-1 ・ AC-2 ・ BA-1 ・ BA-2 ○ BB-1 ・ BB-2 ・ BC-1 ・ BC-2 ・ C (常温乾燥形の塗装 ()) 陽極酸化被膜の着色方法 ・ 二次電解着色 ・ () 陽極酸化被膜の色合い等 ・ ()		3.こまい下地 及び木すり下地 (15.2.6) (15.2.7)	耐力壁の指定 ・ 図面 (図面番号:) 木すり用小幅板の樹種 ・ 杉 (芯去り材) ・ 図示 (図面番号:)					
	4.造作用単板積層材 (12.2.1)(4)	「JAS 0701」による造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ・ 図示 (図面番号:)	・ 1等 ・ ()	造作用集成材 ・ 国示 (:)	5.直交集成材 (12.2.1)(5)	「JAS 0701」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理 ・ 国示 (図面番号:)	・ ()	10.窓出入口等 (12.5.1)	11.床板張り (12.6.1)	12.壁及び天井下地 (12.7.1)	木材 ・ 杉 ・ 松 ・ ()	2.鐵鋼の亜鉛めっきの種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種	4.モルタル塗り (15.3.2) (15.3.5)	既製目地材 ・ 使用する 国示 (図面番号:) 床の目地 下地モルタル、下地調整塗材の接着力試験 (外壁タイル張り等) ・ 実施する		
	6.合板等 (12.2.1)(6)	「JAS 3079」による直交集成材 品名、曲げ強度 (強度等級)、種別、接着性能 (使用環境)、樹種、寸法 ・ 国示 (図面番号:)	品名・品目 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫・保存処理等 厚さ	・ ()	1.長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)	屋根葺形式 ・ 立て平葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺	材種 ・ 塗装溶融55% アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板	塗膜の耐久性 厚さ (mm) 0.4	葺板の寸法 めっき付着量	1.長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)	屋外の野縁受等の間隔 ・ 国示 (図面番号:) 吊りボルトの補強方法 (@900mm超) ・ 国示 (図面番号:) 吊りボルトの水平補強、斜め補強 ・ 天井ふとろご > 3.0m 国示 (図面番号:) ・ 耐震天井 国示 (図面番号:) ・ 耐風圧の補強 国示 (図面番号:)	5.仕上塗材仕上 (15.6.2) (表15.6.1)	種類 呼び名 仕上形状 工法			
	構造用合板の強度等級 ・ 国示 (図面番号:)	特殊加工化粧合板の化粧加工方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・ ()	・ ()	5.直交集成材 (12.2.1)(5)	「JAS 0701」による造作用単板積層材 寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理 ・ 国示 (図面番号:)	・ ()	2.折板葺 (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)	緊結方法 ・ 重ね形 ・ はぜ締め形	板厚 (mm) ・ 0.8 ・ 0.6	山高 (mm) ・ 90 ・ ()	山ピッチ (mm) ・ ()	耐力区分 ・ ()	4.軽量鉄骨壁 下地 (14.5.3) (表14.5.1) (14.5.4)	スタッド、ランナーの種類 ・ 50形 ○ 65形 ・ 90形 ・ 100形 ・ スタッドの高さによる区分 ・ 国示 (図面番号:) スタッドの高さ5m超 ・ 国示 (図面番号:) 出入口、開口部の補強 ○ 標準仕様書 [14.5.4] (5)後段 ・ ()	薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E ・ 内装薄塗材E ・ 砂壁状ジュラク ・ ()
	パーティクルボード 表裏面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等 ・ 国示 (図面番号:)	・ ()	6.合板等 (12.2.1)(6)	品名・品目 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫・保存処理等 厚さ	7.粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)	凍害試験 ・ 行う ・ 行わない	種類 ・ ()	大きさ ・ ()	産地 ・ ()	役物の種類 ・ ()	棟の工法 ・ ()	5.金属成形板張り (14.6.2) (14.6.3)	施工箇所 種別 ・ アルミニウム ・ ステンレス ・ 鋼 形狀 ・ スパンドレル形 ・ ハネル形 表面処理 ・ ()	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ カキ落とし ・ ()	
	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	8.点検口 (14.7.1)	雪止め ・ 国示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	6.アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3)	部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ○ 350形 表面処理 ○ (BB-1) 固定方法 ・ 国示 (図面番号:) 風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ 国示 (図面番号:)	複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水型複層塗材E ・ 防水型複層塗材RE ・ ()	
	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	9.天井見切縁 (14.7.1)	積雪荷重に応じた下地留め付け方法等 ・ 国示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	7.天井見切縁 (14.7.1)	材種 ・ アルミニウム合金製 ○ 塩化ビニル製	軽量骨材 仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材 ・ 砂壁状 ・ 平たん状	
	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	10.点検口 (14.7.1)	雪止め瓦 ・ 使用する	種類 ・ ()	大きさ ・ ()	産地 ・ ()	役物の種類 ・ ()	棟の工法 ・ ()	8.点検口 (14.7.1)	取付け用下地 ・ 国示 (図面番号:) 長尺ものにおける伸縮調整継手 ・ 設ける 国示 (図面番号:)	JIS A 6909 調湿形		
	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	11.点検口 (14.7.1)	瓦棧木の材種、寸法 ・ 杉 21×15 ・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	9.点検口 (14.7.1)	部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ○ 350形 表面処理 ○ (BB-1) 固定方法 ・ 国示 (図面番号:) 風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ 国示 (図面番号:)	複層仕上塗材	・ ゆず肌状 ・ 防水型複層塗材E ・ 防水型複層塗材RE ・ 凹凸状 ・ ()	
	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	12.点検口 (14.7.1)	棟補強用心材の材質、寸法 ・ 杉 40×30 ・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	10.点検口 (14.7.1)	材種 ・ アルミニウム合金製 ○ 塩化ビニル製	外装厚塗材Cの上塗材	・ セメントスタッコ以外の場合 材所要量 () kg/m ²	
	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	13.点検口 (14.7.1)	瓦緊結用釘又はねじの種類、径、長さ ・ 国示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	11.点検口 (14.7.1)	棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法、留付け方法 ・ 国示 (図面番号:)	外装厚塗材Si、Eの上塗材の適用 ・ あり ・ なし	・ ()	
	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	14.点検口 (14.7.1)	下葺材料の種類 ・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	12.点検口 (14.7.1)	下葺用金物等の材質、形状、寸法 ・ ()	原図 A2	原図 A2	

左 官 工 事	(表15.6.2) 複層仕上塗材の上塗材の種類	樹脂種類 溶媒種類 外観 ・溶剤系 有・無 メタリック ・アクリル系 有・無 ・シリカ系 有・無 ・ポリウレタン系 有・無 ・アクリルシリコン系 有・無 ④ふつ素系 有・無 水系 有・無	防音ドア、防音サッシの遮音性 ()等級 断熱ドア、断熱サッシの断熱性 ()等級 建具枠見込み寸法 国示(面番号:) 結露水の処理方法 () 水切り板、せん板等 国示(面番号:) 建具周りの止水処理(外部に面するもののみ) ・製造所の仕様による ()	(表16.7.3) (16.7.4) (表16.7.8)	フラッシュ戸の形状 表面板の厚さ 標準仕様書[表16.7.6] () 引戸の召合わせ いんろう付き 国示(面番号:) かまち戸 かまち、鏡板の樹種 国示(面番号:) ふすま 種別 I型 II型 上張の種類 国示(面番号:) 縁の仕上げ 国示(面番号:) 柱及びくつぎの材料 国示(面番号:) 各木製建具の見込み寸法 標準仕様書[表16.7.7] ・国示(面番号:)	(16.14.5)	18.ガラスブロック 積み 表面形状、寸法、厚さ 国示(面番号:) 壁用金属枠、補強材 国示(面番号:) 力骨の材質等 SUS304、φ5.5はしご形状複筋、単筋 () 化粧目地モルタルの色 () シーリング材の種類 () 化粧カバーの材質、形状等 国示(面番号:) 風圧力に対応した工法 国示(面番号:) アンカー等の留付け間隔(木下地の場合) 国示(面番号:) 目地幅、伸縮調整目地 () ・標準仕様書[16.14.5](2)(a)(b)(i)の各後段 ()
	5.網戸等 (16.2.3)	形式 可動式 固定式 防虫網 網の材質 合成樹脂 ガラス繊維入り合成樹脂 ・ステンレス(SUS316) () 線径 0.25mm以上 () 網目 16メッシュ 18メッシュ ()	⑪建具用金物 (16.8.2) (表16.8.1) (16.8.3) (16.8.4) (16.8.2) (表16.8.3) (表16.8.4) (表16.8.5)	金物の種類、見え掛け部等の材質等 ○標準仕様書[表16.8.1] 国示(面番号:) 表16.8.1中の*印の適用及び備考中の特記について ・国示(面番号:) 丁番の枚数、大きさ 金属製建具 ○標準仕様書[表16.8.2] () 樹脂製建具 標準仕様書[表16.8.3] () 木製建具 標準仕様書[表16.8.4] () 戸車、レールの外径等 ○標準仕様書[表16.8.5] () レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ・国示(面番号:) マスターキー 製作する 製作しない ・監督員と協議の上システムを決定する キーボックス 要 不要 鍵の製作本数 3本一組とし、室名札を付ける ()	1.種類 ・メタルカーテンウォール PCカーテンウォール 17 2.性能等 耐風圧性 () 耐震性 () 水密性 () 気密性 () 耐火性 () 耐温度差性 () 遮音性 () 断熱性 () 性能の確認・判定方法 () シーリング材の種類 () 断熱材 ()		
	6.樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.3) (16.3.4) ~(表16.3.3)	外部建具の性能等級等 コンクリート系下地、鉄骨下地 ・A種 B種 C種 () 木下地 ・D種 E種 () 建具の遮音性能等級 ・T-1 T-2 () 外部建具の断熱性能等級 ・H-4 H-5 H-6 H-7 H-8 () 外部建具の日射熱取得性能等級 () ガラス・複層ガラス () 建具枠見込み寸法 国示(面番号:) 表面色 標準色 特注色 水切り板 せん板 国示(面番号:) 建具周りの止水処理(外部に面するもののみ) ・製造所の仕様による ()	12.自動ドア開閉装置 (16.9.2) (表16.9.1) (表16.9.2) (表16.9.3) (表16.9.4)	自動ドア開閉装置の性能値 多機能トイレ出入口以外 標準仕様書[表16.9.1] () 多機能トイレ出入口 標準仕様書[表16.9.2] () 検出装置の性能 ・標準仕様書[表16.9.3] () 戸の開閉方式 国示(面番号:) 引き戸用検出装置の種類 () 凍結防止措置 行う 行わない ・防錫の適用	3.メタルカーテンウォールの材料 材料 規格等 見え掛け部の仕上げ 映像調整 ・アルミニウム製 標準仕様書[16.2.3] 行う ・() ()		
	7.鋼製建具 (16.4.2) (表16.4.1) (表16.2.1) (16.4.4) (16.4.2) (16.4.6)	簡易気密型ドアセット 国示(面番号:) 外部建具の耐風圧性 S-4 S-5 S-6 耐震ドアの面内変形追随性 ()等級 防音ドア、防音サッシの遮音性 ()等級 断熱ドア、断熱サッシの断熱性 ()等級 鋼板類の厚さ [表16.4.2] 国示(面番号:) くつぎの仕上げ HL () H>2400mm 又は W>950mm 国示(面番号:) 標準型鋼製建具 型式 幅(mm) 高さ(mm) 片開き 900 950 2000 親子開き 1200 1250 2100 両開き 1800 1900	13.自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1)	自閉式上吊り引戸装置の性能値 ・標準仕様書[表16.10.1] ()	4.カーテンウォールの材料 製品の寸法許容差 標準仕様書[表17.2.1] ガラス溝の寸法、形状等 製造所の仕様による ・国示(面番号:) 取付け 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17.2.2] () カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17.2.3] () ガラスの取付け 国示(面番号:)		
	⑧鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (16.5.4) (表16.5.1)	簡易気密型ドアセット 国示(面番号:) 耐震ドアの面内変形追随性 ()等級 防音ドア、防音サッシの遮音性 ()等級 断熱ドア、断熱サッシの断熱性 ()等級 鋼板類の種類 国示(面番号:) 召合せ、縫口包み板等の材質 ・鋼板 ステンレス鋼板 アルミニウム合金押出形材 鋼板類の厚さ [表16.5.1] 国示(面番号:) H>2400mm 又は W>950mm 国示(面番号:)	14.重量シャッター (16.11.2) (表16.11.1) (16.11.3)	シャッターの種類 国示(面番号:) 外壁開口部のシャッター ・耐風圧強度()Pa以上 開閉方式 国示(面番号:) 安全装置の設置箇所 国示(面番号:) シャッターケース 国示(面番号:) 鋼板の種類 国示(面番号:) ・めっき付着量 Z12 F12 ()	4. PCカーテンウォール コンクリートの種類及び品質 国示(面番号:) 鉄筋 SD295A () 補強鉄線の径、網目寸法 国示(面番号:) 耐火目地材 () 配筋 国示(面番号:) 先付け材料 仕上げ材 () 建具枠 () ・ゴンドラ用ガイドレール () () 製品の寸法許容差等 標準仕様書[表17.3.1]による () 表面仕上げ材 磁器質タイル 石材 () 花こう岩 大理石 () 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17.3.2] () ガラスの取付け 国示(面番号:)		
	9.ロックワール吹付け (15.12.3)	仕上げ吹付け厚さ () mm	15.軽量シャッター (16.12.2) (表16.12.1) (16.12.3) (16.12.4)	軽量シャッターの開閉方式 国示(面番号:) ・耐風圧強度()Pa以上 保護装置の設置箇所 国示(面番号:) スラットの材質、めっき付着量 ・JIS G 3312 Z06 F06 () ・JIS G 3322 AZ90 () スラットの形状 ・インテロッキング形 オーバーラッピング形	(表17.3.1) (表17.3.2)		
	1.防火戸 (16.1.3)	防火戸の指定 国示(面番号:) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの ・国示(面番号:)	16.オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)	オーバーヘッドドアのセクション材料、開閉方式、収納形式、ガイドレール ・スチールタイプ バランス式、スタンダード形、溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウム チェーン式、ローヘッド形、ハイリフト形、パーチカル形 ・ファイバー グラスタイプ 耐風圧性能の区分 JIS A 4715 () 保護装置の設置箇所 国示(面番号:)	18.塗装工事 ①材料 ②施工一般 (18.1.4) (18.2.2) ~(18.12.2)		
	2.見本の製作等 (16.1.4)	建具見本の製作 実施する 特殊な建具の仮組 実施する	9.ステンレス製建具 (16.6.2) (16.6.3) (16.6.4) (16.6.5) (表16.4.1)	簡易気密型ドアセット 国示(面番号:) 外部建具の耐風圧性 S-4 S-5 S-6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ()等級 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ()等級 耐震ドアセットの面内変形追随性 ()等級 ステンレス鋼板 SUS304 () 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	18.塗装工事 ③施工箇所 下地の種類 素地 塗料塗り 施工箇所 種類 種別 SOP A種 B種 EP A種 B種		
	3.防犯建物部品 (16.1.6)	防犯建物部品 国示(面番号:)	10.木製建具 (16.7.2) (16.7.3) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.6) (表16.7.7)	建具材の含水率 A種 B種 フラッシュ戸、戸ふすまの表面材 ・合板 普通合板 天然木化粧合板 特殊加工化粧合板 ・MDF 分区(表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性) ・国示(面番号:)	17.ガラス (16.14.2) (16.14.3)		
	4.7kg/m ² 建具 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表16.2.2) (表16.2.2) (16.2.5)	外部建具の性能等級等 コンクリート系下地、鉄骨下地 ・A種 B種 C種 () 木下地 ・D種 E種 () 表面処理種別 標準色 特注色 内部建具 表面処理種別 標準色 特注色	耐風圧性能の区分 JIS A 4715 () 保護装置の設置箇所 国示(面番号:) 板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等 国示(面番号:) 留め材 シーリング ガスケット () ガラス溝の寸法、形状等 ○製造所の仕様による 国示(面番号:)	18.塗装工事 ④施工箇所 下地の種類 素地 塗料塗り 施工箇所 種類 種別 SOP A種 B種 EP A種 B種			
	1.防火戸 (16.1.3)	防火戸の指定 国示(面番号:) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの ・国示(面番号:)	19.ガラス (16.14.2) (16.14.3)	ガラスの取付け 国示(面番号:)	A-006 原図 A2		



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号 製図年月日 2025. 2. 21. 設計

号 No

図面名称 縮尺

図面 No
A-00

21 排水工事	3. 地業の材料 (21.2.1) 砂 ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 碎砂 ・ () 砂利 ・ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 試験 ・ 砂の粒度試験	5. カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3) (22.6.4) (表22.6.1) 種類 ・ 加熱系 構成及び厚さ () 結合材 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系 (顔料の添加量 :) 添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石 ・ 常温系 工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・ 図示 (図面番号 :) 試験 ・ アスファルト混合物等の抽出試験	6. 芝張り、 吹付けは種 及び地被類 (23.4.2) (23.4.3) (23.4.7) 種類 ・ コウライシバ ・ ノシバ ・ () 吹付けは種用種子 種類 ・ 標準仕様書 [23.4.2] (3) (7) 後段 ・ 図示 (図面番号 :) 量 ・ () ・ 図示 (図面番号 :) 地被類種類、芽立数、径、単位面積当たりの株数 ・ 図示 (図面番号 :) 芝張り工法 平地 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号 :) 法面 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号 :) 芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ ()	7. 屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3) (23.5.4) (23.5.5) 植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壤層の厚さ ・ 図示 (図面番号 :) 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ :) ・ 板状成形品 植込み用土 ・ 改良土 ・ 人工軽量土 樹種・種類、寸法、株立数、刈込み ・ 図示 (図面番号 :) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示 (図面番号 :) 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・ 図示 (図面番号 :) 風圧力に対応した工法 (建設省告示第1458号) ・ 図示 (図面番号 :) 支柱 ・ 図示 (図面番号 :) かん水装置 ・ 図示 (図面番号 :) 新植樹木の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ 図示 (図面番号 :) 芝及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ 図示 (図面番号 :)																		
	4. 埋め戻し土 (21.2.1) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	6. 透水性アス ファルト舗装 (22.7.2) (表22.7.1) 平坦性 ・ 著しい不陸がないこと ・ 図示 (図面番号 :)	8. 砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1) ・ 平坦性 ・ ()	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ ・ 5m ・ 6m ・ 7m																		
	5. 施工 (21.2.2) 場所打ち排水樹の足掛け金物の材料 ・ ステンレス製 (幅400mm、径22mm) ・ 鉄製 (径22mm、防錆処置済み) ・ 合成樹脂被膜加工を行ったもの (径19mm) ・ 図示 (図面番号 :) 遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号 :) 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号 :) 継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪	7. ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1) <table border="1"><thead><tr><th>舗装</th><th>種類</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ コンクリート 平板舗装</td><td>・ 普通平板</td><td>・ 300角</td><td>・ 60</td><td>目地 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し</td></tr><tr><td>・ インターロッキング ブロック舗装</td><td>・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック</td><td>・ 80 ・ ()</td><td>・ 60 ・ ()</td><td>表面加工 ・ 標準品 ・ () 歩道部 曲げ強度 ・ ()</td></tr><tr><td>・ 舗石舗装</td><td>・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()</td><td>・ 80~100</td><td>施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ () mm</td><td></td></tr></tbody></table> コンクリートの平板舗装及び舗石舗装のクッション材 ・ 砂 ・ 空練りモルタル ・ 図示 (図面番号 :) 平坦性 ・ 平板等の段差3mm以内 ・ 図示 (図面番号 :)	舗装	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板	・ 300角	・ 60	目地 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し	・ インターロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック	・ 80 ・ ()	・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 歩道部 曲げ強度 ・ ()	・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()	・ 80~100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ () mm	
舗装	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																		
・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板	・ 300角	・ 60	目地 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し																		
・ インターロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック	・ 80 ・ ()	・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 歩道部 曲げ強度 ・ ()																		
・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()	・ 80~100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ () mm																			
6. 衝きよ 縁石、側溝 (21.3.1) (21.3.2) コンクリート縁石、側溝 種類、形状、寸法 ・ 図示 (図面番号 :) 砂利地業 厚さ ・ 100mm ・ 図示 (図面番号 :)	9. 植栽地の確認 (23.1.3) 試験 ・ 土壤の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 電気伝導度類 (EC) の試験 ・ () の試験	3. 植栽基盤 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2) 植栽基盤整備工法 樹木 ・ A種 ・ () 芝及び地被類 ・ B種 ・ () 有効土層 面積 ・ 図示 (図面番号 :) 厚さ ・ 図示 (図面番号 :) 排水設備 ・ 設ける ・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ () 植込み用土 ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 土壤改良材 種類、指定量 ・ ()	4. 植樹 (23.3.2) (23.3.3) 樹木の種類 ・ 図示 (図面番号 :) 寸法 ・ 図示 (図面番号 :) 株立数 ・ 図示 (図面番号 :) 刈込み ・ あり ・ なし 支柱材 ・ 丸太 (防腐処理方法 :) ・ 加圧式防腐処理方法 ・ () ・ () 支柱形式 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 幹巻き用材料 ・ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも																			
7. 路床 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1) (22.2.4) (22.2.5) 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰()号 ・ 消石灰()号 添加量 () kg/m ² (目標CBR : 5以上) ・ () 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量 () m ³ 片道の運搬距離 () km 試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	10. 新植樹木の 枯補償 (23.3.4) 引渡しの日から ・ 1年 ・ ()	5. 移植樹木の 枯損処理 (23.3.6) 引渡しの日から ・ 1年 ・ ()	24 外構工事																			
8. 路盤 (22.3.2) (表22.3.1) (22.3.3) 舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラー舗装 ・ 透水性アスファルト舗装 ・ インターロッキング ブロック舗装 ・ ()	11. 植栽地の確認 (23.1.3) 試験 ・ 土壤の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 電気伝導度類 (EC) の試験 ・ () の試験	6. 1. 植栽基盤 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2) 植栽基盤整備工法 樹木 ・ A種 ・ () 芝及び地被類 ・ B種 ・ () 有効土層 面積 ・ 図示 (図面番号 :) 厚さ ・ 図示 (図面番号 :) 排水設備 ・ 設ける ・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ () 植込み用土 ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 土壤改良材 種類、指定量 ・ ()	7. 1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ ・ 5m ・ 6m ・ 7m																			
9. アスファルト 舗装 (22.4.2)~ (22.4.6) (表22.4.1)~ (表22.4.6) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号 :) 表層の種類 ④ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	10. 植栽地の確認 (23.1.3) 試験 ・ 土壤の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 電気伝導度類 (EC) の試験 ・ () の試験	8. 2. 植栽基盤 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2) 植栽基盤整備工法 樹木 ・ A種 ・ () 芝及び地被類 ・ B種 ・ () 有効土層 面積 ・ 図示 (図面番号 :) 厚さ ・ 図示 (図面番号 :) 排水設備 ・ 設ける ・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ () 植込み用土 ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 土壤改良材 種類、指定量 ・ ()	9. 1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ ・ 5m ・ 6m ・ 7m																			
10. コンクリート 舗装 (22.5.2)~ (22.5.6) (表22.5.1) 舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号 :) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号 :) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号 :) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22.5.1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22.5.3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [表22.5.1] ・ 図示 (図面番号 :)	11. 植栽地の確認 (23.1.3) 試験 ・ 土壤の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 電気伝導度類 (EC) の試験 ・ () の試験	12. 3. 植樹 (23.3.2) (23.3.3) 樹木の種類 ・ 図示 (図面番号 :) 寸法 ・ 図示 (図面番号 :) 株立数 ・ 図示 (図面番号 :) 刈込み ・ あり ・ なし 支柱材 ・ 丸太 (防腐処理方法 :) ・ 加圧式防腐処理方法 ・ () ・ () 支柱形式 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 幹巻き用材料 ・ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも	13. 4. 新植樹木の 枯補償 (23.3.4) 引渡しの日から ・ 1年 ・ ()	14. 5. 移植樹木の 枯損処理 (23.3.6) 引渡しの日から ・ 1年 ・ ()																		



設計監理 類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号 製圖年月日 2025. 2. 21. 設計番号 N°
管理建築士 設計者 変更・訂正
一級建築士 一級建築士 第306854号 第306854号 田中 召剛 田中 召剛
備考
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

図面名称 縮尺 図面 No
建築工事特記仕様書8(新規) S-N-S A-008
原図: A 2

工事特記仕様書(改修)	
I. 工事名称	以下、A-001による
II. 工事概要	
1. 工事場所	
2. 敷地面積	
3. 工事内容	
棟名	
構造	
建築面積	
延べ面積	
工事項目	
III. 建築改修工事仕様	
1. 共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版(以下「改修標準仕様書」という。)」による。
2. 特記仕様	(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 (3) 項目欄に記載の()内表示番号は改修仕様の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																				
一般共通事項	① 適用基準等	<p>1) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官房官庁常総部監修(令和4年版)</p> <p>2) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官房官庁常総部監修(令和4年版)</p> <p>3) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通大臣官房官庁常総部監修(令和4年版)</p> <p>4) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁常総部監修(令和4年版)</p>																				
	② 施工条件	<p>施工方法及び検査に関する事項 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着意すること。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 境外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧とともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお既証書の数量は参考なし、当面図を優先する。 ※ 高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。 ※ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>・ 分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成等</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>○ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>○ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td>○ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 引き渡しを要するもの ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 石綿含有成形板等解体時の留意点 1. 手ばら等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2. 可能であれば温潤状態(散水)として作業を進めること。 3. 飛散されない様にすること。 4. 保護具及び作業着を着用すること。 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れる。 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 ・ 現場において再利用を図るもの ・ 再資源化を図るもの ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 引渡しを要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡しを要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	○ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	○ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	その他	・ 有 ○ 無
工程	作業の有無	分別解体等の方法																				
造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
上部構造部分・外装	○ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
屋根	○ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
建築設備・内装等	○ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
その他	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				

④ 建設副産物情報 交換システムの利用	<p>受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」(建設資材の搬入がある場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物の搬出がある場合)を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後には「再生資源利用実施書」(建設資材の搬出があった場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物の搬出があった場合)をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。</p>																		
⑤ 三重県産業廃棄物税	<p>本事業には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付證明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。</p>																		
⑥ 電気保安技術者 (1.3.3)	<p>● 配置する</p> <p>職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。</p>																		
⑦ 技能士 (1.7.2)	<p>調査範囲及び調査方法 ● 工種別の特記による</p>																		
⑧ 施工数量調査 (1.6.2)	<p>補修方法 ● 図示(図面番号:) ● ()</p>																		
⑨ 調査のための 破壊部分の補修 (1.5.3)	<p>1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。</p>																		
⑩ 建築材料等	<p>測定対象化学物質(●で示したものとする。) 適用 施設用途 ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン パラクロロベンゼン</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 学校、教育施設</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>○ 住宅</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>○ その他</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </table>	○ 学校、教育施設	●	●	●	●	●	○ 住宅	●	●	●	●	●	○ その他	●	●	●	●	●
○ 学校、教育施設	●	●	●	●	●														
○ 住宅	●	●	●	●	●														
○ その他	●	●	●	●	●														
⑪ 化学物質の濃度測定 (1.6.9)	<p>測定対象室及び測定個数 ● 図示(図面番号: A-038~043) ● ()</p> <p>測定方法 ● バッヂ法 ● アクティ法</p> <p>測定時期 ● ()</p> <p>報告書提出部数 2部</p>																		
⑫ 特別な材料の工法	<p>改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。</p>																		
⑬ 騒音・振動の防止	<p>低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。</p>																		
⑭ 工事写真 (1.2.4)	<p>當緒工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁常総部(最新版))に従い撮影する。 提出部数1部 用紙は上質紙とする。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について(令和5年3月1日国営建設技14号)」による。</p>																		
⑮ 完成図等 (1.8.2) (1.8.3)	<p>作成する ● 完成図 ● 保全に関する資料 ● ()</p> <p>完成図範囲(設計図を訂正) 完成図はC A Dにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部(原図サイズ)により提出すること。</p>																		
⑯ 完成写真	<p>デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。 (A4版用紙に1ページあたり3枚) 部数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。写真是、着工・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。</p>																		
⑰ 設備工事との取扱い	<p>施工範囲 ● 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ● 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ● 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ● 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ</p> <p>施工図 ● 設備機器の位置、取扱い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。</p>																		
⑱ 既存部分等への処置 (1.3.13)	<p>工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は、監督員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。</p>																		
⑲ 事故の発生時	<p>工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</p>																		
⑳ 消防提出書類	<p>1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ● 本工事 () 建築工事 ● 電気設備工事 ● 機械設備工事 ● 別途工事</p> <p>2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(電気設備面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。</p>																		
㉑ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	<p>労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。</p>																		
㉒ 不正軽油の使用の禁止	<p>1) 一般事項 工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の2製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。</p> <p>2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。</p> <p>3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。</p>																		
㉓ 屋外広告物	<p>屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告の登録事業者であること。</p>																		
㉔ 石綿含有建材の事前調査 (1.5.1)	<p>● 石綿含有建材の事前調査 調査範囲 ● 改修部分すべて () 貸与資料 ● 既存の設計図書 ● 石綿含有建材の調査報告書 ()</p> <p>分析調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソチル、クロシドライト、トレモライト 分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2</th> <th>定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 管所数 ()</td> <td>● 管所数 ()</td> <td>● 管所数 ()</td> </tr> <tr> <td>● 管所数 ()</td> <td>● 管所数 ()</td> <td>● 管所数 ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所・図面(図面番号:) ()</p>	材料名	定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5	● 管所数 ()														
材料名	定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5																	
● 管所数 ()	● 管所数 ()	● 管所数 ()																	
● 管所数 ()	● 管所数 ()	● 管所数 ()																	
㉕ 仮設工事	<p>① 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)</p> <p>② 足場</p> <p>補修方法 ● 図示(図面番号:) ● ()</p> <p>内部足場の種別(参考) ● 脚立 ● 棚足場 ● その他 ()</p> <p>外部足場の種別(参考) ● 手摺先行据置枠組本足場 ● 移動式足場 ● 高所作業車 ● その他 ()</p> <p>外部足場設置範囲(参考) ● 外部改修部 ● 設備改修部 ● 昇降用 ● 転落防止用 ● 防護シート等による養生 ● 適用する ● 適用しない</p> <p>足場の組立て後、足場に関する十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。 つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関する十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。 なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者。 2) 労働安全衛生法第8条1項に規定する労働安全コサイン(区分が土木又は建築である者)や厚生労働大臣の登録を受けた者修了した者等第8条8条に基づく足場の設置の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者 3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者</p> <p>既存部分の養生 ● 図示(図面番号:) 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法 () 保管場所 ● 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 ● 行う ● 行わない</p> <p>屋内の仮設間仕切り ● A種 ● B種 ● C種 合板 厚さ 9mm () せっこうボード 厚さ 9.5mm () 合板又は石こうボードの塗装 ● 行う ● 行わない 仮設扉 ● 図示(図面番号:) 仕様 ● 合板張り木製扉 () ()</p> <p>構内建物内的一部を使用する。 設置する ● 設置しない 監督員事務所の規模(単位:m²) 適用 規模 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度</p> <p>監督員事務所の仕上げ 部位等 ● 床 合板張り又はビニール床 内壁・天井 合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り 屋根 装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</p> <p>監督員事務所の設備 種類 机・いす 書棚 黒板・白板 掛時計 溫度計 数量 組 台 個 個 種類 長靴 雨合羽 保護帽 懐中電灯 衣類ロッカー 数量 足 着 個 個 種類 消火器 捕除具 受注者加入電話 冷暖房機器 インターネット 数量 個 個 台 台</p> <p>横内既存の施設 ● 利用できる ● 利用できない</p> <p>横内既存の施設 ● 利用できる () ● 有償 () ● 無償 () ● 利用できない</p> <p>横内既存の施設 ● 利用できる () ● 有償 () ● 無償 () ● 利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電料金は、本工事に含まれる。</p> <p>配置 ● 図示(図面番号: A-157、158)</p>																		

③ 防 水 改 修 工 事	<p>1 アスファルト防水 (3.3.3) (表3.3.3)～(表3.3.10)</p> <p>改質アスファルトルーフィングシート 種類・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・() 厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・() 厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()</p> <p>(3.3.2) 断熱工法の断熱材 (PIB, P2AI, PODI, M3DI, M4DI) 材質・() 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキンあり) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種 1号 硬質ウレタンフォーム断熱材2種 2号 厚さ・() ルーフドレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置・図示(図面番号:)</p> <p>脱気装置 (M3D, POD, PODI, M3DI, M4DI) 設ける(設置数量・図示(図面番号:)、材質()) 設けない 仕上塗料 種類() 使用量()</p> <p>保護コンクリートの厚さ こて仕上げ・水下80mm以上・() 床タル装り・水下60mm以上・()</p> <p>こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ a種・b種・c種 保護層 設ける・設けない 屋上排水溝の適用 適用する 立上り保護 乾式保護材() れんが(材種・JIS R1250)</p> <p>改質アスファルトシート 種類・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・() 厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()</p> <p>粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・() 厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()</p> <p>断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POASI) 材質、厚さ() 図示・()</p> <p>(3.4.3) (表3.4.1)～(表3.4.3)</p> <p>工法 種別 施工箇所 仕上塗料 M4AS AS-T1 AS-T2 AS-J2</p> <p>脱気装置 設ける(設置数量・図示(図面番号:)、材質()) 設けない</p> <p>ルーフィングシート 種類・改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による・() 厚さ・改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による・()</p> <p>絶縁用シート・発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状・図示()</p> <p>断熱工法の断熱材 (POSI, S4SI, S3SI, M4SI) 材質、厚さ() 図示()</p> <p>(3.5.3) (表3.5.1)～(表3.5.3)</p> <p>工法 種別 種別 仕上塗料 S3S F1(S1-F1) S-F2(S1-F2)</p> <p>脱気装置 設ける(設置数量・図示(図面番号:)、材質()) 設けない</p> <p>既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理・図示(図面番号:) 増張り・図示(図面番号:) 普通教室棟 機械式固定方法 風圧力に対応した工法・図示(図面番号:) 保護層の施工・図示(図面番号:)</p> <p>(3.5.4)</p> <p>4 塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3) (1)</p> <p>工法 種別 施工箇所 仕上塗料 POX X-1 X-2 M3X X-1H X-2H POX X-1 (断熱機械固定工法) 特別教室棟 S3X X-2 普通特別教室棟下屋部 フッ素仕上げ</p> <p>脱気装置 設ける(設置数量・図示(図面番号: A-126, 127)、材質(スキンル)) 設けない</p> <p>(3.6.3) (2)</p> <p>工法 種別 施工箇所 P1Y Y-2</p> <p>5 既存防水層表面 保護層・図示(図面番号:) (M4AS, M4AS1, M4C, M4DI) 行う・行わない (L4X) 行う・行わない</p> <p>の仕上塗装の除去 (3.2.6) (4) (3.2.6) (3) (5)</p>	<p>⑥ シーリング (3.7.2) (表3.7.1)</p> <p>材料 種類 材種 施工箇所 SR-1 シリコーン系 ガラスシーリング MS-2 変成シリコーン系 EXPU金物通り・カゴ通り・水道 PS-2 ポリサルファイド系 PU-2 ポリウレタン系 RC目地・ALC目地</p> <p>(3.7.4～7)</p> <p>工法 シーリング充填工法 シーリング再充填工法 拡幅シーリング再充填工法 ブリッジ工法</p> <p>(3.7.8)</p> <p>⑦ とい (3.8.2) (表3.8.1) (表3.8.2)</p> <p>シーリング材の試験 簡易接着性試験・引張接着性試験 行わない</p> <p>材種 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) 配管用鋼管(白管) ・()</p> <p>とい受金物及び足金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>といの材種</th> <th>形状</th> <th>取付け間隔</th> </tr> <tr> <td>VP管</td> <td></td> <td>1200mm以下</td> </tr> </thead> </table> <p>(3.9.2) (3) (表3.9.1)</p> <p>8 アルミニウム製笠木 部材の種類 押出し250形 押出し300形 押出し350形 板材折曲げ形(本体幅() mm、板厚() 2.0mm・())</p> <p>(3.9.3) (2)</p> <p>固定金具の間隔(mm) 固定方法()</p> <p>(3.9.2) (4) (3.9.3)</p> <p>表面処理() 工法 既存笠木等の撤去・図示(図面番号:) 下地補修の工法・図示(図面番号:) 板材折曲げ形の笠木の取付方法・図示(図面番号:) 笠木固定金具の工法・図示(図面番号:)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。</p> <p>9 保証書</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事区分</th> <th>材料名</th> <th>保証年数</th> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>防水</td> <td>10年・年</td> </tr> </thead> </table> <p>※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。</p>	といの材種	形状	取付け間隔	VP管		1200mm以下	工事区分	材料名	保証年数	防水工事	防水	10年・年	<p>③ 改修工法等 (4.2.4) (1) (4.2.5) (4.3.6) (4.4.6)</p> <p>樹脂注入工法 種類 自動式低圧エボキシ樹脂注入工法 注入量() 注入間隔() 手動式エボキシ樹脂注入工法 注入量() 注入間隔() 機械式エボキシ樹脂注入工法 注入量() 注入口間隔()</p> <p>材料 エボキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エボキシ樹脂) コア抜取検査・行う 行わない 拔取り個数() 拔取り部分補修方法()</p> <p>(4.2.4) (2) (4.2.6) (4.3.7)</p> <p>リカットシール材充填工法 材料 シーリング用材充填 () PU-1 PU-2 () 可とう性エボキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 行う 行わない</p> <p>(4.2.4) (3) (4.2.7) (4.3.8)</p> <p>シール工法 材料 パテ状エボキシ樹脂 可とう性エボキシ樹脂</p> <p>(4.2.4) (4) (4.2.8) (4.3.9)</p> <p>充填工法 材料 エボキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</p> <p>(4.3.5) (5) (4.3.10)</p> <p>モルタル塗替え工法 材料 現場調合材料 既調合材料 既製品目地材の適用及び形状() 仕上げ厚()</p> <p>(4.3.5) (6) (4.3.11) (4.4.9) (4.3.1)</p> <p>アンカーピンニング部分エボキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数() 標準() 材料 ステンレス鋼(SUS304) ()</p> <p>(4.3.5) (6) (4.3.12) (4.4.10) (4.3.2)</p> <p>アンカーピンニング全面エボキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数及び注入口の数() 標準() 材料 ステンレス鋼(SUS304) ()</p> <p>(4.3.5) (6) (4.3.13) (4.4.11) (4.3.2)</p> <p>アンカーピンニング全面ポリマーセメントストラリー注入工法 アンカーピンの本数及び注入口の数() 標準() 材料 ステンレス鋼(SUS304) ()</p> <p>(4.3.5) (7) (4.3.14) (4.4.12) (4.3.3)</p> <p>注入口付アンカーピンニング部分エボキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの本数() 標準() 材料 ステンレス鋼(SUS304) () 呼び径() 6mm ()</p> <p>(4.3.5) (7) (4.3.15) (4.4.13) (4.3.4)</p> <p>注入口付アンカーピンニング全面エボキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数() 標準() 材料 ステンレス鋼(SUS304) () 呼び径() 6mm ()</p> <p>(4.3.5) (7) (4.3.16) (4.4.14) (4.3.4)</p> <p>注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置() 標準() 材料 ポリマーセメントストラリー() 注入口付アンカーピン() ステンレス鋼(SUS304) () 呼び径() 6mm ()</p> <p>(4.4.5) (4) (4.4.7)</p> <p>タイル部分張替え工法 張替え材料 ポリマーセメントモルタル 接着剤(一液反応硬化型変成シリコーン樹脂) ()</p> <p>施工箇所 形状 寸法 耐滑り性 標準・特注色の別 耐害性の有無</p> <p>役物() 一体成形() 接着加工()</p> <p>試験張り() 行う() 行わない()</p> <p>見本焼き() 行う() 行わない()</p> <p>既調合モルタル() 使用する() 使用しない()</p> <p>タイル張替え工法 タイルの種類 タイルの大きさ 工法 塗り厚(mm)</p> <p>外装 タイル 小口平 5～8 二丁掛 100角 改良圧着張り 下地側 4～6 タイル側 1～3</p> <p>ユニットタイル 50二丁以下 マスク張り 3～4 モザイクタイル貼り 3～5</p> <p>(4.4.5) (4) (4.4.8) (表4.4.5)</p> <p>注入口付アンカーピンニングエボキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカーピンの本数()</p> <p>(4.4.5) (5) (4.4.16)</p> <p>目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地(位置寸法) 検査 シーリング接着性試験 行う() 簡易接着性試験() 引張接着性試験()</p>
			といの材種	形状	取付け間隔										
			VP管		1200mm以下										
			工事区分	材料名	保証年数										
			防水工事	防水	10年・年										
			<p>④ 外壁改修工事</p> <p>① 施工数量調査</p> <p>② 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)</p> <p>外壁 種類 改修工法 コンクリート打放し ひび割れ部 仕上げ外壁 樹脂注入工法 リカットシール材充填工法 シール工法 欠損部 充填工法 モルタル塗替え工法 ひび割れ部 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 浮き部 樹脂注入工法 欠損部 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 エボキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 目地 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地(位置寸法) 検査 シーリング接着性試験 行う() 簡易接着性試験() 引張接着性試験()</p> <p>新規仕上げ</p>												
				<p>④ 外壁改修工事</p> <p>① 施工数量調査</p> <p>② 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)</p> <p>外壁 種類 改修工法 コンクリート打放し ひび割れ部 仕上げ外壁 樹脂注入工法 リカットシール材充填工法 シール工法 欠損部 充填工法 モルタル塗替え工法 ひび割れ部 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 浮き部 樹脂注入工法 欠損部 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 エボキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 目地 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地(位置寸法) 検査 シーリング接着性試験 行う() 簡易接着性試験() 引張接着性試験()</p> <p>新規仕上げ</p>											
					<p>④ 外壁改修工事</p> <p>① 施工数量調査</p> <p>② 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)</p> <p>外壁 種類 改修工法 コンクリート打放し ひび割れ部 仕上げ外壁 樹脂注入工法 リカットシール材充填工法 シール工法 欠損部 充填工法 モルタル塗替え工法 ひび割れ部 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 浮き部 樹脂注入工法 欠損部 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 エボキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 目地 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地(位置寸法) 検査 シーリング接着性試験 行う() 簡易接着性試験() 引張接着性試験()</p> <p>新規仕上げ</p>										
						<p>④ 外壁改修工事</p> <p>① 施工数量調査</p> <p>② 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)</p> <p>外壁 種類 改修工法 コンクリート打放し ひび割れ部 仕上げ外壁 樹脂注入工法 リカットシール材充填工法 シール工法 欠損部 充填工法 モルタル塗替え工法 ひび割れ部 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 浮き部 樹脂注入工法 欠損部 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 エボキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 目地 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地(位置寸法) 検査 シーリング接着性試験 行う() 簡易接着性試験() 引張接着性試験()</p> <p>新規仕上げ</p>									
							<p>④ 外壁改修工事</p> <p>① 施工数量調査</p> <p>② 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)</p> <p>外壁 種類 改修工法 コンクリート打放し ひび割れ部 仕上げ外壁 樹脂注入工法 リカットシール材充填工法 シール工法 欠損部 充填工法 モルタル塗替え工法 ひび割れ部 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 浮き部 樹脂注入工法 欠損部 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 エボキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 目地 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地(位置寸法) 検査 シーリング接着性試験 行う() 簡易接着性試験() 引張接着性試験()</p> <p>新規仕上げ</p>								
<p>④ 外壁改修工事</p> <p>① 施工数量調査</p> <p>② 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)</p> <p>外壁 種類 改修工法 コンクリート打放し ひび割れ部 仕上げ外壁 樹脂注入工法 リカットシール材充填工法 シール工法 欠損部 充填工法 モルタル塗替え工法 ひび割れ部 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 浮き部 樹脂注入工法 欠損部 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 エボキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 目地 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地(位置寸法) 検査 シーリング接着性試験 行う() 簡易接着性試験() 引張接着性試験()</p> <p>新規仕上げ</p>															
	<p>④ 外壁改修工事</p> <p>① 施工数量調査</p> <p>② 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)</p> <p>外壁 種類 改修工法 コンクリート打放し ひび割れ部 仕上げ外壁 樹脂注入工法 リカットシール材充填工法 シール工法 欠損部 充填工法 モルタル塗替え工法 ひび割れ部 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 浮き部 樹脂注入工法 欠損部 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 アシカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 全面エボキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントストラリー注入工法 充填工法 エボキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 目地 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地(位置寸法)<br</p>														

<p>④ 塗り仕上げ (4.5.2) (表4.5.1(その1) (その2))</p> <p>薄付け仕上塗材</p> <p>厚付け仕上塗材</p> <p>複層仕上塗材</p> <p>可とう形改修用 仕上塗材</p> <p>(4.6.2) (表4.6.1) (表4.5.2)</p> <p>複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂種類</th><th>溶媒種類</th><th>外観</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>・ アクリル系</td><td>・ 溶剤系</td><td>・ 鮫有・艶無・メタリック</td></tr> <tr><td>・ シリカ系</td><td>・ 水系</td><td>・ 鮫有・艶無</td></tr> <tr><td>・ ポリウレタン系</td><td>・ 溶剤系</td><td>・ 鮫有・艶無・メタリック</td></tr> <tr><td>・ アクリル シリコン系</td><td>・ 水系</td><td>・ 鮫有・艶無</td></tr> <tr><td>・ ふつ素系</td><td>・ 溶剤系</td><td>・ 鮫有・艶無・メタリック</td></tr> <tr><td>・ 弱溶剤系</td><td>・ 水系</td><td>・ 鮫有・艶無</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。</p> <p>外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>仕上げの形状</th><th>工法</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>・ 四凸</td><td>・ 吹付け</td></tr> <tr><td>・ 凸部処理</td><td>・ ローラー</td></tr> <tr><td>・ ゆず肌状</td><td>・ ローラー</td></tr> <tr><td>・ さざ波状</td><td>・ ローラー</td></tr> </tbody> </table> <p>既存塗膜等の除去及び下地処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>処理範囲</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>・ サンダー工法</td><td></td></tr> <tr><td>・ 高圧水洗工法</td><td></td></tr> <tr><td>・ 塗膜はく離剤工法</td><td></td></tr> <tr><td>・ 水洗い工法 ((④) 高圧ポンプ (10~15MPa) ・ デッキブラシ)</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>下地調整</p> <p>④ C-1 ④ C-2 CM-2 E ()</p>	樹脂種類	溶媒種類	外観	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 鮫有・艶無・メタリック	・ シリカ系	・ 水系	・ 鮫有・艶無	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 鮫有・艶無・メタリック	・ アクリル シリコン系	・ 水系	・ 鮫有・艶無	・ ふつ素系	・ 溶剤系	・ 鮫有・艶無・メタリック	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 鮫有・艶無	種類	仕上げの形状	工法	・ 四凸	・ 吹付け	・ 凸部処理	・ ローラー	・ ゆず肌状	・ ローラー	・ さざ波状	・ ローラー	工法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 高圧水洗工法		・ 塗膜はく離剤工法		・ 水洗い工法 ((④) 高圧ポンプ (10~15MPa) ・ デッキブラシ)		<p>7 網戸 (5.2.3) (5)</p> <p>8 樹脂製建具 (5.3.2) ~ (5.3.5) (表5.3.1) ~ (表5.3.3)</p> <p>9 銅製建具 (5.4.2)</p> <p>10 銅製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2) (2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3) (1) (5.2.3) (1)</p> <p>11 ステンレス製 建具 (5.6.2) (5.4.2)</p> <p>12 木製建具 (5.7.2) (5.7.3)</p> <p>13 建具用金物 (5.8.2)</p> <p>14 自動ドア開閉 装置 (5.9.2)</p> <p>(5.9.3) (表5.9.4)</p> <p>(5.9.3) (9)</p> <p>・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ 外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 日射熱取得性 (等級) ガラス ・ 模様ガラス ・ 建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号 :) 水切り ・ 図示 (図面番号 :) せん板 ・ 図示 (図面番号 :) 丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3) による ・ 図示 (図面番号 :) ・ 銅製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H2400又はW950の建具 ・ 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号 : A-104, 105) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による 表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニール被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (HL 鏡面) ・ (化粧鋼板) ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ MDF 改修標準仕様書5.7.2(2) (イ) (a) ~ (c) () ・ 材料 SUS304 () 表面仕上げ HL仕上げ () 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ 含水率 A種 B種 ・ フラッシュ戸 表面材 () 厚み 改修標準仕様書表5.7.6 表面材の品質等 改修標準仕様書5.7.2(2) (イ) (a) ~ (c) () ・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ 曲げ強さによる区分 ・ 接着剤による区分 ・ 難燃性による区分 ・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする ・ かまち戸 見込み寸法 36mm () ・ かまち及び鏡板の樹種 () ・ ふすま 見込み寸法 19.5mm () 種別 I種 II種 ・ ふすま紙の上張り種類 () ・ 線の仕上げ () ・ 戸ぶすま 見込み寸法 30mm () 表面材 厚み 改修標準仕様書表5.7.6 表面材の品質等 改修標準仕様書5.7.2(2) (イ) (a) ~ (c) () ・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ 曲げ強さによる区分 ・ 接着剤による区分 ・ 難燃性による区分 ・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする 上張りの種類 () ・ 紙張り襪子 見込み寸法 30mm () 枠及びびくつぎの材料 () 金物の見え隠し部等の材質等 ・ 改修標準仕様書 (表5.8.1) による ・ 図示 (図面番号 :) マスターキー 製作する 製作しない 引渡用鍵箱 必要 不要 駆動装置及び検出装置の性能値 (車椅子使用者用便房出入用) ・ 図示 (図面番号 :) 引き戸用検出装置の種類 ・ 図示 (図面番号 :) 凍結防止措置 あり なし</p>	<p>15 自閉式上吊り 引戸装置 (5.10.3)</p> <p>16 重量シャッタ (5.11.2)</p> <p>17 軽量シャッタ (5.12.2)</p> <p>18 オーバーハング ドア (5.13.2)</p> <p>19 板ガラス (5.14.2) (1) (5.14.3)</p> <p>20 ガラス留め材 (5.14.2) (2)</p> <p>21 ガラス溝の寸 法、形状等 (5.14.3)</p> <p>22 ガラスプロッ ク積み (5.14.5)</p> <p>既存壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改修範囲 ④ 天井 ④ 図示 (図面番号 : A-086~091) ・ 壁 図示 (図面番号 :) ④ 床 図示 (図面番号 : A-019~023)</p> <p>既存床仕切壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示 (図面番号 :)</p> <p>天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示 (図面番号 :)</p> <p>既存床仕上げの除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ④ 行わない</p> <p>合成樹脂塗り材の除去等 ・ 機械的除去工法 目荒し工法</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ④ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ()</p> <p>既存床仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ④ (モルタル)</p> <p>木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) 部材名称 種別 下地材 A種 B種 造作材 A種 B種</p> <p>材質 「材質の日本農林規格」による製材 部材名 樹種・寸法・形状 等級 含水率 保存処理 材面の品質 下地用 図示 () () () () 針葉樹製材 () () () () 造作用 針葉樹製材 () () () () 広葉樹製材 () () () ()</p>
樹脂種類	溶媒種類	外観																																										
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 鮫有・艶無・メタリック																																										
・ シリカ系	・ 水系	・ 鮫有・艶無																																										
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 鮫有・艶無・メタリック																																										
・ アクリル シリコン系	・ 水系	・ 鮫有・艶無																																										
・ ふつ素系	・ 溶剤系	・ 鮫有・艶無・メタリック																																										
・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 鮫有・艶無																																										
種類	仕上げの形状	工法																																										
・ 四凸	・ 吹付け																																											
・ 凸部処理	・ ローラー																																											
・ ゆず肌状	・ ローラー																																											
・ さざ波状	・ ローラー																																											
工法	処理範囲																																											
・ サンダー工法																																												
・ 高圧水洗工法																																												
・ 塗膜はく離剤工法																																												
・ 水洗い工法 ((④) 高圧ポンプ (10~15MPa) ・ デッキブラシ)																																												
<p>6 内装改修工事</p> <p>① 一般事項 (6.1.3) (2)</p> <p>既存床仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改修範囲 ④ 天井 ④ 図示 (図面番号 : A-086~091) ・ 壁 図示 (図面番号 :) ④ 床 図示 (図面番号 : A-019~023)</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示 (図面番号 :)</p> <p>天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示 (図面番号 :)</p> <p>既存床仕上げの除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ④ 行わない</p> <p>合成樹脂塗り材の除去等 ・ 機械的除去工法 目荒し工法</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ④ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ()</p> <p>既存床仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ④ (モルタル)</p> <p>木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) 部材名称 種別 下地材 A種 B種 造作材 A種 B種</p> <p>材質 「材質の日本農林規格」による製材 部材名 樹種・寸法・形状 等級 含水率 保存処理 材面の品質 下地用 図示 () () () () 針葉樹製材 () () () () 造作用 針葉樹製材 () () () () 広葉樹製材 () () () ()</p>	<p>既存床仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改修範囲 ④ 天井 ④ 図示 (図面番号 : A-086~091) ・ 壁 図示 (図面番号 :) ④ 床 図示 (図面番号 : A-019~023)</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示 (図面番号 :)</p> <p>天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示 (図面番号 :)</p> <p>既存床仕上げの除去等 浮き、欠損部等</p>																																											

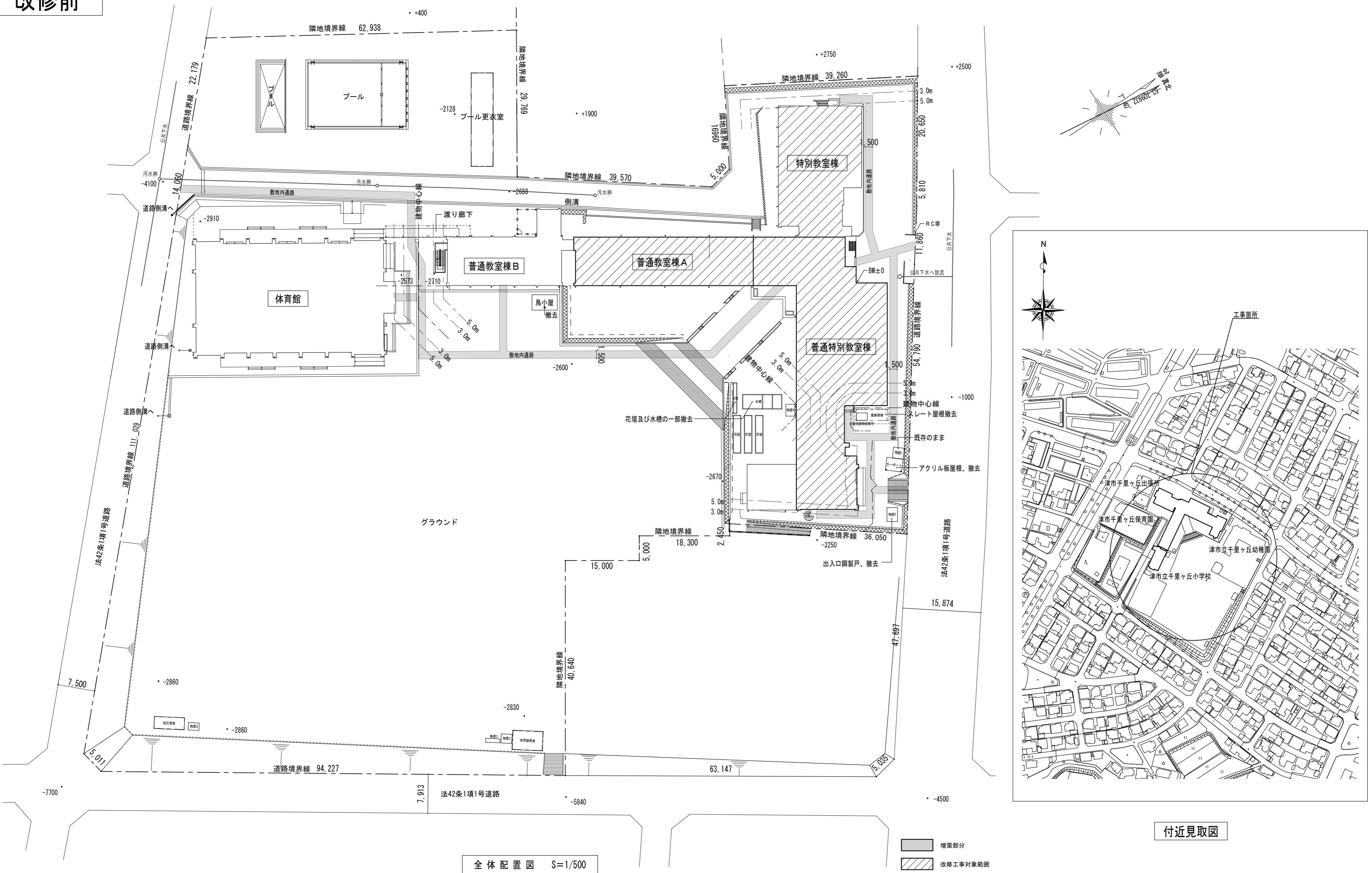
<p>(6.5.2) (4) (6.5.2) (5) (表6.5.2)</p> <p>(5.5.6) (1) ~ (5.5.9) (1)</p> <p>(6.5.2) (3) (7)</p> <p>(6.5.2) (4) (4)</p> <p>(6.5.2) (4) (7)</p> <p>(6.5.2) (4) (5)</p> <p>(6.5.2) (4) (6)</p> <p>(6.5.3) (1)</p> <p>(6.5.3) (2)</p> <p>(6.5.5) (1)</p> <p>(6.5.5) (2)</p> <p>⑤ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)</p> <p>(6.6.4)</p> <p>(6.6.5) (2)</p> <p>(6.6.6) (1)</p> <p>(6.6.7) (2)</p> <p>(6.6.8) (1)</p> <p>(6.6.8) (2)</p> <p>(6.6.8) (3)</p> <p>(6.6.8) (4)</p> <p>(6.6.8) (5)</p> <p>(6.6.6) (1)</p> <p>(6.6.7) (2)</p> <p>(6.6.8) (1)</p> <p>(6.6.8) (2)</p> <p>(6.6.8) (3)</p> <p>(6.6.8) (4)</p> <p>(6.6.8) (5)</p>	<p>「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:) 造作用材の材面の品質 A種 () 樹種</p> <table border="1"> <tr><td>部 位</td><td>樹 種</td><td>县 产 材</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr><td>部 位</td><td>品 名 ・ 樹 種</td><td>見付け材面の寸法・品質・数</td><td>厚さ</td></tr> <tr><td>造作用集成材</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td></td></tr> <tr><td>化粧ばり造作用</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ ()</td></tr> <tr><td>集成材</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>化粧ばり構造用</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>造作用集成柱</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td></td><td>・ ()</td></tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 15%以下 ・ ()</p> <p>造作用单板積層材 「单板積層材の日本農林規格」による造作用单板積層材</p> <table border="1"> <tr><td>部 位</td><td>品 名 ・ 寸 法</td><td>表面の品質</td><td>防虫処理</td></tr> <tr><td>造作用单板積層材</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr> </table> <p>「单板積層材の日本農林規格」以外の造作用单板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 14%以下 ・ ()</p> <p>「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>・ 合板等</p> <table border="1"> <tr><td>品名(品目)</td><td>樹種名</td><td>接着の程度</td><td>等級</td><td>板面の品質</td><td>防虫処理等</td><td>厚さ</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>接合具等 造作用化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()</p> <p>諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>防腐、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号:) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する (・ 薬剤の種類 ()) ・ 適用部材 ())</p> <p>防虫処理 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>野縫等の種類 ◎ 室内 ◎ 19形 ・ () ・ 屋外 25形 ・ ()</p> <p>形式及び寸法 ・ 屋外 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 国示 (図面番号:) ・ ふところ3.0m 改修標準仕様(6.6.4)(8) 国示 (図面番号:)</p> <p>既存埋込みインサート ・ 使用する ◎ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (・ 国示</p>	部 位	樹 種	县 产 材										部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		化粧ばり造作用	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	集成材	・ 図示 (図面番号:)			化粧ばり構造用	・ 図示 (図面番号:)			造作用集成柱	・ 図示 (図面番号:)		・ ()	部 位	品 名 ・ 寸 法	表面の品質	防虫処理	造作用单板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	品名(品目)	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																					
部 位	樹 種	县 产 材																																																																							
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																																																																						
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																																																							
化粧ばり造作用	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																						
集成材	・ 図示 (図面番号:)																																																																								
化粧ばり構造用	・ 図示 (図面番号:)																																																																								
造作用集成柱	・ 図示 (図面番号:)		・ ()																																																																						
部 位	品 名 ・ 寸 法	表面の品質	防虫処理																																																																						
造作用单板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()																																																																						
品名(品目)	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																																																																			

7 アクリル樹脂系 非分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ・ B種		
	上塗り等級 ① 1級(ツッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)		
	下地 種別 コンクリート面及び 押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種		
	種別 下地 種別 コンクリート、モルタル、 プラスチック、せっこうボード、 その他ボード面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 木部(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 鉄鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種		
	種別 ・ A種 ② B種 ・ C種 しみ止め ()		
	種別 ・ A種 ・ B種 工程1の着色 ・ 適用する ・ 適用しない		
	種類 ・ ビグメントステイン塗り オイルステイン塗りの工程、塗料 ・ ()		
	種別 ・ A種 ・ B種		
	工事内容 ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨プレースの設置工事 ・ 柱補強工法(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工法(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 柱補強工法(連続織維補強工法) ・ 耐震スリット新設工事 ・ 免震改修・制振改修工事 ・ 免震改修・制振改修工事		
	工事種別 ① 鉄筋工事 ② あと施工アンカーアート ③ コンクリート工事 ④ 鉄骨工事 ⑤ グラウト工事 ・ 連続織維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修・制振改修工事 ⑥ 土工事及び地業工事		
	既存部分の撤去等 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)		
8 の 1 耐 震 改 修 工 事 共 通 事 項	既存部分の撤去等 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2)		
8 の 2 耐 震 改 修 工 事 撤 去 工 事	既存部分の撤去等 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2)		
8 の 3 耐 震 改 修 工 事	既存部分の撤去等 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2)		
8 の 4 耐 震 改 修 工 事	既存部分の撤去等 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2)		
8 の 5 耐 震 改 修 工 事	既存部分の撤去等 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2)		
8 の 6 耐 震 改 修 工 事	既存部分の撤去等 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2)		
8 の 7 耐 震 改 修 工 事	既存部分の撤去等 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2)		
8 の 8 耐 震 改 修 工 事	既存部分の撤去等 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2)		
8 の 9 耐 震 改 修 工 事	既存部分の撤去等 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2)		
	既存構造体の撤去 (8.21.2)		

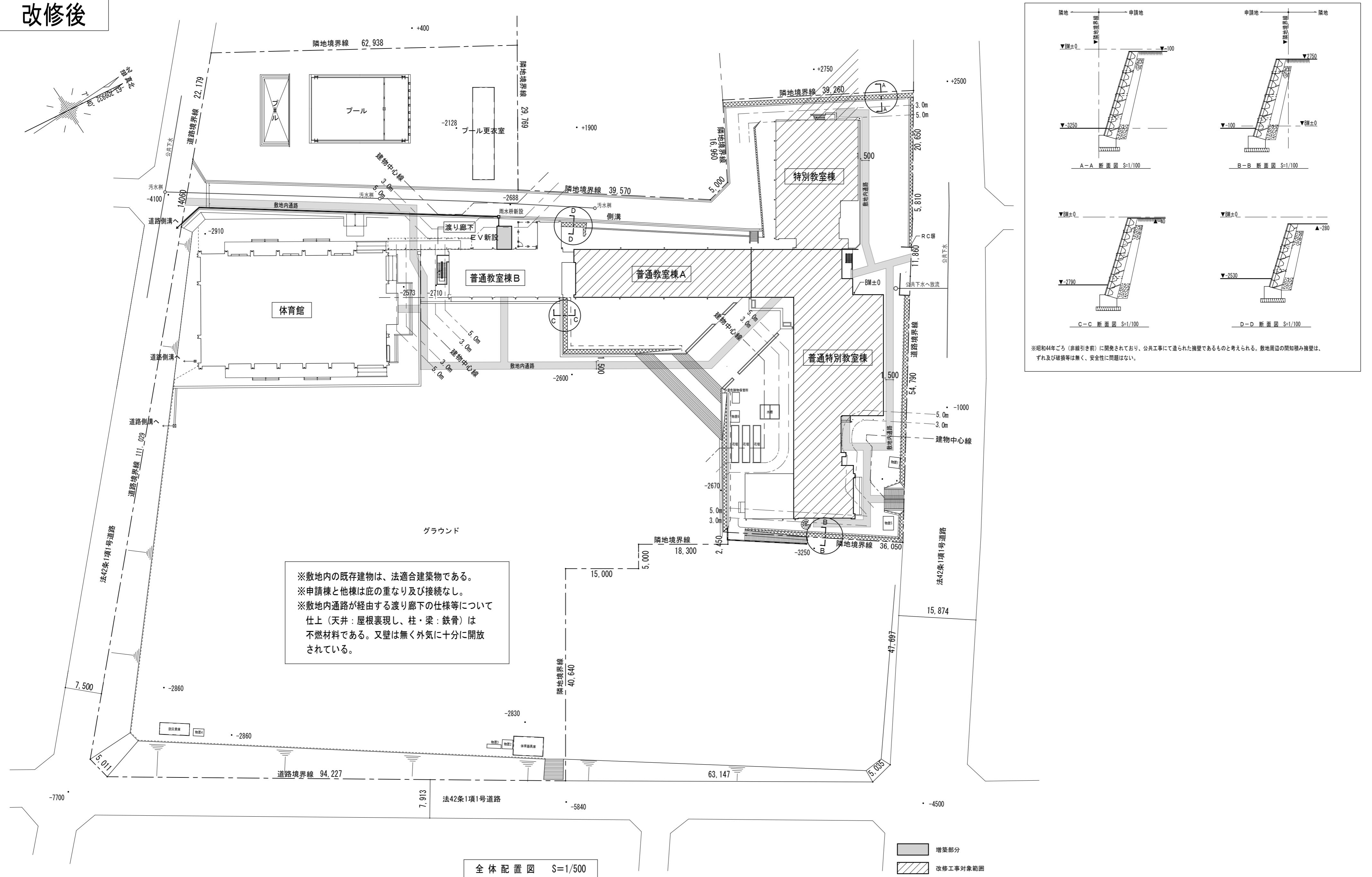
8 の 5 耐 震 改 修 工 事 あと 施 工 ア ン カ ー 工 事	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属系 セットの方式 本体打込み式 (改良型 従来型) 径及び埋込み長さ 図示 (図面番号:) 引張耐力 図示 (図面番号:) せん断耐力 図示 (図面番号:) 接合筋の種類・径・長さ 図示 (図面番号:) <p>○ 接着系 アンカーの種類 ① カーボル型回転・打撃式 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> 接着剤の品質 有機系 ② 無機系 径及び埋込み長さ ① 図示 (図面番号: A-144) 引張耐力 国示 (図面番号:) せん断耐力 国示 (図面番号:) アンカーフレームの種類 ① 国示 (図面番号: A-144) アンカーフレームへの定着長さ 国示 (図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 行う ② 行わない <p>穿孔 埋込み配管等の探査の方法</p> <p>○ 鉄筋探査機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・はり出しがある。</p> <p>あと施工アンカーの施工確認試験 実施する ② 実施しない</p> <p>試験方法 引張試験機による引張試験 ()</p> <p>1ロットの単位 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ()</p> <p>試験の箇所数 1ロットに対し3本(無作為) ()</p> <p>確認強度 ()</p> <p>(場所打ちコンクリート壁の増設工事) 3 シアコネクター</p> <p>シアコネクタとセパレーターの兼用 兼用してもよい 兼用しない ()</p>	<p>1 1 鉄骨の銷止め塗装 (8.17.2) (8.17.4)</p> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ・改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) ()種</p> <p>耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 国示 (図面番号:)</p> <p>・改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) ()種</p> <p>耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 国示 (図面番号:)</p> <p>1 2 耐火被覆材の種類及び性能 (8.18.2) (8.18.3)</p> <p>部位 種類 材料・工法 耐火性能</p> <p>1 3 ブレース設置工事後の仕上げ (8.22.9)</p> <p>1 4 スタッド (8.2.11)</p> <p>スタッドの種類 ()</p> <p>8 の 7 耐 震 改 修 工 事 グ ラ ウ ト 工 事</p> <p>(グラウト工事) 1 モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.12) (表8.2.5) (表8.2.10)</p> <p>構造体用モルタル ・改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.12)による。</p> <p>無収縮モルタル ・改修標準仕様書(8.2.12)(1)による</p> <p>グラウト材 ・改修標準仕様書(8.2.12)(2)による。</p> <p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造との隙間の処置方法)</p> <p>部位 処理方法 備考</p> <p>・増設壁の上部 グラウト材を注入 寸法は国示による</p> <p>・() () ()</p> <p>2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)</p> <p>連続繊維による補強、補修工法</p> <p>1 連続繊維シート等による工法 (8.24.1)</p> <p>連続繊維の材料</p> <p>2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8.2.13)</p> <p>引張強度(含浸硬化後)</p> <p>ヤング係数(含浸硬化後)</p> <p>仕上げモルタルの除去</p> <p>3 連続繊維シートの施工準備</p> <p>既存モルタルの圧縮強度測定</p> <p>4 鋼板巻き工法及びひ帝巻き付け工法 (8.23.6)</p> <p>柱頭柱脚の隙間寸法</p> <p>5 耐震補強後の仕上げ (8.23.7) (8.24.7)</p> <p>6 炭素繊維シートの施工</p> <p>炭素繊維の目付量</p> <p>7 連続繊維補強材の強度試験 (8.24.6)</p> <p>引張強度試験</p>	<p>8 の 9 耐 震 改 修 工 事 ス リ ッ ト 新 設 工 事</p> <p>(耐震スリット新設工事) 1 スリットの種類 (8.25.1) (8.25.2)</p> <p>耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの形状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>一般型</th> <th>一面せん断型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形状</td> <td>国示 (国面番号:)</td> <td>国示 (国面番号:)</td> </tr> <tr> <td>幅W (mm)</td> <td>国示 (国面番号:)</td> <td>国示 (国面番号:)</td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()</td> <td>・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()</td> </tr> </tbody> </table> <p>部分スリットの形状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>片側スリット</th> <th>両面スリット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形状</td> <td>国示 (国面番号:)</td> <td>国示 (国面番号:)</td> </tr> <tr> <td>幅W (mm)</td> <td>国示 (国面番号:)</td> <td>国示 (国面番号:)</td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・存置する ・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()</td> <td>・存置する ・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()</td> </tr> </tbody> </table> <p>スリットの施工</p> <p>範囲 スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。</p> <p>方法 鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。</p> <p>スリットの逃げ位置</p> <p>壁上端部 梁との接合部 ()</p> <p>壁の柱きわ部 柱の仕上げを逃げたきわ部 ()</p> <p>壁下端部 床仕上げ上部 床体上部 ()</p> <p>撤去部の補修</p> <p>充填材</p> <p>3 免震・制振改修 (8.26.1)~(8.27.9)</p> <p>免震改修、制振改修に関する仕様は、国示する。</p>	記号	一般型	一面せん断型	形状	国示 (国面番号:)	国示 (国面番号:)	幅W (mm)	国示 (国面番号:)	国示 (国面番号:)	既存鉄筋の処理	・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()	・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()	記号	片側スリット	両面スリット	形状	国示 (国面番号:)	国示 (国面番号:)	幅W (mm)	国示 (国面番号:)	国示 (国面番号:)	既存鉄筋の処理	・存置する ・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()	・存置する ・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()	<p>8 の 10 そ の 他 工 事</p> <p>1 土工事 (8.28.2) (8.28.3)</p> <p>既存杭の撤去</p> <p>埋戻し及び盛土の材料及び工法</p> <p>A種 ② B種 C種 D種</p> <p>建設発生土の処理</p> <p>・処分地指定 処分地 ()</p> <p>② 処分地未定につき相互協議する。</p> <p>暫定運搬距離 8km ② 4km ()</p> <p>山留めの撤去</p> <p>・撤去(鋼矢板等の抜き跡の処理) 直ちに砂で充填する ()</p> <p>・存置</p> <p>2 地盤工事 (8.28.4)</p> <p>杭の施工監理</p> <p>杭工事特記仕様書による。</p> <p>適用基準</p> <p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。</p> <p>国土交通省告示第468号「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日)</p> <p>施工記録</p> <p>受注者は、杭の施工期間中は、1週間に、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。</p> <p>なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。</p> <p>根拠資料</p> <p>共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料(施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等)は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項(第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。)の規定による引渡しを受けた日から10年とする。</p> <p>また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。</p> <p>試験杭及び試験掘</p> <p>・試験杭 位置、本数及び寸法は国示(国面番号:)による。</p> <p>・試験掘 位置、本数及び寸法は国示(国面番号:)による。</p> <p>杭の支持層</p> <p>支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ 国示(国面番号:) ()</p> <p>水平方向の位置ずれの精度</p> <p>・() mm以下</p> <p>杭の載荷試験</p> <p>試験方法 鉛直載荷 水平載荷 ()</p> <p>試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。</p> <p>位置 国示(国面番号:) 載荷荷重 (kN)</p> <p>報告書 提出部数 2部</p>
記号	一般型	一面せん断型																										
形状	国示 (国面番号:)	国示 (国面番号:)																										
幅W (mm)	国示 (国面番号:)	国示 (国面番号:)																										
既存鉄筋の処理	・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()	・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()																										
記号	片側スリット	両面スリット																										
形状	国示 (国面番号:)	国示 (国面番号:)																										
幅W (mm)	国示 (国面番号:)	国示 (国面番号:)																										
既存鉄筋の処理	・存置する ・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()	・存置する ・既存鉄筋ははり出し ・切削してよい ・()																										
8 の 6 耐 震 改 修 工 事 鐵 骨 工 事	<p>1 鉄骨製作工場 (8.1.5)</p> <p>日本鉄骨評価センター又は株全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場</p> <p>J R M H S</p> <p>施工管理技術者(鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等)の配置</p> <p>しない する</p> <p>3 鋼材 (8.2.8)</p> <p>種類・形状及び寸法 国示 (国面番号:)</p> <p>4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)</p> <p>高力ボルトの適用</p> <ul style="list-style-type: none"> トルシア形高力ボルト2種(S10T) JIS形高力ボルト2種(F10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) <p>ねじの呼び</p> <p>国示 (国面番号:)</p> <p>すべり試験 行う (試験方法等 国示 : 国面番号)</p> <p>JIS形・ナット回転法かボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量 ()</p> <p>改修標準仕様書(8.2.10)(1)(2)以外の溶接材料</p> <p>材料及び使用箇所 国示 (国面番号:)</p> <p>仮組 (8.13.10)</p> <p>仮組の実施 実施する () 実施しない</p> <p>溶接作業における技能資格者の技量付加試験 実施する () 実施しない</p> <p>開先の形状 国示 (国面番号:)</p> <p>鋼製エンドタブの切断 適用箇所 国示 (国面番号:)</p> <p>切断面の仕上げ ()</p> <p>鋼製エンドタブに代わる他の工法 鋼製エンドタブに代わる他の工法</p>																											

		<p>地盤の載荷試験 試験方法 平板載荷 () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 提出部数 2部</p> <p>杭地業の工法、寸法 ・図示(図面番号:)</p> <p>杭頭処置 行う 行わない</p> <p>砂利及び砂地業 範囲 図示(図面番号:) 厚さ (mm) 60 () 捨てコンクリート地業 範囲 図示(図面番号:) 厚さ (mm) 50 ()</p>	<p>2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1)~(9.2.3)</p> <p>改修特記仕様書3章による</p> <p>3 外断熱改修工事 (9.3.2)</p> <p>断熱材 種類 厚さ [mm]</p> <ul style="list-style-type: none"> ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし) 硬質ウレタンフォーム断熱材 フェノールフォーム断熱材 ロックウール断熱材 グラスウール断熱材 () <p>施工箇所 図示(図面番号:) ()</p> <p>外装材 種類 防火性能 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> () 	<p>6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2)~(9.5.7)(9.5.9)</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 路床 路床の材料 種別 材料 厚さ [mm]</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛土 A種 B種 C種 D種 建設汚泥から再生した処理土 図示(図面番号:) () 凍土抑制層 再生クラッシャラン クラッシャラン 切込み砂利 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) 図示(図面番号:) () フィルター層 砂 図示(図面番号:) () <p>路床安定処理 添加材料による安定処理 種類 普通ポルトランドセメント 生石灰 (特号 1号) 消石灰 (特号 1号) 添加量 (kg/m²) (目標CBR 5以上)</p> <p>ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m²以上 () 厚さ [mm] 0.5~1.0 () 引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 () 透水係数 1.5×10⁻⁶~1cm/sec 以上 ()</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 行う 行わない 路床締固め度の試験 行う 行わない 現場CBR試験 行う 行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ 図示(図面番号:) () 路盤材料 再生材のクラッシャラン クラッシャラン鉄鋼スラグ 図示(図面番号:) ()</p> <p>試験 路盤締固め度の試験 行う 行わない</p> <p>舗装 材料 厚さ [mm]</p> <ul style="list-style-type: none"> ストレートアスファルト 図示(図面番号:) () <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない 舗装の平たん性 審査い不陸がないもの ()</p>																																																													
⑨ 環境配慮改修工事	① 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)	<p>石綿粉じん濃度測定 測定期間、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定期間</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定 2</td> <td></td> <td>・調査対象外部の付近 ・処理作業室外(敷地境界)</td> <td>計 4 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 4</td> <td></td> <td>負圧・除じん装置の排出吹出口 シロ</td> <td>出口吹出し風速1m/s 以下の位置</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定 5</td> <td></td> <td>・処理作業室外(敷地境界)</td> <td>計 4 点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定 6</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>・処理作業室内 ・処理作業室外(敷地境界)</td> <td>計 4 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後 シード</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 8</td> <td>ト撤去後1週間 以降</td> <td>調査対象外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直徑 (mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量 (L/min)</td> <td>・ 1 ()</td> <td>・ 5 ()</td> <td>・ 10 ()</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間 (min)</td> <td>・ 5 ()</td> <td>・ 120 ()</td> <td>・ 240 ()</td> </tr> </tbody> </table>	適用	測定名称	測定期間	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点	○	測定 2		・調査対象外部の付近 ・処理作業室外(敷地境界)	計 4 点	・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点	・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹出口 シロ	出口吹出し風速1m/s 以下の位置	○	測定 5		・処理作業室外(敷地境界)	計 4 点	○	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	・処理作業室内 ・処理作業室外(敷地境界)	計 4 点	・	測定 7	処理作業後 シード	処理作業室内	計 点	・	測定 8	ト撤去後1週間 以降	調査対象外部の付近	計 点		測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5	メンブレンフィルタ直徑 (mm)	25	25	47	試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ()	・ 5 ()	・ 10 ()	試料の吸引時間 (min)	・ 5 ()	・ 120 ()	・ 240 ()	<p>(9.1.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示(図面番号:) 除去工法 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による () 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ・湿潤化 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) 中間処理 (溶融又は無害化による) <p>(9.1.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有保材等の除去 除去対象範囲 図示(図面番号:) 除去方法 改修標準仕様書9.1.4(1)による () 除去した石綿含有保材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) 中間処理 (溶融又は無害化による) <p>(9.1.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 図示(図面番号: A-19) 石綿含有せっこうボードの処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 ・埋立処分 (安定型最終処分場) 中間処理 (溶融又は無害化による) <p>(9.1.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 図示(図面番号: A-46, A-48) 除去した石綿含有仕上塗材等の処分 ・埋立処分 (安定型最終処分場) 中間処理 (溶融又は無害化による) ※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。 <p>除去等作業の結果報告 除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。</p>	<p>4 断熱・防露改修工事 (9.5.2)</p> <p>断熱材打込み工法 種類 厚さ [mm]</p> <ul style="list-style-type: none"> ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし) 硬質ウレタンフォーム断熱材 フェノールフォーム断熱材 () <p>施工箇所 図示(図面番号:) ()</p> <p>(9.5.3)</p> <p>断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 A種 1 A種 1H () 厚さ (mm) 25 30 () 施工箇所 図示(図面番号:)</p> <p>現場発泡断熱材 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>(9.5.4)</p> <p>断熱材後張り工法 種類 せっこうボード等の張り付け 厚さ [mm]</p> <ul style="list-style-type: none"> ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 有 無 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 有 無 硬質ウレタンフォーム断熱材 有 無 フェノールフォーム断熱材 有 無 () 有 無 <p>施工箇所 図示(図面番号:) ()</p> <p>5 屋上緑化改修工事 (9.6.1) (9.6.2) (9.6.3)</p> <p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用する 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 図示(図面番号:) () 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 図示(図面番号:) () <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (1 1.15 1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) 適用しない かん水装置 設置する (種類) 既存保護層の撤去 行う 行わない</p>
	適用	測定名称	測定期間	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																												
	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																												
	○	測定 2		・調査対象外部の付近 ・処理作業室外(敷地境界)	計 4 点																																																												
	・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																												
	・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹出口 シロ	出口吹出し風速1m/s 以下の位置																																																												
	○	測定 5		・処理作業室外(敷地境界)	計 4 点																																																												
	○	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	・処理作業室内 ・処理作業室外(敷地境界)	計 4 点																																																												
	・	測定 7	処理作業後 シード	処理作業室内	計 点																																																												
	・	測定 8	ト撤去後1週間 以降	調査対象外部の付近	計 点																																																												
	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5																																																														
メンブレンフィルタ直徑 (mm)	25	25	47																																																														
試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ()	・ 5 ()	・ 10 ()																																																														
試料の吸引時間 (min)	・ 5 ()	・ 120 ()	・ 240 ()																																																														

改修前



改修後



設計概要				外部仕上表【増築部】								主要構造部(増築部)												
工事名称	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事			部位	仕上			部位	仕上			部位	使用材料			認定								
工事場所	津市河芸町千里ヶ丘13番			屋根	平場：ウレタン塗膜防水 通気暖衝工法(X-1)遮熱仕様(フッ素) 立上り：ウレタン塗膜防水新設 密着工法(X-2)遮熱仕様(フッ素) 合成スラブデッキプレート 厚1.2 溶接金網:6φ-100×100 コンクリート金コテ押え 厚80+50 アルミ笠木 W:350(コーナー共) オーバーフロー管(塩ビ製 φ40)2箇所 鋳鉄製横引ドレン φ100用 縦 棚：硬質塩化ビニル製(カラー)φ100 掃除口：硬質塩化ビニル製(カラー)φ100 埋み金物：SUS製@1200				外壁	ALC-厚100 複層塗材E吹付(フッ素)			屋根	合成スラブ用デッキプレート 厚1.2 デッキ高 50 コンクリート 厚80 溶接金網:6φ-100×100			FP060FL-0100							
用途地域	第一種低層住居専用地域				EXP.J 根廻り				アルミ製(1時間耐火仕様) コンクリート打放し補修 誘発目地@3000				ALC-厚100			平12建告1399号第1ト								
防火地域	指定なし																							
その他	22条区域																							
敷地面積												床	合成スラブ用デッキプレート 厚1.2 デッキ高 50 コンクリート 厚80 溶接金網:6φ-100×100			FP060FL-0100								
建築面積					面積図参照																			
延べ面積													柱 鉄骨柱 ロックウール吹付 厚25			FP060CN-9460								
													梁 鉄骨梁 ロックウール吹付 厚25			FP060BM-9408								
内部仕上表【増築部】																								
階	内装制限	室名	床			巾木			壁			天井			廻縁	天井高さ	室名札	備考						
			記号	下地	仕上	記号	仕上	高さ	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上							
E V棟 各階	(準)	EVホール	B1Fのみ モルタル金こて押え 他階 セルフレベリング	ビニル床シート厚2.0張り	ビニル巾木	100	LGS下地	PB-12.5 EP塗 既設モルタル、下地調整(RB種)の上 EP塗 耐火中空二重壁 EP塗	ALC-厚100 現し 耐火中空二重壁 現し	LGS下地	化粧PB-9.5張り	塩ビ 2500												
【特記事項】			【シックハウス対応策】			【仕上記号略号】			【耐火認定番号】			【内装制限凡例】												
・壁ボード張り部分は、ジョイントレス大壁工法とする。 (寒冷紗・ジョイントテープ張り処理)			・仕様建材：F☆☆☆☆(天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共)			記号	JIS番号		PB 厚12.5	: NM-8619	<不燃>	(不)	仕上、下地共不燃材											
・ボード類 壁コーナー処理は特記なき限りコーナー保護金物の上 ジョイントコンパウンド塗とする。			・内部塗料は、F☆☆☆☆品			E P	K5663	合成樹脂エマルジョンペイント	塗料一般(E P)	: NM-8585	<不燃>	(不)	仕上不燃材											
・土間コンクリート下は、ポリエチレンフィルム厚0.15枚き タテ、ヨコ重ね部分 L=200以上とする。			・ケイ酸質系塗布防水塗布防水塗(C-U1)			O P	K5658	耐候性塗料	化粧PB 厚9.5	: QM-0524	<準不燃>	(準)	仕上、下地共準不燃材 以上											
・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。												(準)	仕上準不燃材 以上											
・使用建築材料：特記なき限りJIS・JAS認定品を使用する事。						【記号略号】						(難)	仕上難燃材 以上											
・EV棟に石綿・ホルムアルデヒドの使用はないものとする。						記号		名称	【認定番号】															
						P B	石膏ボード		耐火中空二重壁 LGS下地			耐火構造												
						L G S	軽量鉄骨下地		強化PB厚21+強化PB厚21(両面)			FP060NP-0197												
									</															

外部仕上表【既設改修部】															
部位		仕上			部位		仕上			部位		仕上			
屋上	改修前	平場：アスファルト防水撤去（アスベスト含有） 脱気筒撤去、目地材撤去、既設ドレン撤去 立上り：側溝・笠木：既設アスファルト防水（アスベスト含有）及びシート防水撤去 脱気筒撤去 バラベット部：塗布防水			シーリング 防水	改修前	建具周囲シーリング撤去			堅縫	改修前	堅縫：硬質塩ビ管 φ100 撤去 養生管：φ125 撤去 堅縫：硬質塩ビ管 φ114 撤去 飾り枠：塩ビ製撤去			
					改修後	建具周囲シーリング MS-2 新設				改修後	堅縫：硬質塩ビ管 φ100 新設 飾り枠：塩ビ製新設				
		玄関庇	改修前	平場：ウレタン塗膜防水 立上り：ウレタン塗膜防水 軒裏：鋼板製スパンダレル			建具	改修前	アルミ製建具（外部サッシ）						
			改修後	平場：高圧洗浄、ケレン清掃の上、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） 立上り：高圧洗浄、ケレン清掃の上、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） 軒裏：下地処理RB種の上 DP塗り				改修後	清掃の上飛散防止フィルム貼り新設 一部、カバー工法による改修（一般サッシ及び防火設備）						
	改修後		平場：ウレタン塗膜防水新設（通気暖衝工法 X-1工法） ケレン清掃、伸縮目地ガラス発砲骨材入り樹脂モルタル充填、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント仮防水、 ドレン廻り補修、改修用ドレン設置、脱気筒設置 立上り：ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） ケレン清掃の上、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント仮防水 バラベット部：高圧洗浄、ケレン清掃の上、エボキシ系ポリマーセメントノロ引き、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法）			庇		改修前	吹付タイル			改修前	OP塗り		
								改修後	高圧洗浄、ケレン清掃の上、エボキシ系ポリマーセメントノロ引き ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法）			タラップ	改修後	下地処理RB種の上 DP塗り	
		外壁	改修前	外壁：モルタル塗りの上、吹付タイル 外壁：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有） 腰壁：カラコンモザイクタイル貼り 鉄板巻き補強部：ポリウレタンエナメル塗装（2-U E）			屋外階段 (螺旋階段)	改修前	塗装仕上						
			改修後	高压洗浄、下地調整塗材（C-1）の上、複層塗材E吹付（フッ素系） 混式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（C-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系） 腰壁：カラコンモザイクタイル貼り【既存のまま】 鉄板面：下地処理RB種の上、DP塗装				改修後	下地処理RB種の上 DP塗り						
屋上 (平屋部)	改修前		平場：既設シート防水（平面・断熱工法）撤去 断熱材撤去、既設ドレン撤去 立上り：既設シート防水撤去 押え金物撤去 バラベット部：防水モルタル			軒裏		改修前	モルタル塗りの上、アクリルシン吹付 モルタル塗りの上、アクリルシン吹付（アスベスト含有）			改修前	モルタル面：下地処理RB種の上 EP塗り モルタル面：下地処理RC種の上 EP塗り		
								改修後	高压洗浄、下地調整塗材（C-1）の上、外装薄塗材E吹付 混式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（C-2）の上、外装薄塗材E吹付				化粧PB-9.5 張り 化粧PB-9.5 張り【既設のまま】		
	改修後		平場：ウレタン塗膜防水新設（断熱機械固定工法 X-1工法） ケレン清掃、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント仮防水 ドレン廻り補修、改修用ドレン設置、脱気筒設置、平場端末押え金物設置 立上り：ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） ケレン清掃の上、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント仮防水 バラベット部：高圧洗浄、ケレン清掃の上、エボキシ系ポリマーセメントノロ引き、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法）			巾木		改修前	モルタル塗りこて押え			改修後	モルタル面：下地処理RB種の上 EP塗り モルタル面：下地処理RC種の上 EP塗り		
								改修後	水洗い				【既設のまま】		

内部仕上表【既設改修部】											
階	室名	床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	C H	備考
特別普通教室棟	玄関ホール	改修前	長尺シート貼り	人研ぎ	100	—	—	モルタル 金こて仕上 EP塗り		化粧PB-9.5 張り	塩ビ 3000
			—					タイル貼り			
	昇降口	改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	—	—	—	モルタル面：下地処理RB種の上 EP塗り		化粧PB-9.5 張り【既設のまま】	【既設のまま】
			—					タイル貼り【既設のまま】			
	改修前	長尺シート貼り	モルタル EP塗り 人研ぎ	100	—	—	モルタル 金こて仕上 EP塗り	石綿セメント板 厚5 目透かし張り EP塗り		塩ビ 3000 3150	卒業記念作品（既設のまま） 学校案内図 脱着 タブレット充電BOX移設・再据付 ショーケース移設・再据付
		改修後	【既設のまま】					下地処理RB種の上 EP塗り			
	改修後	【既設のまま】	モルタル面：下地処理RB種の上 EP塗り 人研ぎ【既設のまま】	—	—	—	下地処理RC種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り		【既設のまま】	揭示板、黒板 脱着 下足箱 移設・再据付
		改修後	—								

設計監理類建築設計事務所	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N°	備考	図面名称		縮尺	図面 No A-019
	管理建築士	設計者	変更・訂正	田中 召剛				田中 召剛	田中 召剛		
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士第306854号	一級建築士第306854号	—	—	—	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	—	—	—	—	原図: A 2

内部仕上表【既設改修部】

階	室名	床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	CH	備考	
1	廊下	改修前 長尺シート貼り	ラワン材 厚18 OP塗り 木製 SOP塗り 既調合モルタル薄塗り 厚5	100	—	—	モルタル 金こて仕上 EP塗り 既調合モルタル薄塗り 厚5	PB 厚9 目透かし張り EP塗	塩ビ	2400	掲示作品、掲示板 脱着 掃除入れ、スチール棚 脱着	
							難燃ペニヤ 厚5.5目透かし張り OP	ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付				
							ラワン合板 厚5.5目透かし張り SOP	—				
		改修後 【既設のまま】	木部：下地処理RB種の上 EP-G塗り モルタル面：下地処理RB種の上 EP塗り	—	—	—	モルタル面：下地処理RB種の上 EP塗り 木部：下地処理RB種の上 EP-G塗り	下地処理RC種の上 EP塗り ジョイントボード撤去の上、化粧PB 厚9.5張り	塩ビ製撤去 塩ビ製新設	—		
							—	—				
	廊下	改修前 長尺シート貼り	木製 SOP塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りVP [窓側] RC下地、モルタル塗りVP	1500	[教室側] ラスボード下地、プラスター塗り [窓側] RC下地、プラスター塗り 柱部：鉄板巻き SOP	[教室側] PB 厚9 目透かし張り EP塗	塩ビ	2480	ステンレス製手洗い 撤去 タブレット充電BOX移設・再据付 掲示板 脱着 ステンレス製手洗い 新設	
							[教室側] 下地処理RB種の上 EP塗り [窓側] 下地処理RB種の上 EP塗り	[教室側] プラスター面：下地処理RB種の上 EP塗り [窓側] プラスター面：下地処理RB種の上 EP塗り 鉄板面：下地処理RB種の上 EP-G塗り				
特別普通教室棟	教室（2-3）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	ステンレス製手洗い 撤去 タブレット充電BOX移設・再据付 掲示板 脱着 ステンレス製手洗い 新設
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	
	教室（6-1）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	化粧石膏ボード 厚9.5 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	【既設のまま】	【既設のまま】	—	
	教室（6-2）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	化粧石膏ボード 厚9.5 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	【既設のまま】	【既設のまま】	—	
	教室（6-3）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	
	廊下	改修前 長尺シート貼り	木製 SOP塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りVP [窓側] RC下地、モルタル塗りVP	1500	[教室側] ラスボード下地、プラスター塗り [窓側] RC下地、プラスター塗り 柱部：鉄板巻き SOP	[教室側] PB 厚9 目透かし張り EP塗	塩ビ	2480	ステンレス製手洗い 撤去 タブレット充電BOX移設・再据付 スチール棚移設・再据付 ステンレス製手洗い 新設	
							[教室側] 下地処理RB種の上 EP塗り [窓側] 下地処理RB種の上 EP塗り	[教室側] プラスター面：下地処理RB種の上 EP塗り [窓側] プラスター面：下地処理RB種の上 EP塗り 鉄板面：下地処理RB種の上 EP-G塗り				
		改修後 【既設のまま】	木部：下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	[教室側] 下地処理RB種の上 EP塗り [窓側] 下地処理RB種の上 EP塗り	—	[教室側] 下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	塩ビ製撤去 塩ビ製新設	—		
							※一部撤去、天井下地不陸調整の上 PB-9.5張り EP塗り					
4	教室（4-3）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	掲示板 シート張替え
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号					製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N o	備考	図面名称	縮尺	図面 No
管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	改修前・改修後 仕上表2(改修部) · S=NS	·	·	A-020
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				· · ·		·	·	·	原図：A 2
					· · ·		·	·	·	
					· · ·		·	·	·	

内 部 仕 上 表【既 設 改 修 部】

階	室名	床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	C H	備考	
特別普通教室棟	階段室B	改修前	踏面：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 蹴上げ：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り 人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	100	モルタル塗りV P	—	モルタル塗りV P	天井面：モルタル塗り E P塗 段裏：モルタル塗りE P塗	—	—		
		改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	—	下地処理RB種の上 E P塗り	—	下地処理RB種の上 E P塗り	天井面：【既存のまま】 段裏：下地処理RB種の上 E P塗	—	揭示板 脱着	
		改修前	踏面：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 蹴上げ：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り 人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	100	モルタル塗りV P	—	モルタル塗りV P	天井面：P B 厚9 目透かし張り E P塗 段裏：モルタル塗りE P塗	塩ビ	—		
	階段室C	改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	—	下地処理RB種の上 E P塗り	—	下地処理RB種の上 E P塗り	天井面：下地処理RB種の上 E P塗 段裏：下地処理RB種の上 E P塗	【既設のまま】	掃除入れ 脱着	
		改修前	踏面：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 蹴上げ：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り 人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	100	モルタル塗りV P	—	モルタル塗りV P	天井面：P B 厚9 目透かし張り E P塗 段裏：モルタル塗りE P塗	塩ビ	—		
		改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	—	下地処理RB種の上 E P塗り	—	下地処理RB種の上 E P塗り	天井面：下地処理RB種の上 E P塗 段裏：下地処理RB種の上 E P塗	—		
普通教室棟A	廊下	改修前	長尺シート貼り	木製 S O P塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りV P	1500	[教室側] ラスボード下地、ラスター塗り	P B 厚9 目透かし張り E P塗	塩ビ	2480	人研ぎ手洗い（ステンレス巻き）撤去
		改修後	【既設のまま】			[窓側] RC下地、モルタル塗りV P		[窓側] RC下地、ラスター塗り 柱部：鉄板巻き S O P				
	教室（あゆみ1）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 O P塗り	100	[教室側] 下地処理RB種の上 E P-G塗り	—	[教室側] ラスター面：下地処理RB種の上 E P塗り 鉄板面：下地処理RB種の上 E P-G塗り	下地処理RC種の上 E P塗り	【既設のまま】	—	掲示板 シート張替え ステンレス製手洗い新設
		改修後	【既設のまま】			[窓側] 下地処理RB種の上 E P塗り		[窓側] ラスター面：下地処理RB種の上 E P塗り				
	教室（あゆみ2）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 O P塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P	1500	ラスボード下地、ラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】			スチールパーティション		スチールパーティション				
	教室（あゆみ3）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 O P塗り	100	下地処理RB種の上 E P塗り	—	ラスター面：下地処理RB種の上 E P塗り	下地処理RC種の上 E P塗り	【既設のまま】	—	
		改修後	【既設のまま】			パーティション：【既設のまま】		パーティション：【既設のまま】				
	教室（あゆみ4）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 O P塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P	1500	ラスボード下地、ラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】			スチールパーティション		スチールパーティション				
	教室（1-3）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 O P塗り	100	下地処理RB種の上 E P-G塗り	—	ラスター面：下地処理RB種の上 E P塗り	下地処理RC種の上 E P塗り	【既設のまま】	—	
		改修後	【既設のまま】			パーティション：【既設のまま】		パーティション：【既設のまま】				



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号

TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

製図年月日 2024. 5. 20.

設計番号 N o

備考

図面名称 縮尺

改修前・改修後 仕上表3(改修部) S=NS

図面 No

A-021

原図 A 2

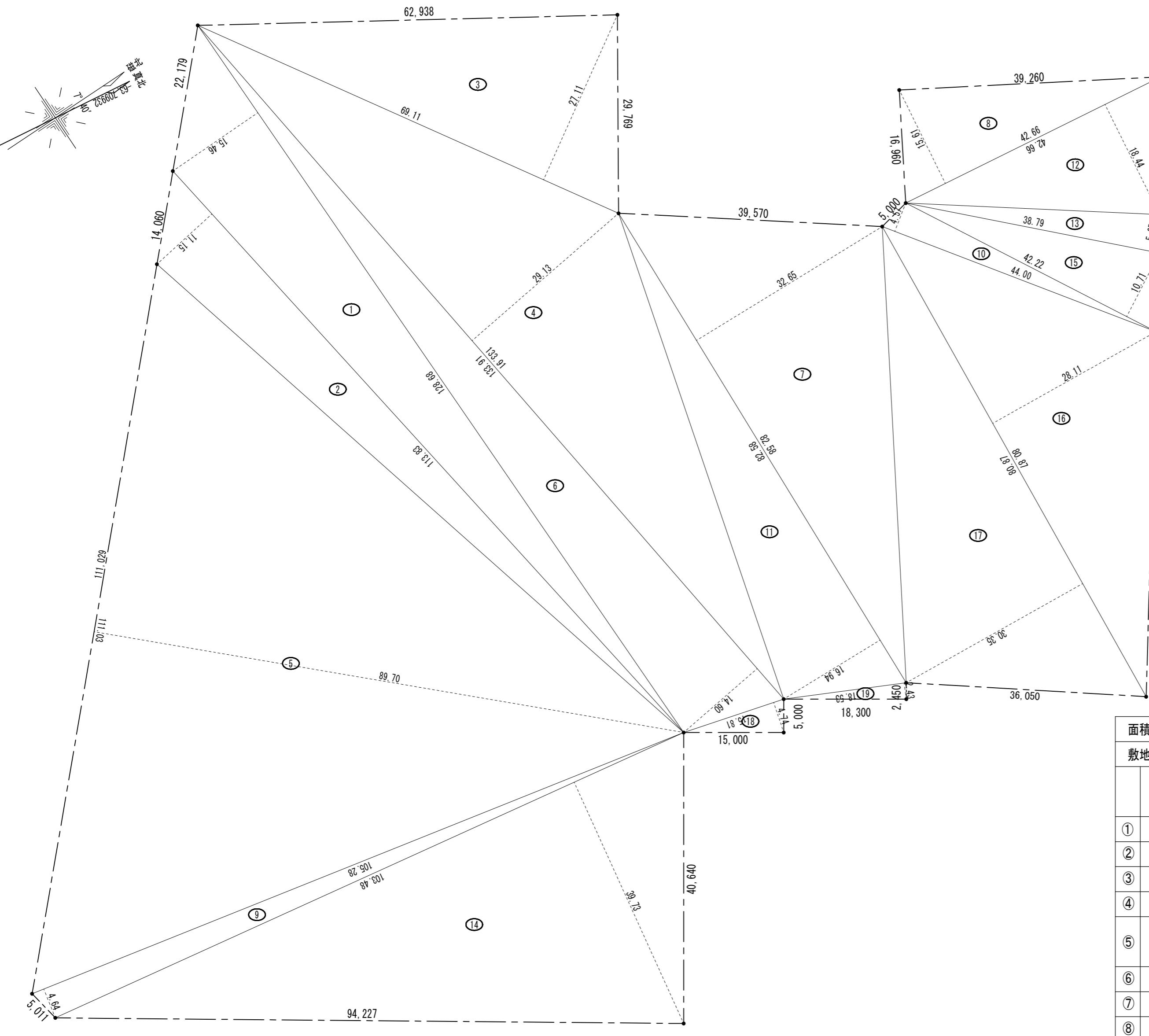
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

内 部 仕 上 表【既 設 改 修 部】

階	室名	床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	C H	備考	
普通教室棟A	廊下	改修前	長尺シート貼り	木製 SOP塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りVP [窓側] RC下地、モルタル塗りVP	1500	[教室側] ラスボード下地、プラスター塗り [窓側] RC下地、プラスター塗り	PB 厚9 目透かし張り EP塗	塩ビ	2480	人研ぎ手洗い(ステンレス巻き)撤去
		改修後	【既設のまま】				[教室側] 下地処理RB種の上 EP-G塗り [窓側] 下地処理RB種の上 EP塗り	[教室側] 下地処理RB種の上、EP塗り [窓側] 下地処理RB種の上、EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	掲示板 シート張替え ステンレス製手洗い新設
	教室(2-2)	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上、EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	
	教室(2-1)	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上、EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	
	教室(あゆみ6)	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上、EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	掲示板 シート張替え
	教室(3-3)	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上、EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	掲示板 シート張替え
3	廊下	改修前	長尺シート貼り	木製 SOP塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りVP [窓側] RC下地、モルタル塗りVP	1500	[教室側] ラスボード下地、プラスター塗り [窓側] RC下地、プラスター塗り 柱部：鉄板巻き SOP	PB 厚9 目透かし張り EP塗	塩ビ	2480	人研ぎ手洗い(ステンレス巻き)撤去
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	100	[教室側] 下地処理RB種の上 EP塗り [窓側] 下地処理RB種の上 EP塗り	—	[教室側] 下地処理RB種の上 EP塗り [窓側] プラスター面：下地処理RB種の上 EP塗り 鉄板面：下地処理RB種の上 EP-G塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	2480	掲示板 シート張替え ステンレス製手洗い新設
	教室(4-2)	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	
	教室(4-1)	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	掲示板 シート張替え
	教室(5-3)	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
		改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	—	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	—	掲示板 シート張替え

内部仕上表【E V棟増築による既設改修部】

階	室名		床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	C H	備考
B 1	ピロティ	改修前	土間コンクリート厚120	—	—	—	—	壁・柱：モルタル塗りの上、複層塗材E	スラブ・梁：コンクリート打放しの上、複層塗材E	—	—	
		改修後	一部土間研ぎ、グレーチング設置の上 モルタル補修	—	—	—	—	【既設のまま】	【既設のまま】	—	—	
普通教室棟B	1 廊下	改修前	長尺シート貼り	ラワン材 O P塗り	100	—	—	モルタル塗りV P ラワン合板厚12+有孔合板厚4張り S O P塗り	化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ	2500	収納家具 撤去
		改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	—	—	—	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	—	SUS製手洗い移設 収納家具（教室1年1組、1年2組）新設
		改修後	E V棟増築による壁撤去に伴い一部撤去 モルタル補修の上、新設	E V棟増築による木製家具撤去に伴い、一部新設	100	—	—	E V棟増築による腰壁及び建具撤去に伴い 柱型部モルタル補修の上、E P塗り	E V棟増築による腰壁及び建具撤去に伴い、一部撤去 下地調整の上、化粧石膏ボード 厚9.5張り 新設	塩ビ製撤去 塩ビ製新設	—	
	2 廊下	改修前	長尺シート貼り	ラワン材 O P塗り	100	—	—	モルタル塗りV P ラワン合板厚12+有孔合板厚5.5張り S O P塗り ラワン合板厚12+シナ合板厚4張り S O P塗り	化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ	3040 ~ 2680	収納家具 撤去
		改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	—	—	—	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	—	SUS製手洗い移設 緩降機移設 収納家具（教室3年1組、3年2組）新設
		改修後	E V棟増築による壁撤去に伴い一部撤去 モルタル補修の上、新設	E V棟増築による木製家具撤去に伴い、一部新設	100	—	—	E V棟増築による腰壁・垂壁及び建具撤去に伴い 一部撤去、柱型部モルタル補修の上、E P塗り	E V棟増築による腰壁及び建具撤去に伴い、一部撤去 下地調整の上、化粧石膏ボード 厚9.5張り 新設	塩ビ製撤去 塩ビ製新設	—	
3 廊下		改修前	長尺シート貼り	ラワン材 O P塗り	100	—	—	モルタル塗りV P ラワン合板厚12+有孔合板厚5.5張り S O P塗り	化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ	2500	収納家具 撤去
		改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	—	—	—	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	—	SUS製手洗い移設 緩降機移設 収納家具（教室5年1組、5年2組）新設
		改修後	E V棟増築による壁撤去に伴い一部撤去 モルタル補修の上、新設	E V棟増築による木製家具撤去に伴い、一部新設	100	—	—	E V棟増築による腰壁及び建具撤去に伴い 一部撤去、柱型部モルタル補修の上、E P塗り	E V棟増築による腰壁及び建具撤去に伴い、一部撤去 下地調整の上、化粧石膏ボード 厚9.5張り 新設	塩ビ製撤去 塩ビ製新設	—	

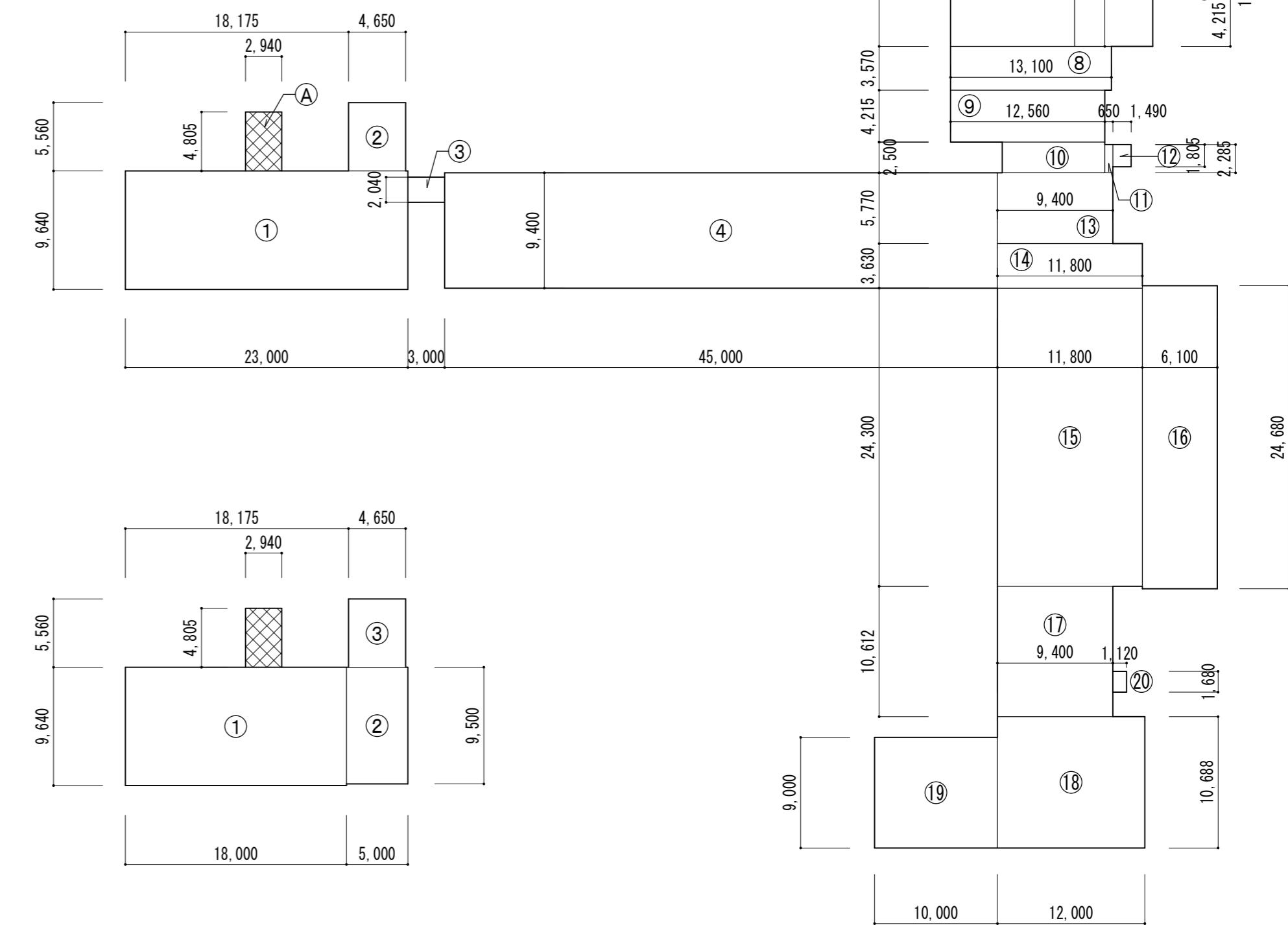
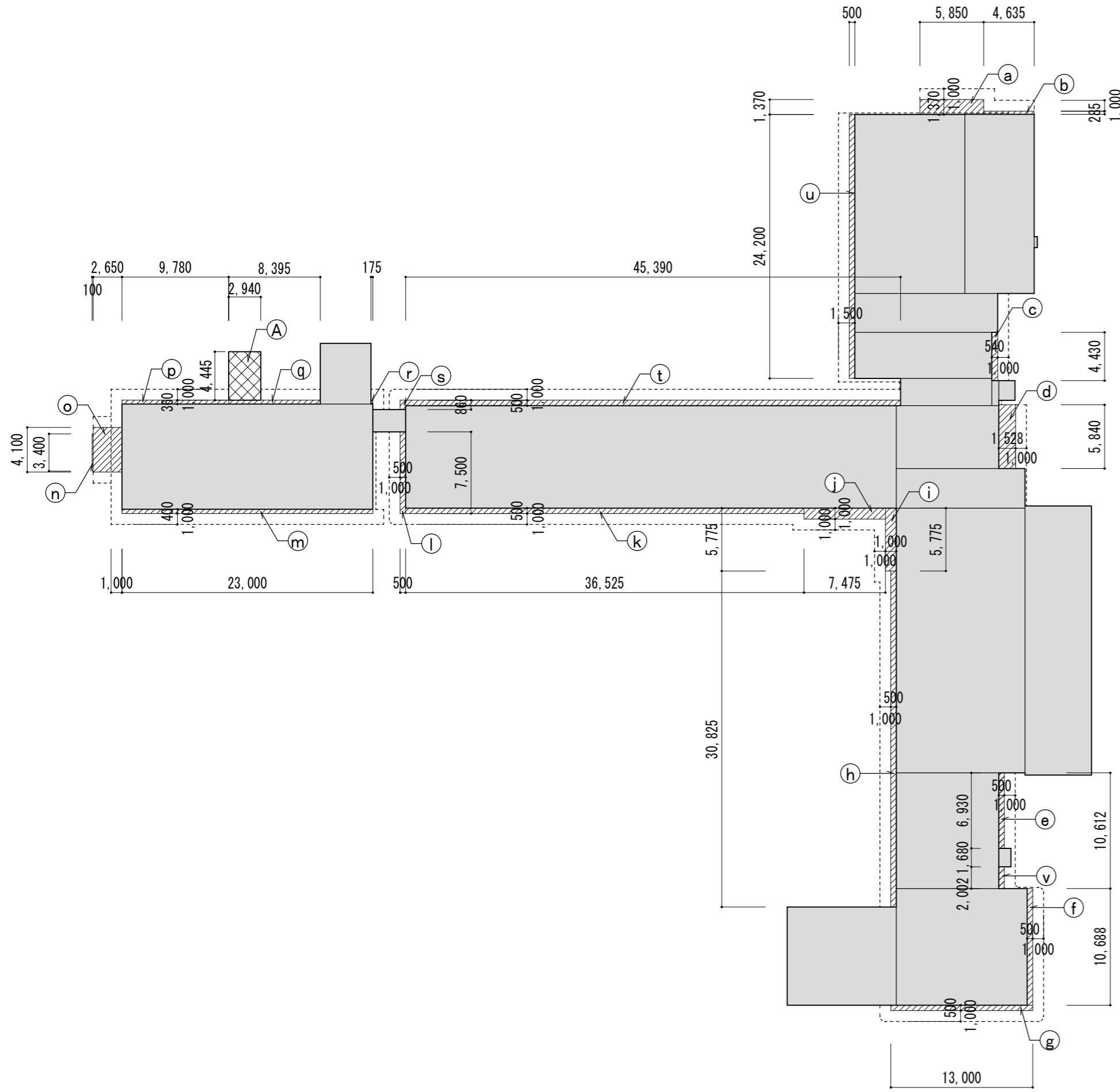


番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	128.68	15.46	1,989.3928	994.69640
2	113.83	11.15	1,269.2045	634.60225
3	69.11	27.11	1,873.5721	936.78605
4	133.91	29.13	3,900.7983	1,950.39915
5	111.03	89.70	9,959.3910	4,979.69550
6	133.91	14.60	1,955.0860	977.54300
7	82.58	32.65	2,696.2370	1,348.11850
8	42.66	15.61	665.9226	332.96130
9	105.28	4.64	488.4992	244.24960
10	44.00	4.57	201.0800	100.54000
11	82.58	16.94	1,398.9052	699.45260
12	42.66	18.44	786.6504	393.32520
13	38.79	5.65	219.1635	109.58175
14	103.48	39.73	4,111.2604	2,055.63020
15	42.22	10.71	452.1762	226.08810
16	80.87	28.11	2,273.2557	1,136.62785
17	80.87	30.35	2,454.4045	1,227.20225
18	15.81	4.74	74.9394	37.46970
19	18.53	2.43	45.0279	22.51395
合計				18,407.4835
敷地面積				18,407.48 m ²

面積表						
敷地面積						
	棟名	構造	建築面積			床面積
			既存部分	増築部分	合計	既存部分
①	校舎	RC造3F+PH	2,076.16	13.06	2,089.22	5,328.42
②	屋内運動場	RC造2F	1,120.24	0.00	1,120.24	1,174.10
③	渡り廊下	S造1F	41.04	0.00	41.04	0.00
④	プール更衣室	CB造1F	81.99	0.00	81.99	81.99
⑤	少量危険物保管所	S造1F	3.30	0.00	3.30	3.30
⑥	体育器具庫	S造1F	32.98	0.00	32.98	32.98
⑦	防災倉庫	S造1F	14.31	0.00	14.31	14.31
⑧	物置1	S造1F	4.84	0.00	4.84	4.84
⑨	物置2	S造1F	4.07	0.00	4.07	4.07
⑩	物置3	S造1F	2.32	0.00	2.32	2.32
⑪	物置4	S造1F	3.30	0.00	3.30	3.30
⑫	物置5	CB造1F	5.36	0.00	5.36	5.36
⑬	物置6	S造1F	4.32	0.00	4.32	4.32
合計			3,394.23	13.06	3,407.29	6,659.31
					56.48	6,715.79

設計監理類建築設計事務所	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N°	備考	図面名称		縮尺	図面 No
	管理建築士	設計者	変更・訂正	一級建築士				敷地面積求積図	S=1/500 (A3:1/705)		
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	第306854号	田中 召剛		第306854号				敷地面積計算表	S=NS		A-024
								敷地内建物面積表	S=NS		原図: A 2

普通特別教室棟、特別教室棟、普通教室棟【既設増築】



監理 類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

製図年月日 2024. 5. 20.

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

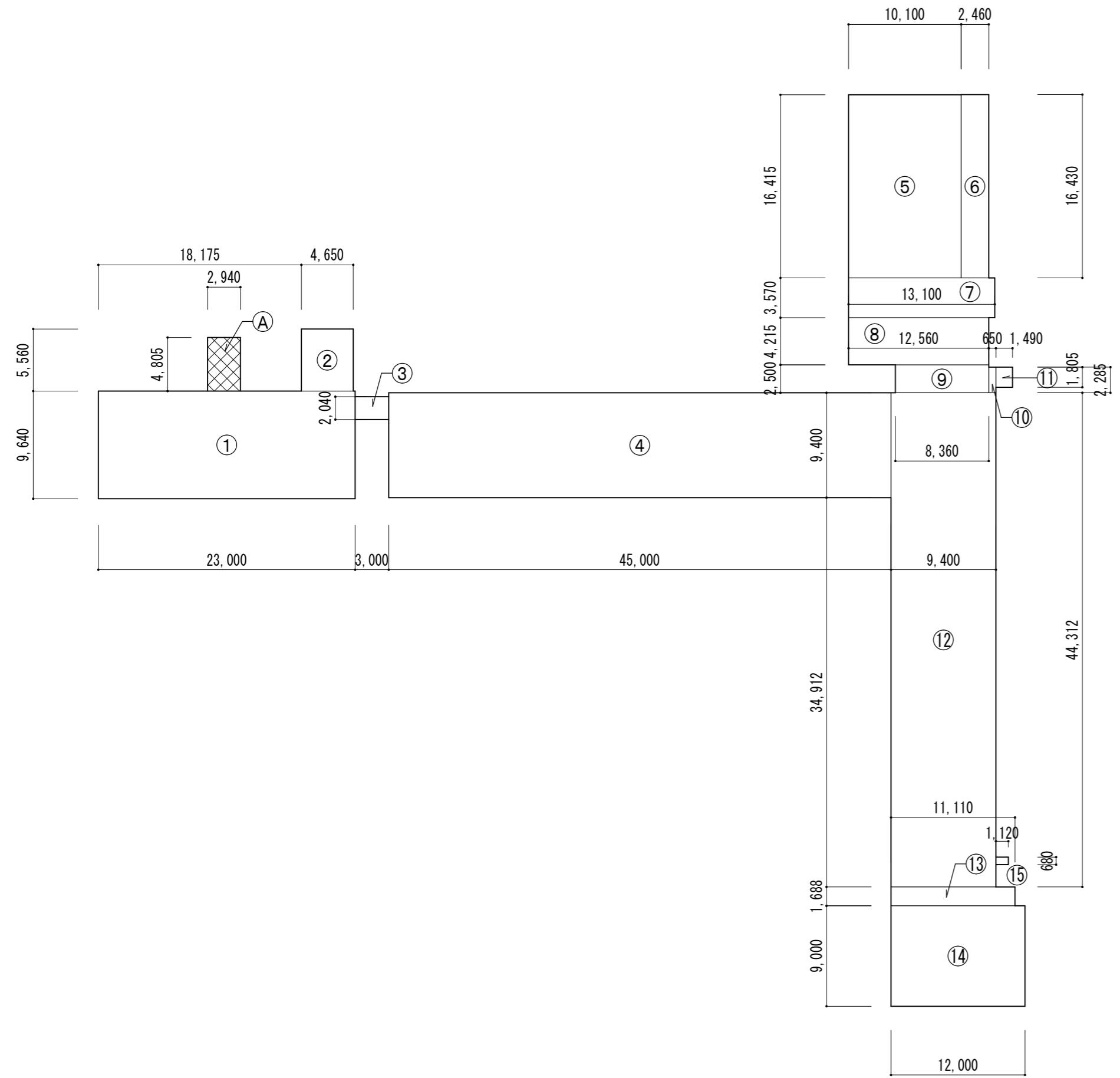
図面名称 縮尺 図面 No.

棟別面積図 1 S=1/400 (A3:1/564)

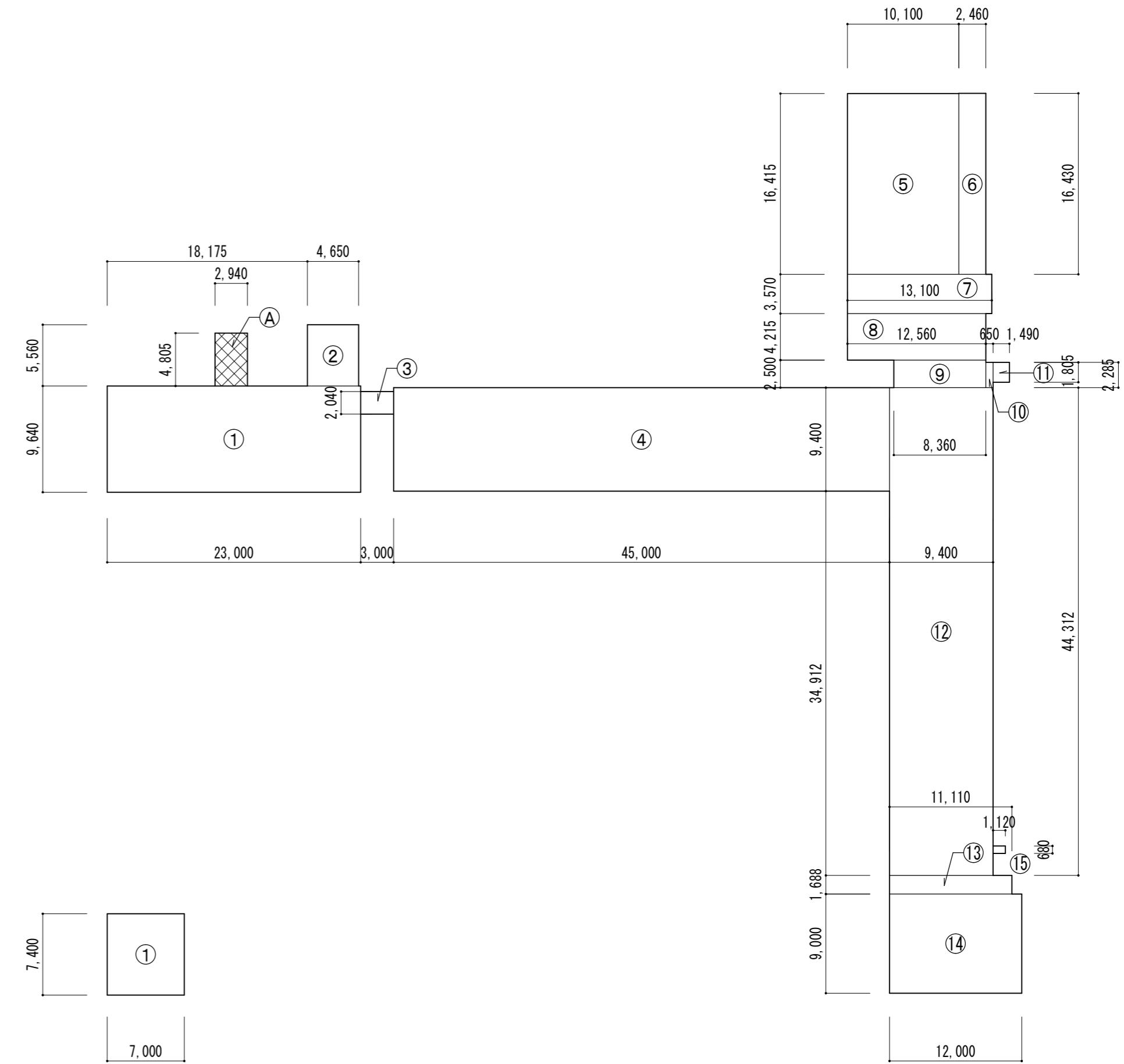
A-025

原図: A 2

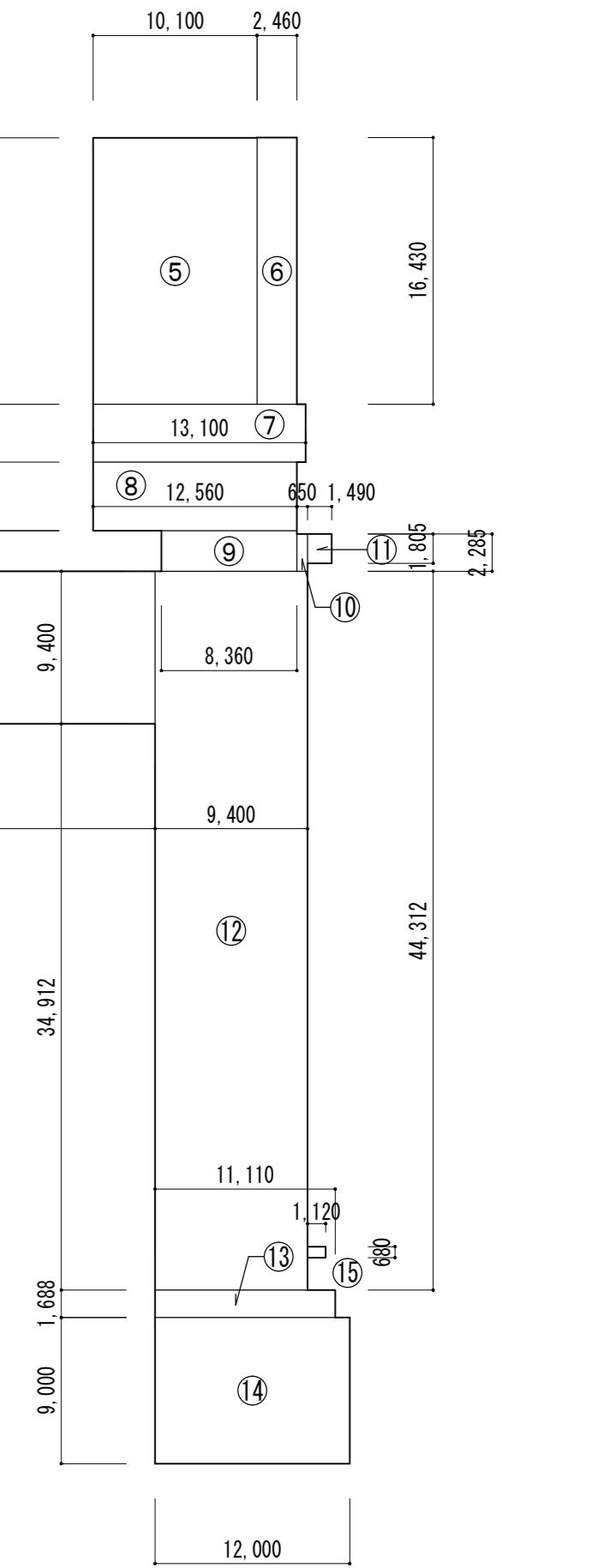
普通特別教室棟、特別教室棟、普通教室棟【既設増築】



2階面積図 S=1/400



PH階面積図 S=1/400



3階面積図 S=1/400



類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

斤	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号					製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N o	備考	図面名称	縮尺	図面 No A-026 原図：A 2
	管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事		棟別面積図 2	. S=1/400 (A3:1/564)	
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				: : :			.		
						: : :			.		

普通特別教室棟、特別教室棟、普通教室棟【既設増築】

■ 建築面積求積表

	エリア	記号	面積計算式		小計	合計
建築面積	既存部分		既存部分 1階床面積計算による		1,926.292800	1,926.29
		(a)	1.370 × 5.850	8.014500		
		(b)	0.285 × 4.635	1.320975		
		(c)	4.430 × 0.540	2.392200		
		(d)	5.840 × 1.528	8.923520		
		(e)	6.930 × 0.500	3.465000		
		(f)	10.688 × 0.500	5.344000		
		(g)	0.500 × 13.000	6.500000		
		(h)	30.825 × 0.500	15.412500		
		(i)	5.775 × 1.000	5.775000		
		(j)	1.000 × 7.475	7.475000		
		(k)	0.500 × 36.525	18.262500		
		(l)	7.500 × 0.500	3.750000		
		(m)	0.400 × 23.000	9.200000		
		(n)	3.400 × 0.100	0.340000		
		(o)	4.100 × 2.650	10.865000		
		(p)	0.360 × 9.780	3.520800		
		(q)	0.360 × 8.395	3.022200		
		(r)	0.360 × 0.175	0.063000		
		(s)	0.860 × 0.500	0.430000		
		(t)	0.500 × 45.390	22.695000		
		(u)	24.200 × 0.500	12.100000		
		(v)	2.002 × 0.500	1.001000	149.872195	149.87
	増築部分	(A)	4.445 × 2.940	13.068300	13.068300	13.06
合計						2,089.22

■ B 1階 床面積求積表

階数	エリア	記号	面積計算式			小計	合計
B1階	既存部分	(1)	9.640	×	18.000	173.520000	
		(2)	9.500	×	5.000	47.500000	
		(3)	5.560	×	4.650	25.854000	246.874000
	増築部分	(A)	4.805	×	2.940	14.126700	14.126700
合計						260.99	

■ 1階 床面積求積表

階数	エリア	記号	面積計算式			小計	合計
1階	既存部分	(1)	9.640	×	23.000	221.720000	
		(2)	5.560	×	4.650	25.854000	
		(3)	2.040	×	3.000	6.120000	
		(4)	9.400	×	45.000	423.000000	
		(5)	16.415	×	10.100	165.791500	
		(6)	16.430	×	6.360	104.494800	
		(7)	1.000	×	0.280	0.280000	
		(8)	3.570	×	13.100	46.767000	
		(9)	4.215	×	12.560	52.940400	
		(10)	2.500	×	8.360	20.900000	
		(11)	2.285	×	0.650	1.485250	
		(12)	1.805	×	1.490	2.689450	
		(13)	5.770	×	9.400	54.238000	
		(14)	3.630	×	11.800	42.834000	
		(15)	24.300	×	11.800	286.740000	
		(16)	24.680	×	6.100	150.548000	
		(17)	10.612	×	9.400	99.752800	
		(18)	10.688	×	12.000	128.256000	
		(19)	9.000	×	10.000	90.000000	
		(20)	1.680	×	1.120	1.881600	1,926.292800
	増築部分	(A)	4.805	×	2.940	14.126700	14.12
合計							1,940.41

■ 2階 床面積求積表

階数	エリア	記号	面積計算式			小計	合計
2階	既存部分	(1)	9.640	×	23.000	221.720000	
		(2)	5.560	×	4.650	25.854000	
		(3)	2.040	×	3.000	6.120000	
		(4)	9.400	×	45.000	423.000000	
		(5)	16.415	×	10.100	165.791500	
		(6)	16.430	×	2.460	40.417800	
		(7)	3.570	×	13.100	46.767000	
		(8)	4.215	×	12.560	52.940400	
		(9)	2.500	×	8.360	20.900000	
		(10)	2.285	×	0.650	1.485250	
		(11)	1.805	×	1.490	2.689450	
		(12)	44.312	×	9.400	416.532800	
		(13)	1.688	×	11.110	18.753680	
		(14)	9.000	×	12.000	108.000000	
		(15)	0.680	×	1.120	0.761600	1,551.733480
	増築部分	(A)	4.805	×	2.940	14.126700	14.126700
合計							1,565.85

■ 3階 床面積求積表

階数	エリア	記号	面積計算式			小計	合計
3階	既存部分	(1)	9.640	×	23.000	221.720000	
		(2)	5.560	×	4.650	25.854000	
		(3)	2.040	×	3.000	6.120000	
		(4)	9.400	×	45.000	423.000000	
		(5)	16.415	×	10.100	165.791500	
		(6)	16.430	×	2.460	40.417800	
		(7)	3.570	×	13.100	46.767000	
		(8)	4.215	×	12.560	52.940400	
		(9)	2.500	×	8.360	20.900000	
		(10)	2.285	×	0.650	1.485250	
		(11)	1.805	×	1.490	2.689450	
		(12)	44.312	×	9.400	416.532800	
		(13)	1.688	×	11.110	18.753680	
		(14)	9.000	×	12.000	108.000000	
		(15)	0.680	×	1.120	0.761600	
		A	4.805	×	2.940	14.126700	14.12
合計							1,565.85
						1,551.733480	1,551.73

■ PH階 床面積求積表

階数	エリア	記号	面積計算式			小計	合計
R階	既存部分	(1)	7.400	×	7.000	51.80000	51.80000
	合計						51.80

5 328 420000

〔单位： m^2 〕

延べ床面積計算表

延べ床面積計算表							
	エリア	B1階	1階	2階	3階	PH階	合計
延べ床面積	既存部分	246.87	1,926.29	1,551.73	1,551.73	51.80	5,328.42
	増築部分	14.12	14.12	14.12	14.12	—	56.48
	合計	260.99	1,940.41	1,565.85	1,565.85	51.80	5,384.90

■ 建築面積計算表 [單位 : m²]

	エリア	合計
建築面積	既存部分	2,076.16
	増築部分	13.06
	合計	2,089.22



設計監理類建築設計事務所

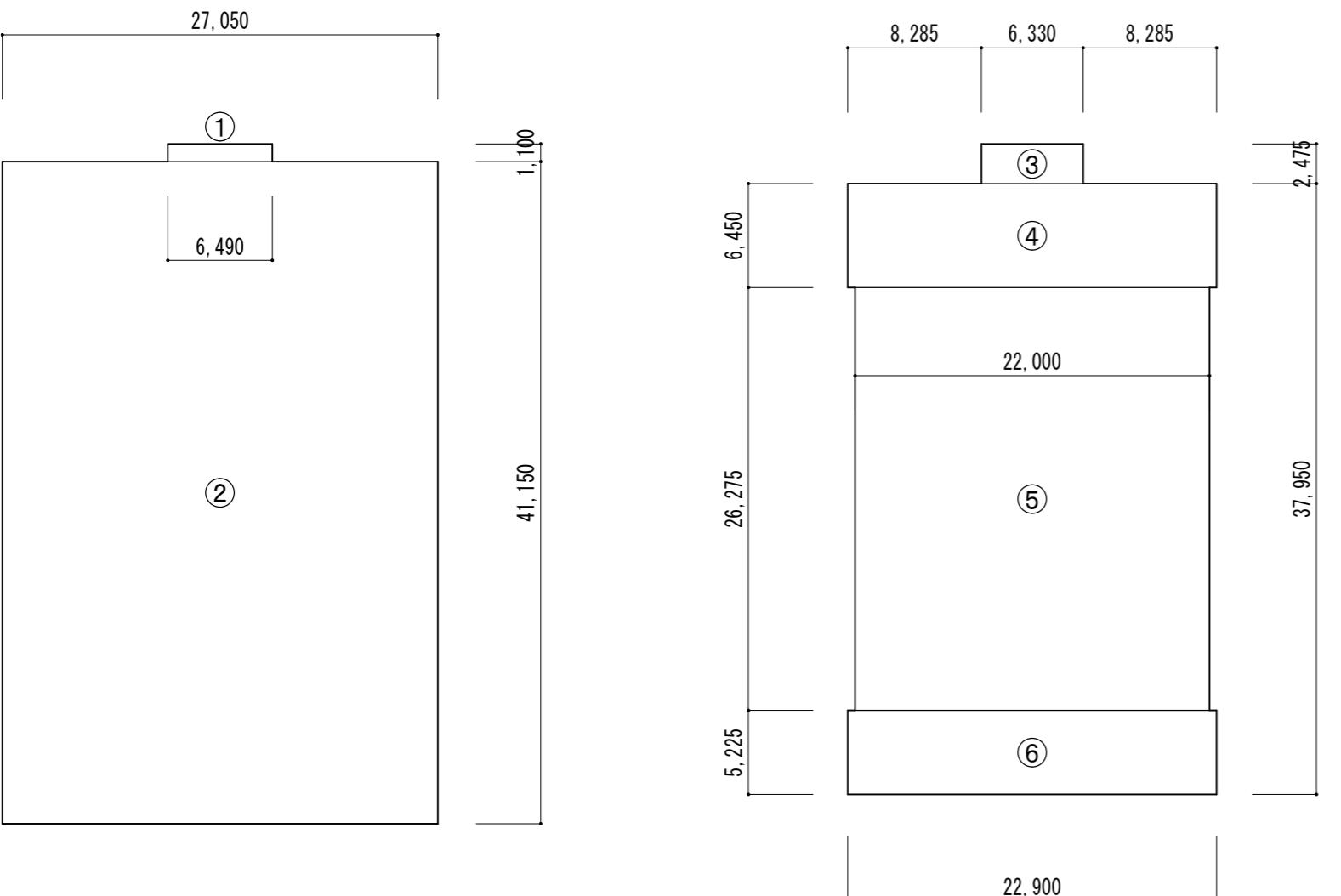
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N○
管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .	
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	

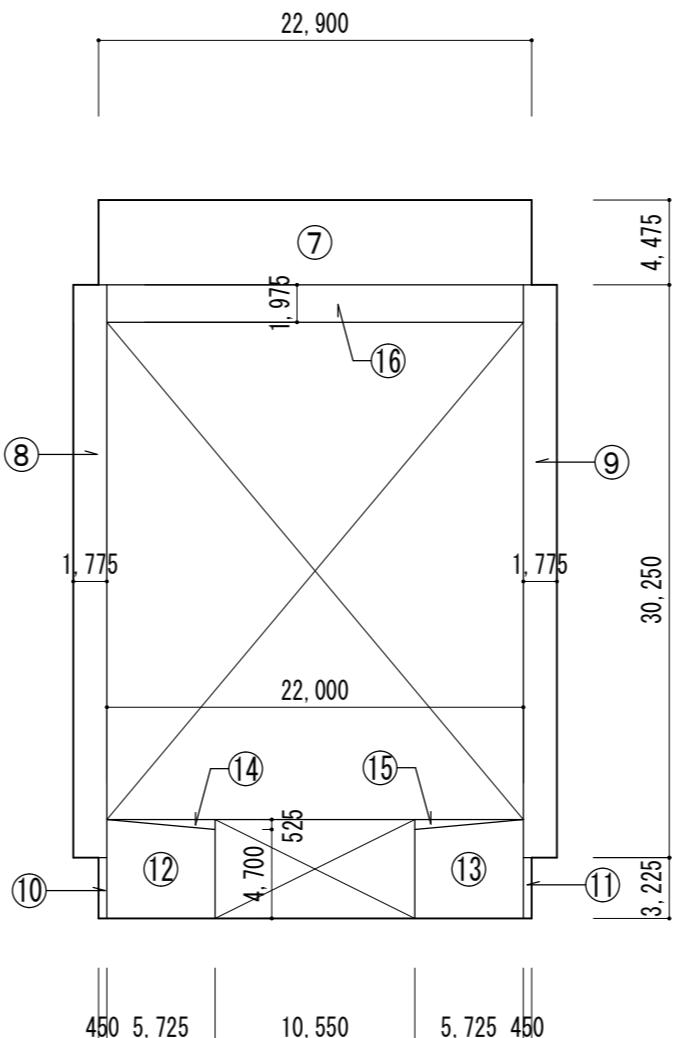
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

縮尺	図面 No A-027
S=NS	
	原図 : A

屋内運動場【既設】

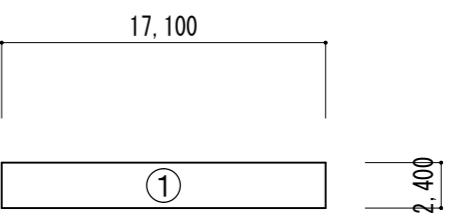


建築面積図 S=1/400



2階面積図 S=1/400

渡り廊下【既設】



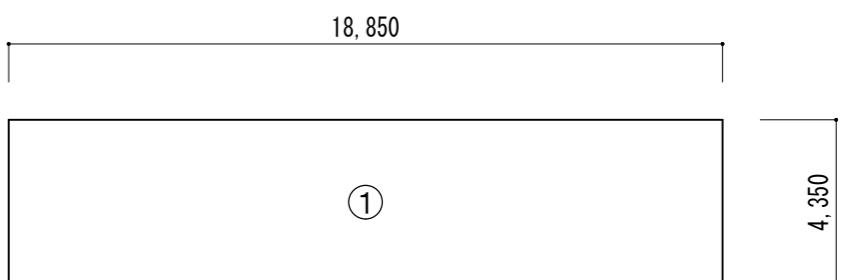
面積図 S=1/400

■ 建築面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式	小計	合計
建築面積	①	2.400 × 17.100	41.040000	41.040000
	合計			41.04

プール更衣室【既設】



面積図 S=1/200

■ 建築面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式	小計	合計
建築面積	①	1.100 × 6.490	7.139000	
	②	41.150 × 27.050	1,113.107500	1,120.24
合計				1,120.24

■ 1階床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式	小計	合計
1階床面積	③	2.475 × 6.330	15.666750	
	④	6.450 × 22.900	147.705000	
	⑤	26.275 × 22.000	578.050000	
	⑥	5.225 × 22.900	119.652500	861.07
合計				861.07

■ 2階床面積求積表

【単位 : m²】

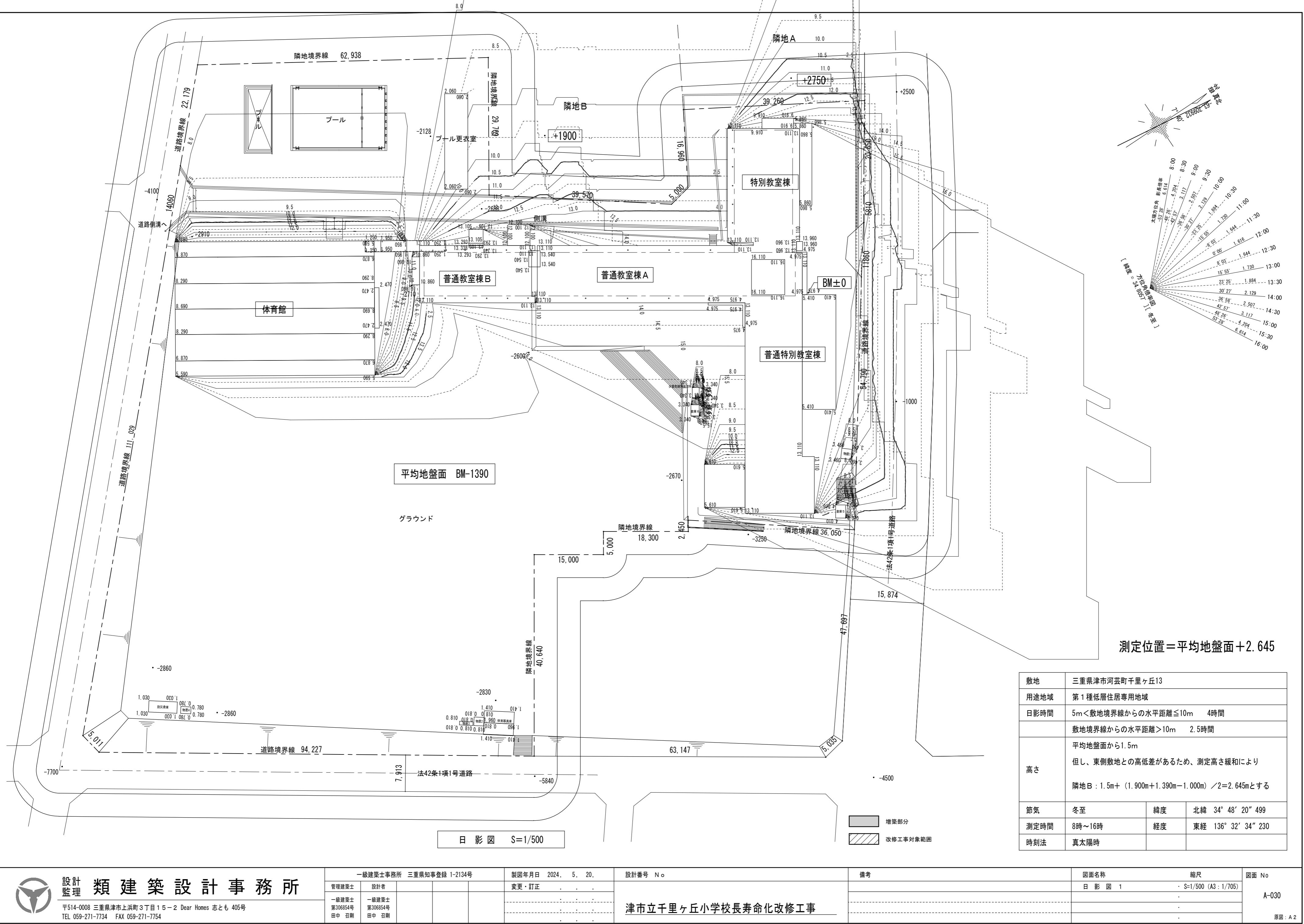
	記号	面積計算式	小計	合計
2階床面積	⑦	4.475 × 22.900	102.477500	
	⑧	1.775 × 30.250	53.693750	
	⑨	1.775 × 30.250	53.693750	
	⑩	3.225 × 0.450	1.451250	
	⑪	3.225 × 0.450	1.451250	
	⑫	5.225 × 5.725	29.913125	
	⑬	5.225 × 5.725	29.913125	
	⑭	0.525 × 5.725 × 0.5	▲ 1.502812	
	⑮	0.525 × 5.725 × 0.5	▲ 1.502812	
	⑯	1.975 × 22.000	43.450000	
合計			313.038126	313.03
				313.03

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式	小計	合計
建築面積	①	4.350 × 18.850	81.997500	81.997500
床面積	合計			81.99

体育器具庫【既設】			防災倉庫【既設】			少量危険物保管所及び塵集積場【既設】																																																								
 面積図 S=1/400			 面積図 S=1/400			 面積図 S=1/200																																																								
■ 建築面積・床面積求積表 <small>【単位 : m²】</small>			■ 建築面積・床面積求積表 <small>【単位 : m²】</small>			■ 建築面積・床面積求積表 <small>【単位 : m²】</small>																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>記号</th> <th>面積計算式</th> <th>小計</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>(1)</td> <td>4.550 × 7.250</td> <td>32.987500</td> <td>32.987500</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>32.98</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		記号	面積計算式	小計	合計	建築面積	(1)	4.550 × 7.250	32.987500	32.987500	床面積				32.98	合計					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>記号</th> <th>面積計算式</th> <th>小計</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>(1)</td> <td>2.350 × 6.090</td> <td>14.311500</td> <td>14.311500</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14.31</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		記号	面積計算式	小計	合計	建築面積	(1)	2.350 × 6.090	14.311500	14.311500	床面積				14.31	合計					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>記号</th> <th>面積計算式</th> <th>小計</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>(1)</td> <td>1.500 × 2.200</td> <td>3.300000</td> <td>3.300000</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.30</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		記号	面積計算式	小計	合計	建築面積	(1)	1.500 × 2.200	3.300000	3.300000	床面積				3.30	合計				
	記号	面積計算式	小計	合計																																																										
建築面積	(1)	4.550 × 7.250	32.987500	32.987500																																																										
床面積				32.98																																																										
合計																																																														
	記号	面積計算式	小計	合計																																																										
建築面積	(1)	2.350 × 6.090	14.311500	14.311500																																																										
床面積				14.31																																																										
合計																																																														
	記号	面積計算式	小計	合計																																																										
建築面積	(1)	1.500 × 2.200	3.300000	3.300000																																																										
床面積				3.30																																																										
合計																																																														
物置 1【既設】			物置 2【既設】			物置 3【既設】																																																								
 面積図 S=1/200			 面積図 S=1/200			 面積図 S=1/200																																																								
■ 建築面積・床面積求積表 <small>【単位 : m²】</small>			■ 建築面積・床面積求積表 <small>【単位 : m²】</small>			■ 建築面積・床面積求積表 <small>【単位 : m²】</small>																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>記号</th> <th>面積計算式</th> <th>小計</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>(1)</td> <td>2.200 × 2.200</td> <td>4.840000</td> <td>4.840000</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.84</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		記号	面積計算式	小計	合計	建築面積	(1)	2.200 × 2.200	4.840000	4.840000	床面積				4.84	合計					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>記号</th> <th>面積計算式</th> <th>小計</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>(1)</td> <td>1.850 × 2.200</td> <td>4.070000</td> <td>4.070000</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.07</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		記号	面積計算式	小計	合計	建築面積	(1)	1.850 × 2.200	4.070000	4.070000	床面積				4.07	合計					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>記号</th> <th>面積計算式</th> <th>小計</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>(1)</td> <td>0.800 × 2.900</td> <td>2.320000</td> <td>2.320000</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.32</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		記号	面積計算式	小計	合計	建築面積	(1)	0.800 × 2.900	2.320000	2.320000	床面積				2.32	合計				
	記号	面積計算式	小計	合計																																																										
建築面積	(1)	2.200 × 2.200	4.840000	4.840000																																																										
床面積				4.84																																																										
合計																																																														
	記号	面積計算式	小計	合計																																																										
建築面積	(1)	1.850 × 2.200	4.070000	4.070000																																																										
床面積				4.07																																																										
合計																																																														
	記号	面積計算式	小計	合計																																																										
建築面積	(1)	0.800 × 2.900	2.320000	2.320000																																																										
床面積				2.32																																																										
合計																																																														
物置 4【既設】			物置 5【既設】			物置 6【既設】																																																								
 面積図 S=1/200			 面積図 S=1/200			 面積図 S=1/200																																																								
■ 建築面積・床面積求積表 <small>【単位 : m²】</small>			■ 建築面積・床面積求積表 <small>【単位 : m²】</small>			■ 建築面積・床面積求積表 <small>【単位 : m²】</small>																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>記号</th> <th>面積計算式</th> <th>小計</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>(1)</td> <td>1.500 × 2.200</td> <td>3.300000</td> <td>3.300000</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.30</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		記号	面積計算式	小計	合計	建築面積	(1)	1.500 × 2.200	3.300000	3.300000	床面積				3.30	合計					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>記号</th> <th>面積計算式</th> <th>小計</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>(1)</td> <td>2.000 × 2.680</td> <td>5.360000</td> <td>5.360000</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.36</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		記号	面積計算式	小計	合計	建築面積	(1)	2.000 × 2.680	5.360000	5.360000	床面積				5.36	合計					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>記号</th> <th>面積計算式</th> <th>小計</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>(1)</td> <td>1.800 × 2.400</td> <td>4.320000</td> <td>4.320000</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.32</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		記号	面積計算式	小計	合計	建築面積	(1)	1.800 × 2.400	4.320000	4.320000	床面積				4.32	合計				
	記号	面積計算式	小計	合計																																																										
建築面積	(1)	1.500 × 2.200	3.300000	3.300000																																																										
床面積				3.30																																																										
合計																																																														
	記号	面積計算式	小計	合計																																																										
建築面積	(1)	2.000 × 2.680	5.360000	5.360000																																																										
床面積				5.36																																																										
合計																																																														
	記号	面積計算式	小計	合計																																																										
建築面積	(1)	1.800 × 2.400	4.320000	4.320000																																																										
床面積				4.32																																																										
合計																																																														
設計監理類建築設計事務所 〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754			一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号 製図年月日 2024. 5. 20. 設計番号 N° 変更・訂正 一級建築士 第306854号 田中 召剛 一級建築士 第306854号 田中 召剛			備考 図面名称 縮尺 図面 No 棚別面積図 5 : S=1/400 (A3:1/564) S=1/200 (A3:1/282) A-029 原図: A 2																																																								
			津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事																																																											



影倍率表 [緯度 = 34.8057°] [冬至]

時刻	太陽高度	太陽方位角	影長倍率	X倍率	Y倍率
8:00	8°36'	-53°28'	6.614	-5.315	3.937
8:30	13°23'	-48°26'	4.204	-3.145	2.789
9:00	17°47'	-42°57'	3.117	-2.123	2.282
9:30	21°45'	-36°58'	2.507	-1.508	2.003
10:00	25°10'	-30°27'	2.129	-1.079	1.835
10:30	27°57'	-23°25'	1.884	-0.749	1.729
11:00	30°02'	-15°55'	1.730	-0.474	1.664
11:30	31°19'	-8°03'	1.644	-0.230	1.628
12:00	31°45'	0°00'	1.616	0.000	1.616
12:30	31°19'	8°03'	1.644	0.230	1.628
13:00	30°02'	15°55'	1.730	0.474	1.664
13:30	27°57'	23°25'	1.884	0.749	1.729
14:00	25°10'	30°27'	2.129	1.079	1.835
14:30	21°45'	36°58'	2.507	1.508	2.003
15:00	17°47'	42°57'	3.117	2.123	2.282
15:30	13°23'	48°26'	4.204	3.145	2.789
16:00	8°36'	53°28'	6.614	5.315	3.937

日影長さ表 [緯度 = 34.8057°] [冬至]
高さ = 16.110(m) 測定面高さ = 2.645(m)
計算高さ = 13.465(m)

時刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	89.058
8:30	4.204	56.607
9:00	3.117	41.970
9:30	2.507	33.757
10:00	2.129	28.667
10:30	1.884	25.368
11:00	1.730	23.294
11:30	1.644	22.136
12:00	1.616	21.759
12:30	1.644	22.136
13:00	1.730	23.294
13:30	1.884	25.368
14:00	2.129	28.667
14:30	2.507	33.757
15:00	3.117	41.970
15:30	4.204	56.607
16:00	6.614	89.058

日影長さ表 [緯度 = 34.8057°] [冬至]
高さ = 12.040(m) 測定面高さ = 2.645(m)
計算高さ = 9.395(m)

時刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	62.139
8:30	4.204	39.497
9:00	3.117	29.284
9:30	2.507	23.553
10:00	2.129	20.002
10:30	1.884	17.700
11:00	1.730	16.253
11:30	1.644	15.445
12:00	1.616	15.182
12:30	1.644	15.445
13:00	1.730	16.253
13:30	1.884	17.700
14:00	2.129	20.002
14:30	2.507	23.553
15:00	3.117	29.284
15:30	4.204	39.497
16:00	6.614	62.139

日影長さ表 [緯度 = 34.8057°] [冬至]
高さ = 13.293(m) 測定面高さ = 2.645(m)
計算高さ = 10.648(m)

時刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	70.426
8:30	4.204	44.764
9:00	3.117	33.190
9:30	2.507	26.695
10:00	2.129	22.670
10:30	1.884	20.061
11:00	1.730	18.421
11:30	1.644	17.505
12:00	1.616	17.207
12:30	1.644	17.505
13:00	1.730	18.421
13:30	1.884	20.061
14:00	2.129	22.670
14:30	2.507	26.695
15:00	3.117	33.190
15:30	4.204	44.764
16:00	6.614	70.426

日影長さ表 [緯度 = 34.8057°] [冬至]
高さ = 13.110(m) 測定面高さ = 2.645(m)
計算高さ = 10.465(m)

時刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	69.216
8:30	4.204	43.995
9:00	3.117	32.619
9:30	2.507	26.236
10:00	2.129	22.280
10:30	1.884	19.716
11:00	1.730	18.104
11:30	1.644	17.204
12:00	1.616	16.911
12:30	1.644	17.204
13:00	1.730	18.104
13:30	1.884	19.716
14:00	2.129	22.280
14:30	2.507	26.236
15:00	3.117	32.619
15:30	4.204	43.995
16:00	6.614	69.216

日影長さ表 [緯度 = 34.8057°] [冬至]
高さ = 12.100(m) 測定面高さ = 2.645(m)
計算高さ = 9.455(m)

時刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	62.535
8:30	4.204	39.749
9:00	3.117	29.471
9:30	2.507	23.704
10:00	2.129	20.130
10:30	1.884	17.813
11:00	1.730	16.357
11:30	1.644	15.544
12:00	1.616	15.279
12:30	1.644	15.544
13:00	1.730	16.357
13:30	1.884	17.813
14:00	2.129	20.130
14:30	2.507	23.704
15:00	3.117	29.471
15:30	4.204	39.749
16:00	6.614	62.535

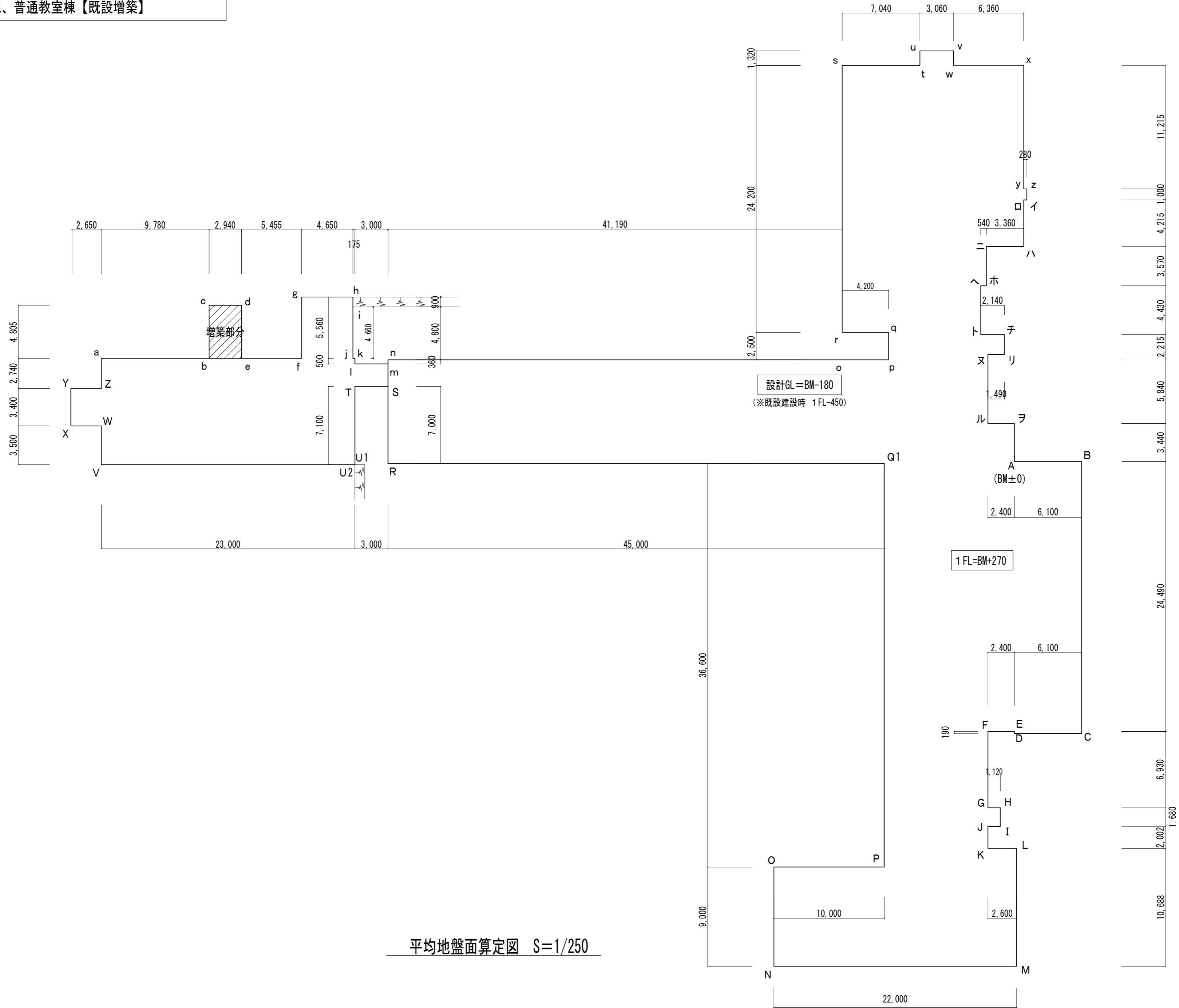
日影長さ表 [緯度 = 34.8057°] [冬至]
高さ = 10.860(m) 測定面高さ = 2.645(m)
計算高さ = 8.215(m)

時刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	54.334
8:30	4.204	34.536
9:00	3.117	25.606
9:30	2.507	20.595
10:00	2.129	17.490
10:30	1.884	15.477
11:00	1.730	14.212
11:30	1.644	13.505
12:00	1.616	13.275
12:30	1.644	13.505
13:00	1.730	14.212
13:30	1.884	15.477
14:00	2.129	17.490
14:30	2.507	20.595
15:00	3.117	25.606
15:30	4.204	34.536
16:00	6.614	54.334

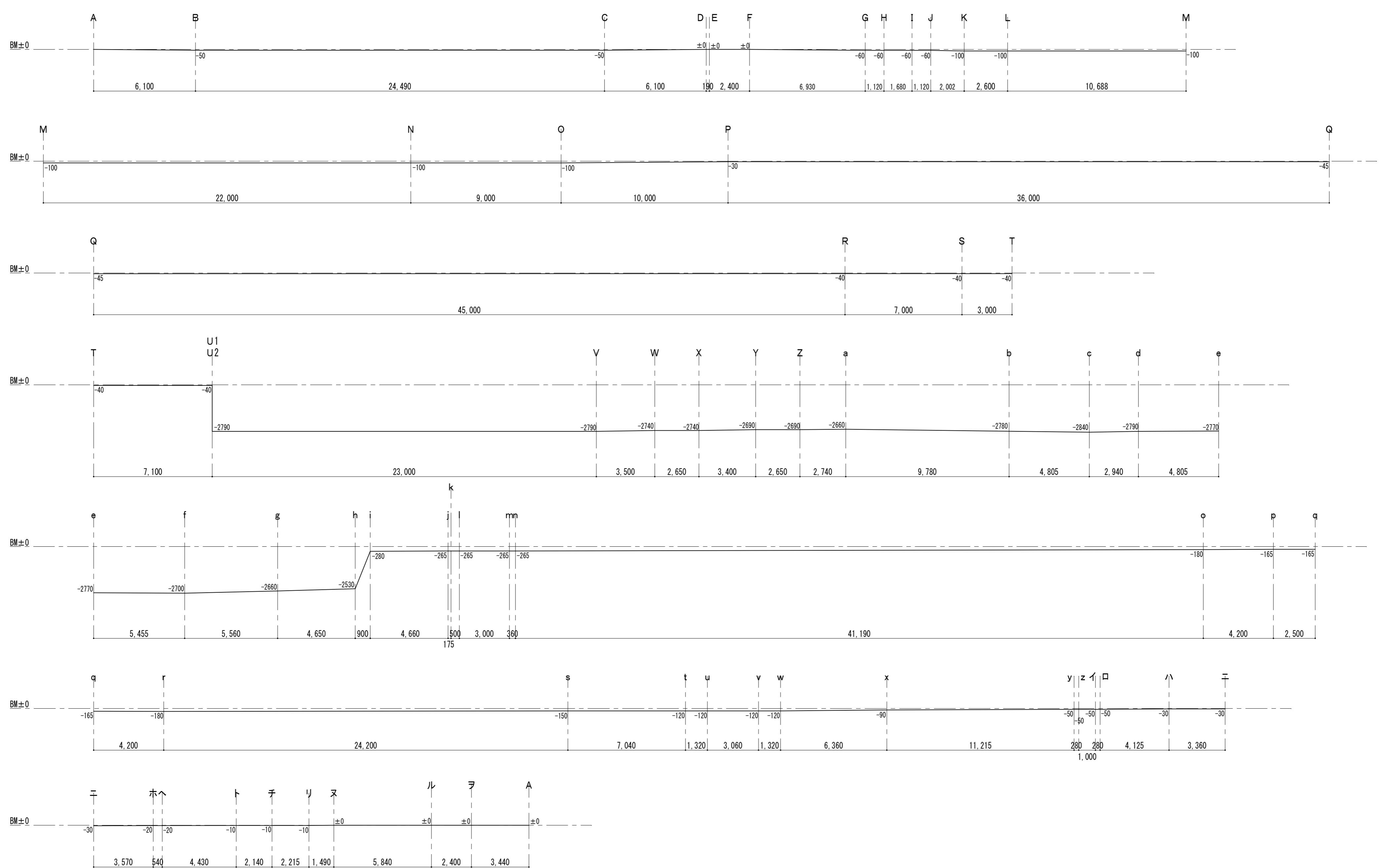
日影長さ表 [緯度 = 34.8057°] [冬至]
高さ = 9.910(m) 測定面高さ = 2.645(m)
計算高さ = 7.265(m)

時刻	影長倍率	日影長さ (m)
8:00	6.614	48.051
8:30	4.204	30.542

普通特別教室棟、特別教室棟、普通教室棟【既設増築】



設計監理 類建築設計事務所



建築物の全周長 431,765 m



類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7734

所	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号					製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N°	備考	図面名称	縮尺	図面 No A-033 原図： A 2
	管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .	平均地盤面計算図 2 【棟別】 . S=1/150 (A3:1/212)	. . .			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛					： : :					
						： : :					
						： : :					
						： : :					
						： : :					

建物接点高さ					
地点	高さ	地点	高さ	地点	高さ
A	BM±0	a	-2660	イ	-50
B	-50	b	-2780	ロ	-50
C	-50	c	-2840	ハ	-30
D	0	d	-2790	ニ	-30
E	0	e	-2770	木	-20
F	0	f	-2700	ヘ	-20
G	-60	g	-2660	ト	-10
H	-60	h	-2530	チ	-10
I	-60	i	-280	リ	-10
J	-60	j	-265	又	±0
K	-100	k	-265	ル	±0
L	-100	l	-265	ヲ	±0
M	-100	m	-265		
N	-100	n	-265		
O	-100	o	-180		
P	-30	p	-165		
Q1	-45	q	-165		
R	-40	r	-180		
S	-40	s	-150		
T	-40	t	-120		
U1	-40	u	-120		
U2	-2790	v	-120		
V	-2790	w	-120		
W	-2740	x	-90		
X	-2740	y	-50		
Y	-2690	z	-50		
Z	-2690				

見付面積計算表

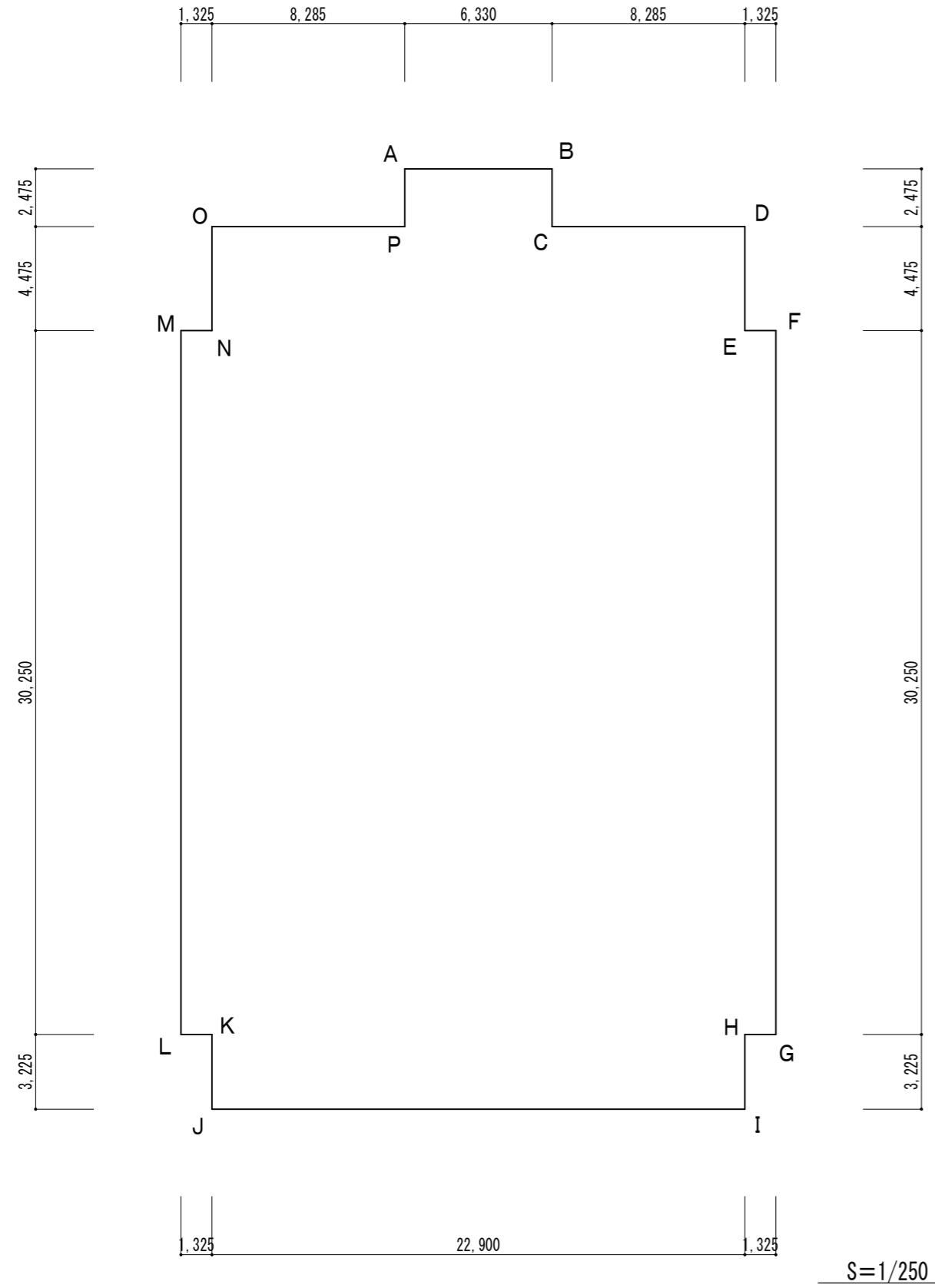
A-B	$6.100 \times 0.050 \times 1/2 = 0.1525$	a-b	$(2.780 + 2.660) \times 9.780 \times 1/2 = 26.6016$	イ-ロ	$0.050 \times 0.280 = 0.014$
B-C	$24.490 \times 0.050 = 1.2245$	b-c	$(2.840 + 2.780) \times 4.805 \times 1/2 = 13.50205$	ロ-ハ	$(0.050 + 0.030) \times 4.125 \times 1/2 = 0.165$
C-D	$6.100 \times 0.050 \times 1/2 = 0.1525$	c-d	$(2.840 + 2.790) \times 2.940 \times 1/2 = 8.2761$	ハ-ニ	$0.030 \times 3.360 = 0.1008$
D-E	$0.190 \times 0 = 0$	d-e	$(2.790 + 2.770) \times 4.805 \times 1/2 = 13.3579$	ニ-ホ	$(0.030 + 0.020) \times 3.570 \times 1/2 = 0.08925$
E-F	$2.400 \times 0 = 0$	e-f	$(2.770 + 2.700) \times 5.455 \times 1/2 = 14.919425$	ホ-ヘ	$0.540 \times 0.020 = 0.0108$
F-G	$6.930 \times 0.060 \times 1/2 = 0.2079$	f-g	$(2.700 + 2.660) \times 5.560 \times 1/2 = 14.9008$	ヘ-ト	$(0.020 + 0.010) \times 4.430 \times 1/2 = 0.06645$
G-H	$1.120 \times 0.060 = 0.0672$	g-h	$(2.660 + 2.530) \times 4.650 \times 1/2 = 12.06675$	ト-チ	$0.010 \times 2.140 = 0.0214$
H-I	$1.680 \times 0.060 = 0.1008$	h-i	$(2.530 + 0.280) \times 0.900 \times 1/2 = 1.2645$	チ-リ	$0.010 \times 2.215 = 0.02215$
I-J	$1.120 \times 0.060 = 0.0672$	i-j	$(0.280 + 0.265) \times 4.660 \times 1/2 = 1.26985$	リ-ヌ	$0.010 \times 1.490 \times 1/2 = 0.00745$
J-K	$(0.100 + 0.060) \times 2.002 \times 1/2 = 0.16016$	j-k	$0.175 \times 0.265 = 0.046375$	ヌ-ル	$5.840 \times 0 = 0$
K-L	$2.600 \times 0.100 = 0.26$	k-l	$0.500 \times 0.265 = 0.1325$	ル-ヲ	$2.400 \times 0 = 0$
L-M	$10.688 \times 0.100 = 1.0688$	l-m	$3.000 \times 0.265 = 0.795$	ヲ-ア	$3.440 \times 0 = 0$
M-N	$22.000 \times 0.100 = 2.20$	m-n	$0.360 \times 0.265 = 0.0954$		
N-O	$9.000 \times 0.100 = 0.900$	n-o	$(0.265 + 0.180) \times 41.190 \times 1/2 = 9.164775$		
O-P	$(0.100 + 0.030) \times 10.000 \times 1/2 = 0.65$	o-p	$(0.180 + 0.165) \times 4.200 \times 1/2 = 0.7245$		
P-Q	$(0.030 + 0.045) \times 36.000 \times 1/2 = 1.35$	p-q	$2.500 \times 0.165 = 0.4125$		
Q-R	$(0.045 + 0.040) \times 45.000 \times 1/2 = 1.9125$	q-r	$(0.165 + 0.180) \times 4.200 \times 1/2 = 0.7245$		
R-S	$7.000 \times 0.040 = 0.28$	r-s	$(0.180 + 0.150) \times 24.200 \times 1/2 = 3.993$		
S-T	$3.000 \times 0.040 = 0.12$	s-t	$(0.150 + 0.120) \times 7.040 \times 1/2 = 0.9504$		
T-U1	$7.100 \times 0.040 = 0.284$	t-u	$1.320 \times 0.120 = 0.1584$		
U2-V	$23.000 \times 2.790 = 64.17$	u-v	$3.060 \times 0.120 = 0.3672$		
V-W	$(2.790 + 2.740) \times 3.500 \times 1/2 = 9.6775$	v-w	$1.320 \times 0.120 = 0.1584$		
W-X	$2.650 \times 2.740 = 7.261$	w-x	$(0.120 + 0.090) \times 6.360 \times 1/2 = 0.6678$		
X-Y	$(2.740 + 2.690) \times 3.400 \times 1/2 = 9.231$	x-y	$(0.090 + 0.050) \times 11.215 \times 1/2 = 0.78505$		
Y-Z	$2.690 \times 2.650 = 7.1285$	y-z	$0.050 \times 0.280 = 0.014$		
Z-a	$(2.690 + 2.660) \times 2.740 \times 1/2 = 7.3295$	z-i	$0.050 \times 1.000 = 0.05$		

見付面積合計 241.851635 m²

平均地盤面算定

見付面積合計／建築物の全周長 = 241.851635 m² / 431.765m = 0.560146456
∴ 平均地盤面 = BM-570

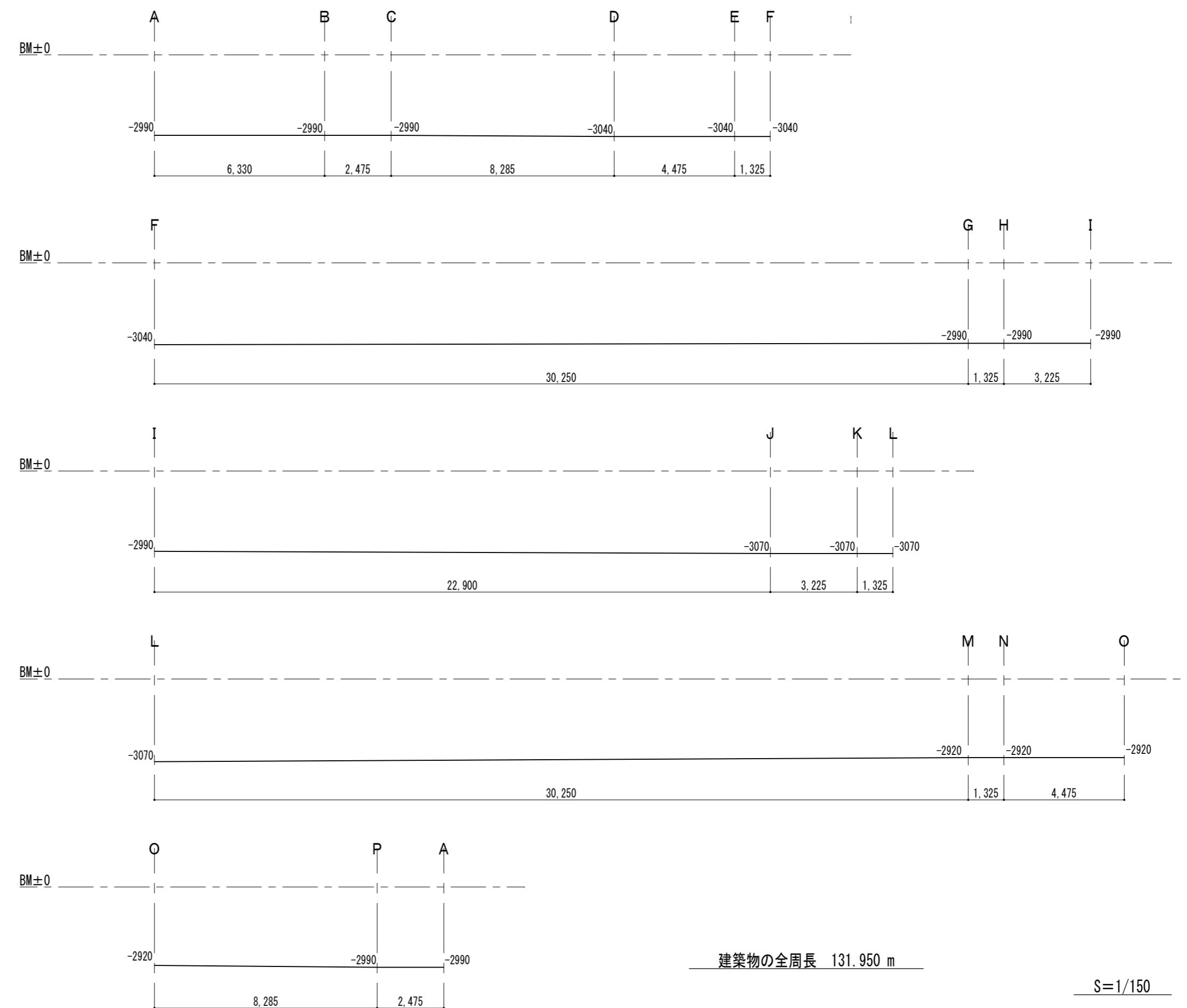
屋内運動場【既設】



建物接点高さ					
地点	高さ	地点	高さ	地点	高さ
A	-2990	G	-2990	M	-2920
B	-2990	H	-2990	N	-2920
C	-2990	I	-2990	O	-2920
D	-3040	J	-3070	P	-2990
E	-3040	K	-3070		
F	-3040	L	-3070		

平均地盤面算定

見付面積合計／建築物の全周長 = $396.519150 \text{ m}^2 / 131.950 \text{ m} = 3.005071239$
 \therefore 平均地盤面 = BM-3010



見付面積計算表

A-B	$6.330 \times 2.990 = 18.9267$	I-J	$(3.070 + 2.990) \times 22.900 \times 1/2 = 69.387$
B-C	$2.475 \times 2.990 = 7.40025$	J-K	$3.225 \times 3.070 = 9.90075$
C-D	$(3.040 + 2.990) \times 8.285 \times 1/2 = 24.979275$	K-L	$1.325 \times 3.070 = 4.06775$
D-E	$4.475 \times 3.040 = 13.604$	L-M	$(3.070 + 2.920) \times 30.250 \times 1/2 = 90.59875$
E-F	$1.325 \times 3.040 = 4.028$	M-N	$1.325 \times 2.920 = 3.869$
F-G	$(3.040 + 2.990) \times 30.250 \times 1/2 = 91.20375$	N-O	$4.475 \times 2.920 = 13.067$
G-H	$1.325 \times 2.990 = 3.96175$	O-P	$(2.990 + 2.920) \times 8.285 \times 1/2 = 24.482175$
H-I	$3.225 \times 2.990 = 9.64275$	P-A	$2.475 \times 2.990 = 7.40025$

見付面積合計 396.519150 m^2



監理 類建築設計事務所

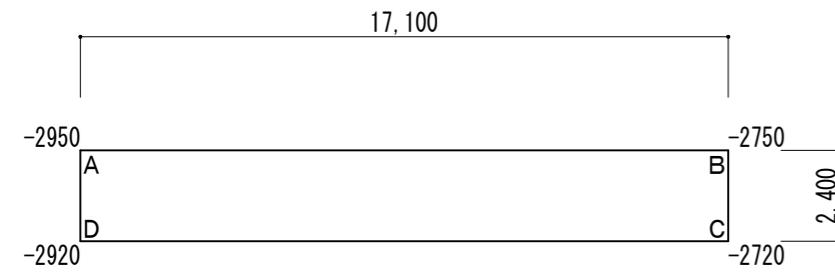
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N o	備考	図面名称	縮尺	図面 No
管理建築士	設計者			変更・訂正 . . .			平均地盤面計算図4【棟別】	S=1/150 (A3:1/212)	A-035
一級建築士 第306854号	一級建築士 第306854号							S=1/250 (A3:1/353)	
田中 召剛	田中 召剛								原図: A 2

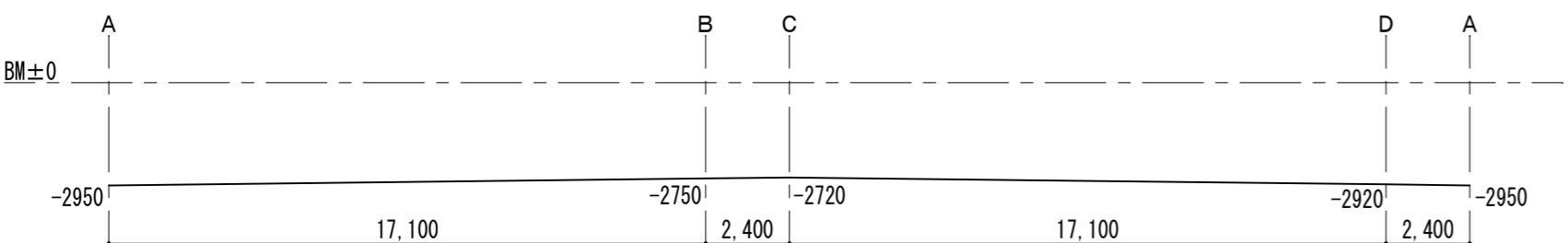
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

渡り廊下【既設】

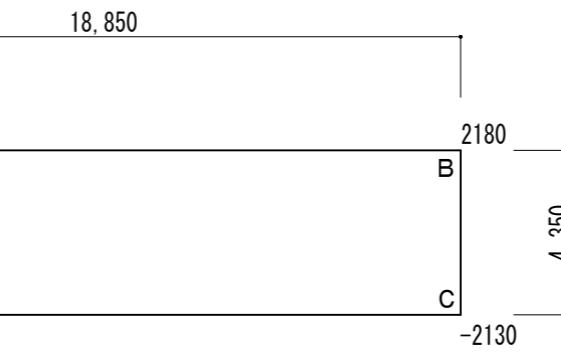
S=1/200



平均地盤面算定
見付面積合計／建築物の全周長 = 110.565 m² / 39.000m = 2.835
∴平均地盤面 = BM-2840



プール更衣室【既設】

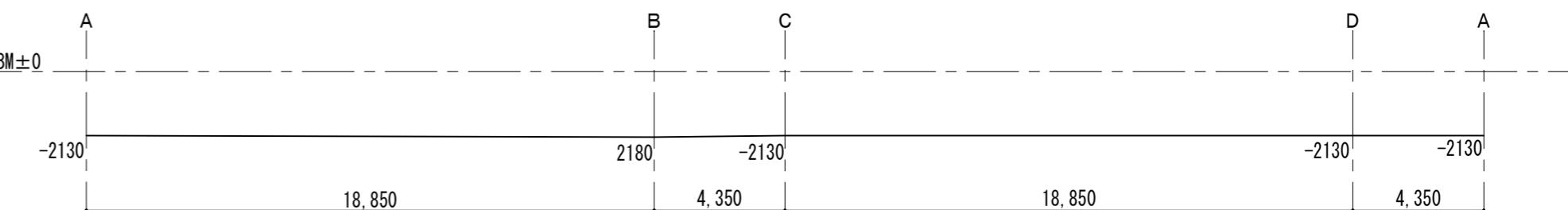


見付面積計算表

A-B	$(2.180 + 2.130) \times 18.850 \times 1/2 = 40.62175$
B-C	$(2.180 + 2.130) \times 4.350 \times 1/2 = 9.37425$
C-D	$2.130 \times 18.850 = 40.1505$
D-A	$2.130 \times 4.350 = 9.2655$

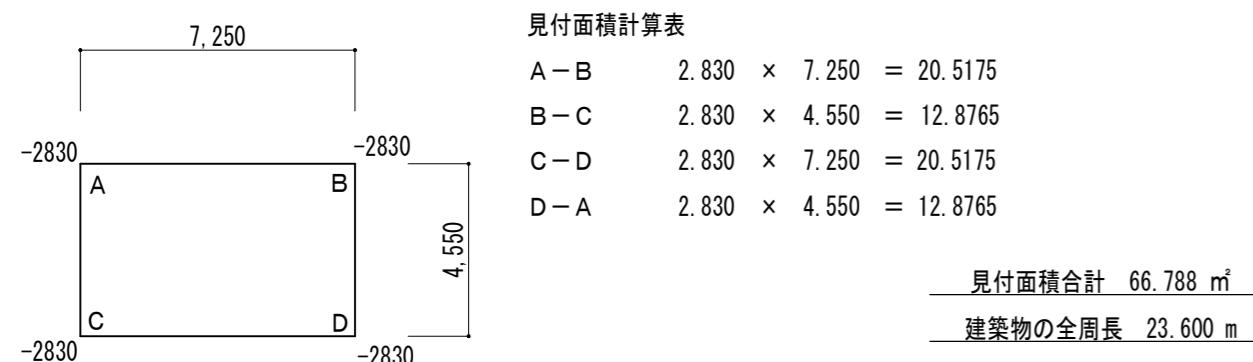
見付面積合計 99.412 m²
建築物の全周長 46.400 m

平均地盤面算定
見付面積合計／建築物の全周長 = 99.412 m² / 46.400m = 2.1425
∴平均地盤面 = BM-2150

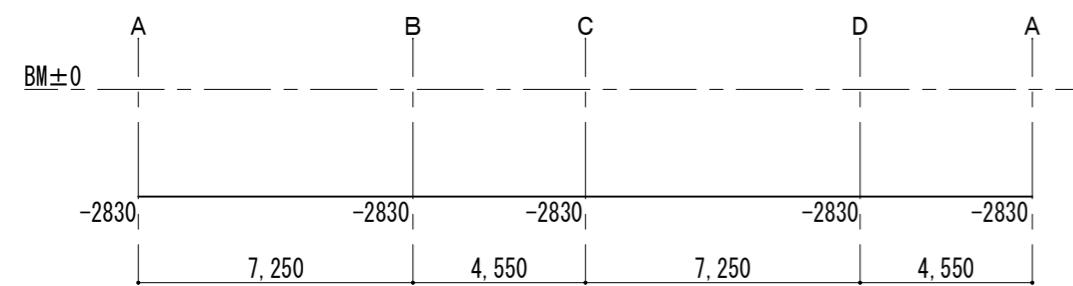


体育器具庫【既設】

S=1/200

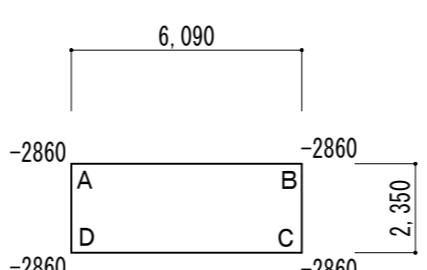


平均地盤面算定
見付面積合計／建築物の全周長 = 66.788 m² / 23.600m = 2.830
∴平均地盤面 = BM-2.830



防災倉庫【既設】

S=1/200

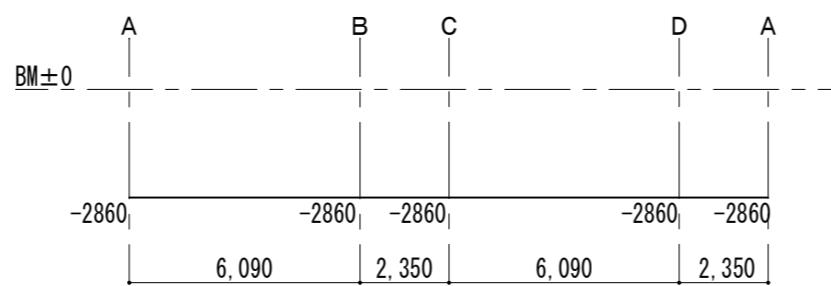


見付面積計算表

A-B	$2.860 \times 6.090 = 17.4174$
B-C	$2.860 \times 2.350 = 6.721$
C-D	$2.860 \times 6.090 = 17.4174$
D-A	$2.860 \times 2.350 = 6.721$

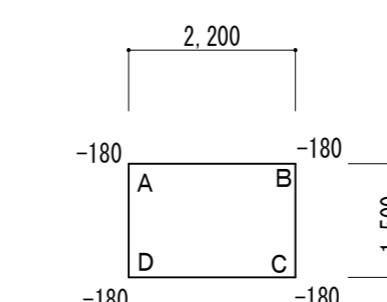
見付面積合計 48.2768 m²
建築物の全周長 16.880 m

平均地盤面算定
見付面積合計／建築物の全周長 = 48.2768 m² / 16.880m = 2.860
∴平均地盤面 = BM-2.860



少量危険物保管所【既設】

S=1/100

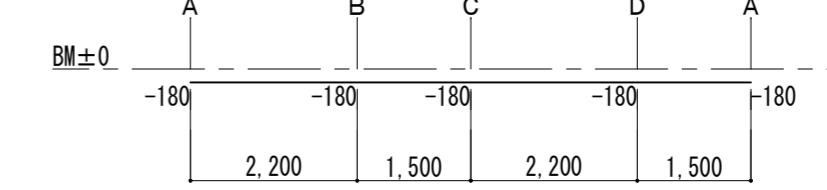


見付面積計算表

A-B	$0.180 \times 2.200 = 0.396$
B-C	$0.180 \times 1.500 = 0.270$
C-D	$0.180 \times 2.200 = 0.396$
D-A	$0.180 \times 1.500 = 0.270$

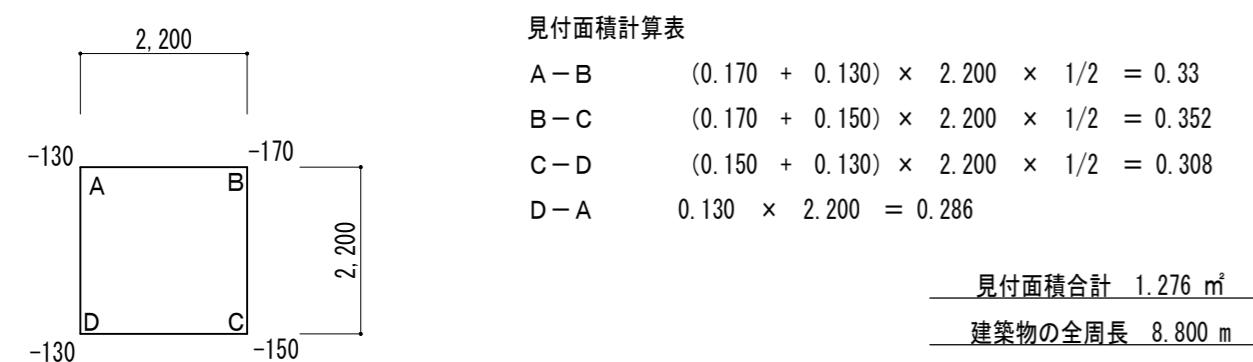
見付面積合計 1.332 m²
建築物の全周長 7.400 m

平均地盤面算定
見付面積合計／建築物の全周長 = 1.332 m² / 7.400m = 0.180
∴平均地盤面 = BM-180



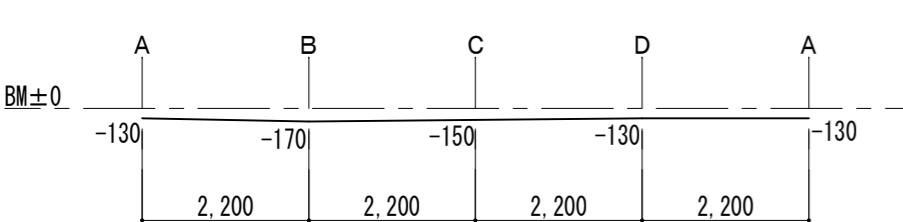
物置 1【既設】

S=1/100



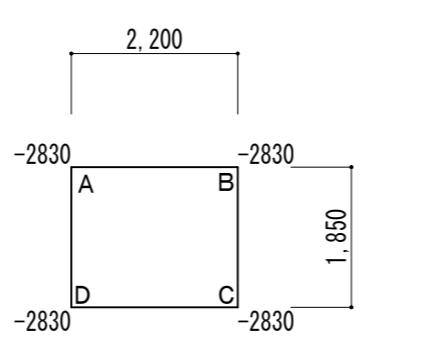
見付面積合計 1.276 m²
建築物の全周長 8.800 m

平均地盤面算定
見付面積合計／建築物の全周長 = 1.276 m² / 8.800m = 0.145
∴平均地盤面 = BM-150



物置 2【既設】

S=1/100

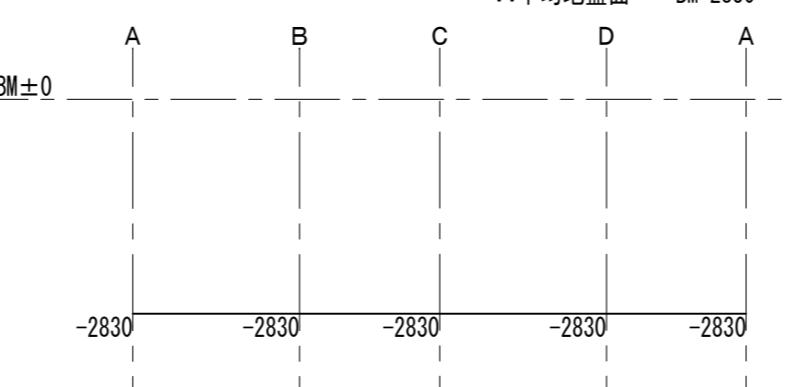


見付面積計算表

A-B	$2.830 \times 2.200 = 6.226$
B-C	$2.830 \times 1.850 = 5.2355$
C-D	$2.830 \times 2.200 = 6.226$
D-A	$2.830 \times 1.850 = 5.2355$

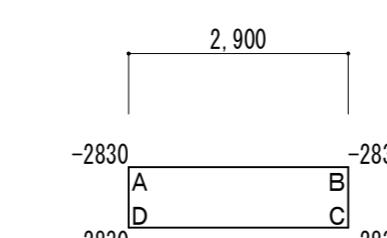
見付面積合計 22.923 m²
建築物の全周長 8.100 m

平均地盤面算定
見付面積合計／建築物の全周長 = 22.923 m² / 8.100m = 2.830
∴平均地盤面 = BM-2830



物置 3【既設】

S=1/100

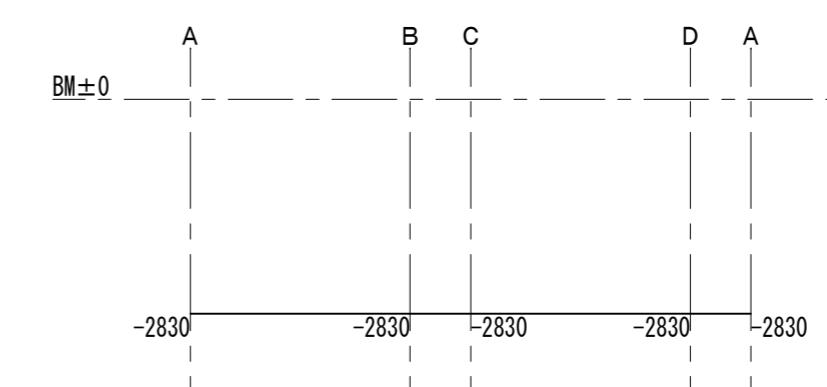


見付面積計算表

A-B	$2.830 \times 2.900 = 8.207$
B-C	$2.830 \times 0.800 = 2.264$
C-D	$2.830 \times 2.900 = 8.207$
D-A	$2.830 \times 0.800 = 2.264$

見付面積合計 20.942 m²
建築物の全周長 7.400 m

平均地盤面算定
見付面積合計／建築物の全周長 = 20.942 m² / 7.400m = 2.830
∴平均地盤面 = BM-2830



物置4【既設】	S=1/100	倉庫5【既設】	S=1/100	倉庫6【既設】	S=1/100																								
<p>見付面積計算表</p> <table> <tbody> <tr><td>A-B</td><td>$2.860 \times 2.200 = 6.292$</td></tr> <tr><td>B-C</td><td>$2.860 \times 1.500 = 4.29$</td></tr> <tr><td>C-D</td><td>$2.860 \times 2.200 = 6.292$</td></tr> <tr><td>D-A</td><td>$2.860 \times 1.500 = 4.29$</td></tr> </tbody> </table> <p>見付面積合計 21.164 m^2</p> <p>建築物の全周長 7.400 m</p> <p>平均地盤面算定</p> <p>見付面積合計／建築物の全周長 = $21.164 \text{ m}^2 / 7.400 \text{ m} = 2.860$</p> <p>∴平均地盤面 = BM-2860</p>	A-B	$2.860 \times 2.200 = 6.292$	B-C	$2.860 \times 1.500 = 4.29$	C-D	$2.860 \times 2.200 = 6.292$	D-A	$2.860 \times 1.500 = 4.29$		<p>見付面積計算表</p> <table> <tbody> <tr><td>A-B</td><td>$0.150 \times 2.680 = 0.402$</td></tr> <tr><td>B-C</td><td>$(0.150 + 0.130) \times 2.000 \times 1/2 = 0.28$</td></tr> <tr><td>C-D</td><td>$0.130 \times 2.680 = 0.3484$</td></tr> <tr><td>D-A</td><td>$(0.150 + 0.130) \times 2.000 \times 1/2 = 0.28$</td></tr> </tbody> </table> <p>見付面積合計 1.3104 m^2</p> <p>建築物の全周長 9.360 m</p> <p>平均地盤面算定</p> <p>見付面積合計／建築物の全周長 = $1.3104 \text{ m}^2 / 9.360 \text{ m} = 0.140$</p> <p>∴平均地盤面 = BM-140</p>	A-B	$0.150 \times 2.680 = 0.402$	B-C	$(0.150 + 0.130) \times 2.000 \times 1/2 = 0.28$	C-D	$0.130 \times 2.680 = 0.3484$	D-A	$(0.150 + 0.130) \times 2.000 \times 1/2 = 0.28$		<p>見付面積計算表</p> <table> <tbody> <tr><td>A-B</td><td>$0.180 \times 2.400 = 0.432$</td></tr> <tr><td>B-C</td><td>$0.180 \times 1.800 = 0.324$</td></tr> <tr><td>C-D</td><td>$0.180 \times 2.400 = 0.432$</td></tr> <tr><td>D-A</td><td>$0.180 \times 1.800 = 0.324$</td></tr> </tbody> </table> <p>見付面積合計 1.512 m^2</p> <p>建築物の全周長 8.400 m</p> <p>平均地盤面算定</p> <p>見付面積合計／建築物の全周長 = $1.512 \text{ m}^2 / 8.400 \text{ m} = 0.180$</p> <p>∴平均地盤面 = BM-180</p>	A-B	$0.180 \times 2.400 = 0.432$	B-C	$0.180 \times 1.800 = 0.324$	C-D	$0.180 \times 2.400 = 0.432$	D-A	$0.180 \times 1.800 = 0.324$	
A-B	$2.860 \times 2.200 = 6.292$																												
B-C	$2.860 \times 1.500 = 4.29$																												
C-D	$2.860 \times 2.200 = 6.292$																												
D-A	$2.860 \times 1.500 = 4.29$																												
A-B	$0.150 \times 2.680 = 0.402$																												
B-C	$(0.150 + 0.130) \times 2.000 \times 1/2 = 0.28$																												
C-D	$0.130 \times 2.680 = 0.3484$																												
D-A	$(0.150 + 0.130) \times 2.000 \times 1/2 = 0.28$																												
A-B	$0.180 \times 2.400 = 0.432$																												
B-C	$0.180 \times 1.800 = 0.324$																												
C-D	$0.180 \times 2.400 = 0.432$																												
D-A	$0.180 \times 1.800 = 0.324$																												

日影規制に伴う平均地盤面の算定

見付面積合計=241.851635(校舎)+396.519150(屋内運動場)+395.5012(その他建物)=1,033.871985m²

建築物の全周長 = 431.765 (校舎) + 131.950 (屋内運動場) + 182.740 (その他建物) = 746.455m

$$\text{平均地盤面積} = \frac{\text{見付面積合計}}{\text{建築物の全周長}} = \frac{1,033,871.985 \text{m}^2}{746,455 \text{m}} = 1.385042614 \text{m}$$

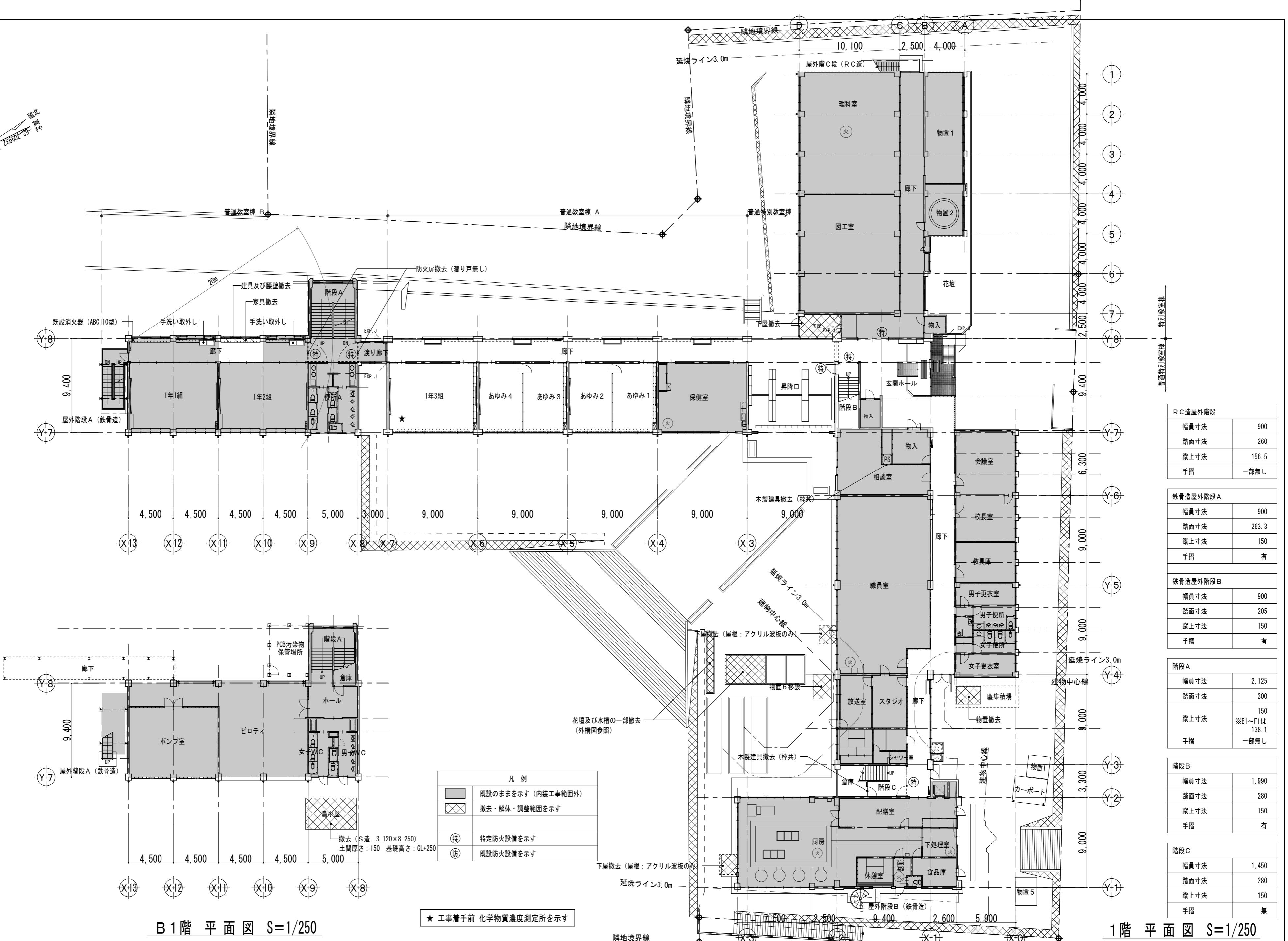
∴平均地盤面 = BM-1390



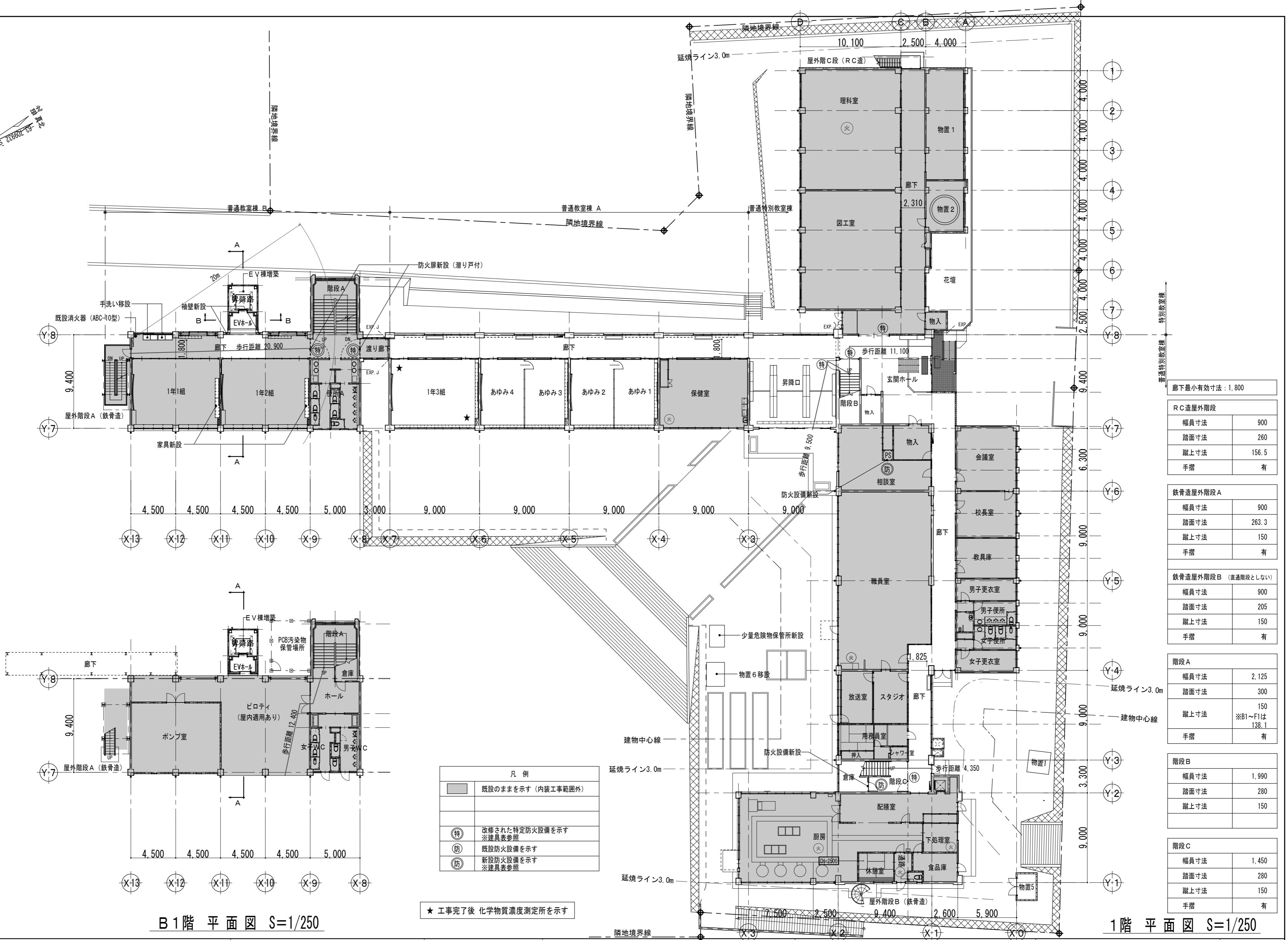
設計監理類建築設計事務所

図面 No	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号					製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N o	備考	図面名称	縮尺
	管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事		平均地盤面算定図 6【棟別】	S=1/100 (A3:1/141)
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			
					
					

改修前



改修後

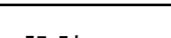


B1階 平面図 S=1/250

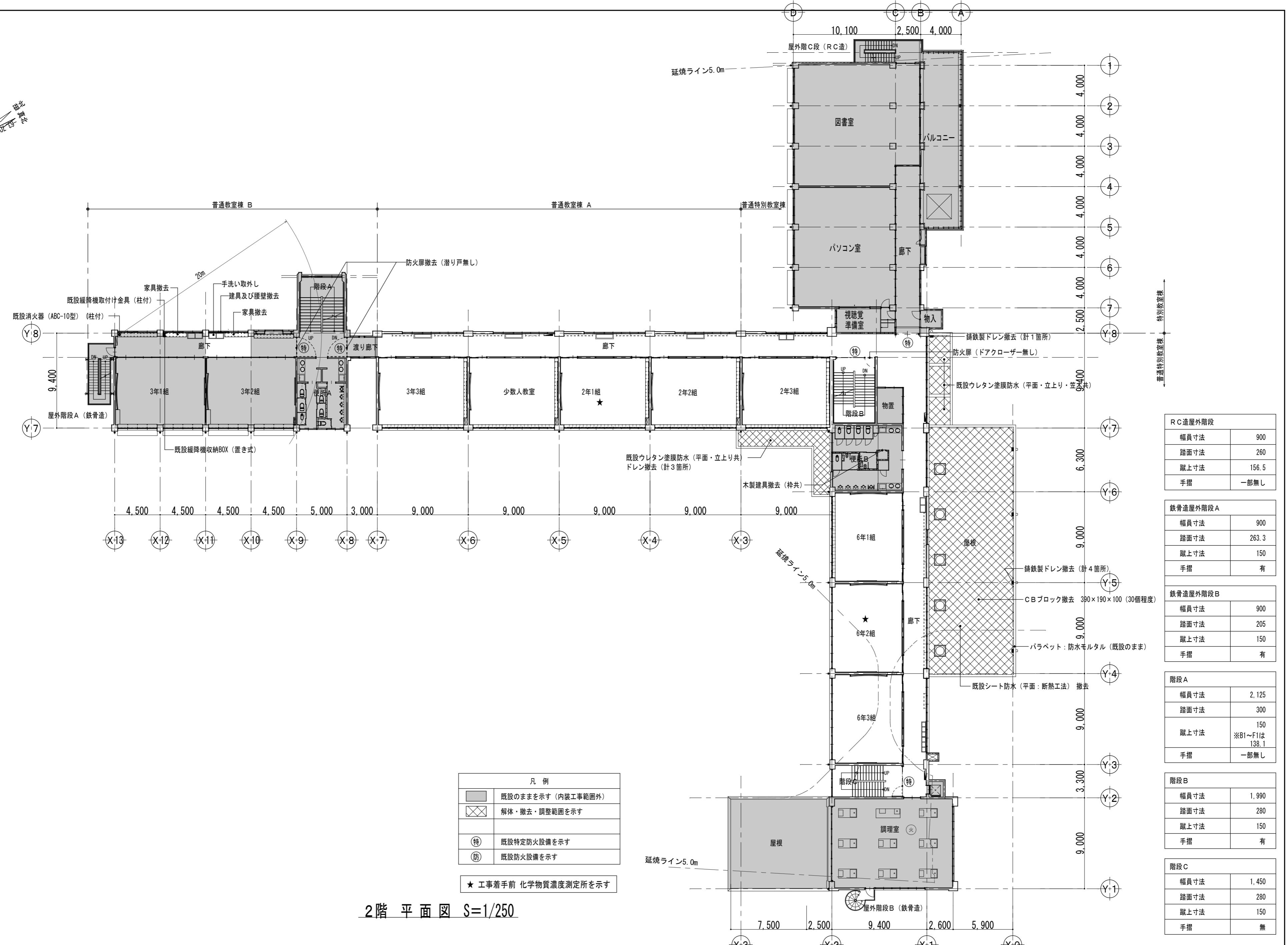
工事完了後 化学物質濃度測定所を示す



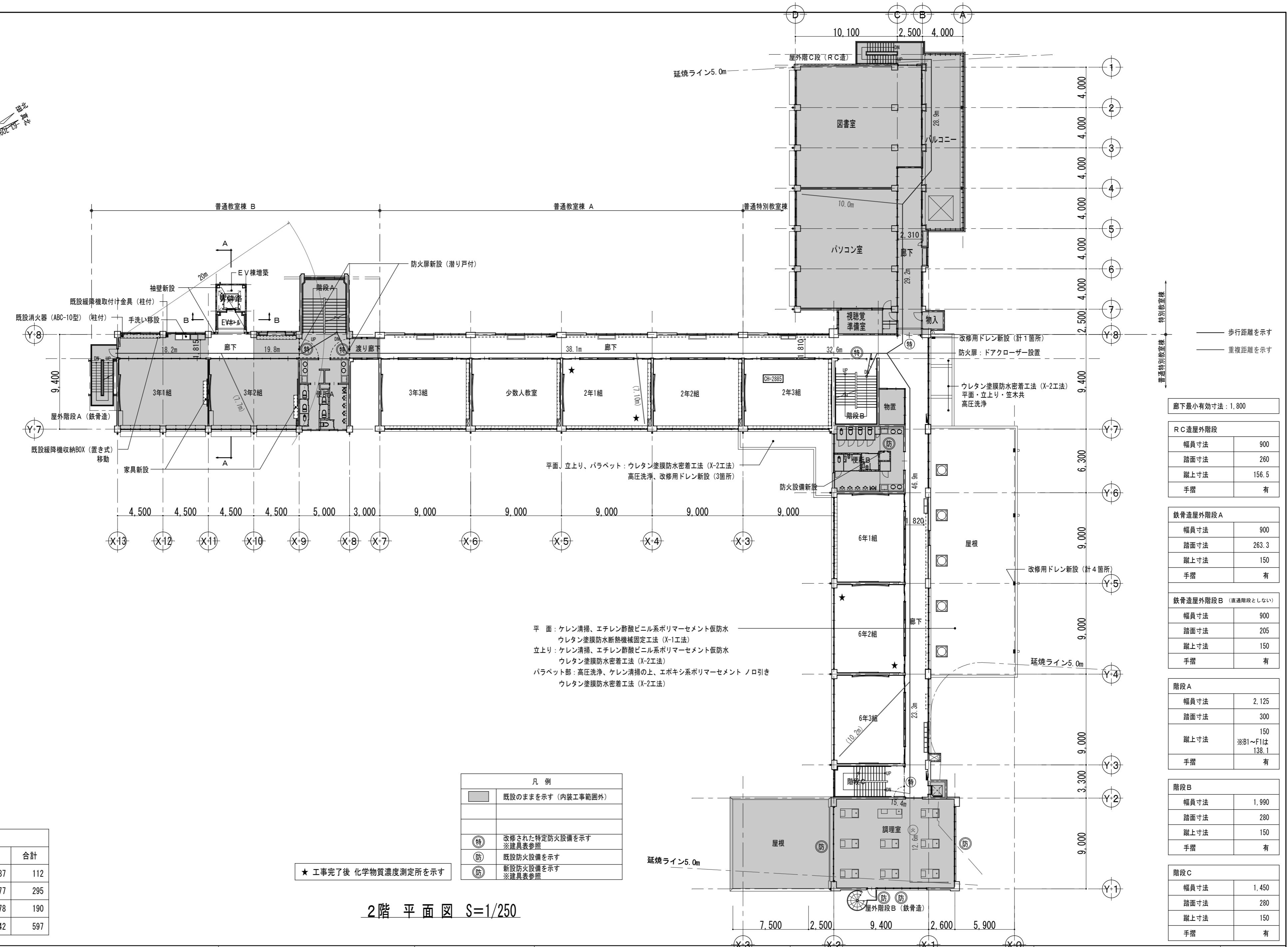
設計 監理 類建築設計事務所

 設計監理 類建築設計事務所 <p>〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754</p>	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No.	備考	図面名称	縮尺	図面 No A-039 原図: A 2
	管理建築士	設計者			変更・訂正	.	.	B 1階 平面図【改修後】	S=1/250 (A3:1/353)	
	一級建築士 第306854号	一級建築士 第306854号	田中 召剛	田中 召剛	.	.	.	1階 平面図【改修後】	.	
	田中 召剛	田中 召剛						津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	.	

改修前



改修後



収容人員			
	職員	児童	合計
3階	25	87	112
2階	18	277	295
1階	12	178	190
合計	55	542	597



類建築設計事務所

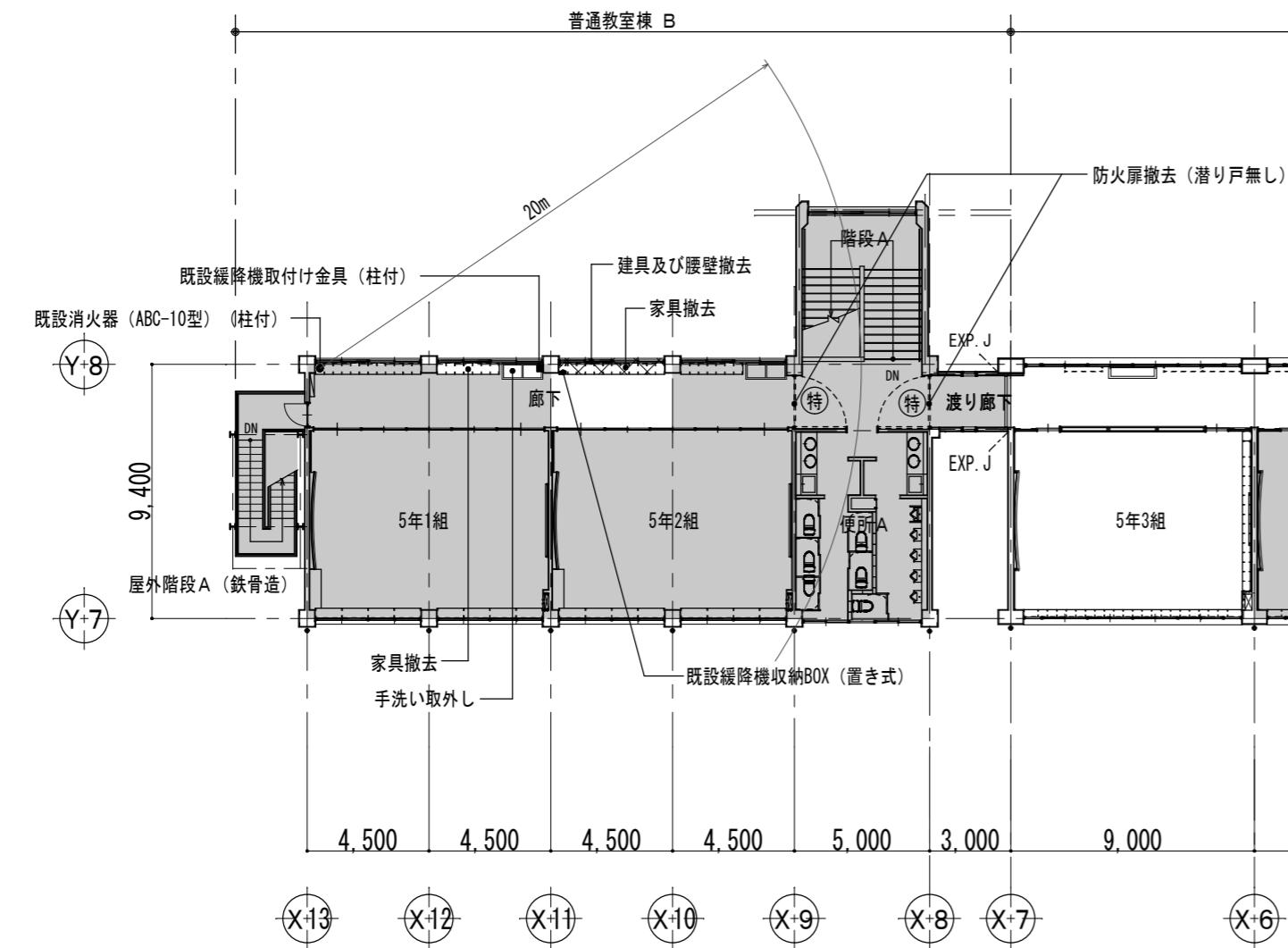
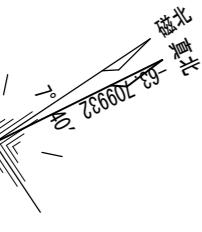
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

下 津	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号					製図年月日 2024. 5. 20.	設計
	管理建築士	設計者				変更・訂正	.
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				.	.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考	(X-2)	(X+1)	(X+0)	図面名称	縮尺	図面 No
				2階平面図【改修後】	S=1/250 (A3:1/353)	A-041
					.	
					.	
					.	

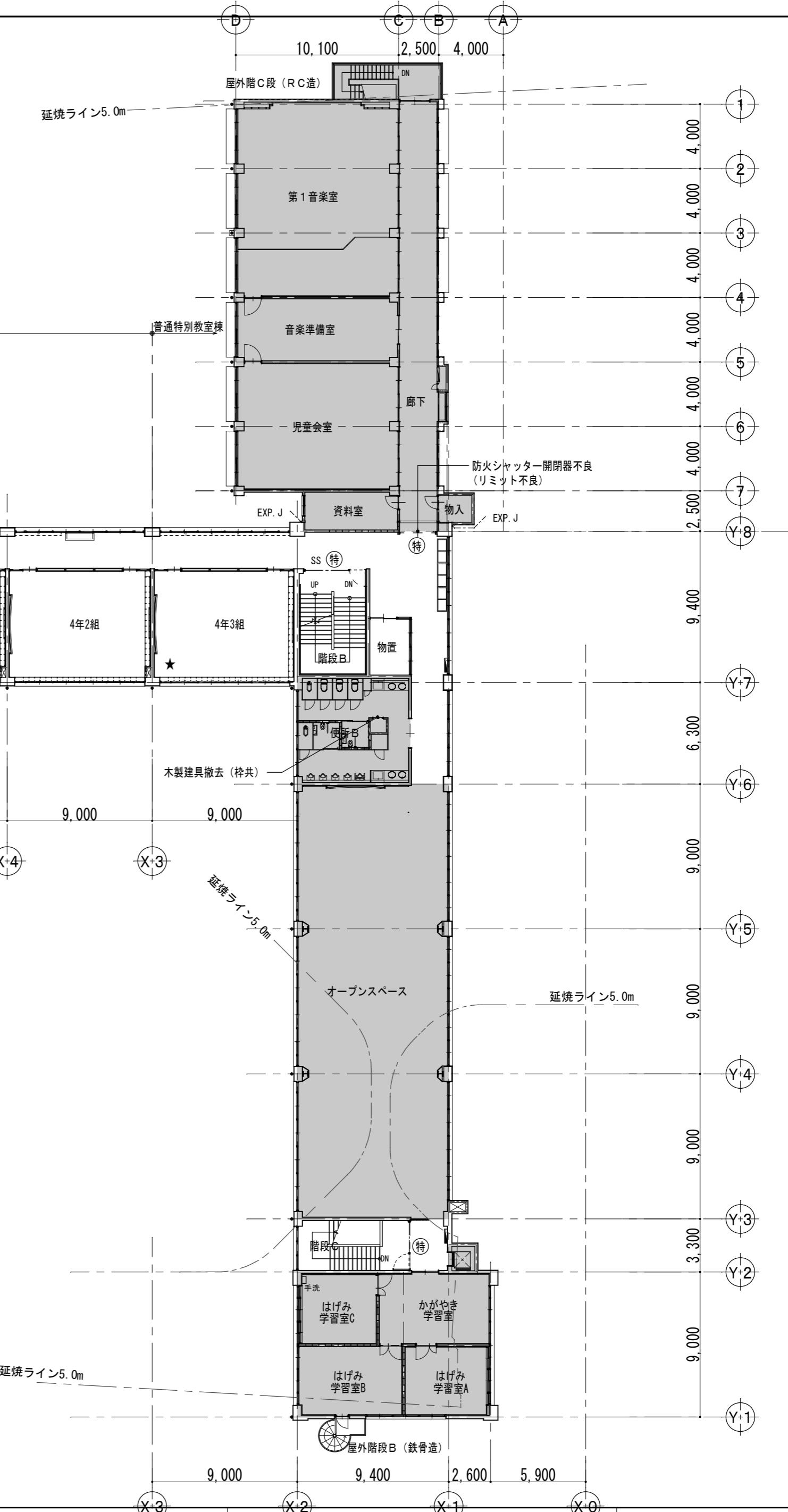
改修前



凡 例	
	既設のままを示す (内装工事範囲外)
	解体・撤去・調整範囲を示す
(特)	既設特定防火設備を示す
(防)	既設防火設備を示す

★ 工事着手前 化学物質濃度測定所を示す

3階 平面図 S=1/250



RC 造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	一部無し

鉄骨造屋外階段 A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

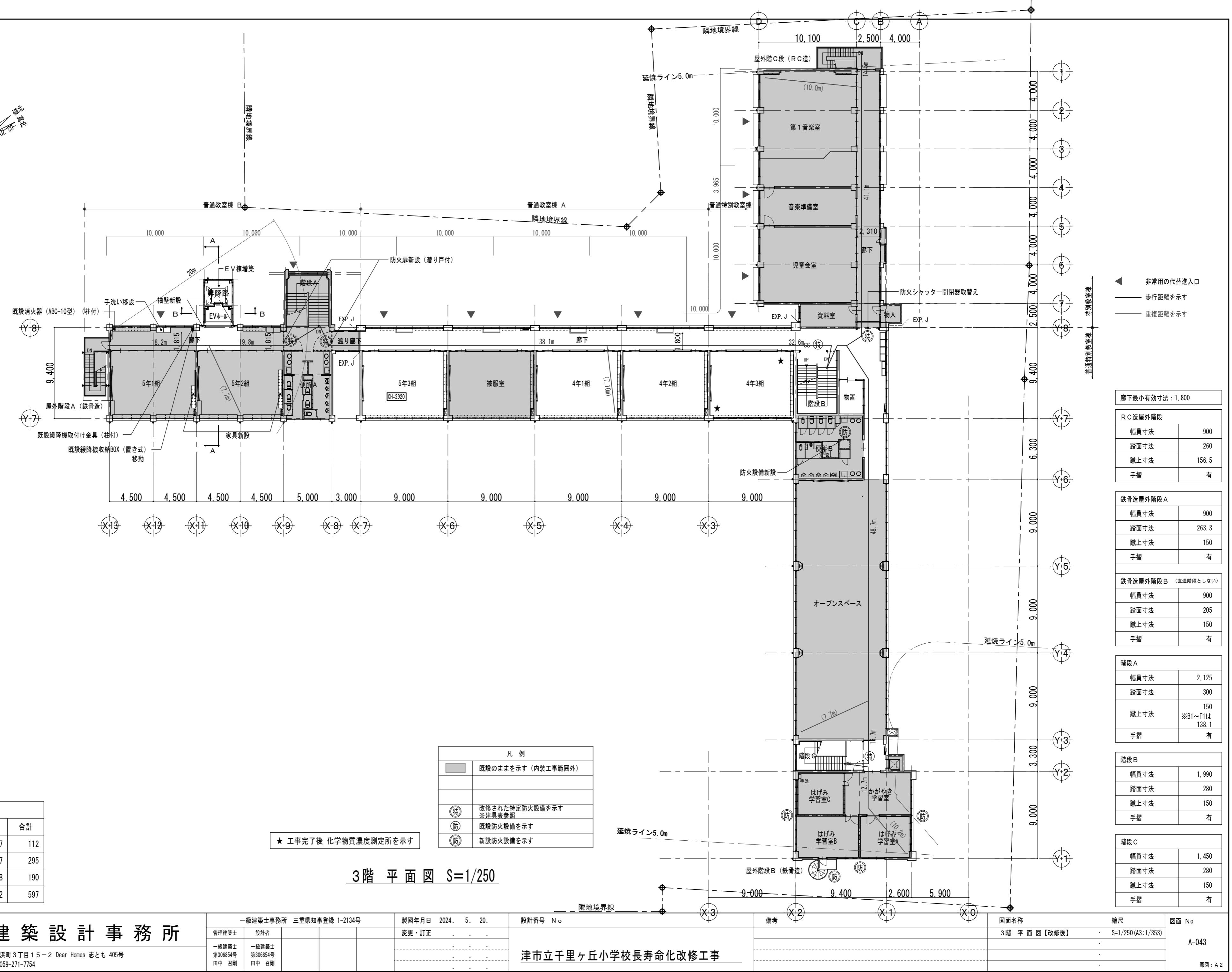
鉄骨造屋外階段 B	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150
手摺	※B1~F1は 138.1 一部無し

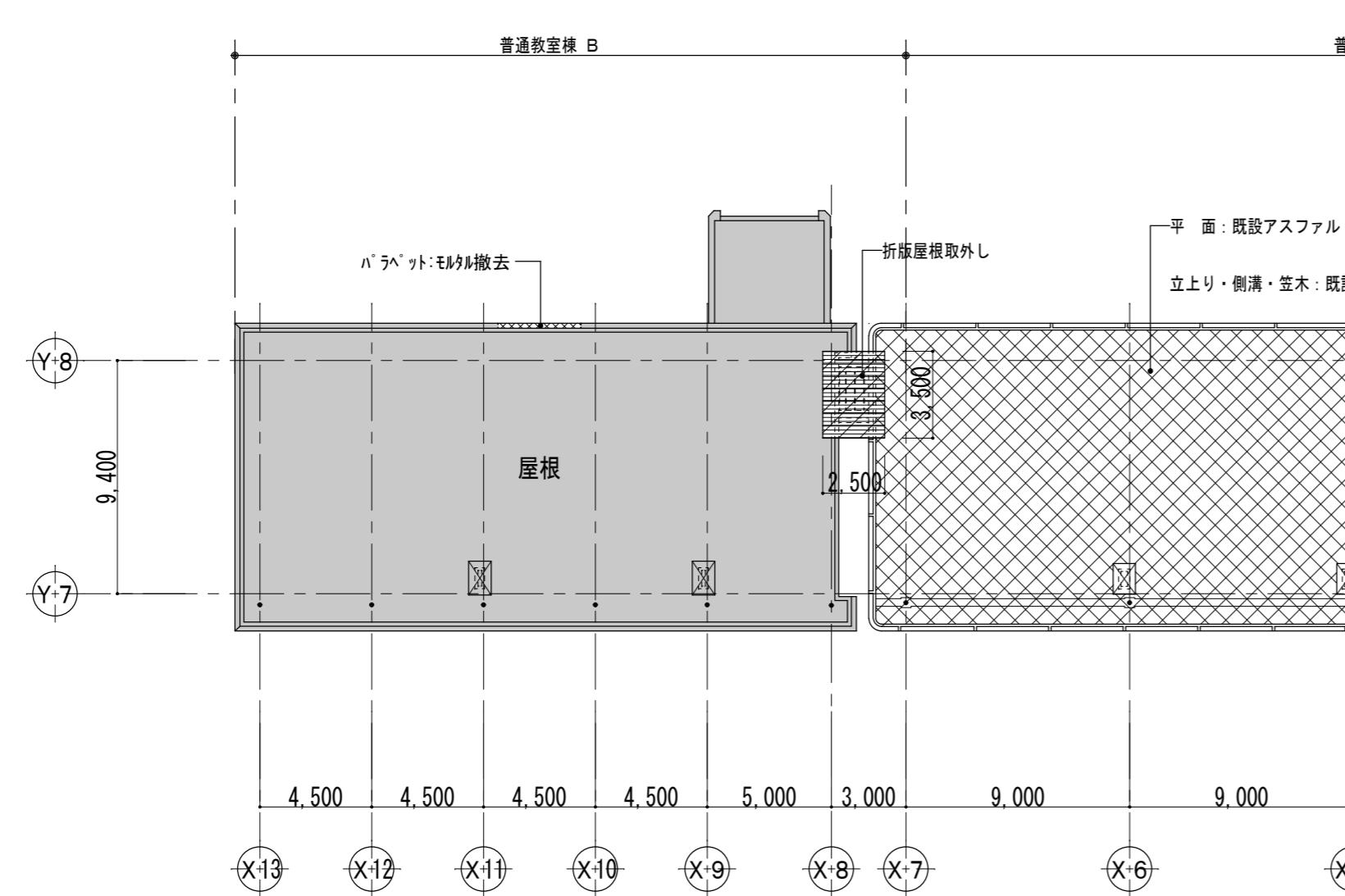
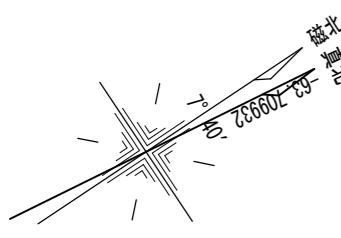
階段 B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	無

改修後

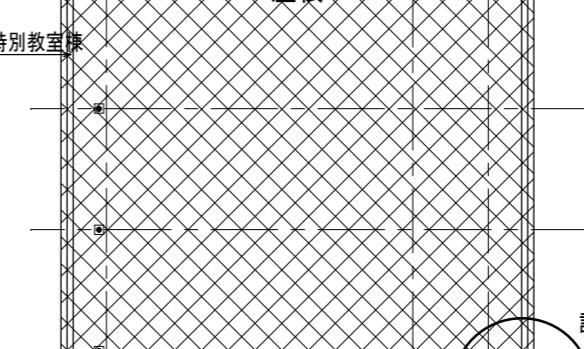
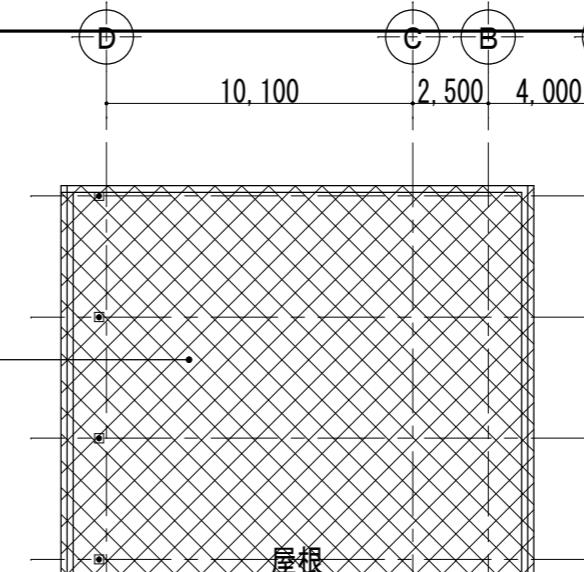


改修前



特別教室棟の防水改修は A-159を参照する事

普通教室棟 A



屋根

詳細図参照

普通特別教室棟
特別教室棟

平面：既設アスファルト防水撤去 (アスベスト含有)
立上り：既設シート防水撤去

基礎 W:4.400×H:0.300×D:0.300

鉄製ドレン撤去 (計1箇所)

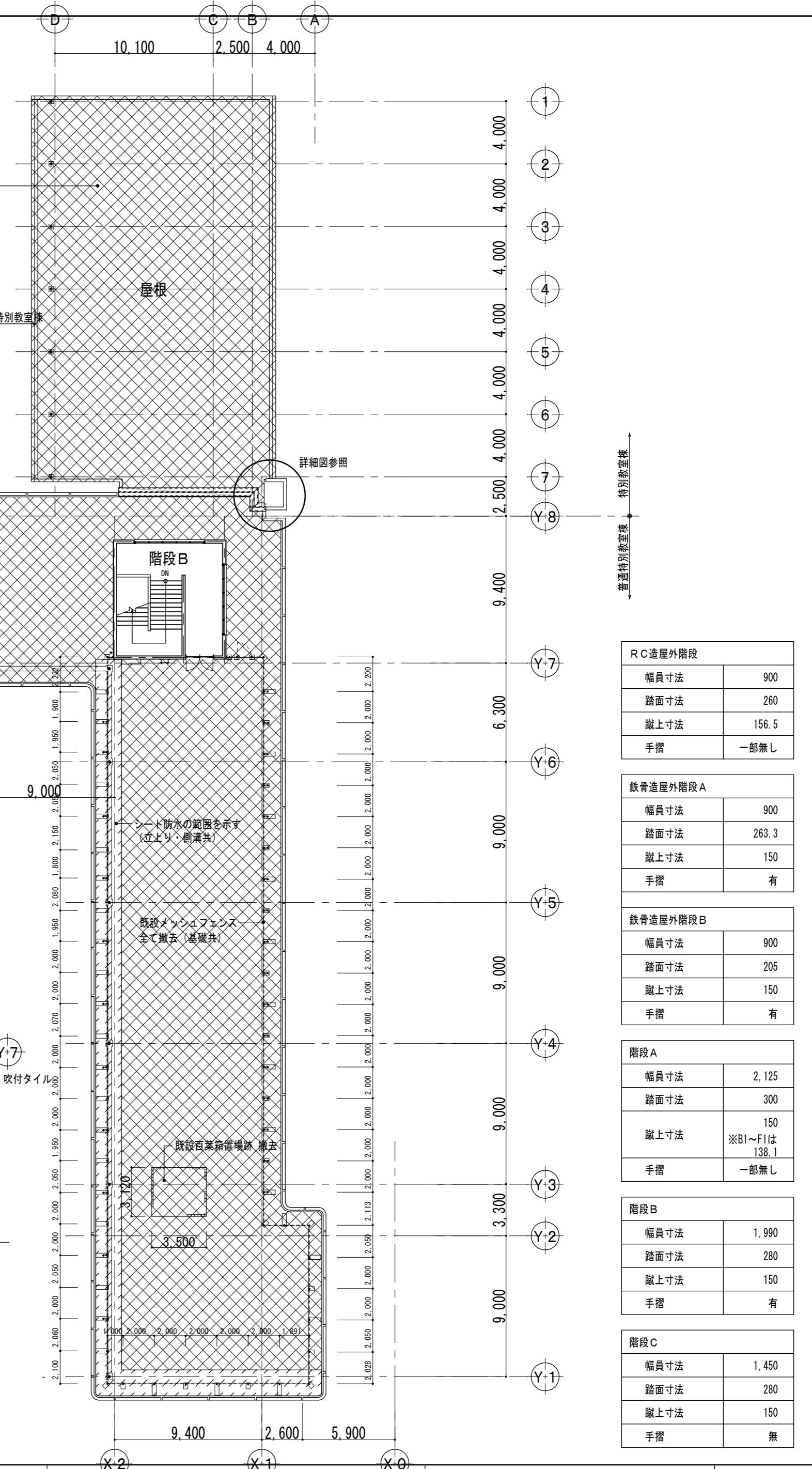
底：モルタル塗りの上、吹付タイル

7.000 7.400

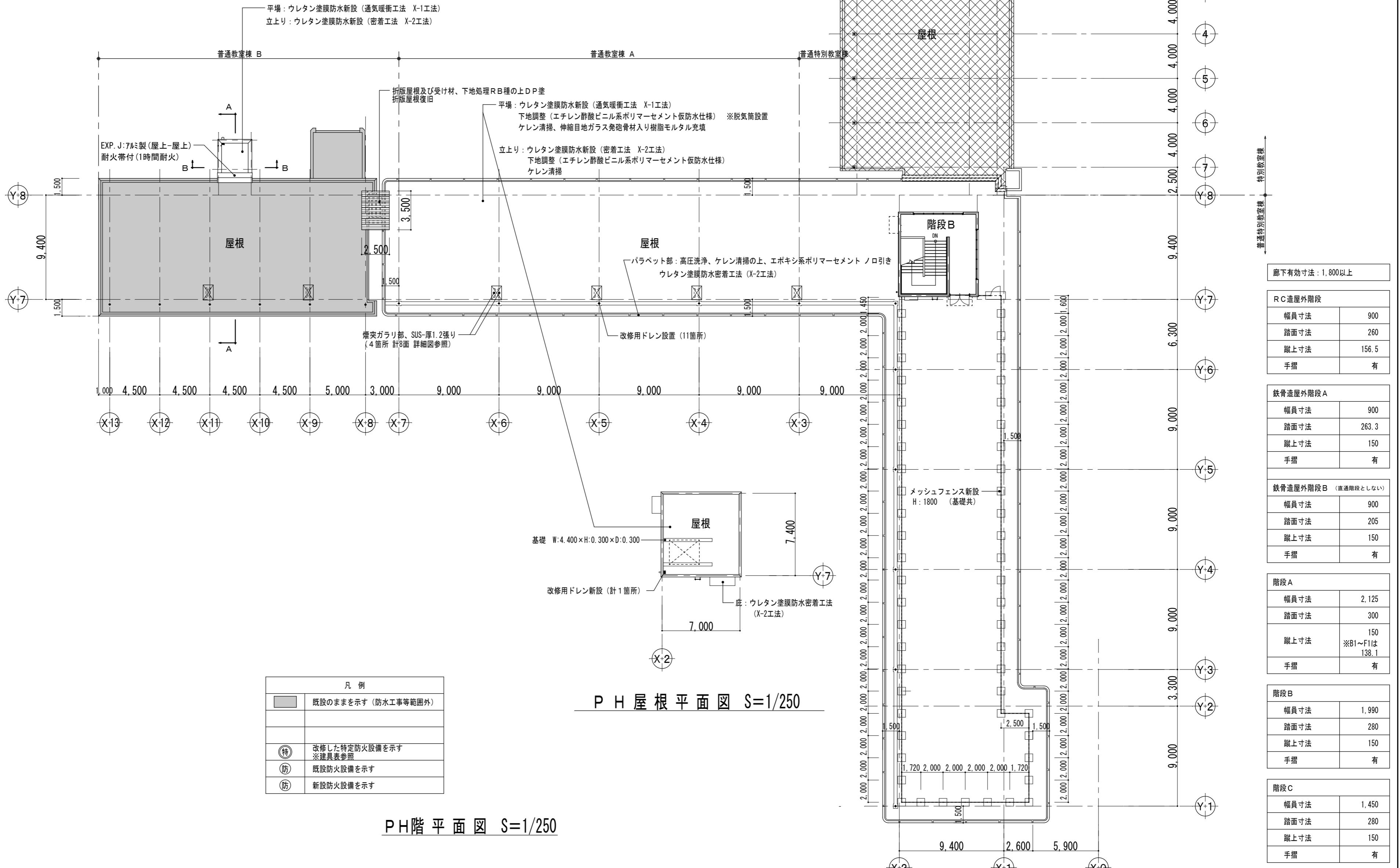
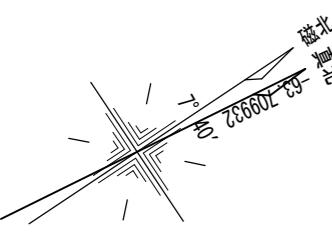
凡 例	
	既設のままを示す (防水工事等範囲外)
	解体・撤去・調整範囲を示す
	既設特定防火設備を示す
	既設防火設備を示す

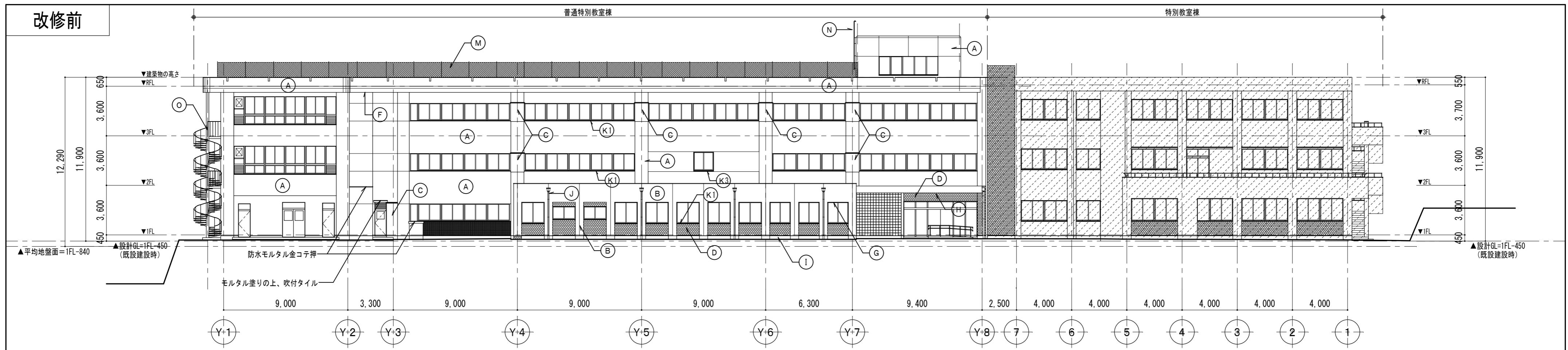
P H 屋根平面図 S=1/250

P H 階平面図 S=1/250

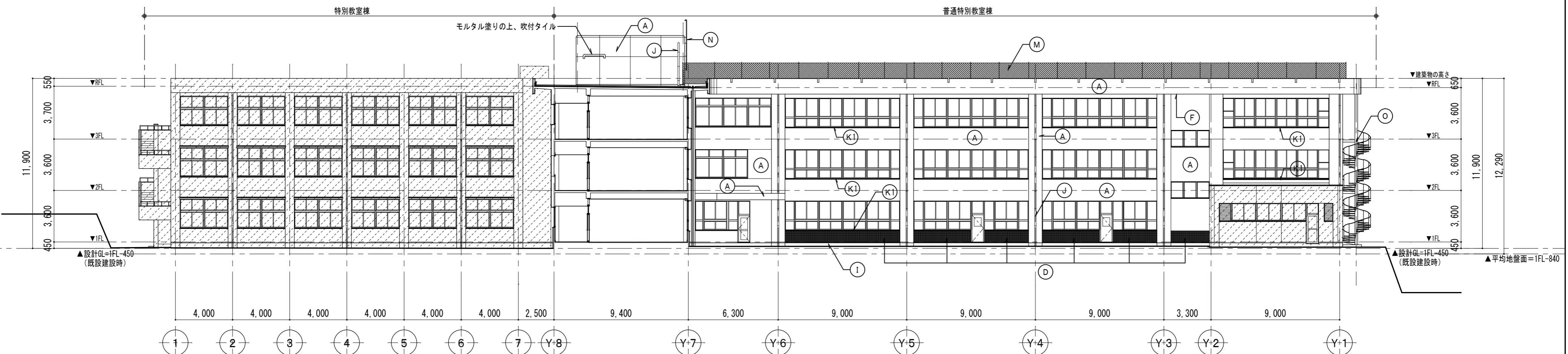


改修後





北面 立面図 S=1/200



南面 立面図 S=1/200

 外壁改修工事範囲外を示す

■外部改修仕様								■E V棟外壁仕様				■備考	
(A)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	(F)	軒天 庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付	(K1)	窓水切	改修前	K1:人研ぎ K2:人研ぎの上、塗膜防水	(1) 外壁 A L C t=100下地、複層塗材E(フッ素)	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング(PU-2)新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設E X P : J部についてはシーリング(MS-2)新設を行う。 ・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。
		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材(C-1)の上 複層塗材E吹付(フッ素系)			改修後	高圧洗浄、下地調整塗材(C-1)の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K3:アルミ		
(B)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル(アスベスト含有)	(G)	軒天 庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付(アスベスト含有)	(K2)	窓水切	改修後	K1:水洗い K2:高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水	(3) 巾木 コンクリート打放仕上	【施工数量調査】 ・調査項目:クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部 ・調査方法:打診、目視、クラックスケール等 ・報告書:2部(補修方法別に調査数量を集計する。)
		改修後	湿式集塵装置付きディスクグライダーケン工法、下地調整塗材(C-2)の上 複層塗材E吹付(フッ素系)			改修後	湿式集塵装置付きディスクグライダーケン工法、下地調整塗材(C-2)の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K3:既設のまま		
(C)	柱 補強鉄板 巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装(2-UE) (鉄板巻き補強部)	(H)	玄関庇 庇裏	改修前	鋼板製スパンドレル	(M)	屋上 フェンス	改修前	メッッシュフェンス撤去(基礎共)	(5) 集水桿 塩ビ製(カラー)	【外壁クラック補修仕様】 ・1mm以上のひび割れ補修:Uカットシール充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修:自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法 (16本/m ² 、25ml/穴、25本/m ² 、25ml/穴) ・欠損部改修方法:鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填
		改修後	下地処理RB種の上 DP塗装			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り			改修後	メッッシュフェンス新設(基礎共)		
(D)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	(I)	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え	(N)	屋上 タラップ	改修前	O P塗り	(7) EXP.J アルミ製(壁-壁)耐火帯付(1時間耐火)	【外壁軒天庇裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル(アスベスト含有) ・湿式集塵機付ディスクグライダーケン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。
		改修後	水洗い			改修後	水洗い			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り		
(E)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	(J)	樋	改修前	樋:硬質塩ビ管 φ100 養生管:φ125撤去 樋:硬質塩ビ管 φ114 飾り枠:塩ビ製撤去	(O)	屋外階段 (鉄骨造)	改修前	O P塗り	(8) 笠木 アルミ笠木 W=350	【外壁軒天庇裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル(アスベスト含有) ・湿式集塵機付ディスクグライダーケン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。
		改修後	水洗い			改修後	樋:硬質塗材 φ100新設 飾り枠:塩ビ製新設			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り		



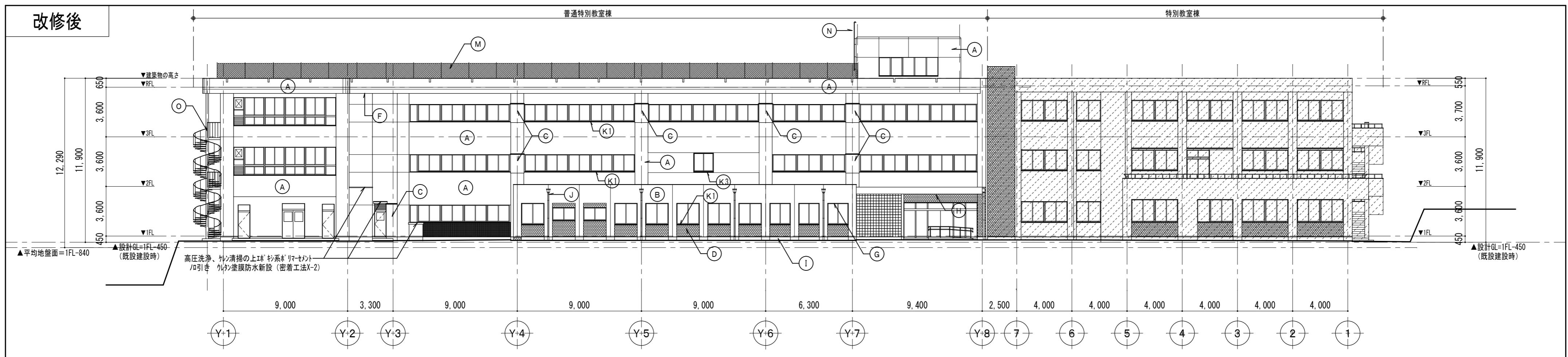
設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 40
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

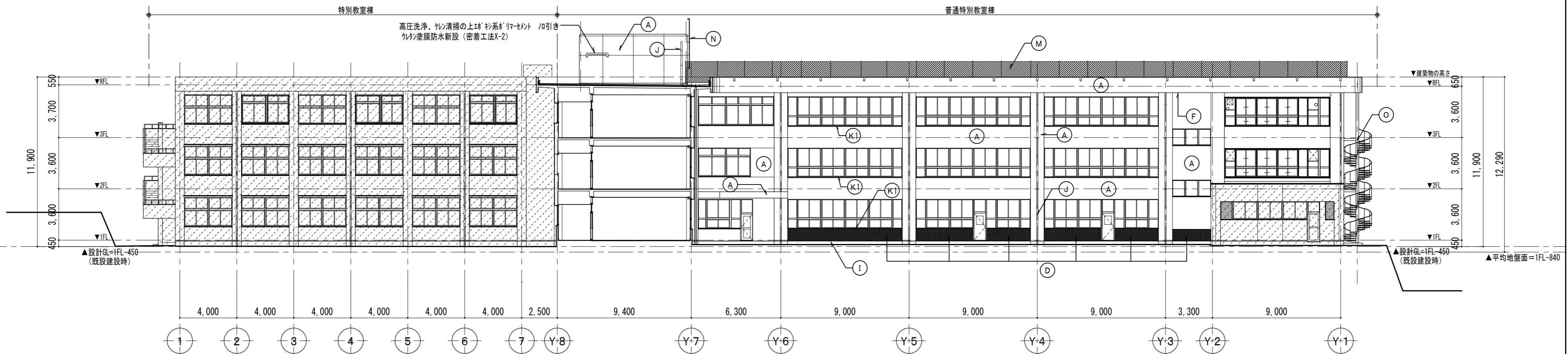
	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.
管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				. . .

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考	図面名称	縮尺	図面 No
			A-046
	北立面図・南立面図 【改修前】	S=1/200 (A3:1/282)	
		-	
		-	
		-	



北面 立面図 S=1/200

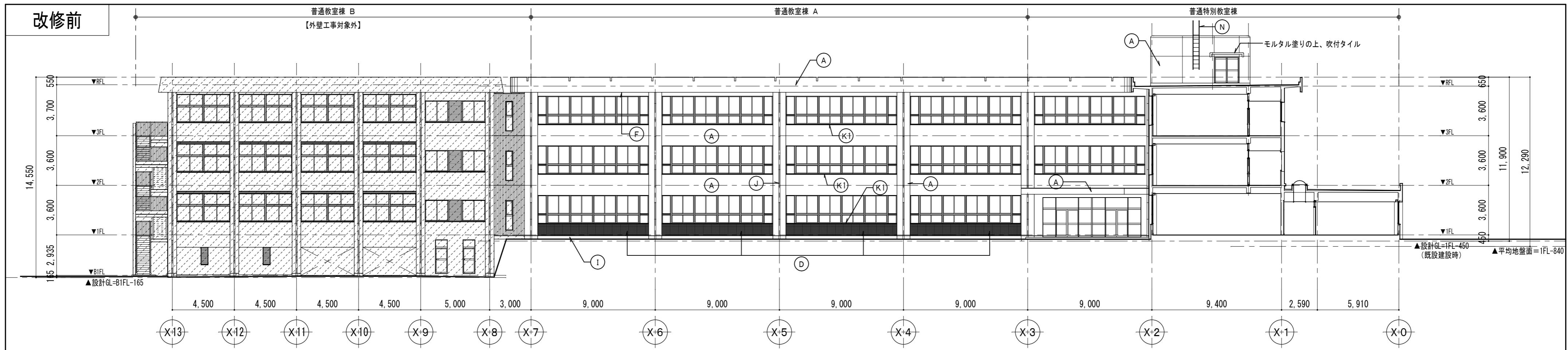


南面 立面図 S=1/200

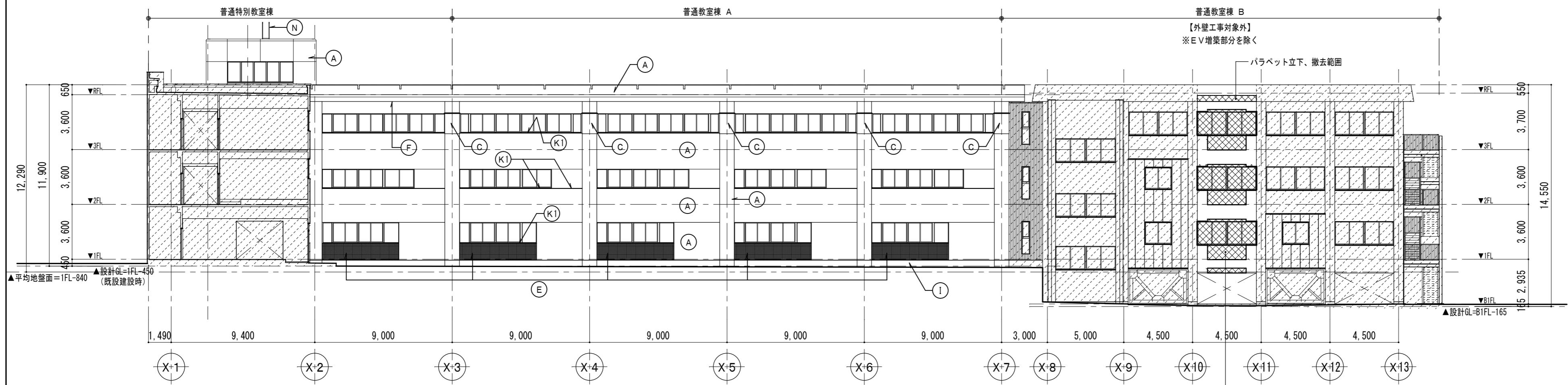
※最高の高さは、パラペット天端とする。その他屋上突出部分は棟飾であるため、令2条第6号による高さに算しないものと考



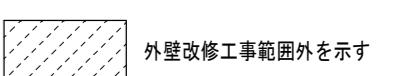
■外部改修仕様								■E V棟外壁仕様				■備考	
(A)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	(F)	軒天 庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付	(K1)	窓水切	改修前	K1:人研ぎ K2:人研ぎの上、塗膜防水 K3:アルミ	(1) 外壁 A L C t=100下地、複層塗材E(フッ素)	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング(PU-2)新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設E X P: J部についてはシーリング(MS-2)新設を行う。 ・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。
		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材(C-1)の上 複層塗材E吹付(フッ素系)			改修後	高圧洗浄、下地調整塗材(C-1)の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K1:水洗い K2:高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3:既設のまま		(2) 外壁 コンクリート t=120打ち、モルタル金こて 複層塗材E(フッ素)
(B)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル(アスベスト含有)	(G)	軒天 庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付(アスベスト含有)	(K2)	窓水切	改修後	K1:水洗い K2:高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3:既設のまま	(3) 巾木 コンクリート打放仕上	【施工数量調査】 ・調査項目: クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部 ・調査方法: 打診、目視、クラックスケール等 ・報告書: 2部(補修方法別に調査数量を集計する。)
		改修後	湿式集塵装置付きディスクグライダー工法、下地調整塗材(C-2)の上 複層塗材E吹付(フッ素系)			改修後	湿式集塵装置付きディスクグライダー工法、下地調整塗材(C-2)の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K1:水洗い K2:高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3:既設のまま		(4) 壁縫 塩ビ製(カラー)・壁縫φ100(拘み金物:SUS@1200)
(C)	柱 補強鉄板 巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装(2-UE) (鉄板巻き補強部)	(H)	玄関庇 庇裏	改修前	鋼板製スパンドレル	(M)	屋上 フェンス	改修前	メッシュフェンス撤去(基礎共)	(5) 集水汎 塩ビ製(カラー)	【外壁クラック補修仕様】 ・1mm以上のひび割れ補修: Uカットシール充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修: 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法 (16本/m ² 、25ml/穴、25本/m ² 、25ml/穴)
		改修後	下地処理RB種の上 DP塗装			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り			改修後	メッシュフェンス新設(基礎共)		(6) EXP.J アルミ製(屋上-屋上)耐火帯付(1時間耐火)
(D)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	(I)	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え	(N)	屋上 タラップ	改修前	OP塗り	(7) EXP.J アルミ製(壁-壁)耐火帯付(1時間耐火)	【外壁軒天庇裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル(アスベスト含有) ・湿式集塵機付ディスクグライダーケレン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。
		改修後	水洗い			改修後	水洗い			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り		(8) 笠木 アルミ笠木 W=350
(E)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	(J)	樋	改修前	樋:硬質塩ビ管 φ100撤去 飾り枠:塩ビ製撤去	(O)	屋外階段 (鉄骨造)	改修前	OP塗り	(9) 樋:硬質塩ビ管 φ125撤去 飾り枠:塩ビ製撤去	・欠損部改修方法: 鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填
		改修後	水洗い			改修後	樋:硬質塩ビ管 φ100新設 飾り枠:塩ビ製新設			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り		



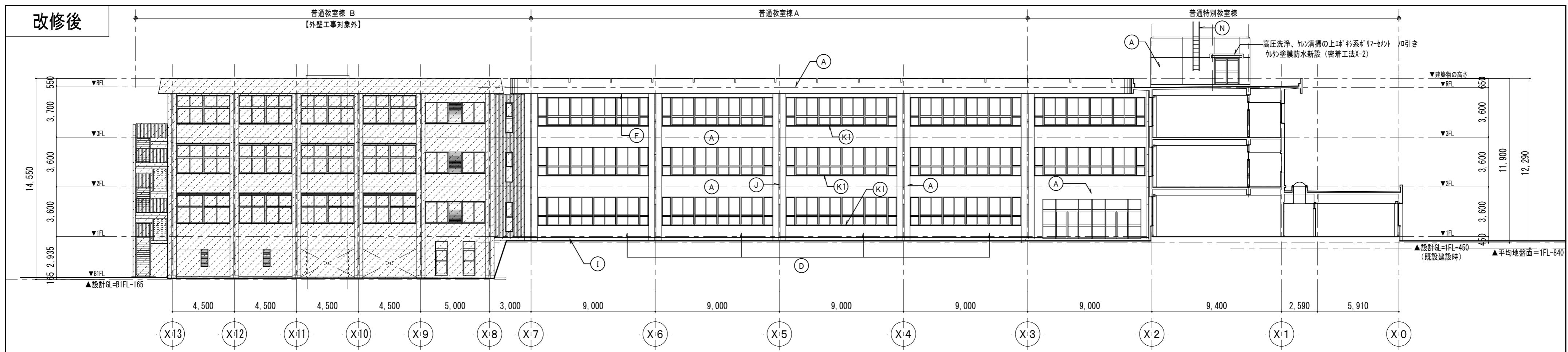
東面 立面図 S=1/200



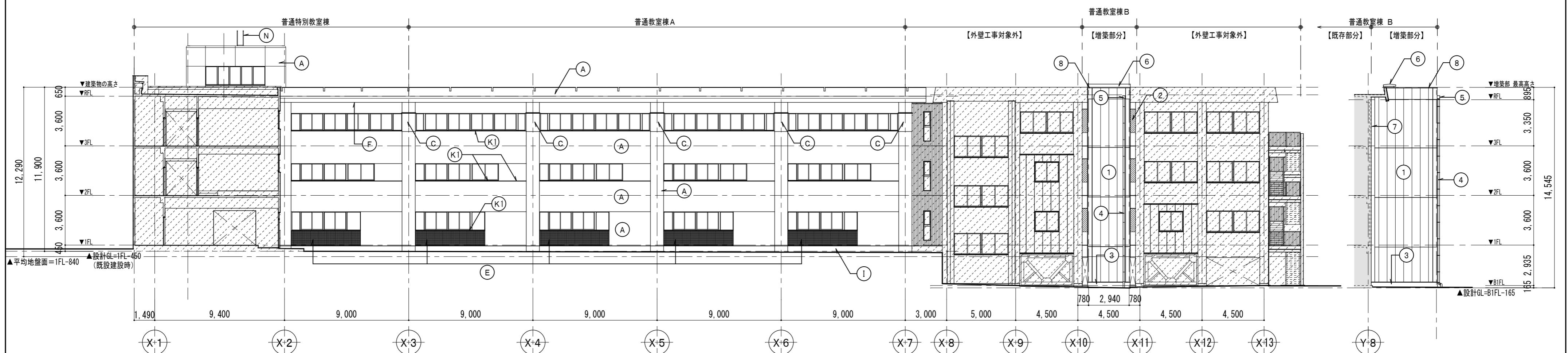
西面 立面図 S=1/200



■外部改修仕様								■EV棟外壁仕様				■備考		
(A)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	(F)	軒天 庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付	(K1)	窓水切	改修前	K1:人研ぎ K2:人研ぎの上、塗膜防水 K3:アルミ	(1) 外壁 (2) 外壁	A L C t=100下地、複層塗材E(フッ素) コンクリート t=120打ち、モルタル金こて 複層塗材E(フッ素)	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング(PU-2)新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EVXP:J部についてはシーリング(MS-2)新設を行う。 ・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。
		改修後	高压洗浄、下地調整塗材(C-1)の上 複層塗材E吹付(フッ素系)			改修後	高压洗浄、下地調整塗材(C-1)の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K1:水洗い K2:高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3:既設のまま		コンクリート打放仕上 塩ビ製(カラー)・豊橋φ100(組み金物:SUS@1200)	
(B)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル(アスベスト含有)	(G)	軒天 庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付(アスベスト含有)	(K2)	窓水切	改修後	K1:水洗い K2:高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3:既設のまま	(3) 巾木 (4) 豊橋	コンクリート打放仕上 塩ビ製(カラー)・豊橋φ100(組み金物:SUS@1200)	・調査項目:クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部 ・調査方法:打診、目視、クラックスケール等 ・報告書:2部(補修方法別に調査数量を集計する。)
		改修後	湿式集塵装置付きディスクグライダーケレン工法、下地調整塗材(C-2)の上 複層塗材E吹付(フッ素系)			改修後	湿式集塵装置付きディスクグライダーケレン工法、下地調整塗材(C-2)の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K1:水洗い K2:高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3:既設のまま		コンクリート打放仕上 塩ビ製(カラー)・豊橋φ100(組み金物:SUS@1200)	
(C)	柱 補強鉄板 巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装(2-UE) (鉄板巻き補強部)	(H)	玄関庇 庇裏	改修前	鋼板製スパンドレル	(M)	屋上 フェンス	改修前	メッシュフェンス撤去(基礎共)	(5) 集水桿 (6) EXP.J	塩ビ製(カラー) アルミ製(屋上-屋上)耐火帯付(1時間耐火)	・外壁クラック補修仕様】 ・1mm以上のひび割れ補修:Uカットシール充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修:自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法 (16本/m ² 、25ml/穴、25本/m ² 、25ml/穴)
		改修後	下地処理RB種の上 DP塗装			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り			改修後	メッシュフェンス新設(基礎共)		アルミ製(屋上-屋上)耐火帯付(1時間耐火)	
(D)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	(I)	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え	(N)	屋上 タラップ	改修前	OP塗り	(7) EXP.J (8) 笠木	アルミ製(壁-壁)耐火帯付(1時間耐火) アルミ笠木W=350	・欠損部改修方法:鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填 【外壁軒天庇裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル(アスベスト含有) ・湿式集塵機付ディスクグライダーケレン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。
		改修後	水洗い			改修後	水洗い			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り		アルミ笠木W=350	
(E)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	(J)	樋	改修前	豊橋:硬質塩ビ管φ100撤去 豊橋:硬質塩ビ管φ114撤去	(O)	屋外階段 (鉄骨造)	改修前	OP塗り	(9) 樋 (10) 樋	アルミ笠木W=350	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング(PU-2)新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EVXP:J部についてはシーリング(MS-2)新設を行う。 ・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。
		改修後	水洗い			改修後	豊橋:硬質塗材E φ100新設 飾り枠:塗装新設			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り		アルミ笠木W=350	



東面 立面図 S=1/200



西面 立面図 S=1/200

※最高の高さは、パラペット天端とする。その他屋上突出部分は棟飾であるため、令2条第6号による高さに算しないものと考



外壁改修工事範囲外を示す

水洗八

■外部改修仕様								■EV棟外壁仕様				■備考		
(A)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	(F)	軒天 庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルシン吹付	(K1)	窓水切	改修前	K1:人研ぎ K2:人研ぎの上、塗膜防水 K3:アルミ	(1) 外壁 (2) 外壁	A L C t=100下地、複層塗材E(フッ素)	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング(PU-2)新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EXP:J部についてはシーリング(MS-2)新設を行う。 ・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。
		改修後	高压洗浄、下地調整塗材(C-1)の上 複層塗材E吹付(フッ素系)			改修後	高压洗浄、下地調整塗材(C-1)の上 外装薄塗材E吹付(フッ素系)							
(B)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル(アスベスト含有)	(G)	軒天 庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルシン吹付(アスベスト含有)	(K2)	窓水切	改修後	K1:水洗い K2:高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3:既設のまま	(3) 巾木 (4) 壁縫	コンクリート打放仕上 塩ビ製(カラー)・壁縫φ100(埋み金物:SUS@1200)	・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。 【施工数量調査】 ・調査項目:クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部 ・調査方法:打診、目視、クラックスケール等 ・報告書:2部(補修方法別に調査数量を集計する。) 【外壁クラック補修仕様】 ・1mm以上のひび割れ補修:リカットシール充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修:自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法 (16本/m ² 、25ml/穴、25本/m ² 、25ml/穴) ・欠損部改修方法:鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填
		改修後	湿式集塵装置付きディスクグライダー工法、下地調整塗材(C-2)の上 複層塗材E吹付(フッ素系)			改修後	湿式集塵装置付きディスクグライダー工法、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3:既設のまま							
(C)	柱 補強鉄板 巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装(2-UE) (鉄板巻き補強部)	(H)	玄関庇 庇裏	改修前	鋼板製スパンドレル	(M)	屋上 フェンス	改修前	メッシュフェンス撤去(基礎共)	(5) 集水桿 (6) EXP.J	塗ビ製(カラー)	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング(PU-2)新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EXP:J部についてはシーリング(MS-2)新設を行う。 ・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。
		改修後	下地処理RB種の上 DP塗装			改修後	下地処理RB種の上DP塗り			改修後	メッシュフェンス新設(基礎共)		アルミ製(屋上-屋上)耐火帯付(1時間耐火)	
(D)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	(I)	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え	(N)	屋上 タラップ	改修前	O P塗り	(7) EXP.J (8) 笠木	アルミ製(壁-壁)耐火帯付(1時間耐火)	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング(PU-2)新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EXP:J部についてはシーリング(MS-2)新設を行う。 ・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。
		改修後	水洗い			改修後	水洗い			改修後	下地処理RB種の上DP塗り		アルミ笠木W=350	
(E)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	(J)	樋	改修前	樋:硬質塗ビ管φ100撤去 飾り枠:塗ビ製撤去	(O)	屋外階段 (鉄骨造)	改修前	O P塗り	(9) 屋外階段 (10) 下地処理RB種の上DP塗り		・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング(PU-2)新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EXP:J部についてはシーリング(MS-2)新設を行う。 ・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。
		改修後	水洗い			改修後	樋:硬質塗ビ管φ100新設 飾り枠:塗ビ製新設			改修後	下地処理RB種の上DP塗り			



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録

1-2134号 製図年月日

2024. 5. 20. | 設

番号 N.

Page 1

Page 1

Page 1

Page 1

備考

Page 1

Page 1

Page 1

Page 1

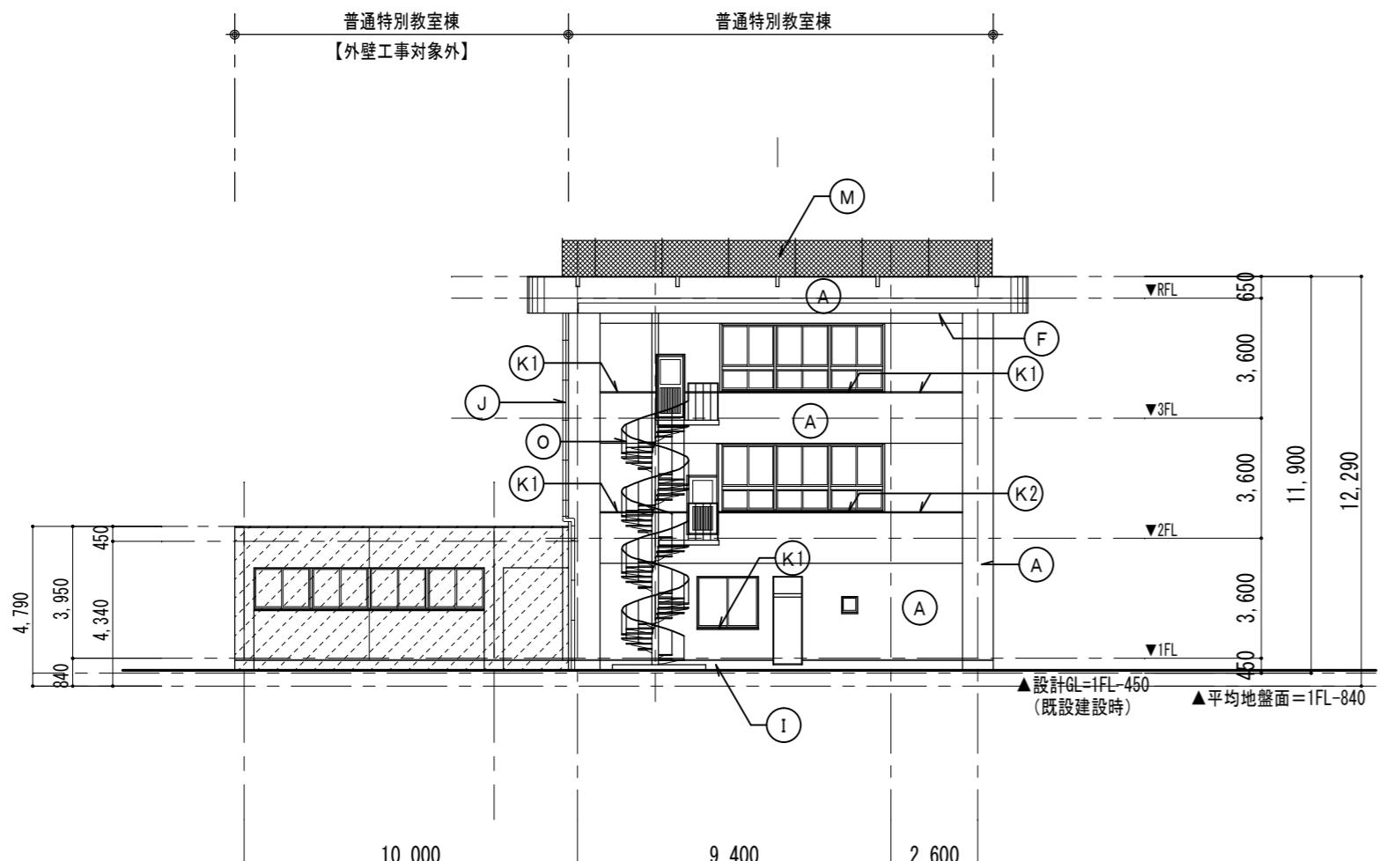
面名称

Page 1

縮尺

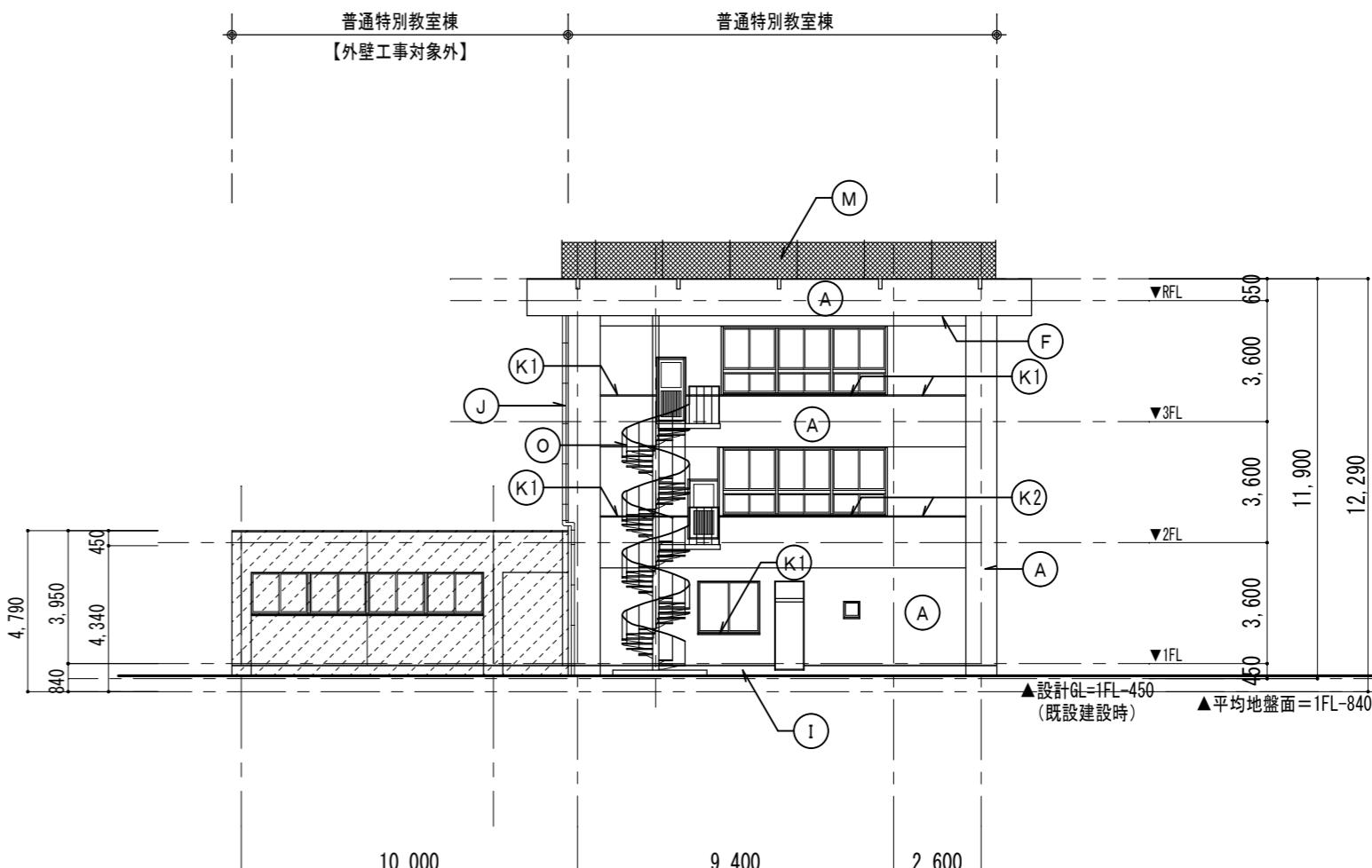
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

改修前



東面立面図 S=1/200

改修後



東面立面図 S=1/200

外壁改修工事範囲外を示す

外壁改修工事範囲内を示す

■外部改修仕様

(A)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	(F)	軒天 庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付	(K1) (K2) (K3)	窓水切	改修前	K1: 人研ぎ K2: 人研ぎの上、塗膜防水 K3: アルミ	(1) (2)	外壁	A L C t=100下地、複層塗材E(ワケ素)	■備考
		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材(C-1)の上 複層塗材E吹付(ワッカ系)			改修後	高圧洗浄、下地調整塗材(C-1)の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K1: 水洗い K2: 高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3: 既設のまま			コンクリート t=120打ち、モルタル金こて 複層塗材E(ワケ素)	
(B)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル(アスベスト含有)	(G)	軒天 庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付(アスベスト含有)	(K1) (K2) (K3)	窓水切	改修後	K1: 水洗い K2: 高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3: 既設のまま	(3) (4)	巾木	コンクリート打放し上	■施工数調査】 ・外壁目地部は、シーリング(PU-2)新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EXP: J部については下地調整RB種の上D P塗りとする。 【施工数調査】 ・調査項目: クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部 ・調査方法: 打診、目視、クラックスケール等 ・報告書: 2部(補修方法別に調査数量を集計する。)
		改修後	湿式集塵装置付きスケーリング・ケレン工法、下地調整塗材(C-2)の上 複層塗材E吹付(ワッカ系)			改修後	湿式集塵装置付きスケーリング・ケレン工法、下地調整塗材(C-2)の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K1: 水洗い K2: 高圧洗浄、下地調整剤(C-1)の上、自閉樹脂塗膜防水 K3: 既設のまま			コンクリート打放し上	
(C)	柱 補強鉄板 巻き部	改修前	ポリウレタンエマル塗装(2-U) (鉄板巻き補強部)	(H)	玄関庇 庇裏	改修前	鋼板製スパンドレル	(M)	屋上 フェンス	改修前	メッシュフェンス撤去(基礎共)	(5) (6)	集水枠	塩ビ製(カラー)	■備考
		改修後	下地処理RB種の上 D P塗装			改修後	下地処理RB種の上 D P塗装			改修後	メッシュフェンス新設(基礎共)			EXP.J アルミ製(屋上-屋上)耐火帯付(1時間耐火)	
(D)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	(I)	巾木	改修前	モルタル塗りにて押え	(N)	屋上 タラップ	改修前	O P塗り	(7) (8)	笠木	アルミ製(壁-壁)耐火帯付(1時間耐火)	■施工数調査】 ・1mm以上のひび割れ補修: Uカットシール充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修: 自動式低圧エボキシ樹脂注入工法 ・欠損部改修方法: 鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填 【外壁軒天庇裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル(アスベスト含有) ・湿式集塵機付ディスクグラインダーケレン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。
		改修後	水洗い			改修後	水洗い			改修後	下地処理RB種の上 D P塗り			アルミ笠木 W=350	
(E)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	(J)	樋	改修前	樋: 硬質塩ビ管 φ100撤去 飾り枠: 塩ビ製撤去	(O)	屋外階段 (鉄骨造)	改修前	O P塗り				■備考
		改修後	水洗い			改修後	樋: 硬質塩ビ管 φ100新設 飾り枠: 塩ビ製新設			改修後	下地処理RB種の上 D P塗り				



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正 . . .

設計番号 N o

備考

図面名称

縮尺

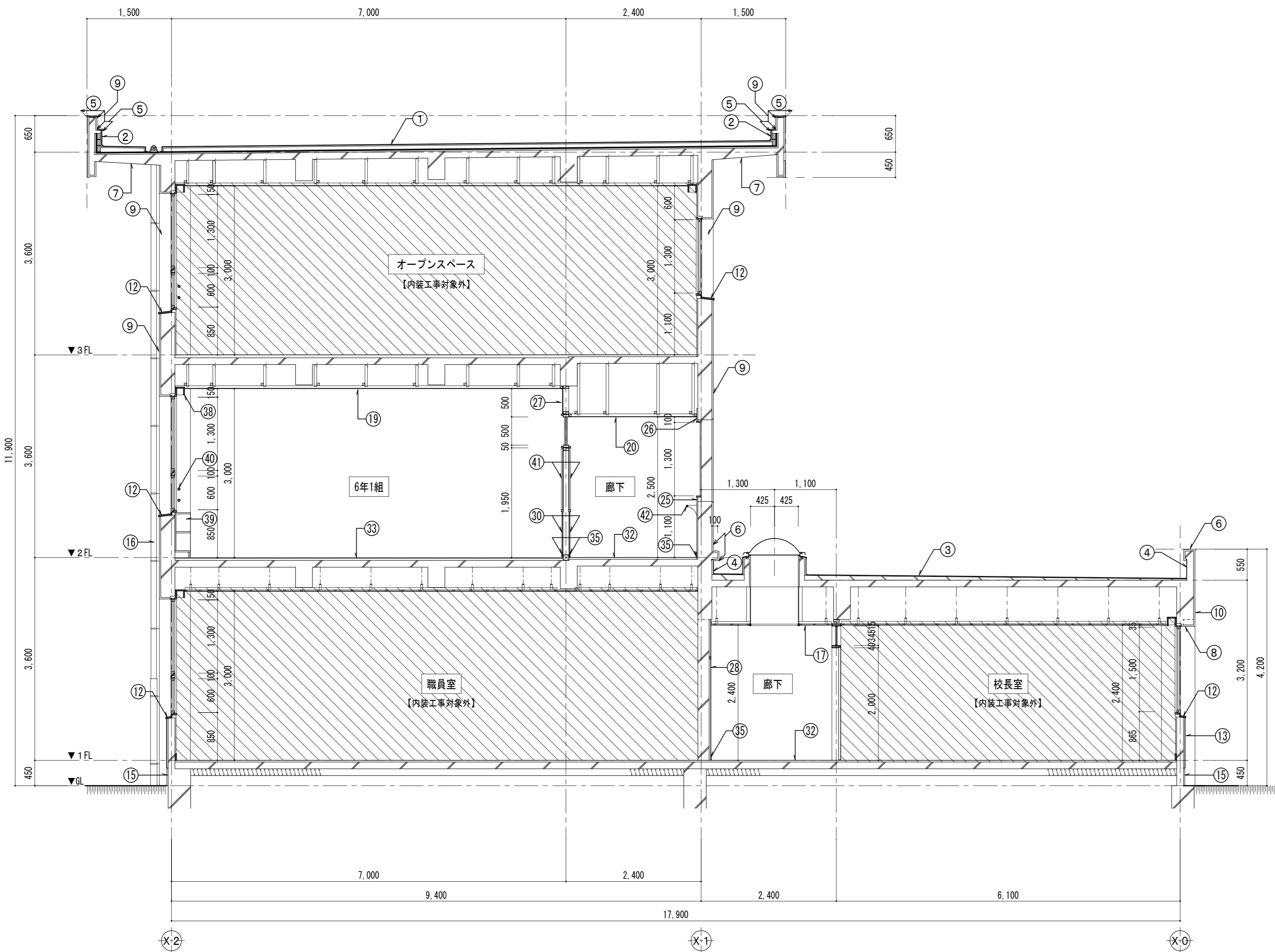
図面 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

東立面図 【改修前・後】 S=1/200 (A3:1/282)

A-050
原図: A 2

改修前



■ 既設仕上・撤去・調整事項

1	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
2	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
3	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
4	立上り：既設シート防水	【撤去】
5	パラベット笠木：塗布防水	
6	パラベット笠木：防水モルタル	
7	軒裏：アクリルリシン吹付	
8	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
9	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
10	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
11	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
12	窓水切り：人研ぎ	
13	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
14	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
15	巾木：モルタル塗りこて押え	
16	堅縫：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
17	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
18	天井：吸音テックス 厚9 張り	
19	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
20	天井：PB 厚9 目透かし張り E P 塗	
21	天井：PB 厚9 目透かし張り E P 塗	【撤去】
22	天井：モルタル塗り E P 塗	【既設のまま】
23	天井：アクリルリシン吹付	【既設のまま】
24	階段段：モルタル 金こて仕上 E P 塗り	
25	壁：モルタル金こて仕上 E P 塗り	
26	壁：RC下地、プラスター塗り	
27	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
28	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り S O P	
29	壁：モルタル金こて仕上 V P 塗り	
30	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗り V P	
31	腰壁：RC下地、モルタル塗り V P	
32	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
33	床：ナラフローリングブロックO SW	【既設のまま】
34	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
35	巾木：木製 S O P 塗り	
36	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
37	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
38	木製カーテンB O X	【既設のまま】
39	木製収納家具	【既設のまま】
40	転落防止手摺：G P 3 O A V P 塗り	【既設のまま】
41	掲示板	
42	笠掛け金物：G P 2 O A V P 塗り	
43	木製建具（枠共）	【撤去】
44	—	
45	—	



類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号

TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

製図年月日 2024. 5. 20.

設計番号 N o

備考

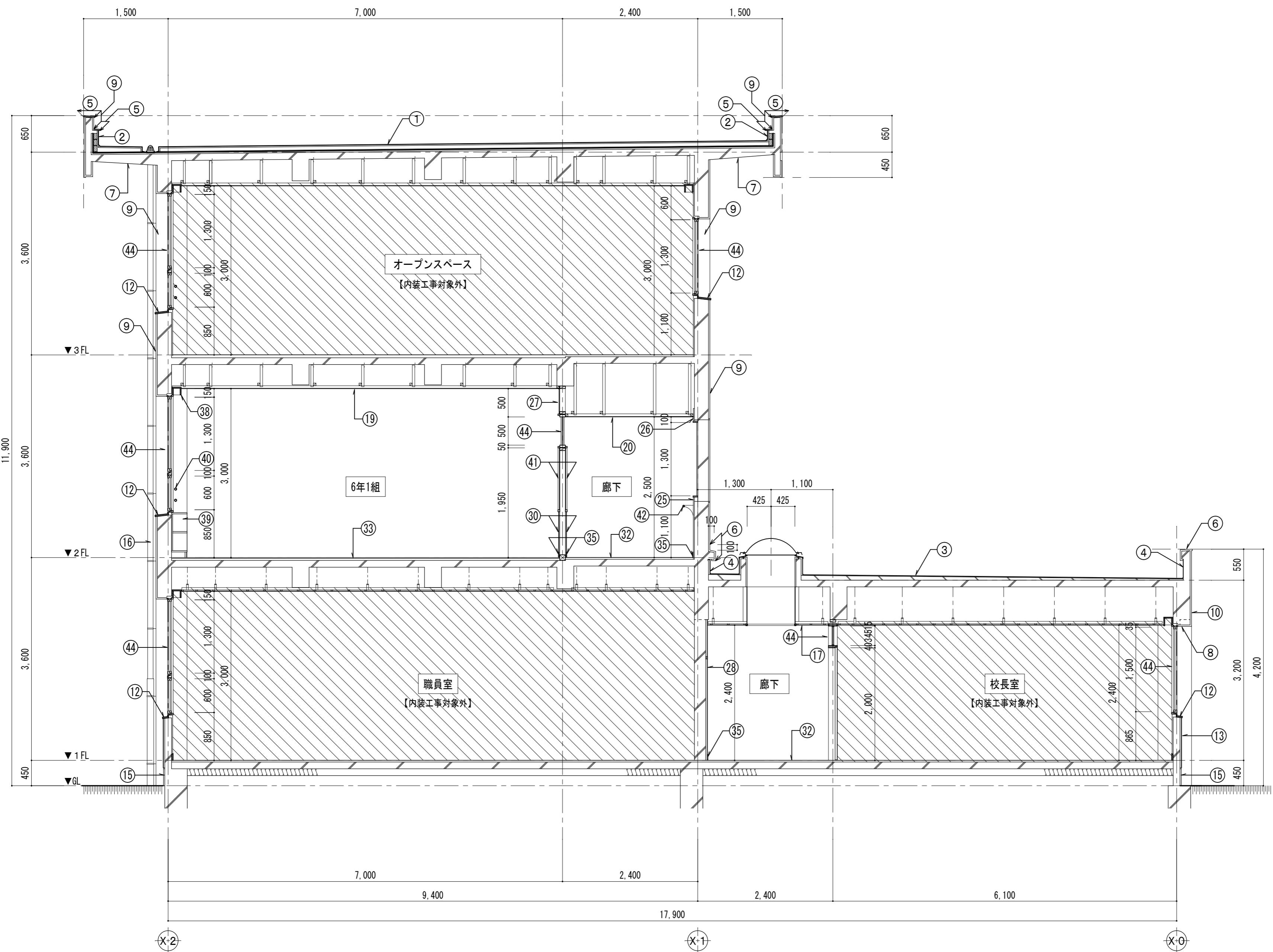
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

図面名称 縮尺

図面 No
A-051
原図：A 2

断面詳細図 1 (改修前) S=1/50

改修後



■ 改修事項

- ① 平場 : X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ② 立上り : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ③ 平場 : 断熱機械固定工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ④ 立上り : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ⑤ パラペット笠木 : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ⑥ パラペット笠木 : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- 軒裏 : 高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上
外装薄塗材E吹付
- 軒裏 : 湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、
下地調整塗材 (C-2) の上、外装薄塗材E吹付
- 外壁・柱・庇 : 高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上
複層塗材E吹付 (フッ素系)
- 外壁・柱 : 湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、
下地調整塗材 (C-2) の上、複層塗材E吹付 (フッ素系)
- 柱 (鉄板巻き部) : 下地処理RB種の上、D.P塗装
<既設>柱 (鉄板巻き部)
- 窓水切り : 水洗い
<既設>人研ぎ
- 腰壁 : 水洗い
<既設>カラコンモザイクタイル貼り
- 腰壁 : カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル
<既設>カラコンモザイクタイル貼り
- 巾木 : 水洗い
<既設>モルタル塗りこて押え
- 堅縫 : 硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共 【新設】
- 天井 : 化粧PB 厚9.5 張り
<既設> L.G.S 下地 【新設】
- 天井 : 下地処理RC種の上 E.P塗り
<既設>吸音テックス 厚9 張り
- 天井 : 化粧PB 厚9.5 張り 【既設のまま】
- 天井 : 下地処理RC種の上 E.P塗り
<既設> PB 厚9 目透かし張り
- 天井 : PB 厚9 目透かし張り E.P塗 【新設】
- 天井 : モルタル塗り E.P塗 【既設のまま】
- 天井 : アクリルリシン吹付 【既設のまま】
- 階段裏 : 下地調整RB種の上 E.P塗り
<既設>モルタル 金こて仕上 E.P塗り
- 壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- 壁 : プラスター一面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- 壁 : プラスター一面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- 壁 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- 壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- 腰壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- 床 : 長尺シート貼り 【既設のまま】
- 床 : ナラフローリングブロックOSW 【既設のまま】
- 階段床 : モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
- 木製巾木 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- 巾木 : 人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
- 巾木 : 人研ぎ 【既設のまま】
- 木製カーテンBOX 【既設のまま】
- 木製収納家具 【既設のまま】
- 転落防止手摺 : G.P 30A V.P塗り 【既設のまま】
- 掲示板シート張替え (破損箇所がある場合は全面張替え)
- 笠掛け金物 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- 鋼製建具 (防火設備) 新設 【新設】
- 飛散防止フィルム貼り
- 軒裏 : 断熱機械固定工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- 立上り : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- 平場 : X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- 柱 (鉄板巻き部) : 下地処理RB種の上、D.P塗装
<既設>柱 (鉄板巻き部)
- 窓水切り : 水洗い
<既設>人研ぎ
- 腰壁 : 水洗い
<既設>カラコンモザイクタイル貼り
- 腰壁 : カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル
<既設>カラコンモザイクタイル貼り
- 巾木 : 水洗い
<既設>モルタル塗りこて押え
- 堅縫 : 硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共 【新設】
- 天井 : 化粧PB 厚9.5 張り
<既設> L.G.S 下地 【新設】
- 天井 : 下地処理RC種の上 E.P塗り
<既設>吸音テックス 厚9 張り
- 天井 : 化粧PB 厚9.5 張り 【既設のまま】
- 天井 : 下地処理RC種の上 E.P塗り
<既設> PB 厚9 目透かし張り
- 天井 : PB 厚9 目透かし張り E.P塗 【新設】
- 天井 : モルタル塗り E.P塗 【既設のまま】
- 天井 : アクリルリシン吹付 【既設のまま】
- 階段裏 : 下地調整RB種の上 E.P塗り
<既設>モルタル 金こて仕上 E.P塗り
- 壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- 壁 : プラスター一面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- 壁 : プラスター一面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- 壁 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- 壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- 腰壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- 床 : 長尺シート貼り 【既設のまま】
- 床 : ナラフローリングブロックOSW 【既設のまま】
- 階段床 : モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
- 木製巾木 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- 巾木 : 人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
- 巾木 : 人研ぎ 【既設のまま】
- 木製カーテンBOX 【既設のまま】
- 木製収納家具 【既設のまま】
- 転落防止手摺 : G.P 30A V.P塗り 【既設のまま】
- 掲示板シート張替え (破損箇所がある場合は全面張替え)
- 笠掛け金物 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- 鋼製建具 (防火設備) 新設 【新設】
- 飛散防止フィルム貼り



類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号

TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

製図年月日 2024. 5. 20.

設計番号 N°

備考

図面名称

縮尺

断面詳細図1 (改修後)

S=1/50

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

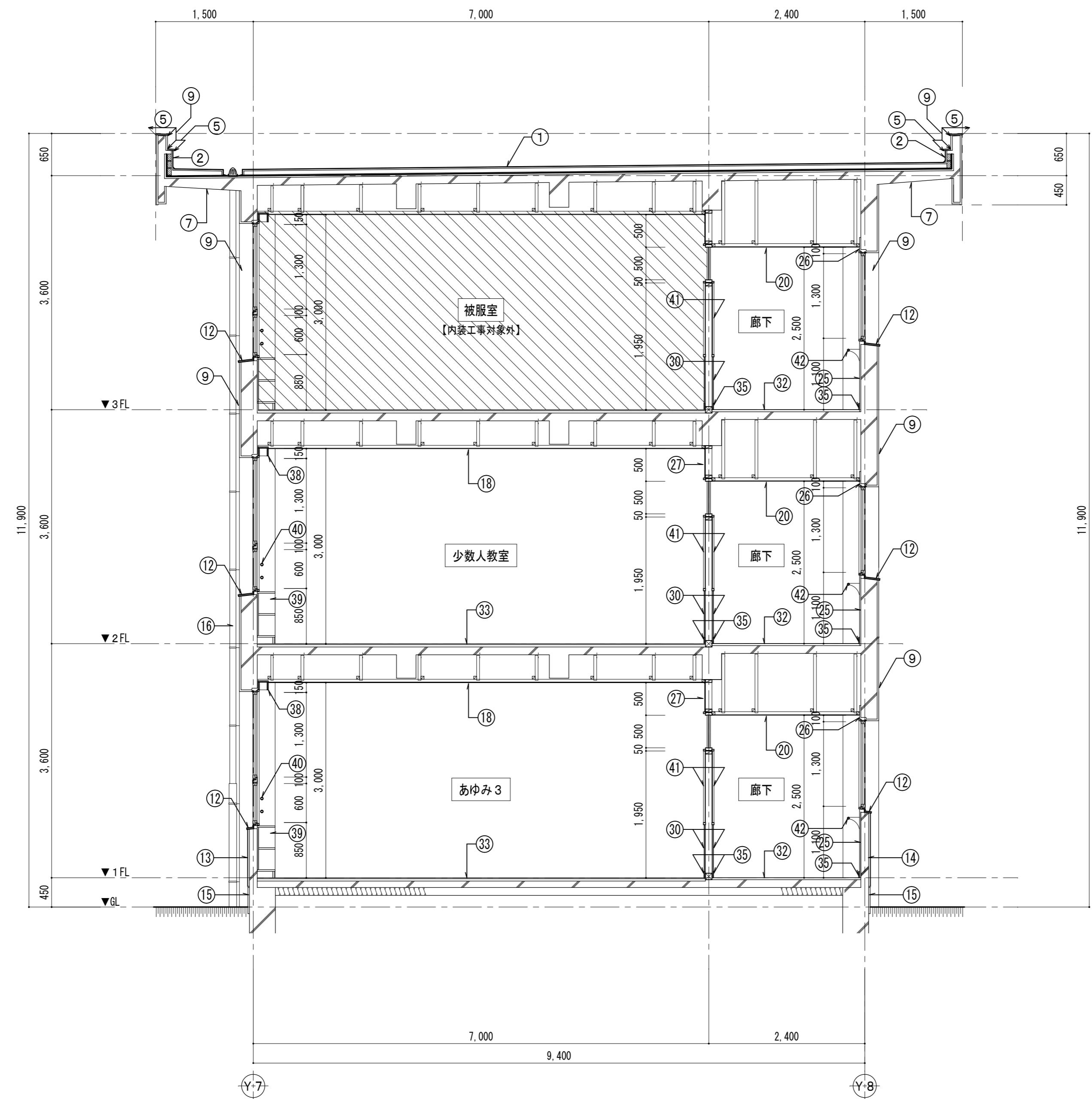
.

.

.

.

改修前



■ 既設仕上・撤去・調整事項

(1)	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
(2)	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
(3)	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
(4)	立上り：既設シート防水	【撤去】
(5)	パラベット笠木：塗布防水	
(6)	パラベット笠木：防水モルタル	
(7)	軒裏：アクリルシン吹付	
(8)	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
(9)	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
(10)	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
(11)	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
(12)	窓水切り：人研ぎ	
(13)	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
(14)	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
(15)	巾木：モルタル塗りこて押え	
(16)	堅縫：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
(17)	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
(18)	天井：吸音テックス 厚9 張り	
(19)	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
(20)	天井：PB 厚9 目透かし張り E P 塗	
(21)	天井：PB 厚9 目透かし張り E P 塗	【撤去】
(22)	天井：モルタル塗り E P 塗	【既設のまま】
(23)	天井：アクリルシン吹付	【既設のまま】
(24)	階段段：モルタル 金こて仕上 E P 塗り	
(25)	壁：モルタル金こて仕上 E P 塗り	
(26)	壁：RC下地、プラスター塗り	
(27)	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
(28)	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り S O P	
(29)	壁：モルタル金こて仕上 V P 塗り	
(30)	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗り V P	
(31)	腰壁：RC下地、モルタル塗り V P	
(32)	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
(33)	床：ナラフローリングブロックO SW	【既設のまま】
(34)	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
(35)	巾木：木製 S O P 塗り	
(36)	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
(37)	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
(38)	木製カーテンB O X	【既設のまま】
(39)	木製収納家具	【既設のまま】
(40)	転落防止手摺：G P 3 O A V P 塗り	【既設のまま】
(41)	掲示板	
(42)	笠掛け金物：G P 2 O A V P 塗り	
(43)	木製建具（枠共）	【撤去】
(44)	—	
(45)	—	



設計監理類建築設計事務所

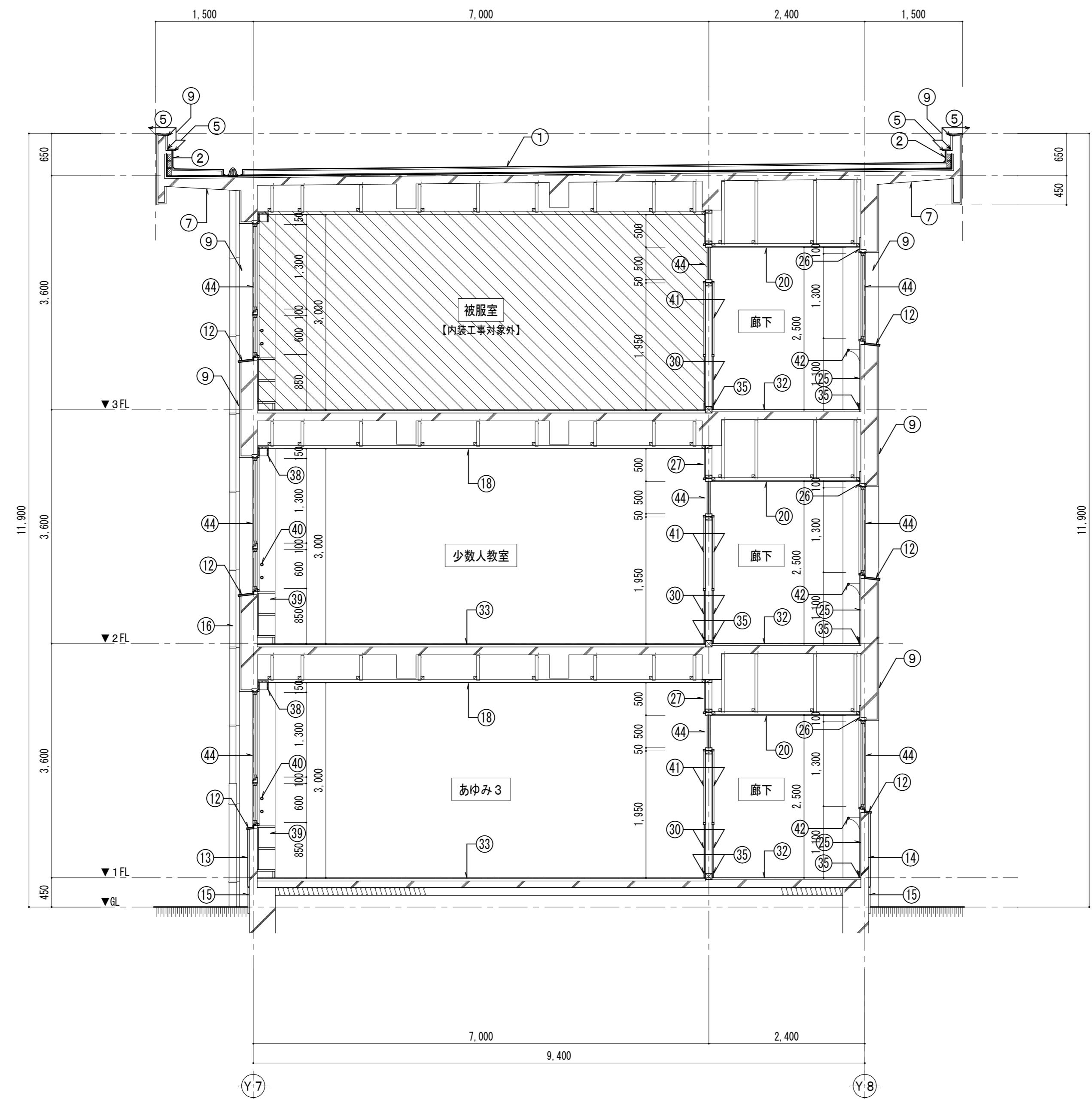
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

管理建築士	設計者	変更・訂正
一級建築士 第306854号	一級建築士 第306854号	

管理建築士	設計者	変更・訂正
田中 召剛	田中 召剛	

設計番号 N o			備考	図面名稱	縮尺	図面 No
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事				断面詳細図2(改修前)	S=1/50	A-053
						原図:A 2

改修後



■ 改修事項

- ① 平場 : X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ② 立上り : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ③ 平場 : 断熱機械固定工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ④ 立上り : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ⑤ パラペット笠木 : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ⑥ パラペット笠木 : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- ⑦ 軒裏 : 高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上
外装薄塗材吹付
- ⑧ 軒裏 : 湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、
下地調整塗材 (C-2) の上、外装薄塗材 E吹付
- ⑨ 外壁・柱・庇 : 高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上
複層塗材 E吹付 (フッ素系)
- ⑩ 外壁・柱 : 湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、
下地調整塗材 (C-2) の上、複層塗材 E吹付 (フッ素系)
- ⑪ 柱 (鉄板巻き部) : 下地処理RB種の上、D.P塗装
<既設>柱 (鉄板巻き部)
- ⑫ 窓水切り : 水洗い
<既設>人研ぎ
- ⑬ 腰壁 : 水洗い
<既設>カラコンモザイクタイル貼り
- ⑭ 腰壁 : カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル
<既設>カラコンモザイクタイル貼り
- ⑮ 巾木 : 水洗い
<既設>モルタル塗りこて押え
- ⑯ 壁縫 : 硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共 【新設】
- ⑰ 天井 : 化粧PB 厚9.5 張り
<既設>L.G.S下地 【新設】
- ⑲ 天井 : 化粧PB 厚9.5 張り 【既設のまま】
- ⑳ 天井 : 下地処理RC種の上 E.P塗り
<既設>PB 厚9 目透かし張り
- ㉑ 天井 : PB 厚9 目透かし張り E.P塗 【新設】
- ㉒ 天井 : モルタル塗り E.P塗 【既設のまま】
- ㉓ 天井 : アクリルリシン吹付 【既設のまま】
- ㉔ 階段裏 : 下地調整RB種の上 E.P塗り
<既設>モルタル 金こて仕上 E.P塗り
- ㉕ 壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- ㉖ 壁 : ブラスター面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- ㉗ 壁 : ブラスター面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- ㉘ 壁 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- ㉙ 壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- ㉚ 腰壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- ㉛ 腰壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- ㉜ 床 : 長尺シート貼り 【既設のまま】
- ㉝ 床 : ナラフローリングブロックOSW 【既設のまま】
- ㉞ 階段床 : モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
- ㉟ 木製巾木 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- ㉟ 巾木 : 人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
- ㉞ 巾木 : 人研ぎ 【既設のまま】
- ㉞ 木製カーテンBOX 【既設のまま】
- ㉞ 木製収納家具 【既設のまま】
- ㉞ 転落防止手摺 : G.P30A V.P塗り 【既設のまま】
- ㉞ 揭示板シート張替え (破損箇所がある場合は全面張替え)
- ㉞ 笠掛け金物 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- ㉞ 鋼製建具 (防火設備) 新設 【新設】
- ㉞ 飛散防止フィルム貼り
- ㉞ —



監理 類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

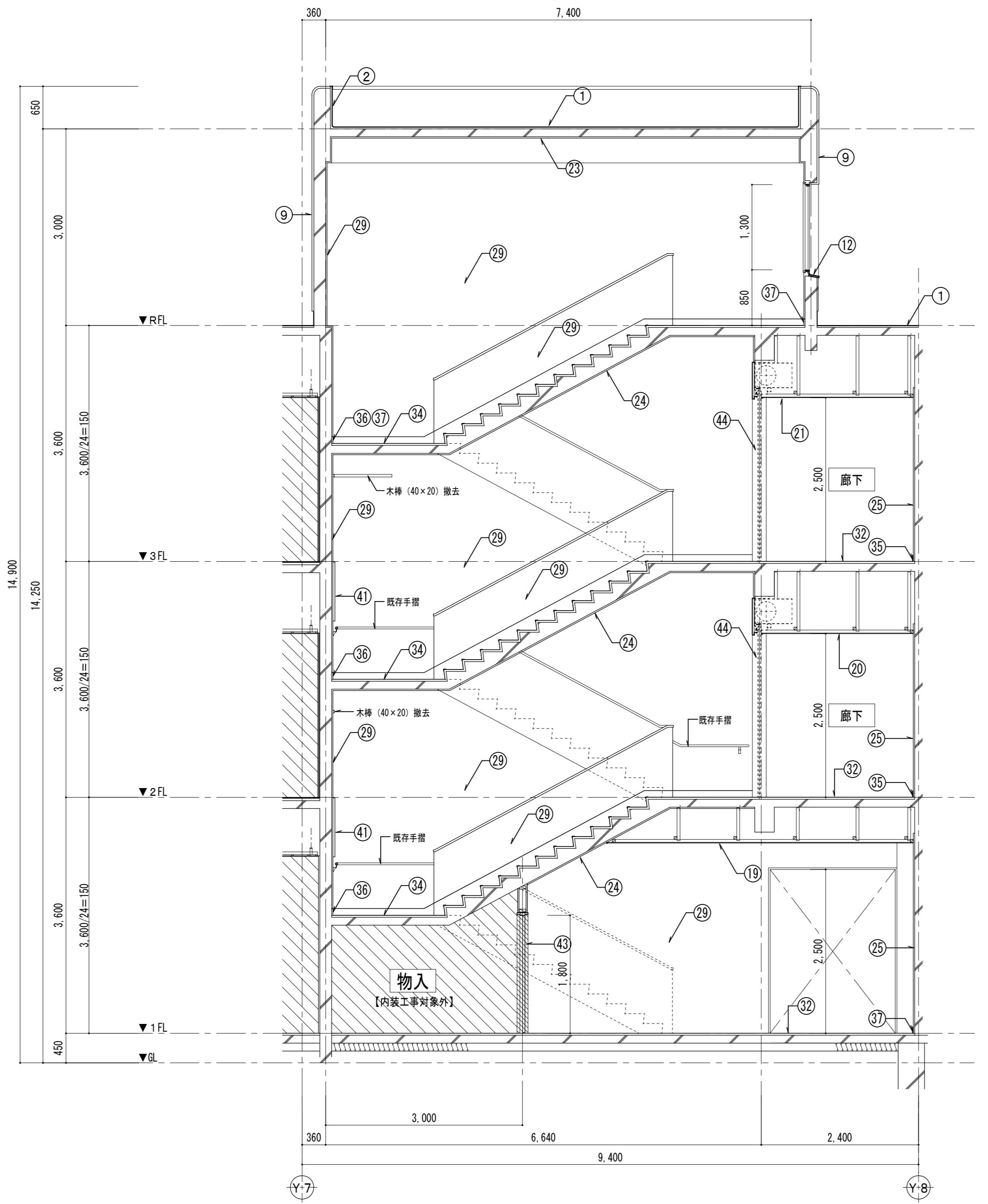
管理建築士	設計者	変更・訂正
一級建築士 第306854号	一級建築士 第306854号	

変更・訂正

設計番号 N°	備考	図面名	縮尺	図面 No
		断面詳細図2(改修後)	S=1/50	
				A-054
				原図:A2

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

改修前



■ 既設仕上 撤去・調整事項

- | | | |
|----|------------------------------|---------|
| 1 | 平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有） | 【撤去】 |
| 2 | 立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有） | 【撤去】 |
| 3 | 平場：既設シート防水（平面：断熱工法） | 【撤去】 |
| 4 | 立上り：既設シート防水 | 【撤去】 |
| 5 | パラペット笠木：塗布防水 | |
| 6 | パラペット笠木：防水モルタル | |
| 7 | 軒裏：アクリルリシン吹付 | |
| 8 | 軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有） | |
| 9 | 外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル | |
| 10 | 外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有） | |
| 11 | 柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE） | |
| 12 | 窓水切り：人研ぎ | |
| 13 | 腰壁：カラコンモザイクタイル貼り | |
| 14 | 腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル | |
| 15 | 巾木：モルタル塗りこて押え | |
| 16 | 堅樋：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125 | 【撤去】 |
| 17 | 天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付 | 【撤去】 |
| 18 | 天井：吸音テックス 厚9 張り | |
| 19 | 天井：化粧PB 厚9.5 張り | 【既設のまま】 |
| 20 | 天井：PB 厚9 目透かし張り E P 塗 | |
| 21 | 天井：PB 厚9 目透かし張り E P 塗 | 【撤去】 |
| 22 | 天井：モルタル塗り E P 塗 | 【既設のまま】 |
| 23 | 天井：アクリルリシン吹付 | 【既設のまま】 |
| 24 | 階段裏：モルタル 金こて仕上 E P 塗り | |
| 25 | 壁：モルタル金こて仕上 E P 塗り | |
| 26 | 壁：R C下地、プラスター塗り | |
| 27 | 壁：ラスボード下地、プラスター塗り | |
| 28 | 壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り S O P | |
| 29 | 壁：モルタル金こて仕上 V P 塗り | |
| 30 | 腰壁：ラスボード下地、モルタル塗りV P | |
| 31 | 腰壁：R C下地、モルタル塗りV P | |
| 32 | 床：長尺シート貼り | 【既設のまま】 |
| 33 | 床：ナラフローリングブロックO S W | 【既設のまま】 |
| 34 | 階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り | 【既設のまま】 |
| 35 | 巾木：木製 S O P 塗り | |
| 36 | 巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り | 【既設のまま】 |
| 37 | 巾木：人研ぎ | 【既設のまま】 |
| 38 | 木製カーテンB O X | 【既設のまま】 |
| 39 | 木製収納家具 | 【既設のまま】 |
| 40 | 転落防止手摺：G P 3 O A V P 塗り | 【既設のまま】 |
| 41 | 掲示板 | 【一時撤去】 |
| 42 | 笠掛け金物：G P 2 O A V P 塗り | |
| 43 | 木製建具（枠共） | 【撤去】 |
| 44 | 建具鉄鋼面：O P 塗 | |
| 45 | — | |

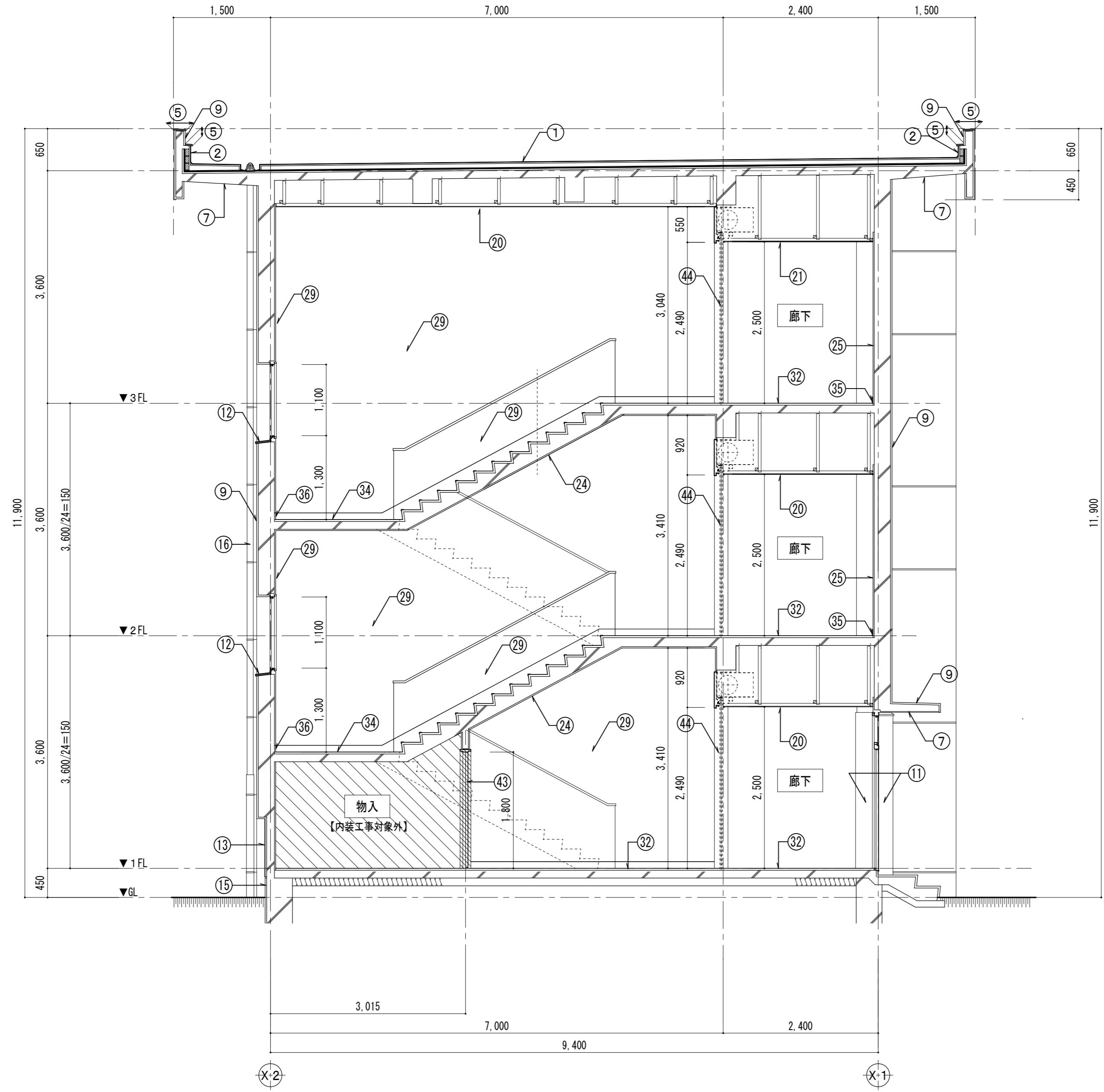


設計監理類建築設計事務所

	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N○
管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .	
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛					津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考	図面名称	縮尺	図面 No
	断面詳細図 3 (改修前)	S=1/50	A-055
		.	
		.	
		.	

改修前



■ 既設仕上 撤去・調整事項		
1	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
2	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
3	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
4	立上り：既設シート防水	【撤去】
5	パラペット笠木：塗布防水	
6	パラペット笠木：防水モルタル	
7	軒裏：アクリルリシン吹付	
8	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
9	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
10	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
11	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
12	窓水切り：人研ぎ	
13	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
14	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
15	巾木：モルタル塗りこて押え	
16	豎樋：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
17	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
18	天井：吸音テックス 厚9 張り	
19	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
20	天井：PB 厚9 目透かし張り E P 塗	
21	天井：PB 厚9 目透かし張り E P 塗	【撤去】
22	天井：モルタル塗り E P 塗	【既設のまま】
23	天井：アクリルリシン吹付	【既設のまま】
24	階段裏：モルタル 金こて仕上 E P 塗り	
25	壁：モルタル金こて仕上 E P 塗り	
26	壁：RC下地、プラスター塗り	
27	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
28	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り S O P	
29	壁：モルタル金こて仕上 V P 塗り	
30	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗りV P	
31	腰壁：RC下地、モルタル塗りV P	
32	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
33	床：ナラフローリングブロックO SW	【既設のまま】
34	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
35	巾木：木製 S O P 塗り	
36	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
37	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
38	木製カーテンBOX	【既設のまま】
39	木製収納家具	【既設のまま】
40	転落防止手摺：GP30A VP塗り	【既設のまま】
41	掲示板	
42	笠掛け金物：GP20A VP塗り	
43	木製建具（枠共）	【撤去】
44	建具鉄鋼面：O P 塗	
45	—	



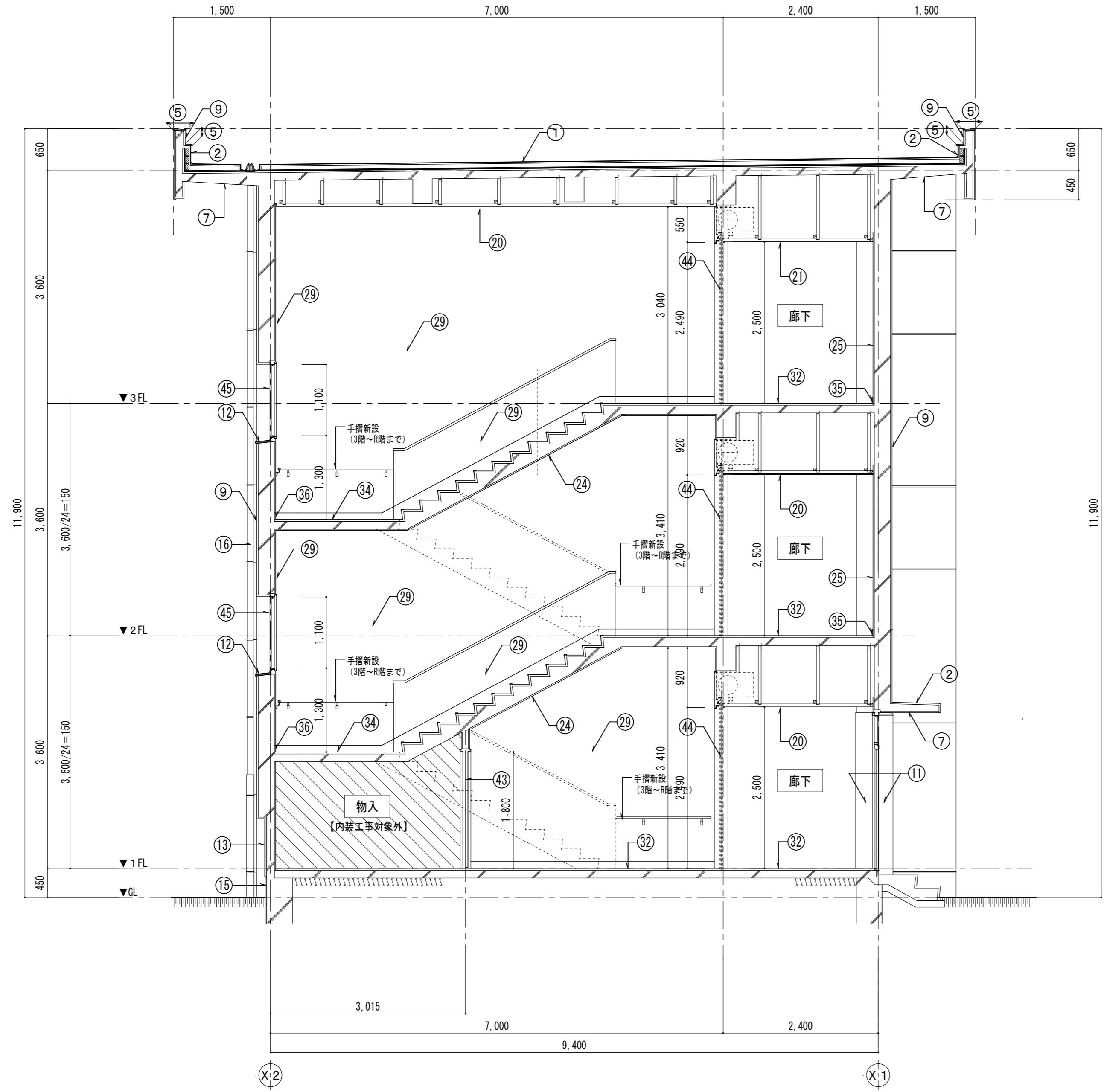
設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N○
管理建築士	設計者			変更・訂正	.
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			.	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

図面名称	縮尺	図面 No
断面詳細図 4 (改修前)	S=1/50	A-057
.	.	
.	.	
.	.	原図 : A 2

改修後



■ 改修事項

- (1) 平場 : X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- (2) 立上り : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- (3) 平場 : 断熱機械固定工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- (4) 立上り : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- (5) パラペット笠木 : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- (6) パラペット笠木 : X-2 密着工法 ウレタンゴム系 (上塗材フッ素)
- (7) 軒裏 : 高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 外装薄塗材E吹付
- (8) 軒裏 : 湿式集塵機付きテイスクグライング-ケル工法、下地調整塗材 (C-2) 、外装薄塗材E吹付
- (9) 外壁・柱・庇 : 高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 複層塗材E吹付 (フッ素系)
- (10) 外壁・柱 : 湿式集塵機付きテイスクグライング-ケル工法、下地調整塗材 (C-2) の上、複層塗材E吹付 (フッ素系)
- (11) 柱 (鉄板巻き部) : 下地処理RB種の上、D.P塗装 <既設>柱 (鉄板巻き部)
- (12) 窓水切り : 水洗い <既設>人研ぎ
- (13) 腰壁 : 水洗い <既設>カラコンモザイクタイル貼り
- (14) 腰壁 : カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル <既設>カラコンモザイクタイル貼り
- (15) 巾木 : 水洗い <既設>モルタル塗りこて押え
- (16) 壁 : 硬質塩ビ管 ø100、飾り樹共 【新設】
- (17) 天井 : 化粧PB 厚9.5 張り <既設>L.G.S下地 【新設】
- (18) 天井 : 下地処理RC種の上 E.P塗り <既設>吸音テックス 厚9 張り
- (19) 天井 : 化粧PB 厚9.5 張り 【既設のまま】
- (20) 天井 : 下地処理RC種の上 E.P塗り <既設>PB 厚9 目透かし張り
- (21) 天井 : PB 厚9 目透かし張り E.P塗 【新設】
- (22) 天井 : モルタル塗り E.P塗 【既設のまま】
- (23) 天井 : アクリリシン吹付 【既設のまま】
- (24) 階段裏:下地処理RB種の上 E.P塗り <既設>モルタル 金こて仕上 E.P塗り
- (25) 壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- (26) 壁 : ブラスター面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- (27) 壁 : ブラスター面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- (28) 壁 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- (29) 壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- (30) 腰壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- (31) 腰壁 : モルタル面、下地処理RB種の上 E.P塗り
- (32) 床 : 長尺シート貼り 【既設のまま】
- (33) 床 : ナラフローリングブロックOSW 【既設のまま】
- (34) 階段床 : モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
- (35) 木製巾木 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- (36) 巾木 : 人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
- (37) 巾木 : 人研ぎ 【既設のまま】
- (38) 木製カーテンBOX 【既設のまま】
- (39) 木製収納家具 【既設のまま】
- (40) 転落防止手摺 : G.P30A V.P塗り 【既設のまま】
- (41) 揭示板シート張替え (破損箇所がある場合は全面張替え)
- (42) 笠掛け金物 : 下地処理RB種の上 E.P-G塗り
- (43) 鋼製建具 (防火設備) 新設 【新設】
- (44) 建具鋼製面 : 下地調整RB種の上 E.P-G塗り
- (45) 飛散防止フィルム貼り



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

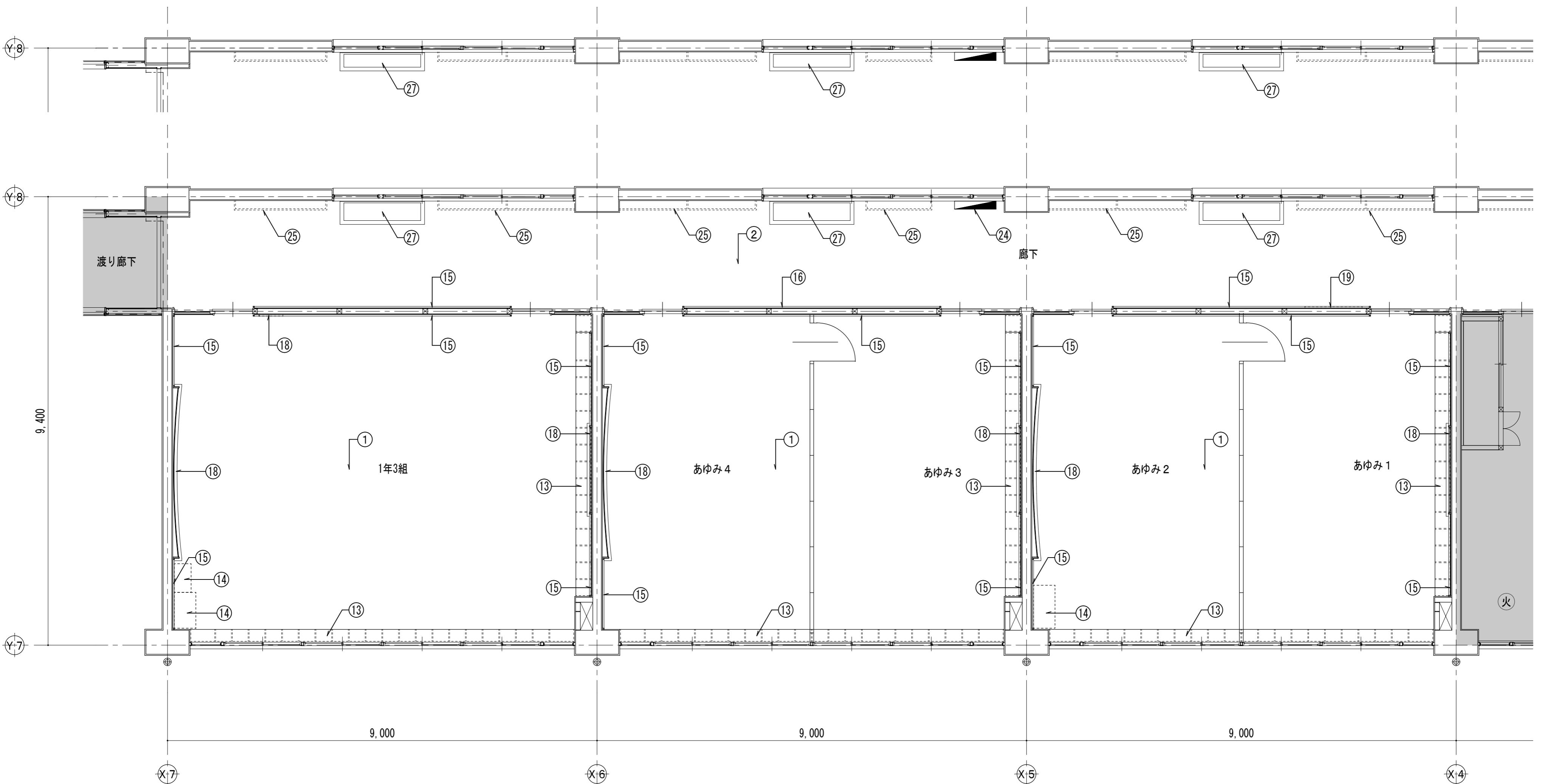
一級建築士事務所	三重県知事登録 1-2134号	製図年月日	2024. 5. 20.	設計番号 N°	備考
管理建築士	設計者	変更・訂正	.	.	

一級建築士 第306854号	一級建築士 第306854号			
田中 召剛	田中 召剛			

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

断面詳細図4(改修後)	S=1/50
.	.
.	.
.	.

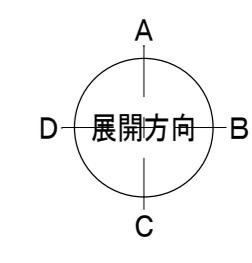
図面 No
A-058
原図: A 2



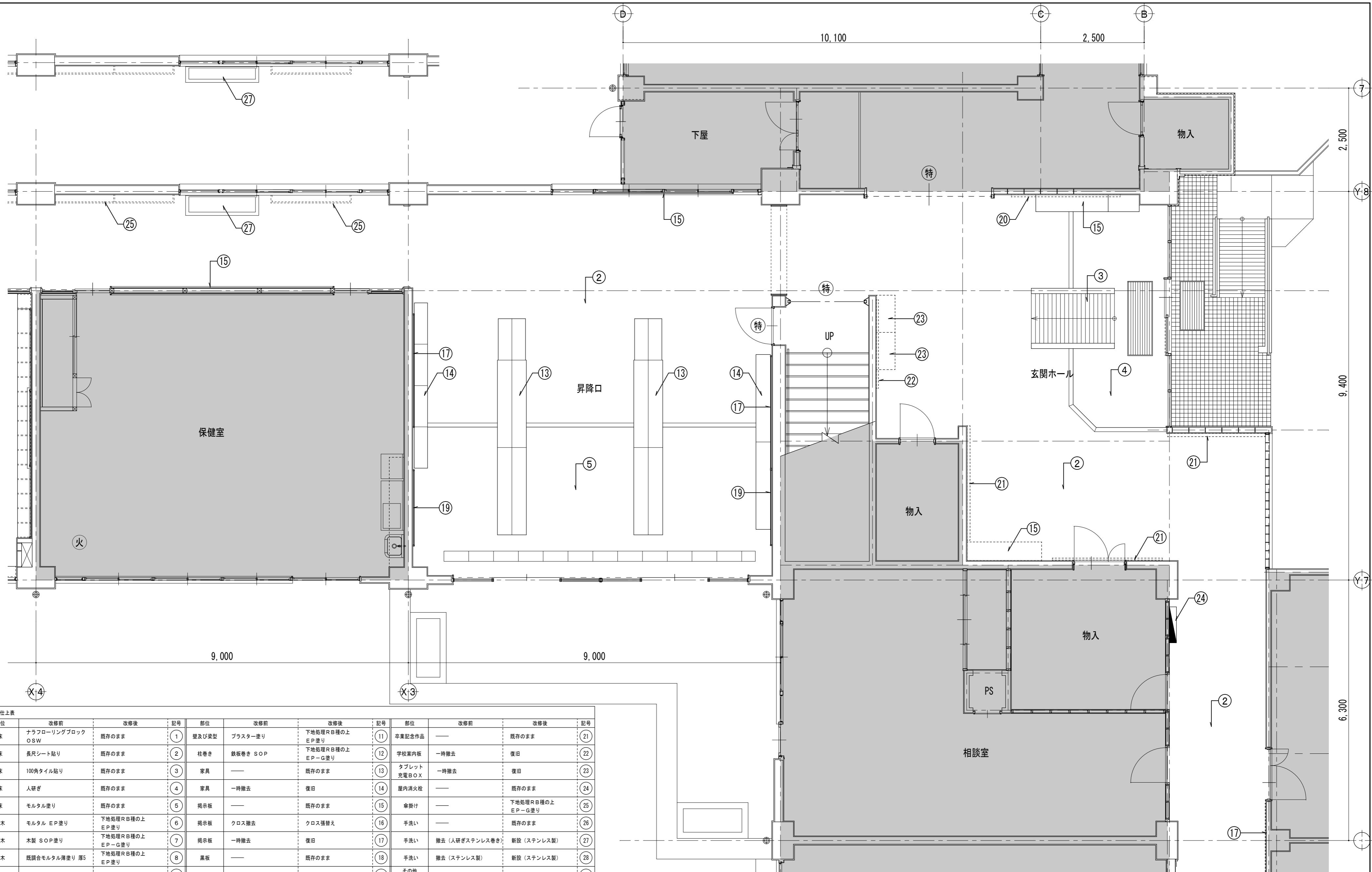
■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	(1)	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理 RB種の上 EP塗り	(11)	卒業記念作品	—	既存のまま	(21)
床	長尺シート貼り	既存のまま	(2)	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理 RB種の上 EP-G塗り	(12)	学校案内板	一時撤去	復旧	(22)
床	100角タイル貼り	既存のまま	(3)	家具	—	既存のまま	(13)	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	(23)
床	人研ぎ	既存のまま	(4)	家具	一時撤去	復旧	(14)	屋内消火栓	—	既存のまま	(24)
床	モルタル塗り	既存のまま	(5)	掲示板	—	既存のまま	(15)	傘掛け	—	下地処理 RB種の上 EP-G塗り	(25)
巾木	モルタル EP塗り	下地処理 RB種の上 EP塗り	(6)	掲示板	クロス撤去	クロス替え	(16)	手洗い	ステンレス製	既存のまま	(26)
巾木	木製 SOP塗り	下地処理 RB種の上 EP-G塗り	(7)	掲示板	一時撤去	復旧	(17)	手洗い	撤去(人研ぎステンレス巻き)	新設(ステンレス製)	(27)
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理 RB種の上 EP塗り	(8)	黒板	—	既存のまま	(18)	手洗い	撤去(ステンレス製)	新設(ステンレス製)	(28)
巾木	人研ぎ	既存のまま	(9)	黒板	一時撤去	復旧	(19)	その他備品	一時撤去	復旧	(29)
壁	モルタル塗り VP	下地処理 RB種の上 EP塗り	(10)	卒業記念作品	一時撤去	復旧	(20)	手摺	—	塩ビ手摺新設	(30)

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

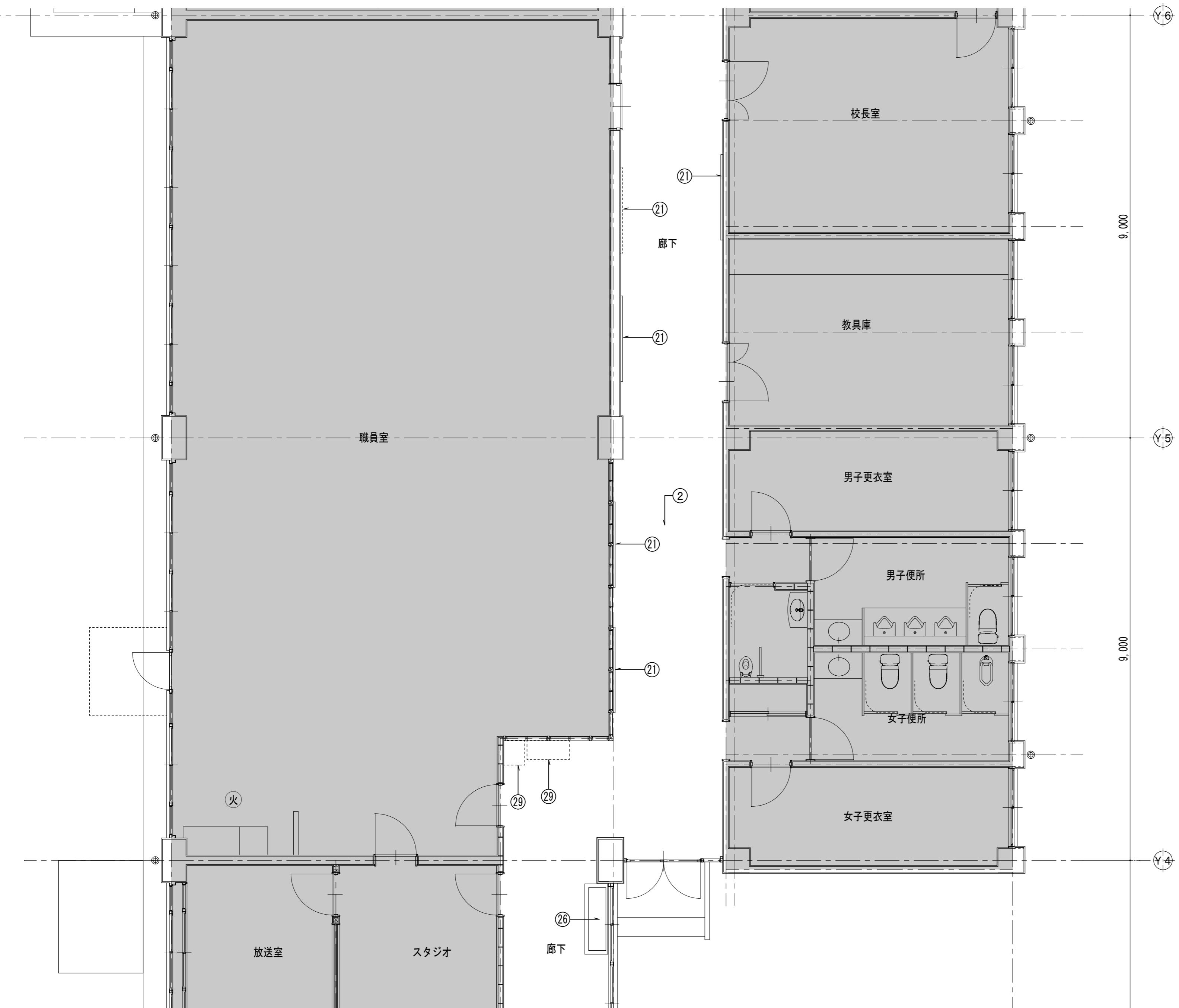
既存のままを示す(内装工事範囲外)



設計監理類建築設計事務所	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N°	備考	図面名称	縮尺	図面 No
	管理建築士	設計者	変更・訂正						
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛	—	—	—	—	1階 平面詳細図1 【改修前・改修後】	S=1/60 (A3:1/85)	A-059 原図: A2

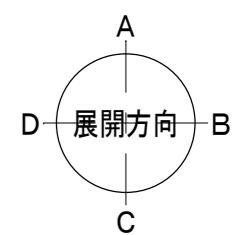


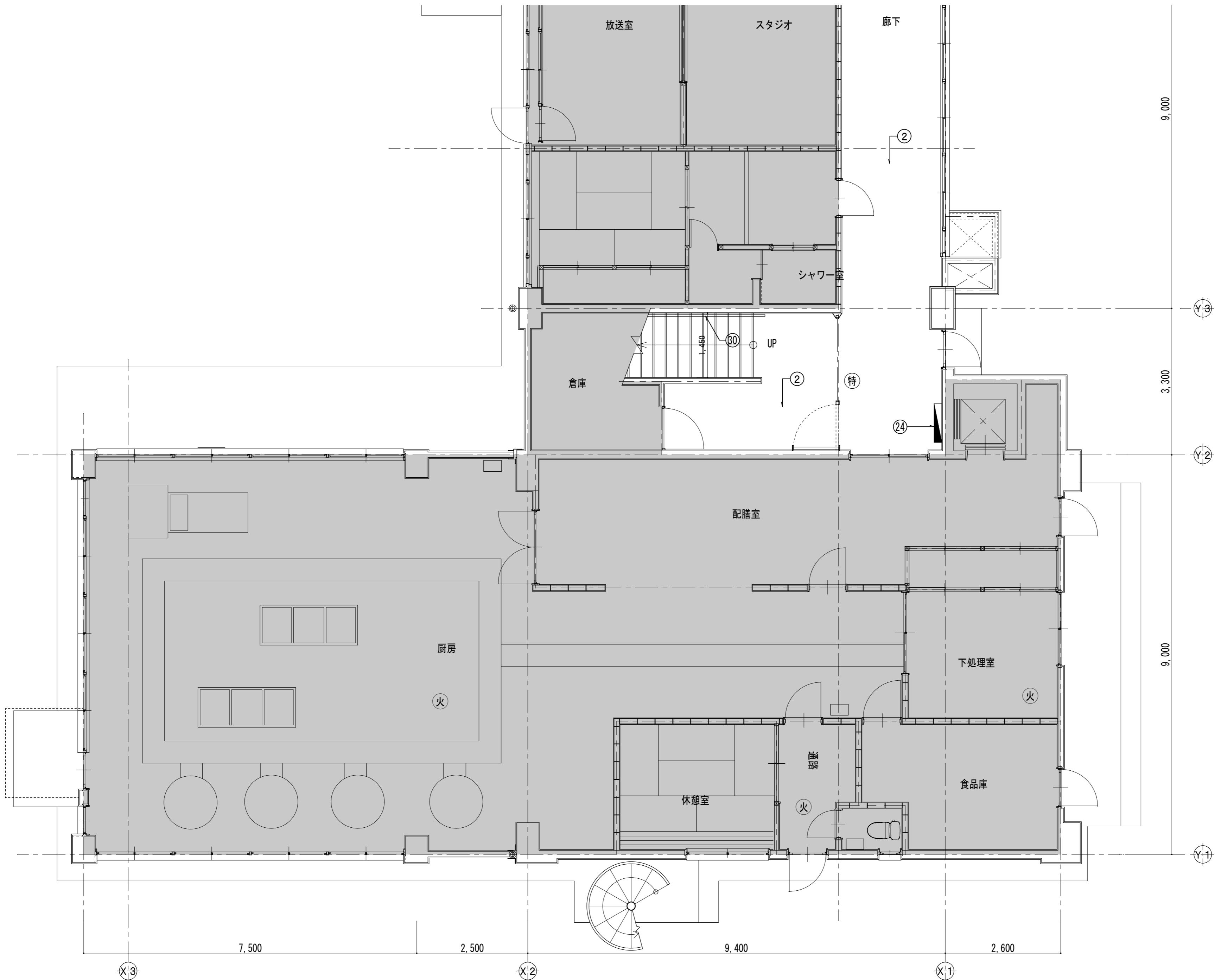
設計監理類建築設計事務所	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N°	備考	図面名称	縮尺	図面 No
	管理建築士	設計者	変更・訂正	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事					
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛	—	—	—	—	1階 平面詳細図2 【改修前・改修後】	S=1/60 (A3:1/85)	A-060 原図: A 2



■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック O S W	既存のまま	1
床	長尺シート貼り	既存のまま	2
床	100角タイル貼り	既存のまま	3
床	人研ぎ	既存のまま	4
床	モルタル塗り	既存のまま	5
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	6
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	7
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	8
巾木	人研ぎ	既存のまま	9
壁	モルタル塗り V P	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	10
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	11
柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	12
家具	——	既存のまま	13
家具	一時撤去	復旧	14
掲示板	——	既存のまま	15
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	16
掲示板	一時撤去	復旧	17
黒板	——	既存のまま	18
黒板	一時撤去	復旧	19
卒業記念作品	一時撤去	復旧	20
卒業記念作品	——	既存のまま	21
学校案内板	一時撤去	復旧	22
タブレット充電器 B O X	一時撤去	復旧	23
屋内消火栓	——	既存のまま	24
傘掛け	——	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	25
手洗い	——	既存のまま	26
手洗い	撤去（人研ぎステンレス巻き）	新設（ステンレス製）	27
手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	28
その他備品	一時撤去	復旧	29
手摺	——	塩ビ手摺新設	30

既存のままを示す（内装工事範囲外）





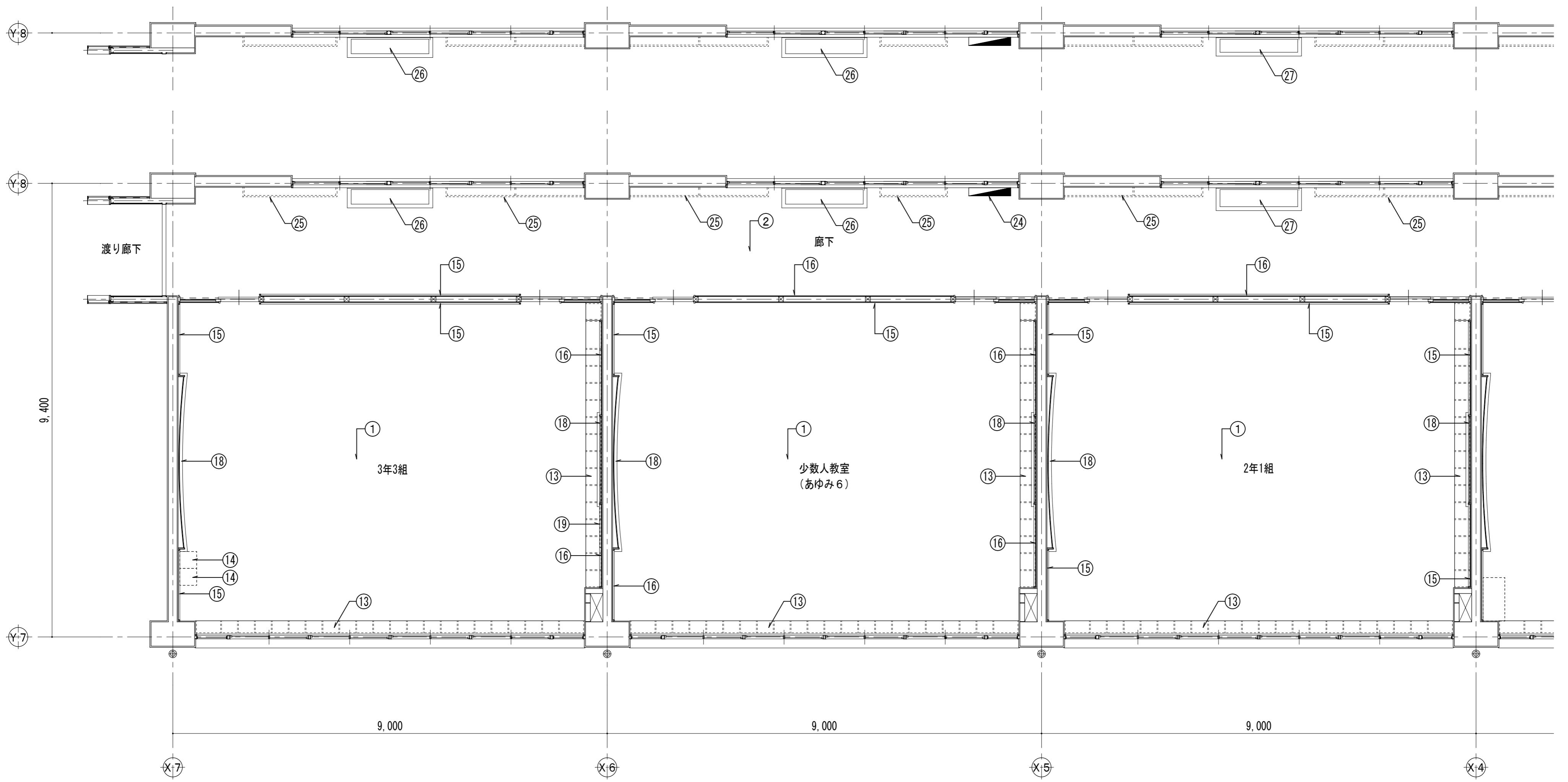
A	B
D 展開方向	C
既存のままを示す（内装工事範囲外）	



設計監理 類建築設計事務所
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号	製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No	備考	図面名称	縮尺	図面 No
管理建築士 設計者	変更・訂正			1階 平面詳細図4	S=1/60 (A3:1/85)	A-062
一級建築士 第306854号	一級建築士 第306854号			【改修前・改修後】		
田中 召剛	田中 召剛					原図: A 2

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

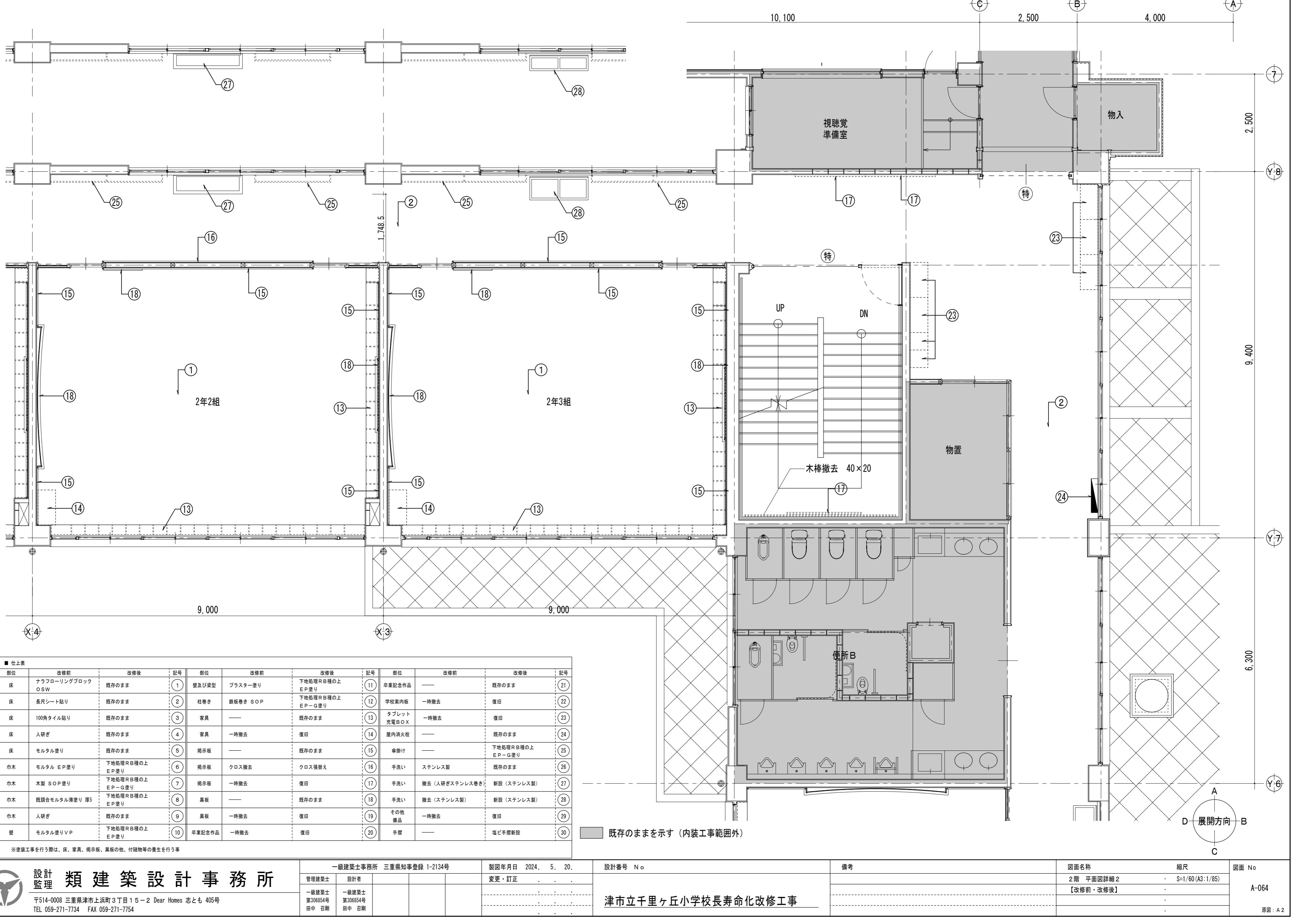


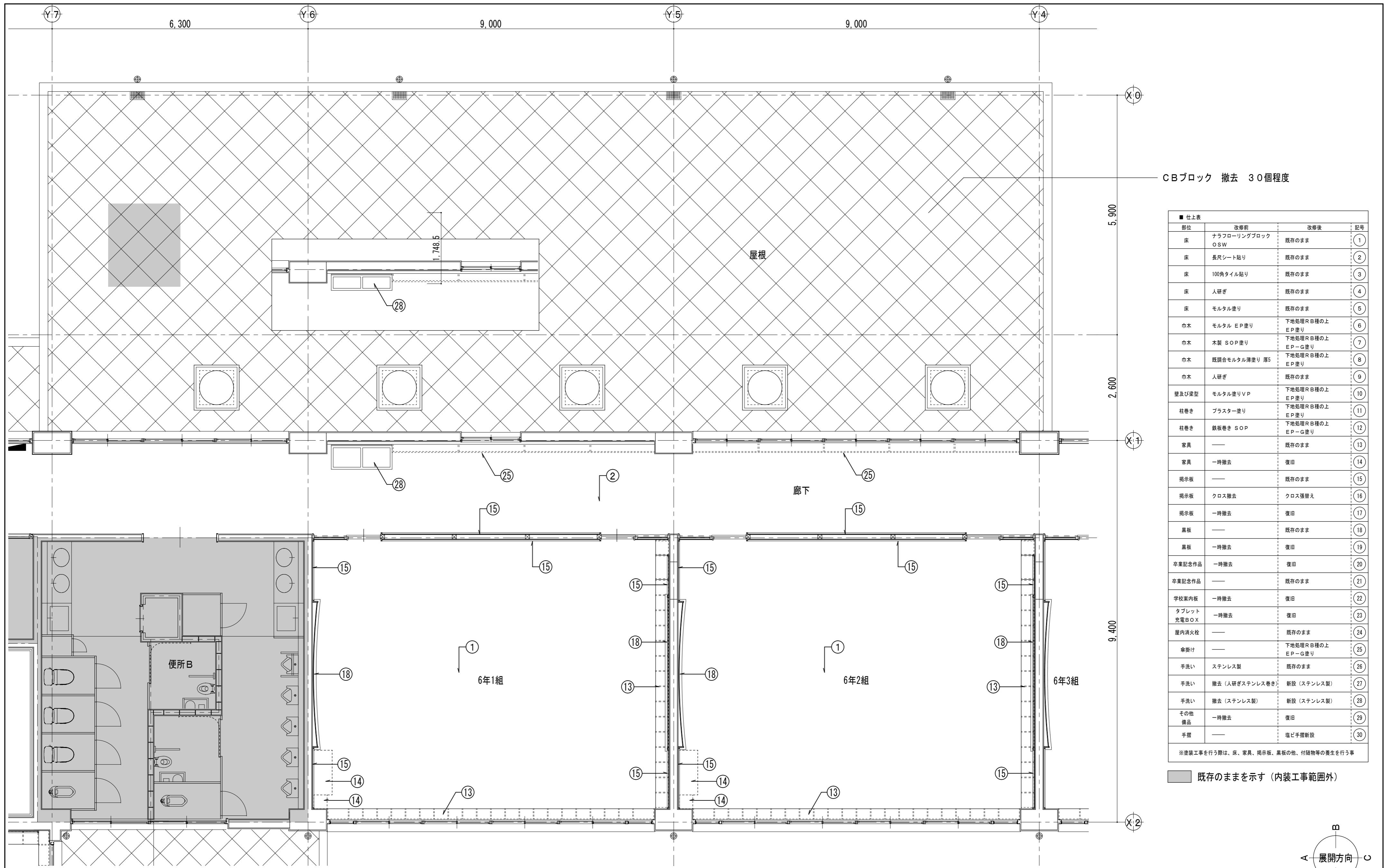
■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑪	卒業記念作品	—	既存のまま	⑫
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	⑬
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	—	既存のまま	⑭	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑮
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑯
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	—	既存のまま	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑬
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス替え	⑬	手洗い	ステンレス製	既存のまま	⑭
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑬	手洗い	撤去(人研ぎステンレス巻き)	新設(ステンレス製)	⑮
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	⑧	黒板	—	既存のまま	⑬	手洗い	撤去(ステンレス製)	新設(ステンレス製)	⑯
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑬	その他備品	一時撤去	復旧	⑰
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑬	手摺	—	塩ビ手摺新設	⑱

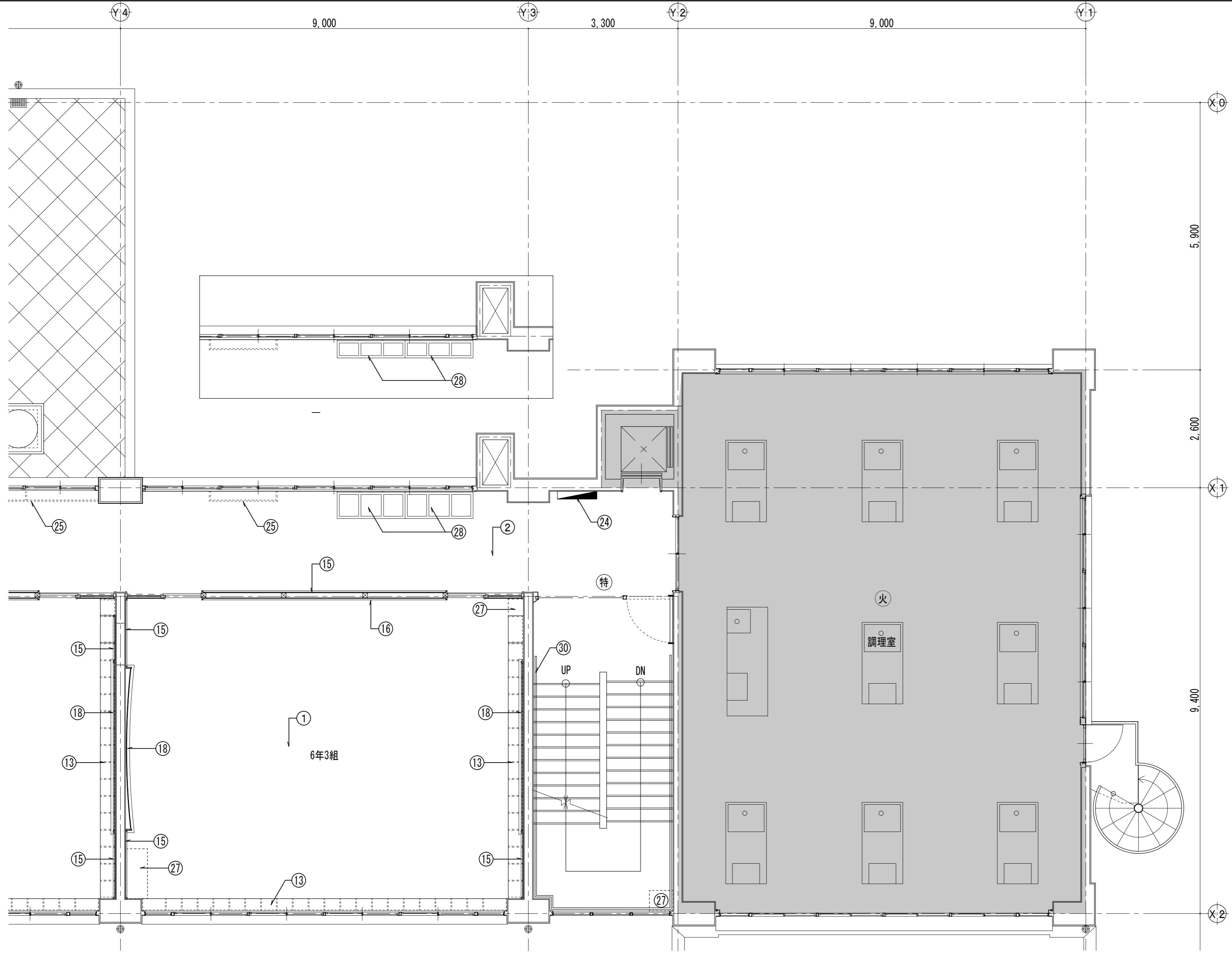
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

設計監理類建築設計事務所	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N°	備考	図面名称	縮尺	図面 No
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	管理建築士	設計者	変更・訂正				2階 平面図詳細1	S=1/60 (A3:1/85)	A-063
	一級建築士 第306854号	一級建築士 第306854号					【改修前・改修後】		
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事									

A 展開方向 B
C D



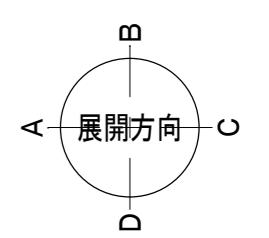


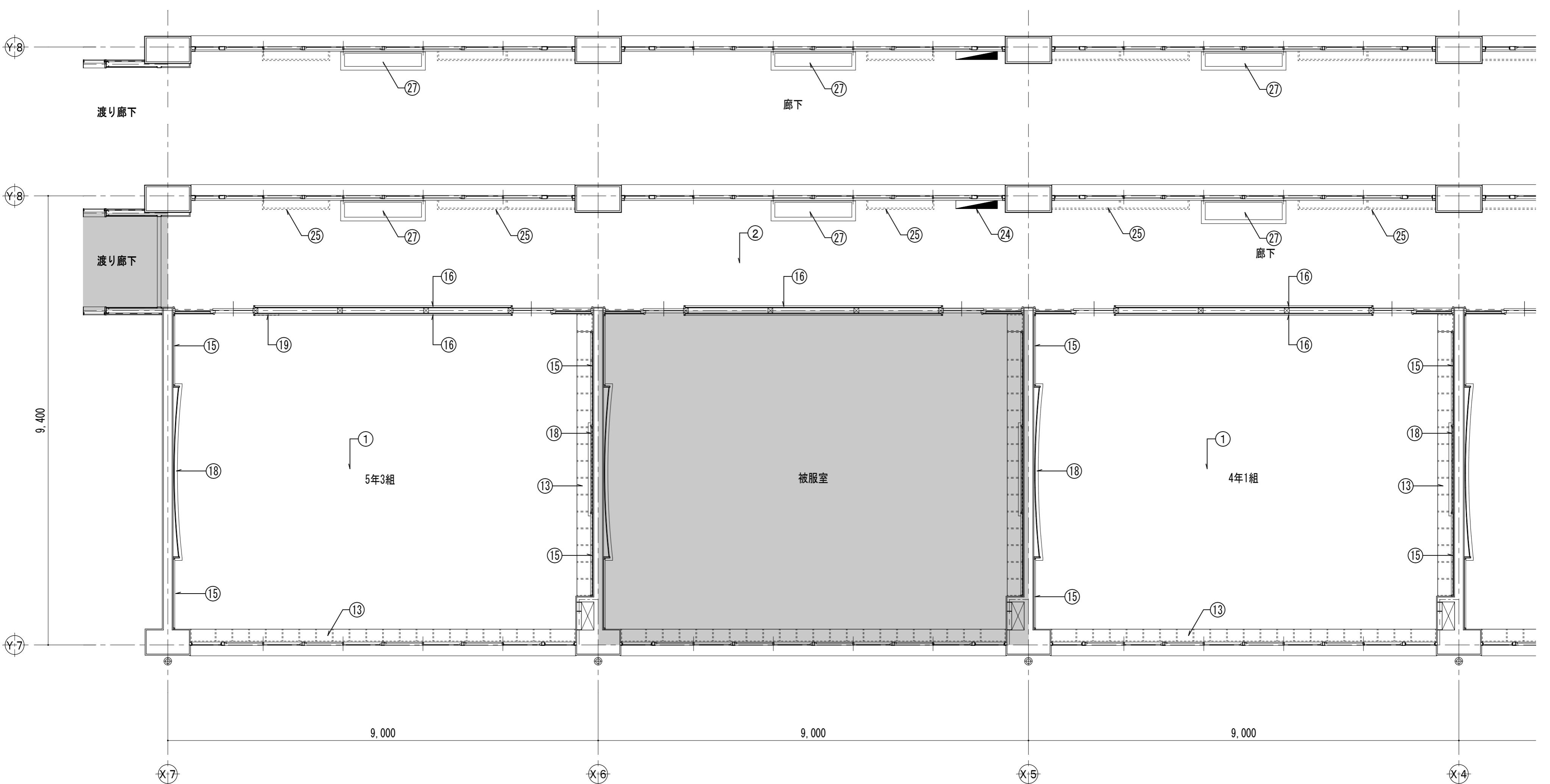


■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	1
床	長尺シート貼り	既存のまま	2
床	100角タイル貼り	既存のまま	3
床	人研ぎ	既存のまま	4
床	モルタル塗り	既存のまま	5
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理 R B種の上 E P 塗り	6
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理 R B種の上 E P - G 塗り	7
巾木	既製合モルタル薄塗り 厚5	下地処理 R B種の上 E P 塗り	8
巾木	人研ぎ	既存のまま	9
壁及び梁型	モルタル塗り V P	下地処理 R B種の上 E P 塗り	10
柱巻き	プラスチック塗り	下地処理 R B種の上 E P 塗り	11
柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理 R B種の上 E P - G 塗り	12
家具	—	既存のまま	13
家具	一時撤去	復旧	14
掲示板	—	既存のまま	15
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	16
掲示板	一時撤去	復旧	17
黒板	—	既存のまま	18
黒板	一時撤去	復旧	19
卒業記念作品	一時撤去	復旧	20
卒業記念作品	—	既存のまま	21
学校案内板	一時撤去	復旧	22
タブレット充電 BOX	一時撤去	復旧	23
屋内消火栓	—	既存のまま	24
傘掛け	—	下地処理 R B種の上 E P - G 塗り	25
手洗い	ステンレス製	既存のまま	26
手洗い	撤去（人研ぎステンレス巻き） 新設（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	27
手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	28
その他備品	一時撤去	復旧	29
手摺	—	塗装手摺新設	30

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

■ 既存のままを示す（内装工事範囲外）

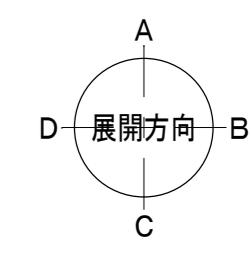




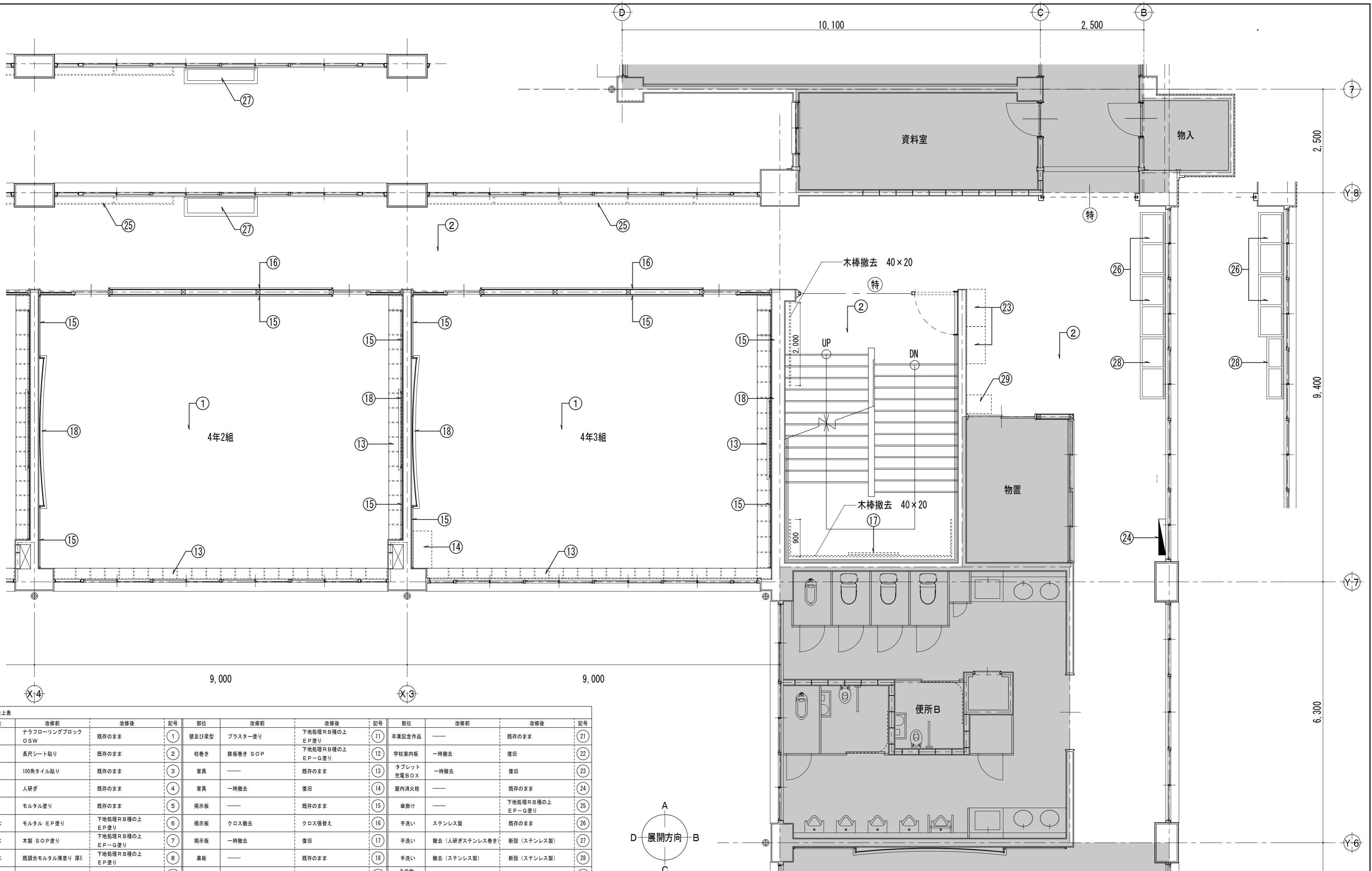
■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑪	卒業記念作品	—	既存のまま	②1
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	②2
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	—	既存のまま	⑬	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	②3
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	—	既存のまま	②4
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	—	既存のまま	⑮	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②5
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	ステンレス製	既存のまま	②6
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	②7
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5 EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑧	黒板	—	既存のまま	⑱	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	②8
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑲	その他 備品	一時撤去	復旧	②9
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳	手摺	—	塩ビ手摺新設	②0

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

■ 既存のままを示す (内装工事範囲外)

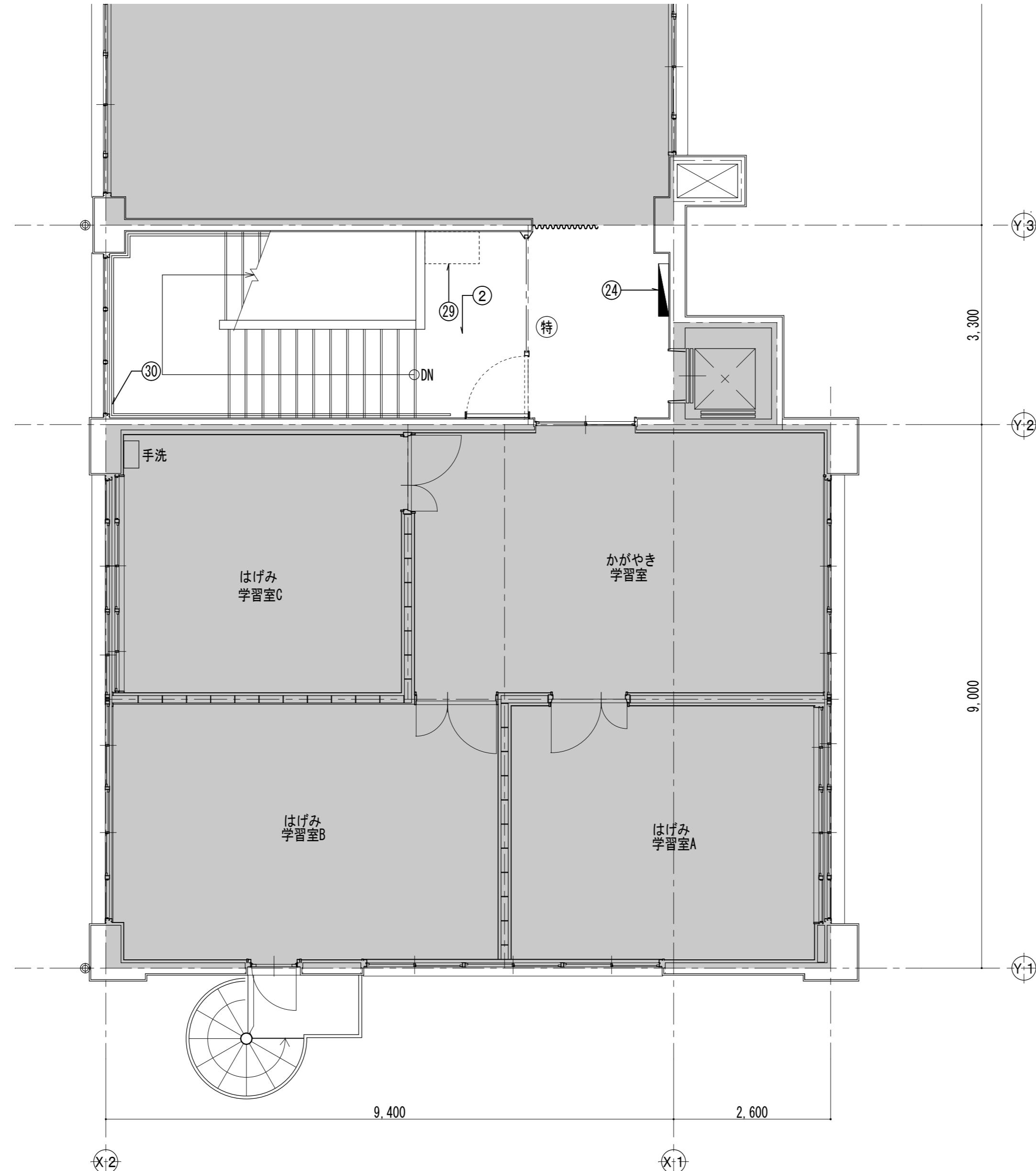


設計監理類建築設計事務所	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N°	備考	図面名称	縮尺	図面 No
	管理建築士	設計者	変更・訂正	田中 召剛					
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛	—	—	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	【改修前・改修後】	3階 平面詳細図1 【改修前・改修後】	S=1/60 (A3:1/85)	A-067 原図: A2



設計監理類建築設計事務所		一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.		設計番号 N o		備考		図面名称		縮尺	図面 No
管理建築士	設計者				変更・訂正	.					3階 平面詳細図2	S=1/60 (A3:1/85)	A-068	

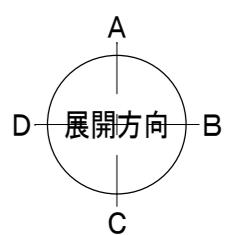
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

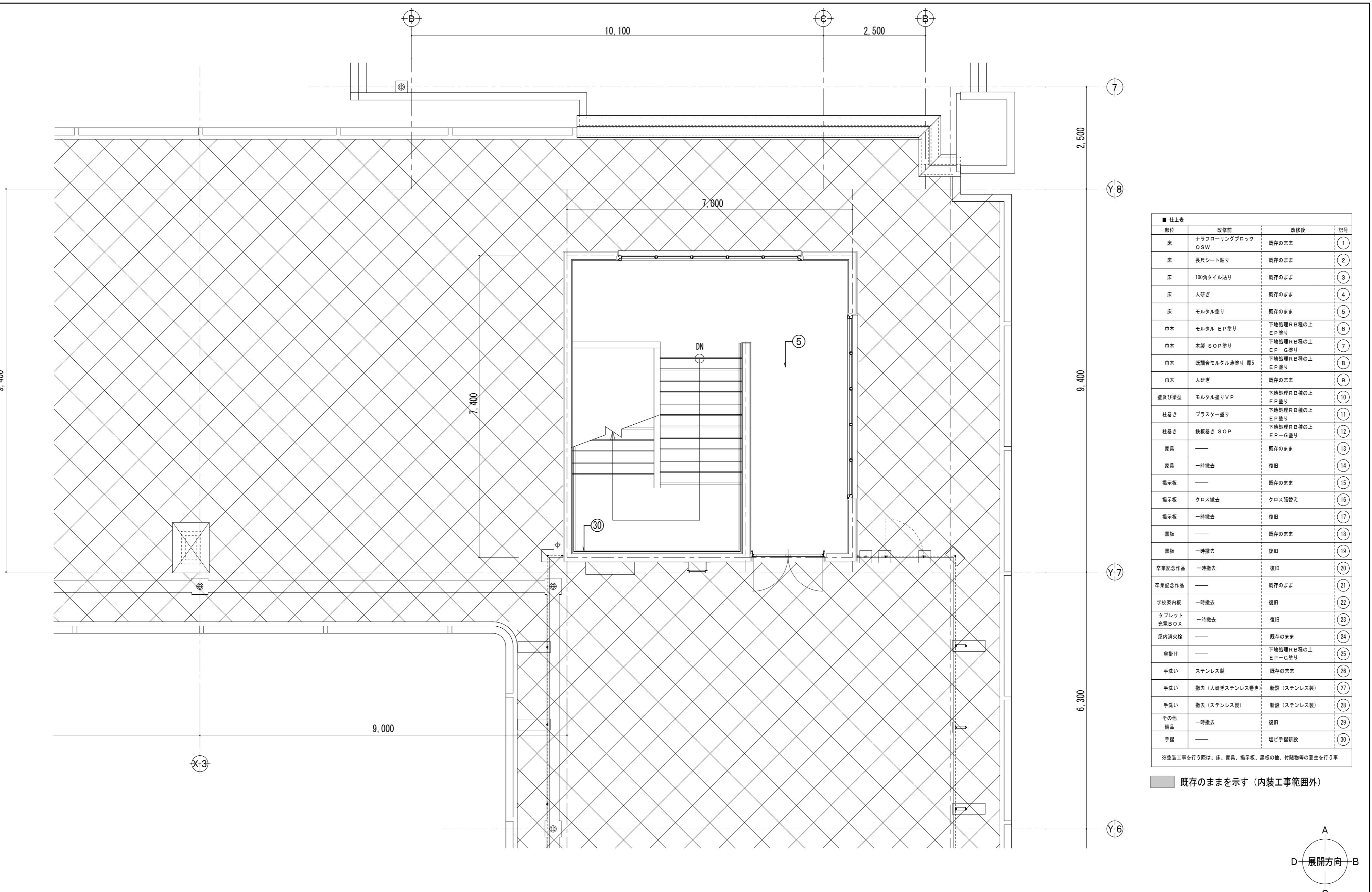


■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	⑥
巾木	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	E P塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁及び梁型	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 E P塗り	⑩
柱巻き	プラスチック塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 E P-G塗り	⑫
家具	—	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	—	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	—	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	—	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	—	既存のまま	㉔
傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P-G塗り	㉕
手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (入研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他備品	一時撤去	復旧	㉙
手帳	—	塗装手帳新設	㉚

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

■ 既存のままを示す（内装工事範囲外）





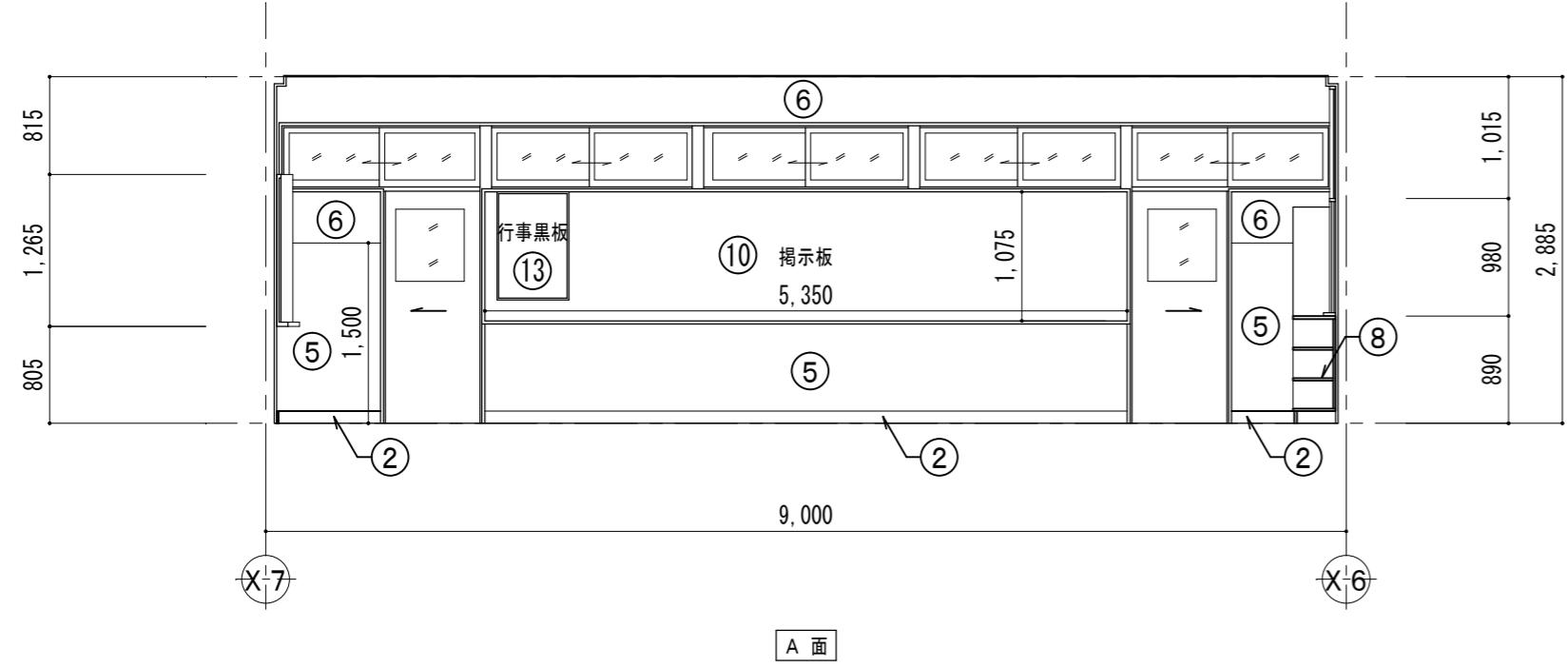
設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

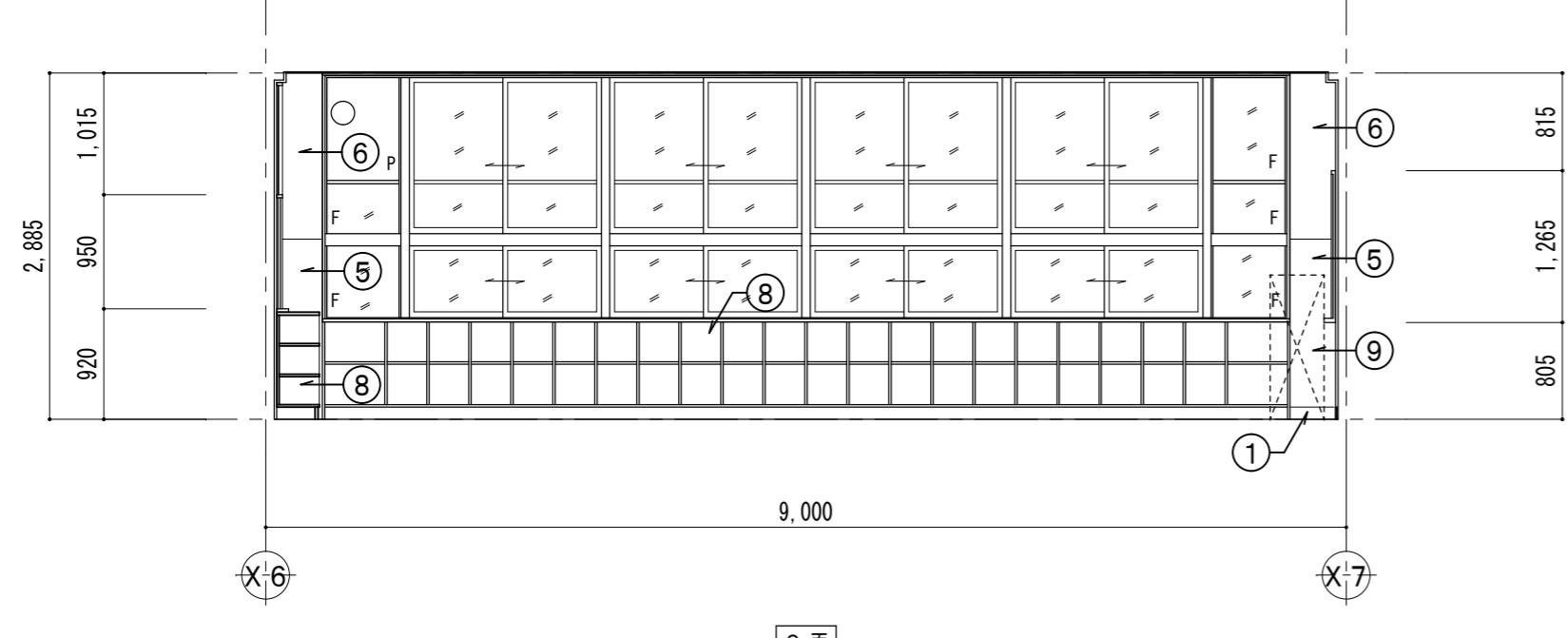
一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N°	備考	図面名称	縮尺	図面 No
管理建築士	設計者		変更・訂正	.		P H 階平面詳細図1【改修前・後】	S=1/60 (A3:1/85)	A-070
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛							原図: A2

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

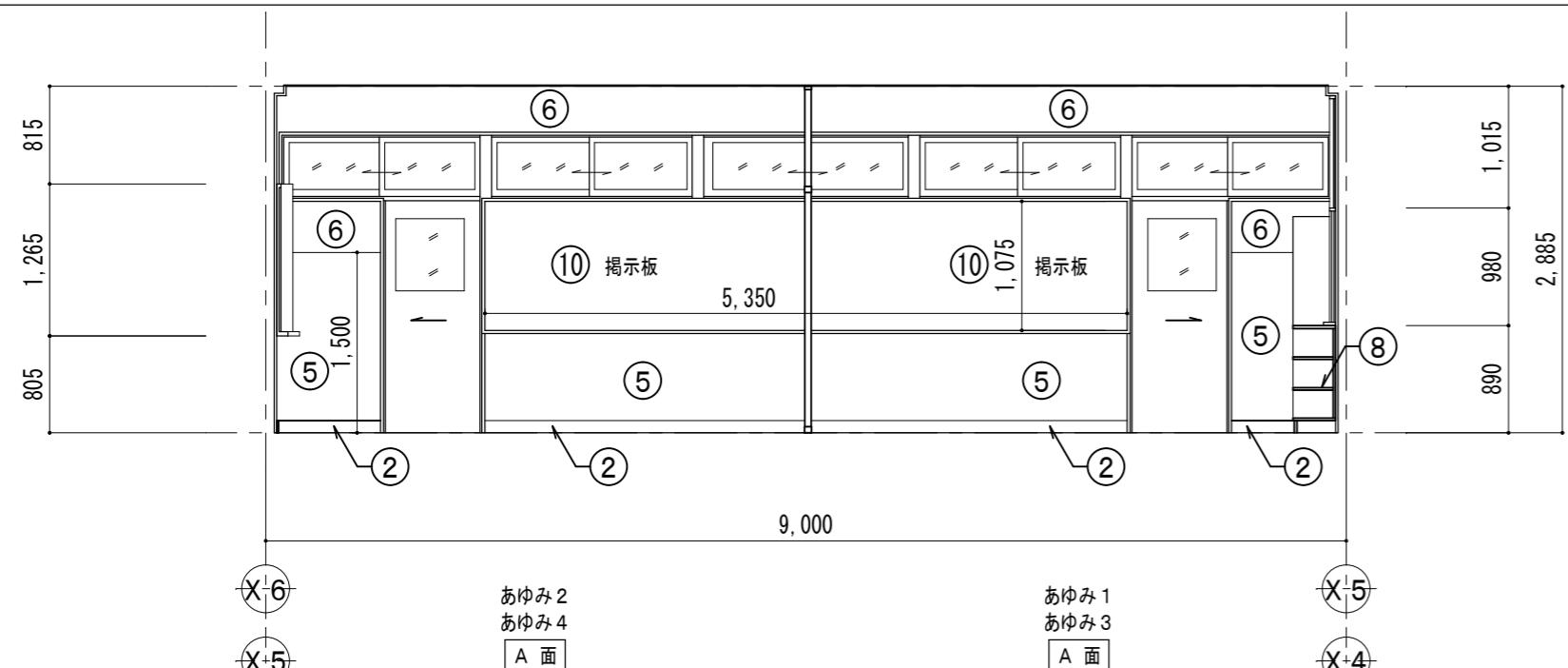
普通教室棟A 1F教室 (1-3) S=1/60



普通教室棟A 1F教室 (1-3) S=1/60



普通教室棟A 1F教室 (あゆみ3・4) (あゆみ1・2) S=1/60

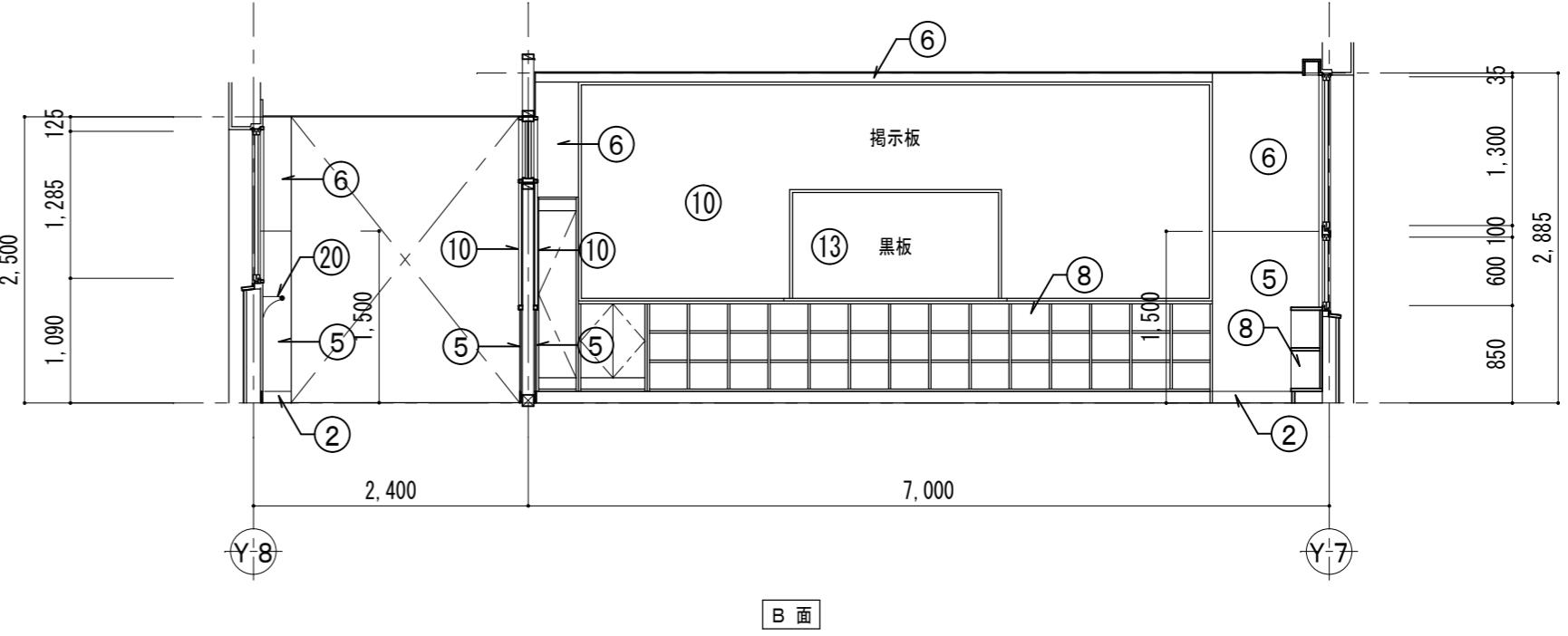


■ 仕上表

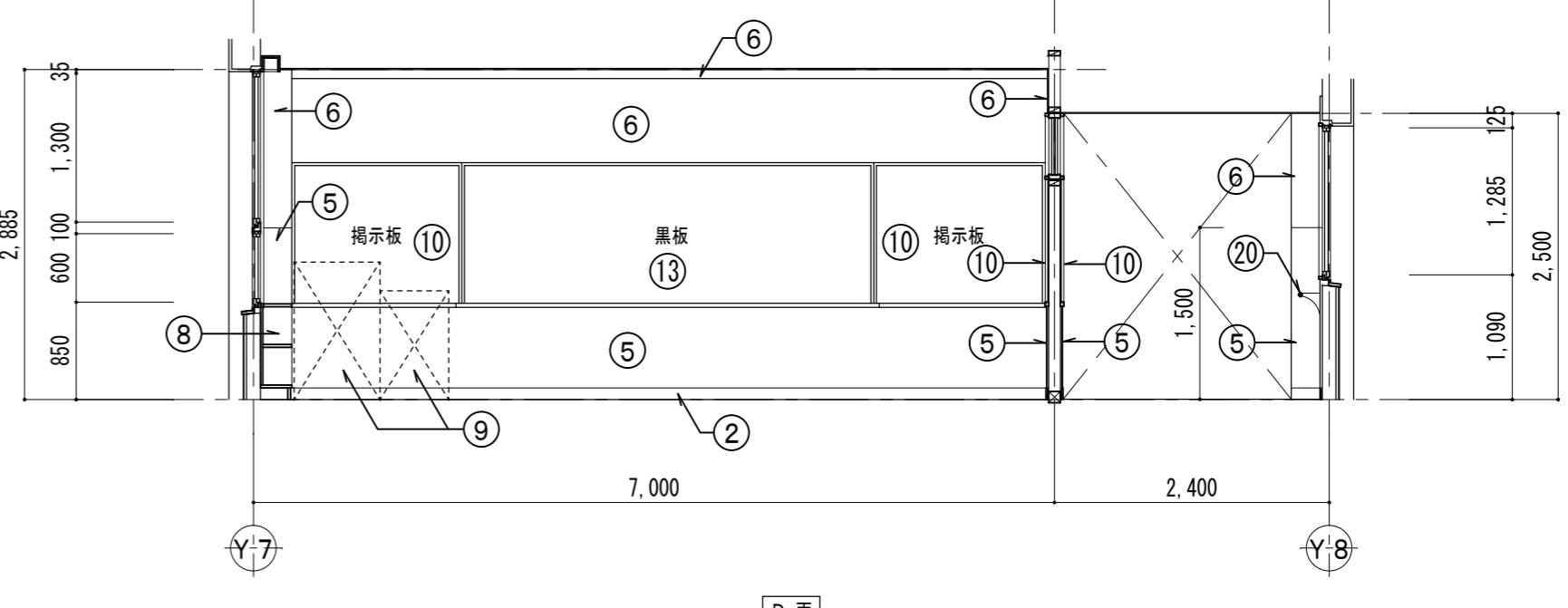
部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号		
	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号				
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP		下地処理RB種の上 EP-G塗り		7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	31
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去		復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	26	アコードイオン カーテン	一時撤去(鉄骨受材共)	復旧	32	
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去		復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設(ステンレス製)	21	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	27	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	33	
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—		既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34	
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 EP塗り	5	掲示板	クロス撤去		クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去		復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	29	手洗い	撤去(ステンレス製)	新設(ステンレス製)	35
壁及び梁型	プラスチック塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	6	掲示板	一時撤去		復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去		復旧	18	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事
 (X) 壁クラック1mm(長さは図中に記載)
 クラック補修(カットシーリング充填)

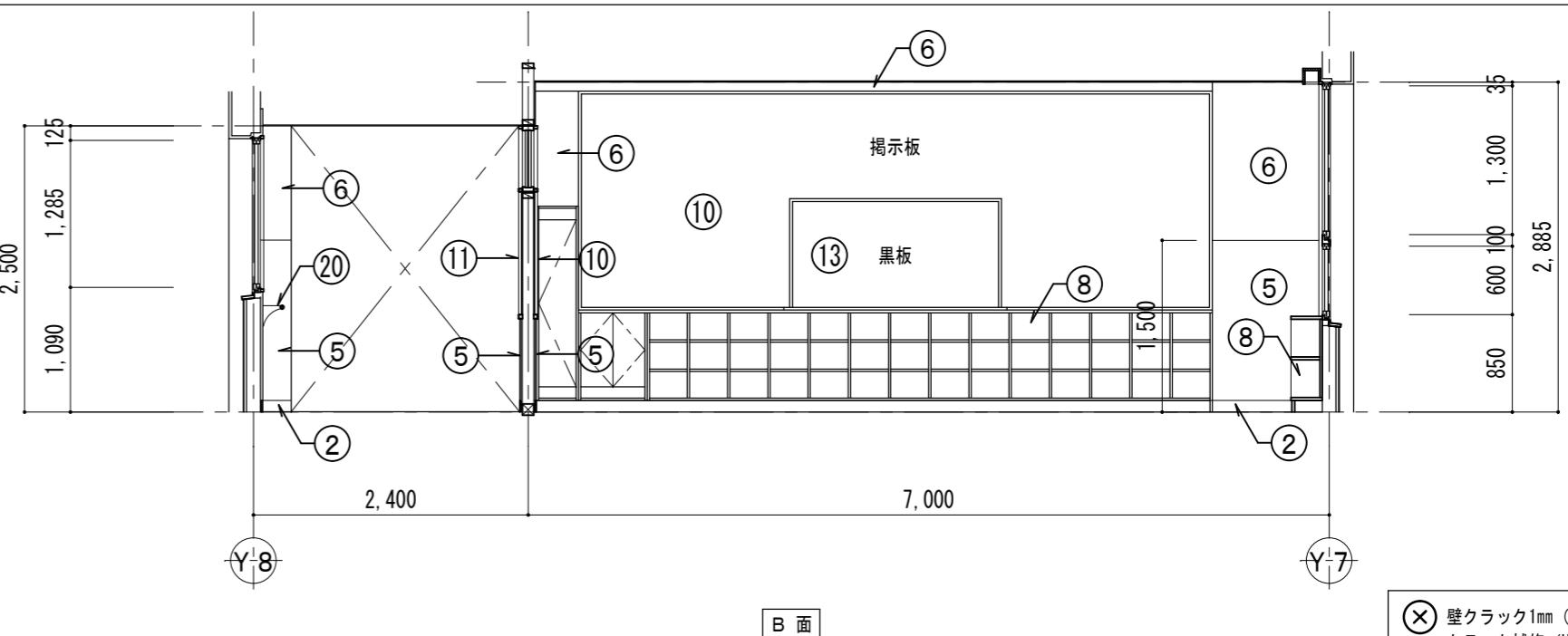
普通教室棟A 1F教室 (1-3) S=1/60



普通教室棟A 1F教室 (1-3) S=1/60



普通教室棟A 1F教室 (あゆみ1・3) S=1/60



図面名 縮尺 図面 No
 1階 展開図1 S=1/60 (A3:1/85)
 【改修前・改修後】
 原図: A2

設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号

TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

製図年月日 2024. 5. 20.

設計番号 N°

備考

図面名 縮尺

図面 No

管理建築士 設計者

変更・訂正

一級建築士 第306854号

田中 召剛

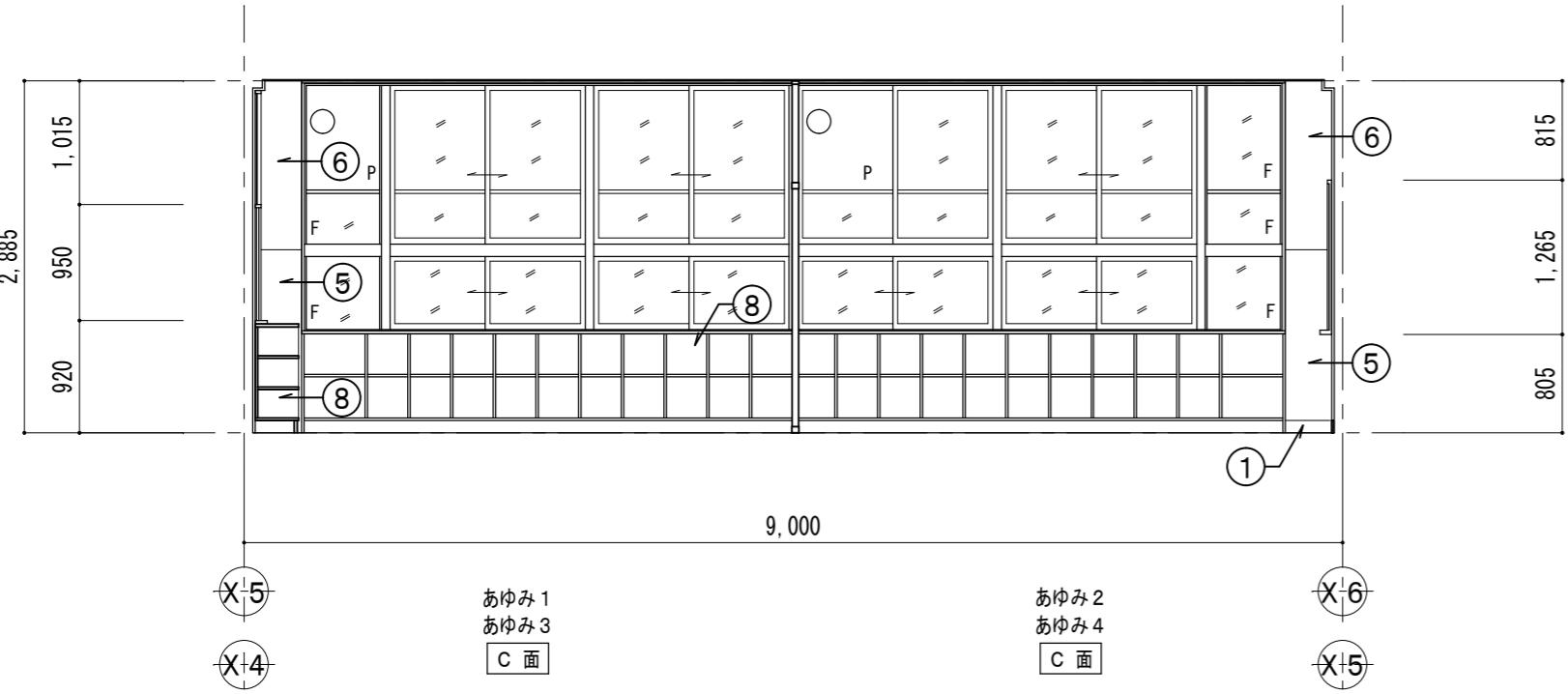
一級建築士 第306854号

田中 召剛

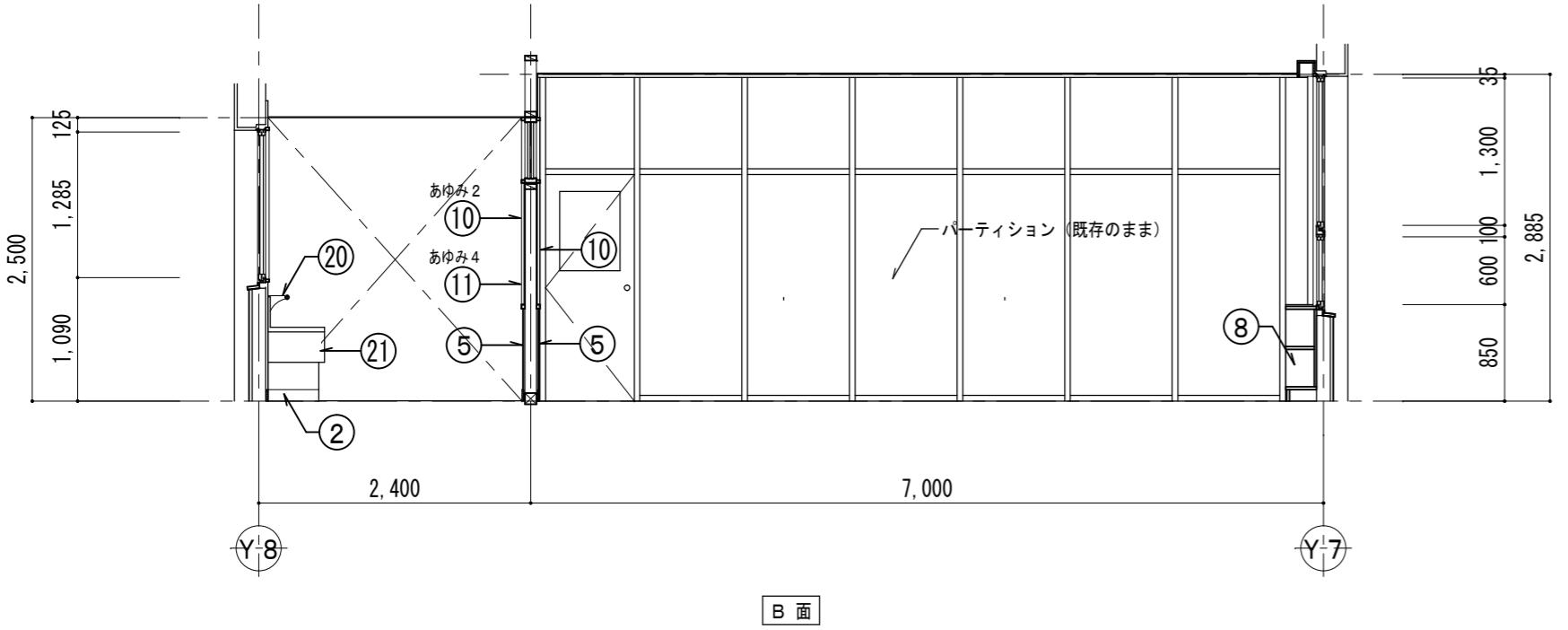
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

A-071

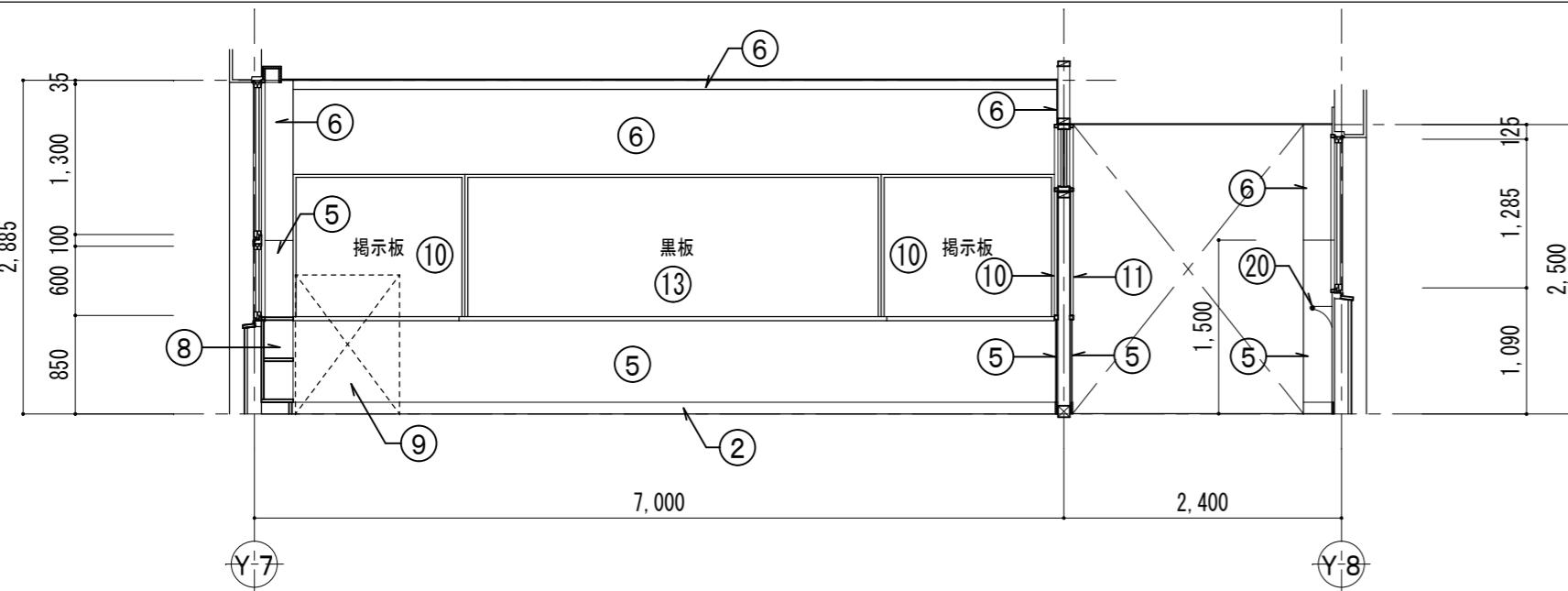
普通教室棟A 1F教室(あゆみ3・4)(あゆみ1・2) S=1/60



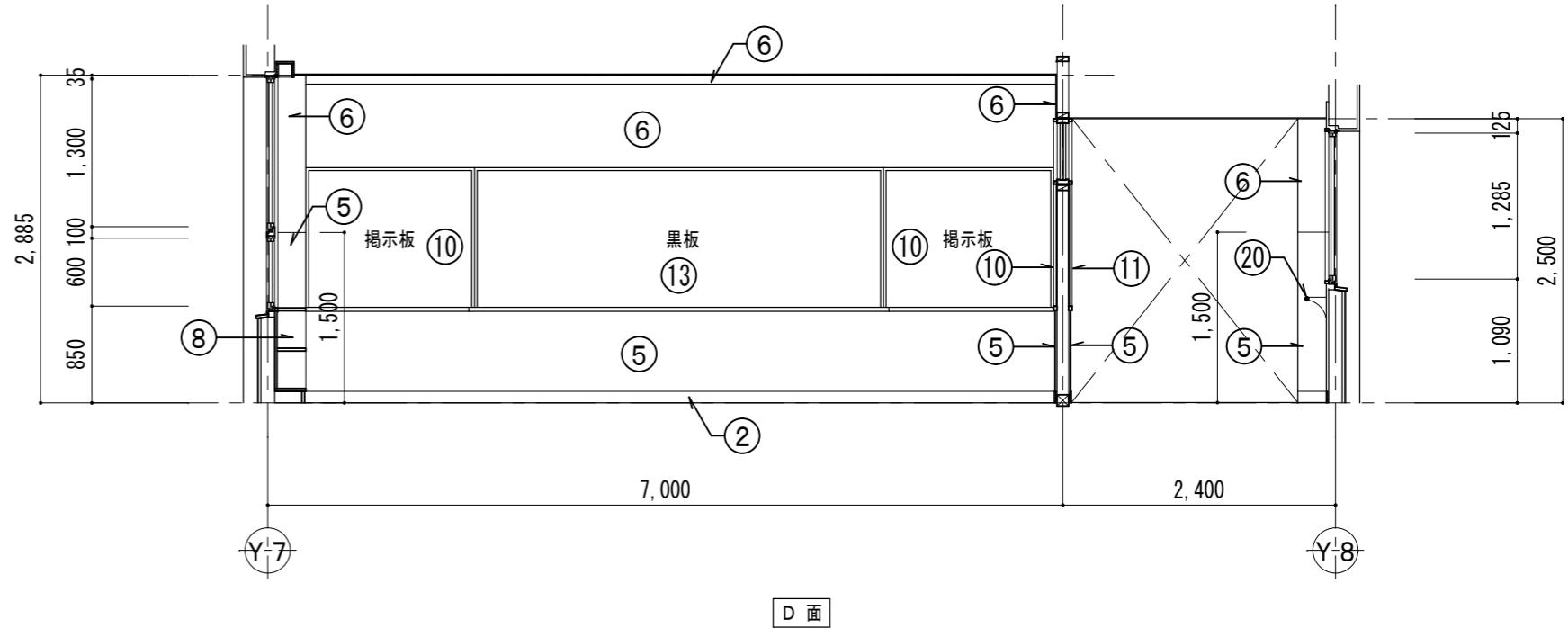
普通教室棟A 1F教室(あゆみ2・4) S=1/60



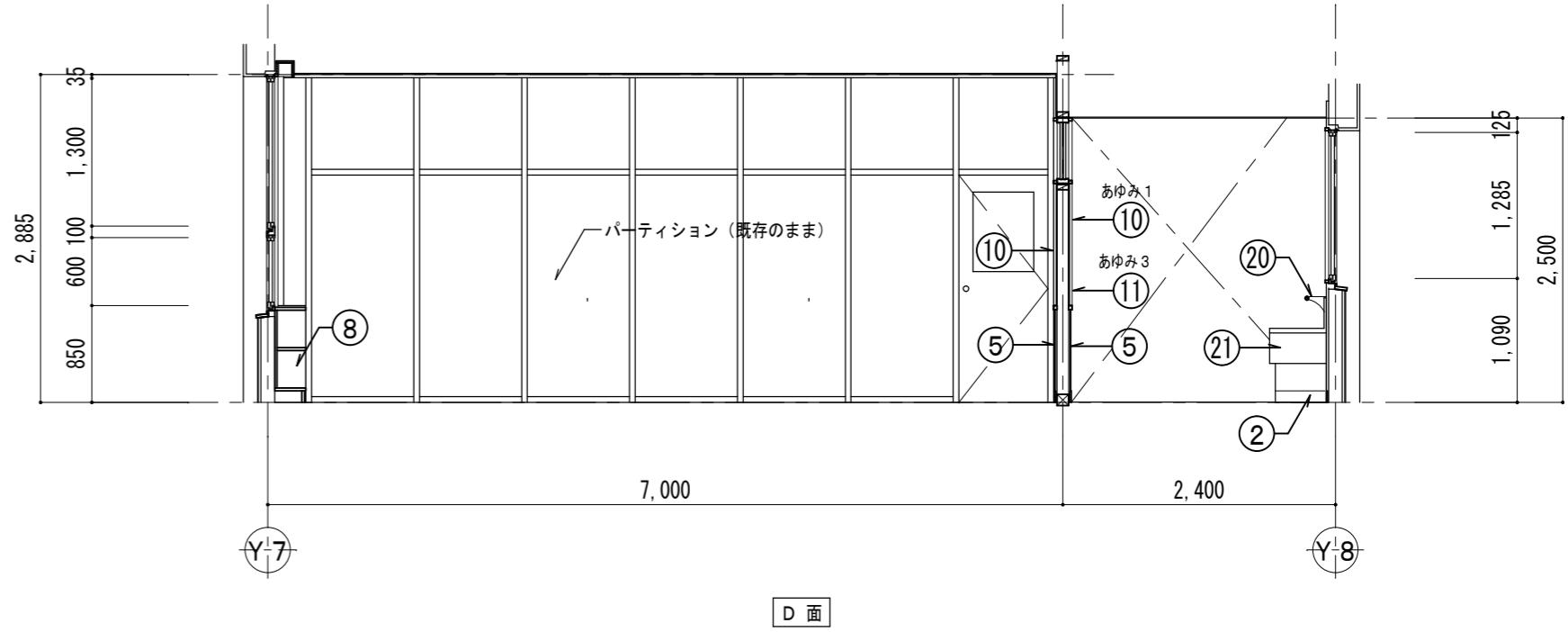
普通教室棟A 1F教室(あゆみ2) S=1/60



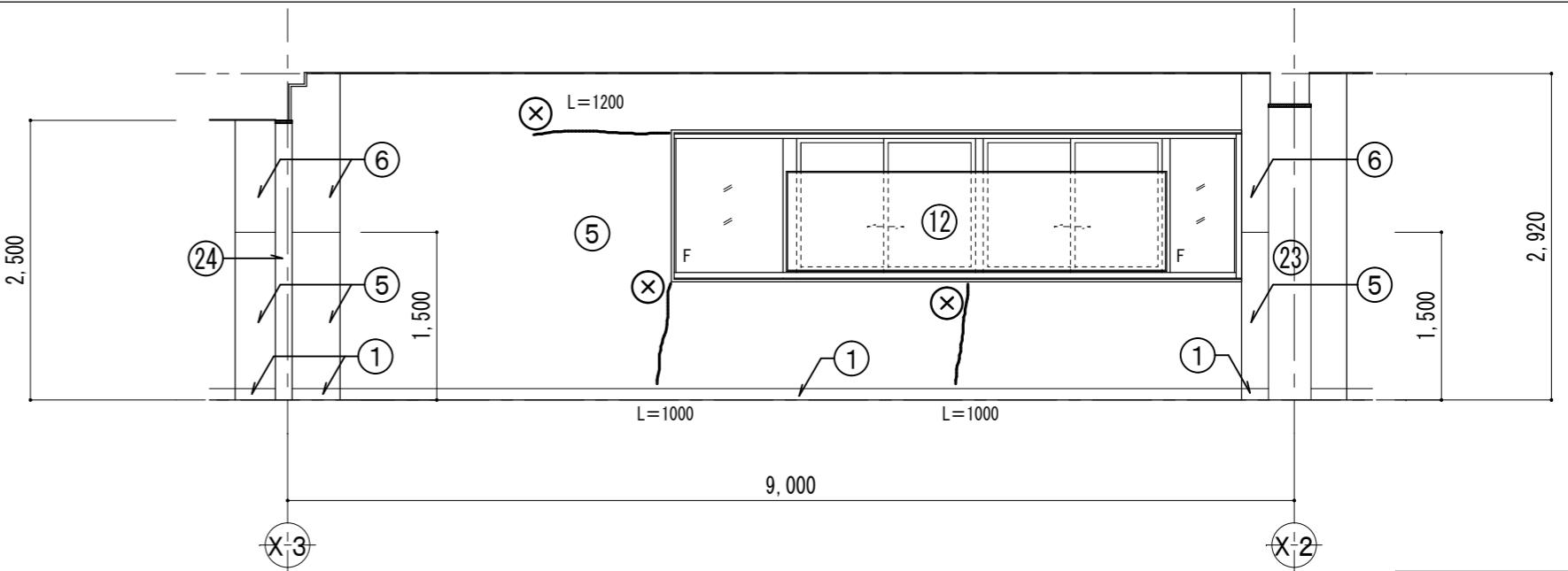
普通教室棟A 1F教室(あゆみ4) S=1/60



普通教室棟A 1F教室(あゆみ1・3) S=1/60



普通特別教室棟 1F昇降口 S=1/60

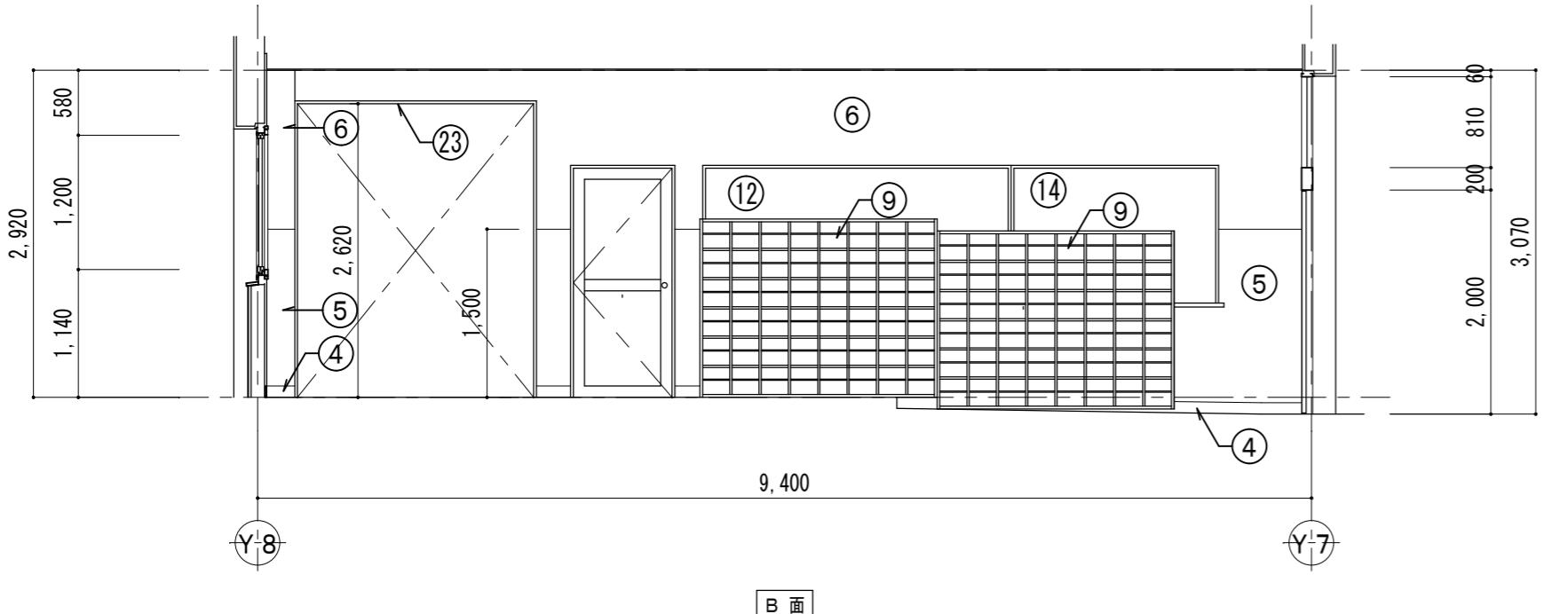


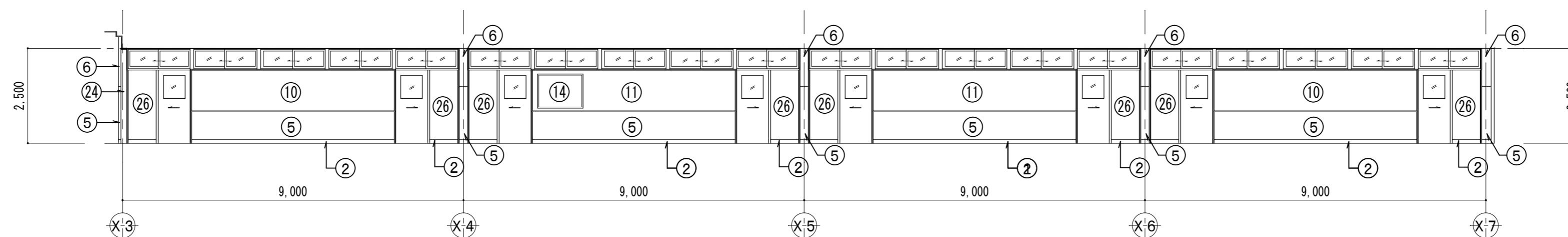
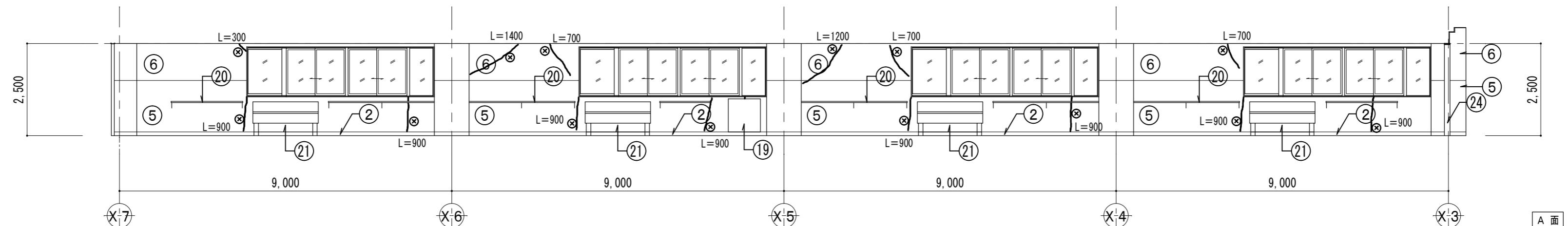
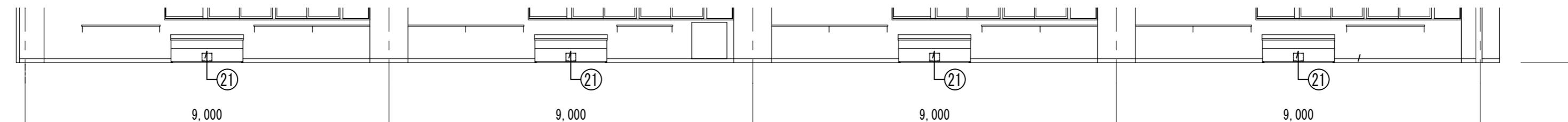
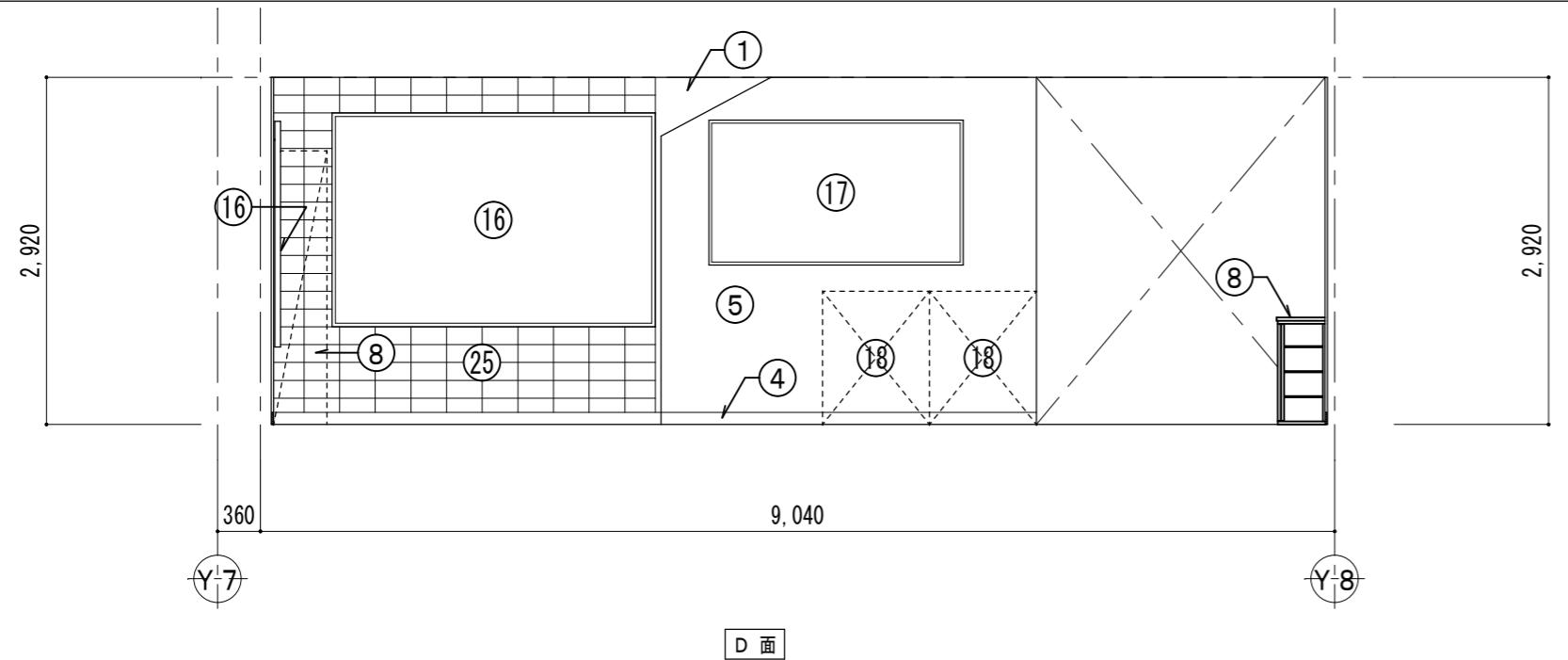
(X) 壁クラック1mm(長さは図中に記載)
クラック補修(カットソーリング充填)

■ 仕上表

部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O.P塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	26
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5 EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設(ステンレス製)	21	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	27
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5 O.P塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	28
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 EP塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 O.P塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	29
壁及び梁型	プラスチ一塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事





(X) 壁クラック1mm（長さは図中に記載）
クラック補修（Uカットシーリング充填）

■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号				
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	31
巾木	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	26	アコードイオン カーテン	一時撤去（鉄骨受材共）	復旧	32
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5	下地処理RB種の上 E P 塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設（ステンレス製）	21	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	27	建具	鉄鋼面 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	33
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 E P 塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	29	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	35
壁及び梁型	プラスチ一塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35

B面

普通特別教室棟 1F スタジオ前廊下 S=1/100

普通特別教室棟 1F スタジオ前廊下 S=1/100

普通特別教室棟 1F スタジオ前廊下 S=1/100

Dimensions (mm):

- Overall width: 9,000 mm
- Width of the first room: 2,600 mm
- Width of the second room: 3,300 mm
- Width of the third room: 2,600 mm
- Height: 2,400 mm
- Door height: 90 mm
- Door widths: 2,000 mm, 2,490 mm
- Door locations: ②, ④, ⑤, ⑦, ⑨, ⑩, ⑪, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ⑳, ㉑
- Windows: ①, ③, ⑤, ⑥, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ㉑
- Other features: 消火栓 (Fire Hydrant), 壁クラック (Wall Crack)

C面

普通特別教室棟 1F スタジオ前廊下 S=1/100

Dimensions (mm):

- Overall width: 9,000 mm
- Width of the first room: 3,300 mm
- Width of the second room: 2,600 mm
- Height: 2,400 mm
- Door height: 90 mm
- Door widths: 2,000 mm, 2,490 mm
- Door locations: ②, ④, ⑤, ⑦, ⑨, ⑩, ⑪, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ㉑
- Windows: ①, ③, ⑤, ⑥, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ㉑
- Other features: 消火栓 (Fire Hydrant), 壁クラック (Wall Crack)

D面

普通特別教室棟 1F スタジオ前廊下 S=1/100

Dimensions (mm):

- Overall width: 9,000 mm
- Width of the first room: 3,300 mm
- Width of the second room: 2,600 mm
- Height: 2,400 mm
- Door height: 90 mm
- Door widths: 2,000 mm, 2,490 mm
- Door locations: ②, ④, ⑤, ⑦, ⑨, ⑩, ⑪, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ㉑
- Windows: ①, ③, ⑤, ⑥, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ㉑
- Other features: 壁クラック (Wall Crack)

■ 仕上表																※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事			
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	1	柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚 6 O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	26
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚 5	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	21	壁	ラワン合板 厚 5.5 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	27
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニア厚 5.5 張り O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	28
壁	モルタル塗り V P	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	29
壁及び梁型	ブロッサム塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電 B O X	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30
																手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 40
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

後記 充電BOX

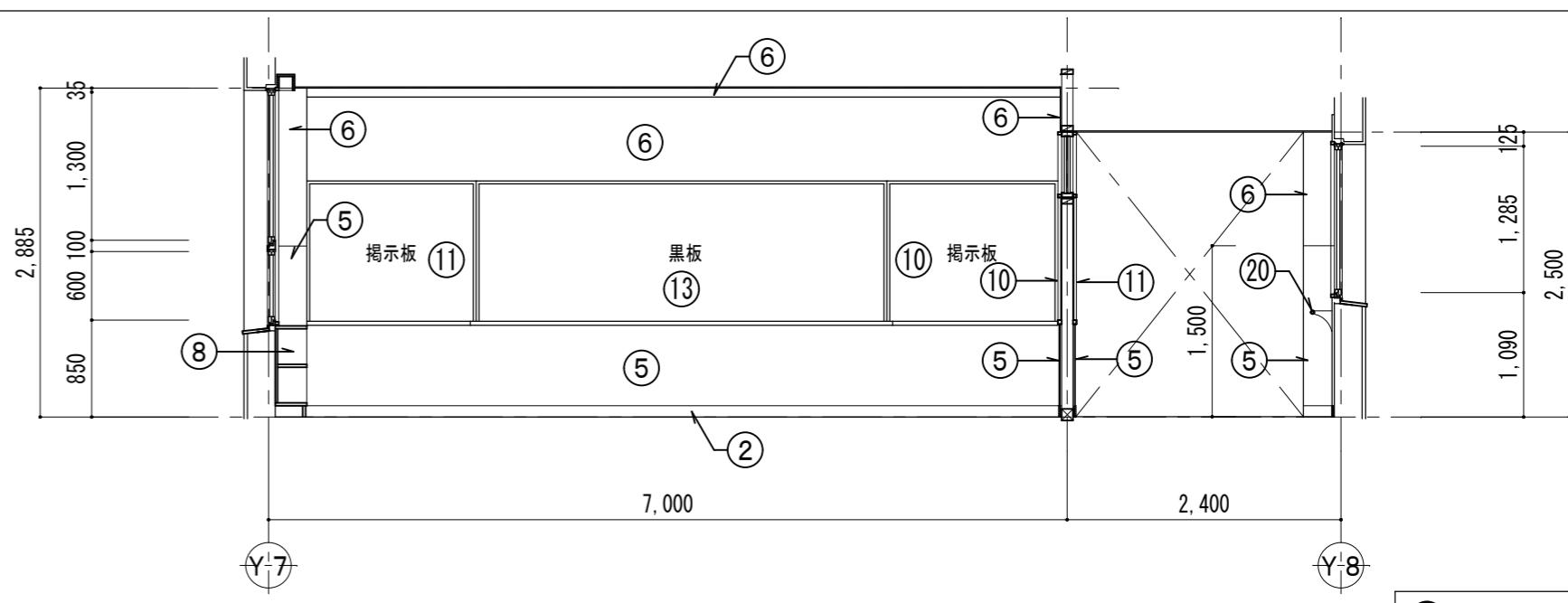
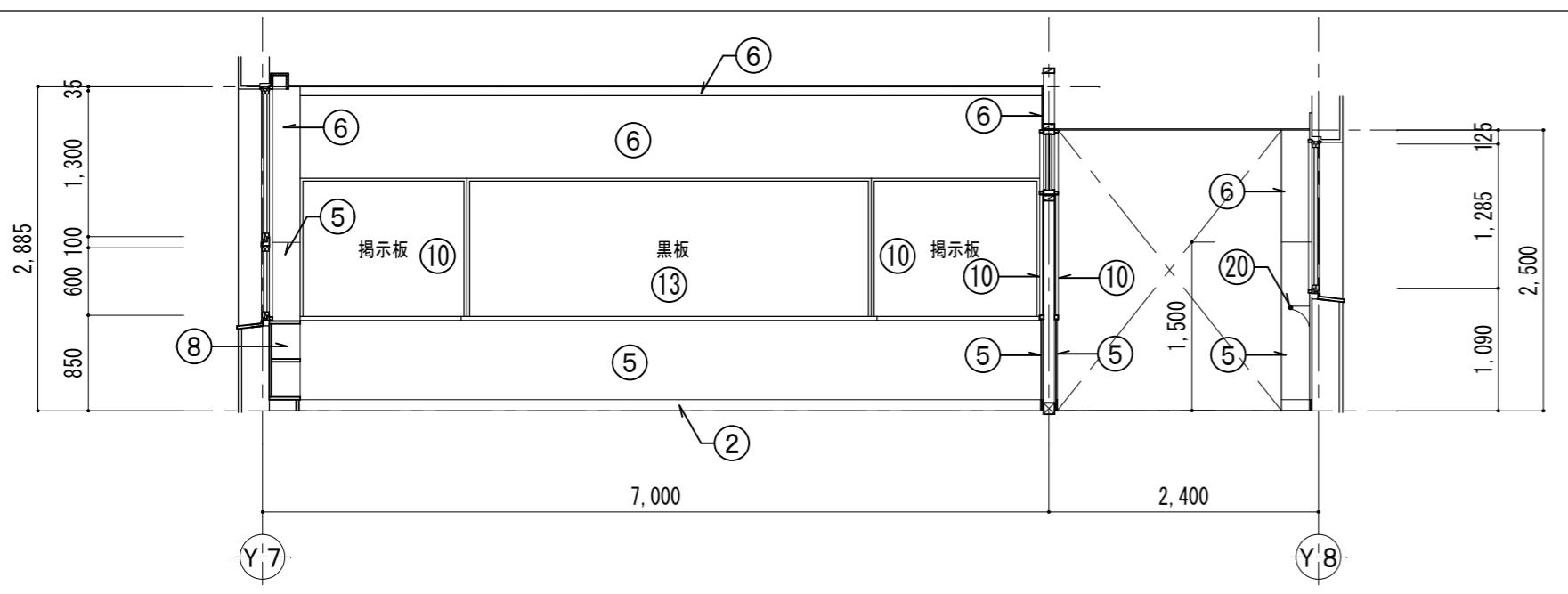
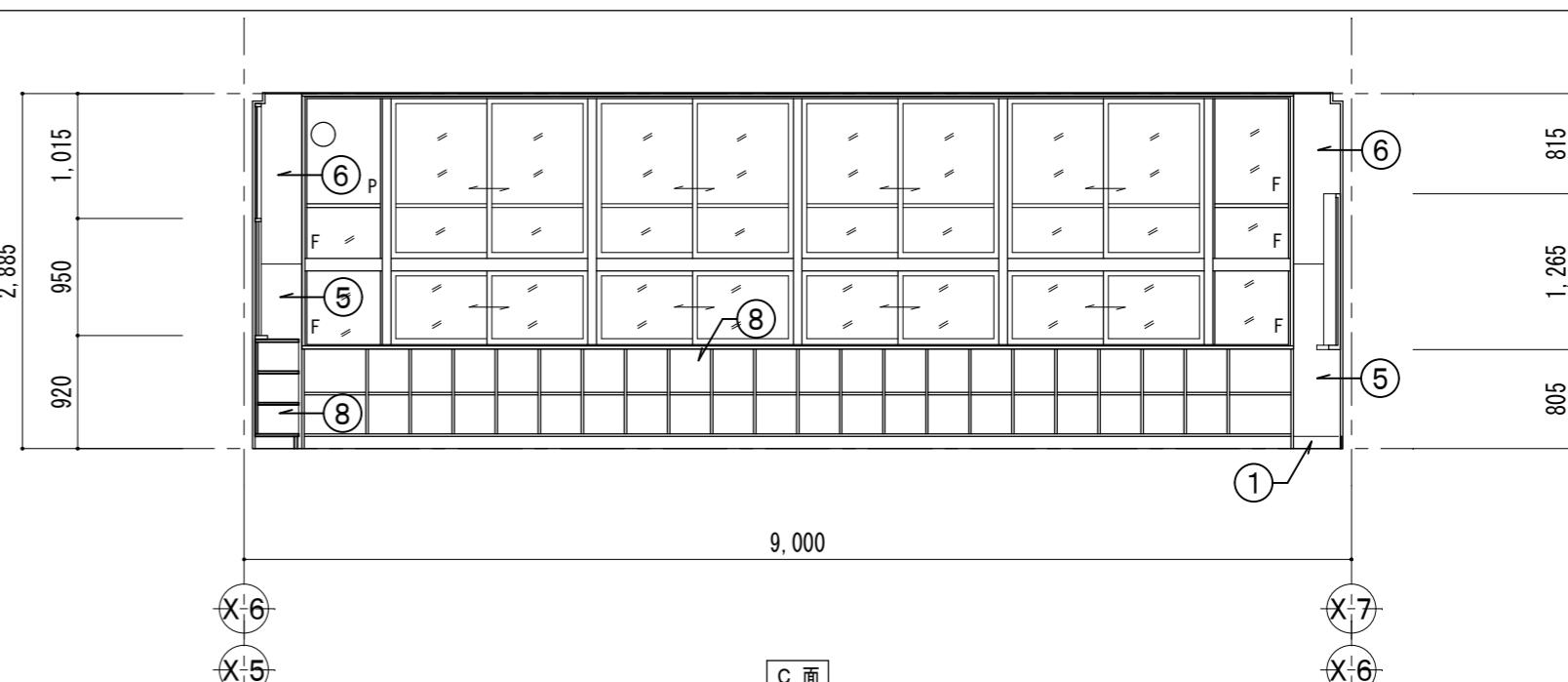
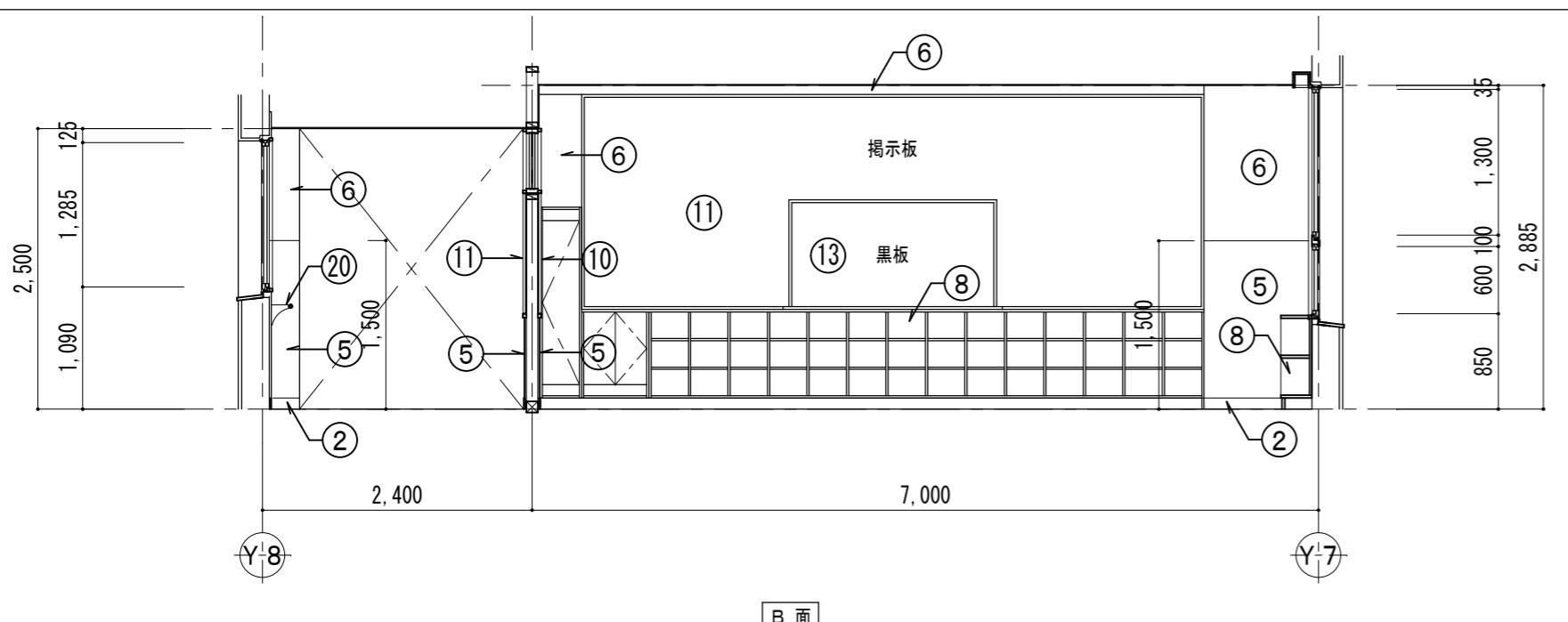
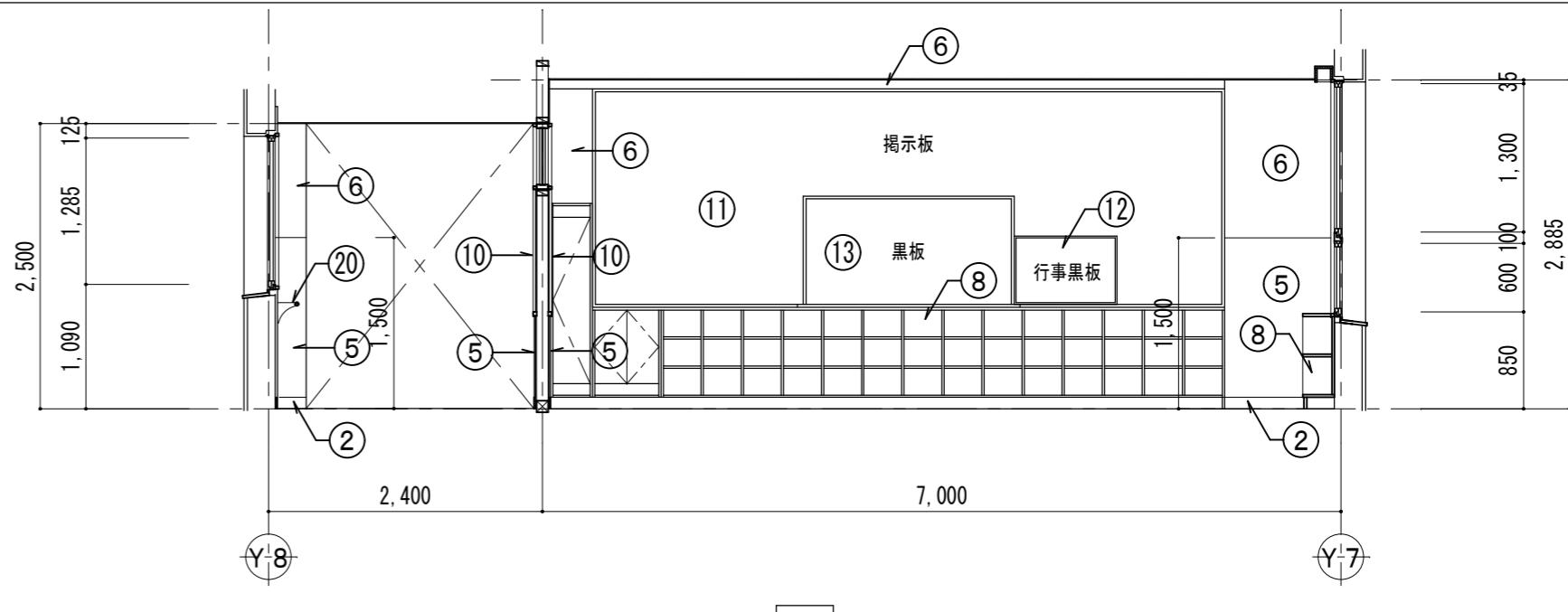
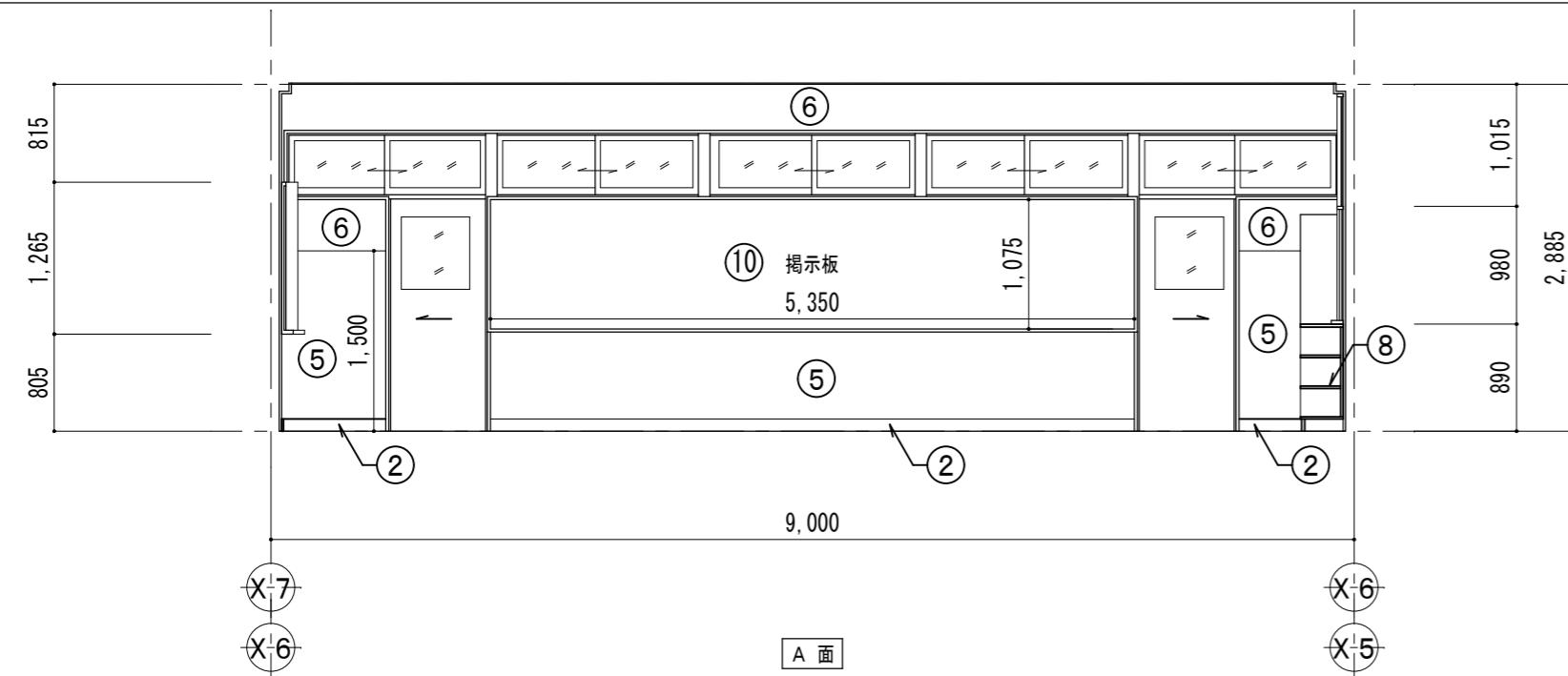
後記

10 二万件 不要 (SOT 型)

—G塗り 延べ フラット白板フラッシュ 銀行のよ

○○ 手がい・ (人研ぎステンレス包み) 既存

	図面 No
1/85)	A-075
	原図 : A 2



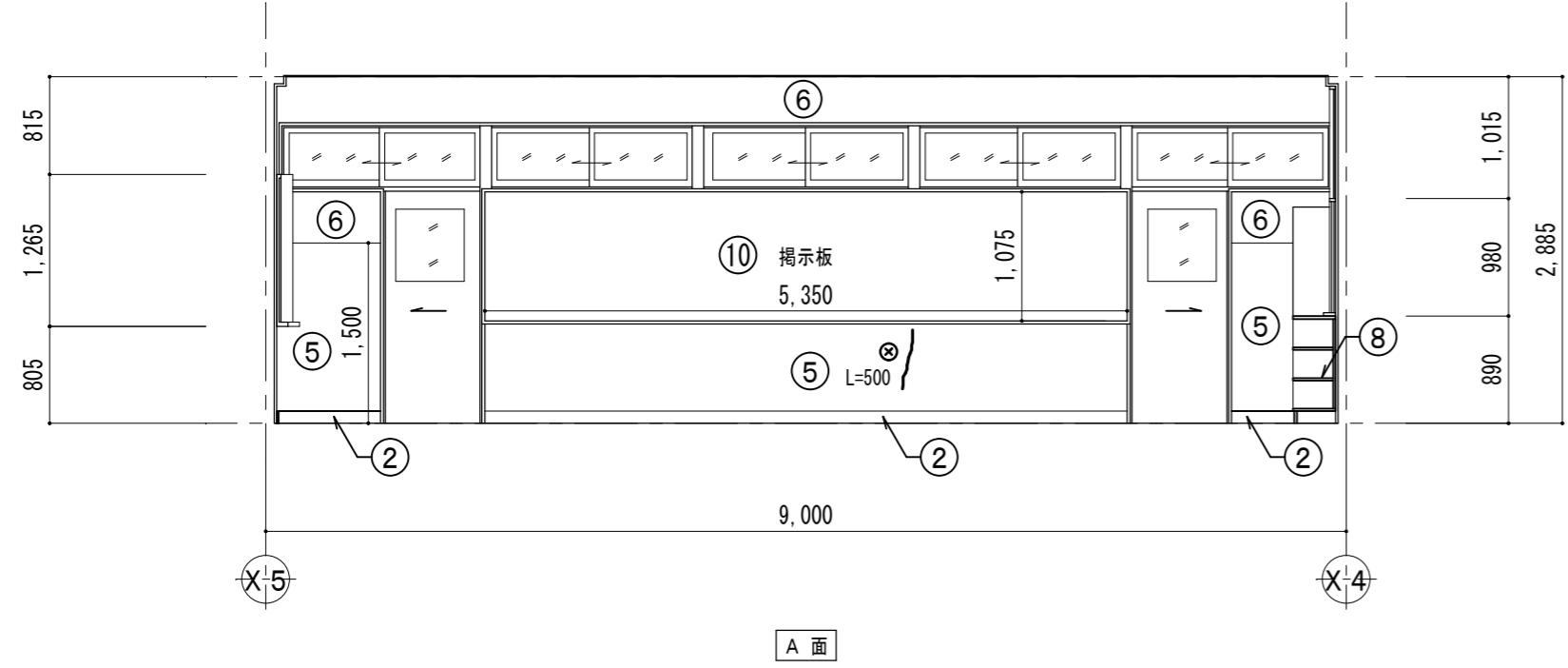
(X) 壁クラック1mm（長さは図中に記載）
クラック補修（Uカットシーリング充填）

■ 仕上表

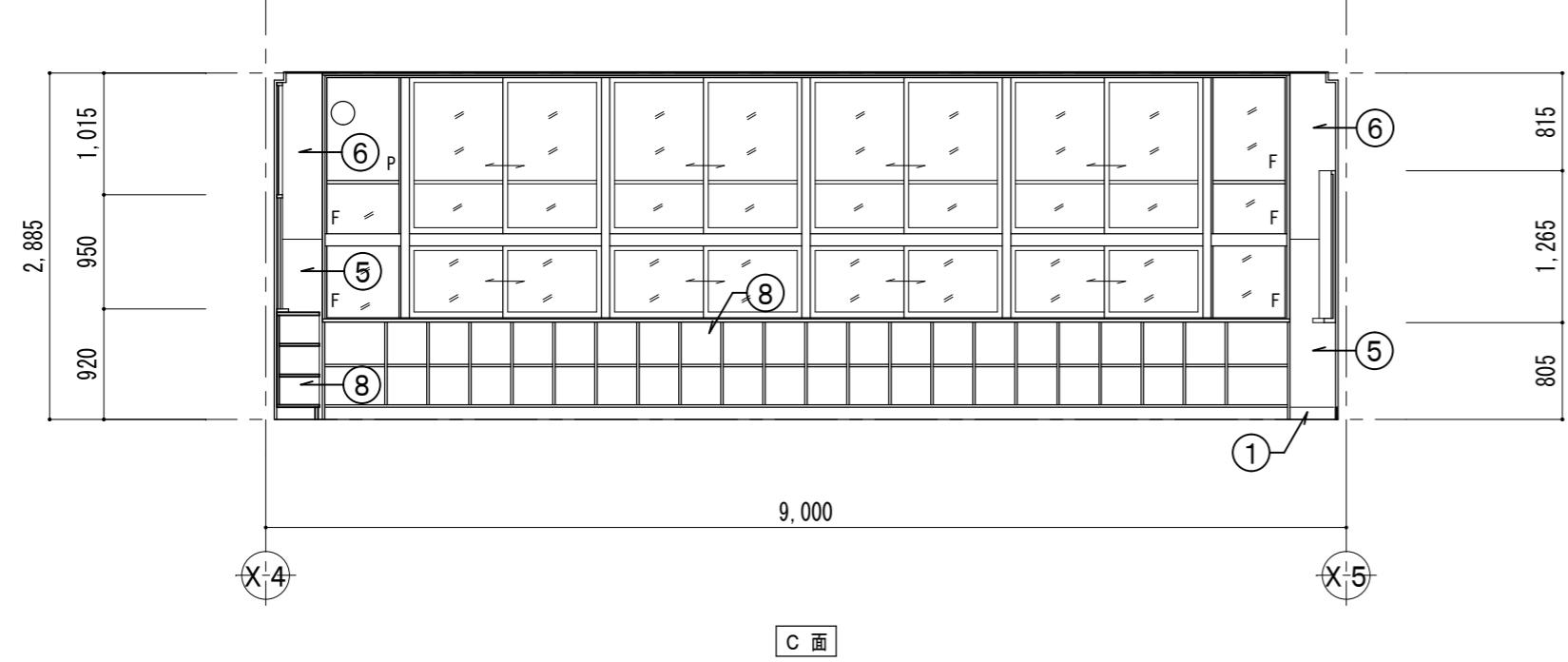
部位	改修前			改修後			記号	部位	改修前			改修後			記号	部位	改修前			記号		
	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号			改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号			改修前	改修後	記号			
巾木	モルタル E P塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	1	柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理RB種の上 E P-G塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 S O P塗り E P-G塗り	31
巾木	木製 S O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P-G塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	26	アコードイオン カーテン	一時撤去（鉄骨受材共） 復旧	32
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5 E P塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設（ステンレス製）	21	壁	ラワン合板 厚5.5 S O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	27	建具	鉄鋼面 O P塗り 下地処理RB種の上 E P-G塗り	33
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	28	手洗い	ステンレス製 既存のまま	34
壁	モルタル塗り V P	下地処理RB種の上 E P塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	29	手洗い	撤去（ステンレス製） 新設（ステンレス製）	35
壁及び梁型	プラスチック塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BO X	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 S O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み) 既存のまま	35

図面名称	縮尺	図面 No
2階 展開図1	S=1/60(A3:1/85)	A-076
【改修前・改修後】	.	.
.	.	原図: A 2

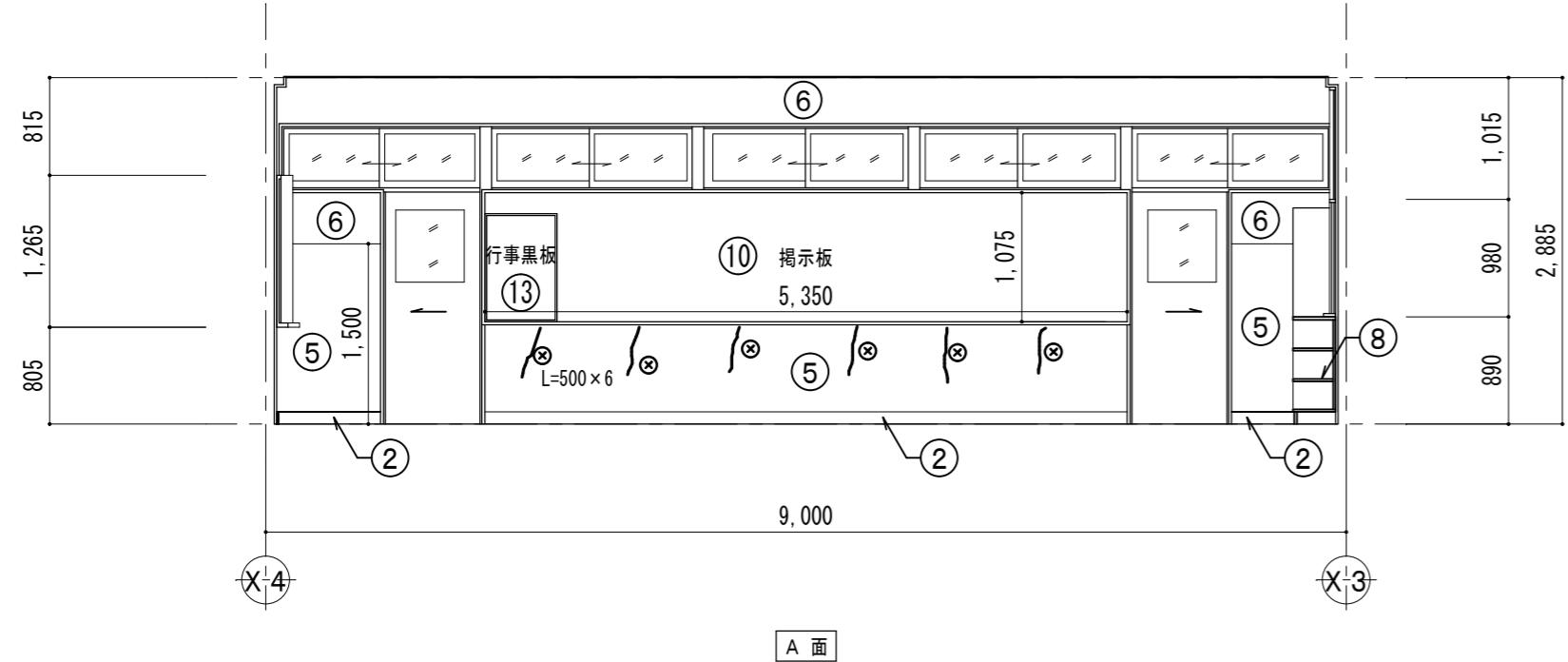
普通教室棟A 2F教室(2-1) \$=1/60



普通教室棟A 2F教室(2-1) \$=1/60



普通教室棟A 2F教室(2-2) \$=1/60

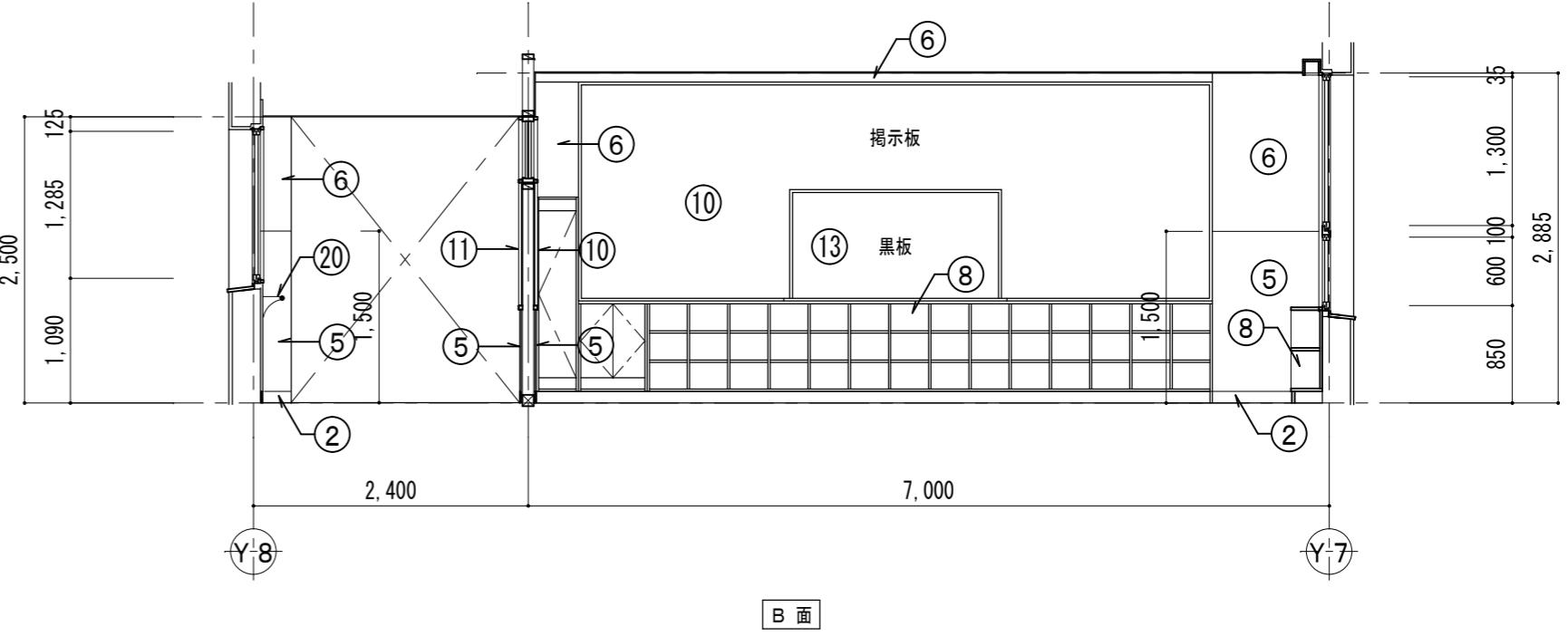


■ 仕上表

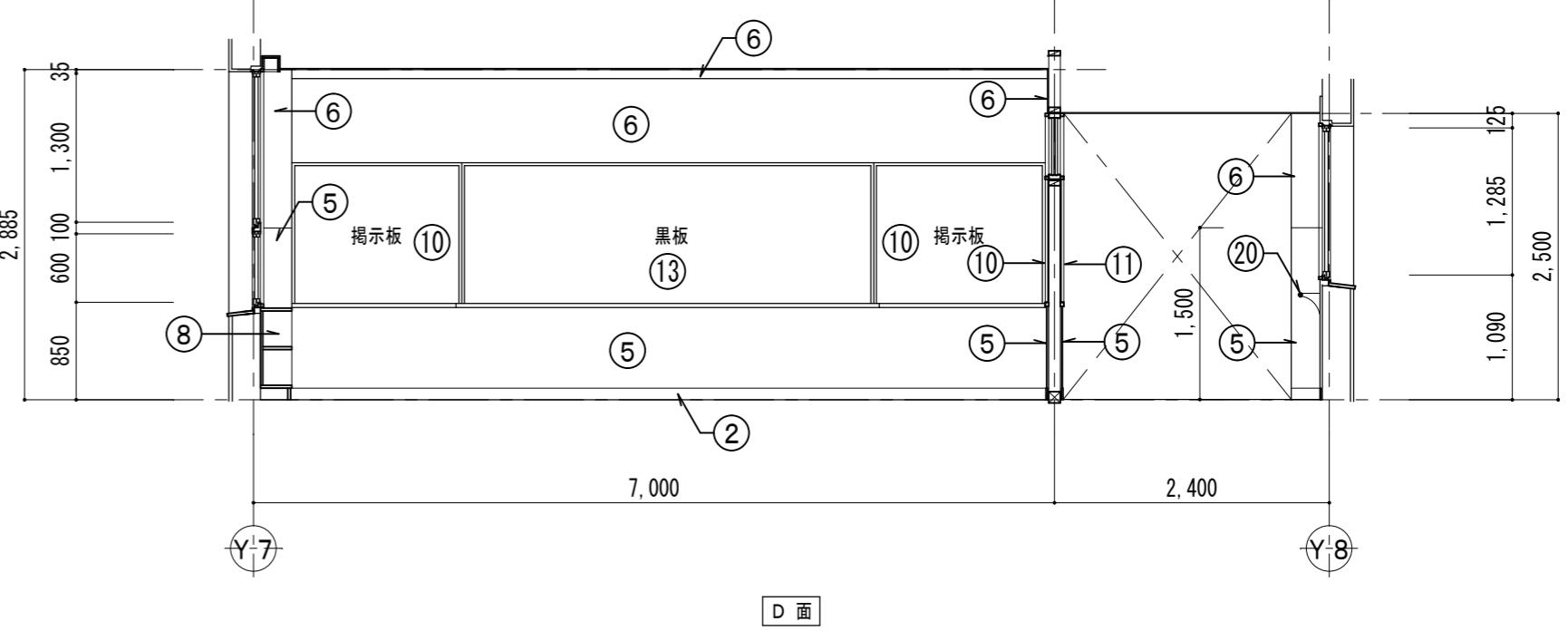
部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号		
	改修前	改修後	改修前	改修後			改修前	改修後	記号	改修前	改修後		改修前	改修後	記号	改修前	改修後	改修前			改修後				
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	柱巻き 鉄板巻き S O P	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	1	柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 S O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	31
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	家具	—	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	26	アコードイオン カーテン	一時撤去 (鉄骨受材共)	復旧	32
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5	下地処理RB種の上 E P 塗り	家具	一時撤去	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	21	壁	ラウン合板 厚5.5 S O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	27	建具	鉄鋼面 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	33
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34
壁	モルタル塗り V P	下地処理RB種の上 E P 塗り	5	掲示板	クロス撤去	掲示板	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	29	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	35	
壁及び梁型	プラスチ一塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	6	掲示板	一時撤去	掲示板	一時撤去	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 S O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35	

(○) 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

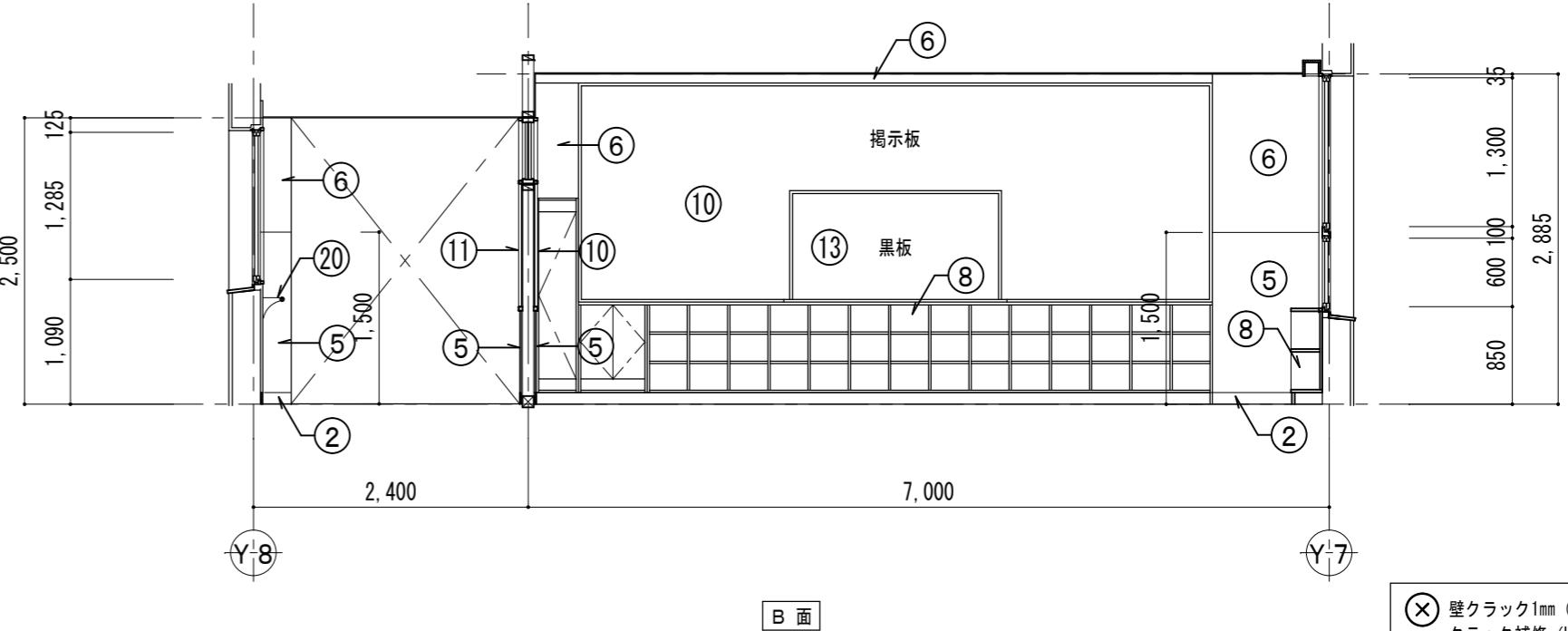
普通教室棟A 2F教室(2-1) \$=1/60



普通教室棟A 2F教室(2-1) \$=1/60



普通教室棟A 2F教室(2-2) \$=1/60



※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号		
	改修前	改修後	改修前	改修後			改修前	改修後	記号	改修前	改修後		改修前	改修後	記号	改修前	改修後	改修前			改修後				
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	柱巻き 鉄板巻き S O P	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	1	柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 S O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	31
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	家具	—	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	26	アコードイオン カーテン	一時撤去 (鉄骨受材共)	復旧	32
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5	下地処理RB種の上 E P 塗り	家具	一時撤去	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	21	壁	ラウン合板 厚5.5 S O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	27	建具	鉄鋼面 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	33
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34
壁	モルタル塗り V P	下地処理RB種の上 E P 塗り	5	掲示板	クロス撤去	掲示板	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	29	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	35	
壁及び梁型	プラスチ一塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	6	掲示板	一時撤去	掲示板	一時撤去	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 S O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35	

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

設計監理類建築設計事務所
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

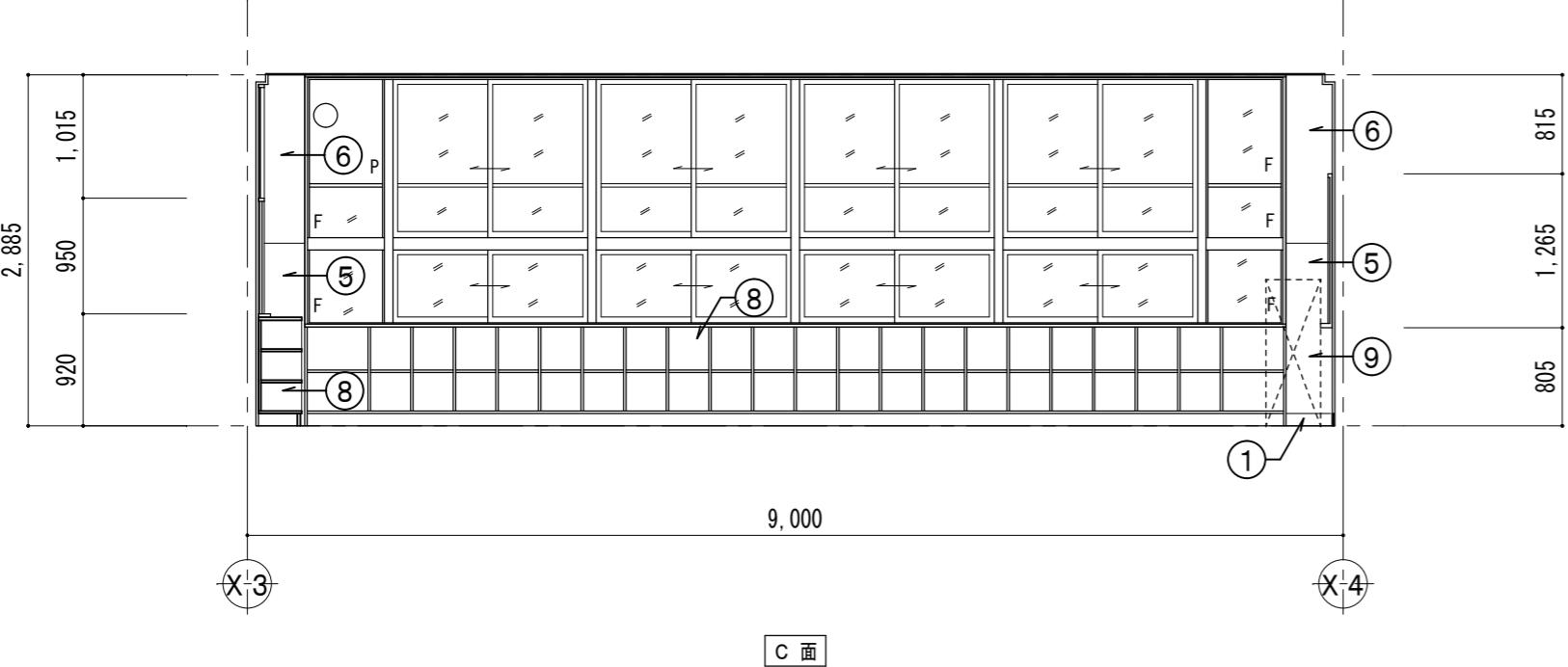
一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号
管理建築士 設計者
変更・訂正
一級建築士 第306854号
田中 召剛

製図年月日 2024.5.20.
設計番号 N o
【改修前・改修後】
田中 召剛

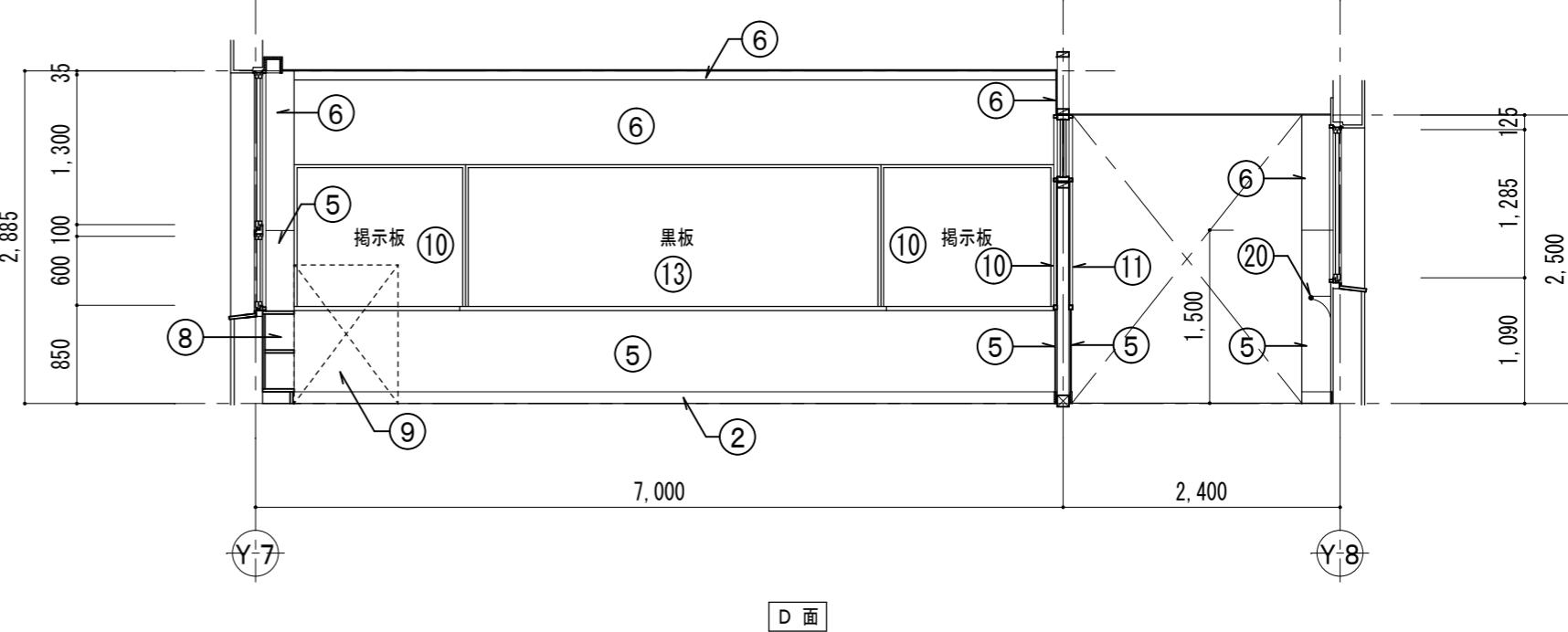
備考
2階 展開図2 (改修前・後) S=1/60(A3:1/85)
【改修前・改修後】
原図: A2

縮尺
図面 No
A-077
原図: A2

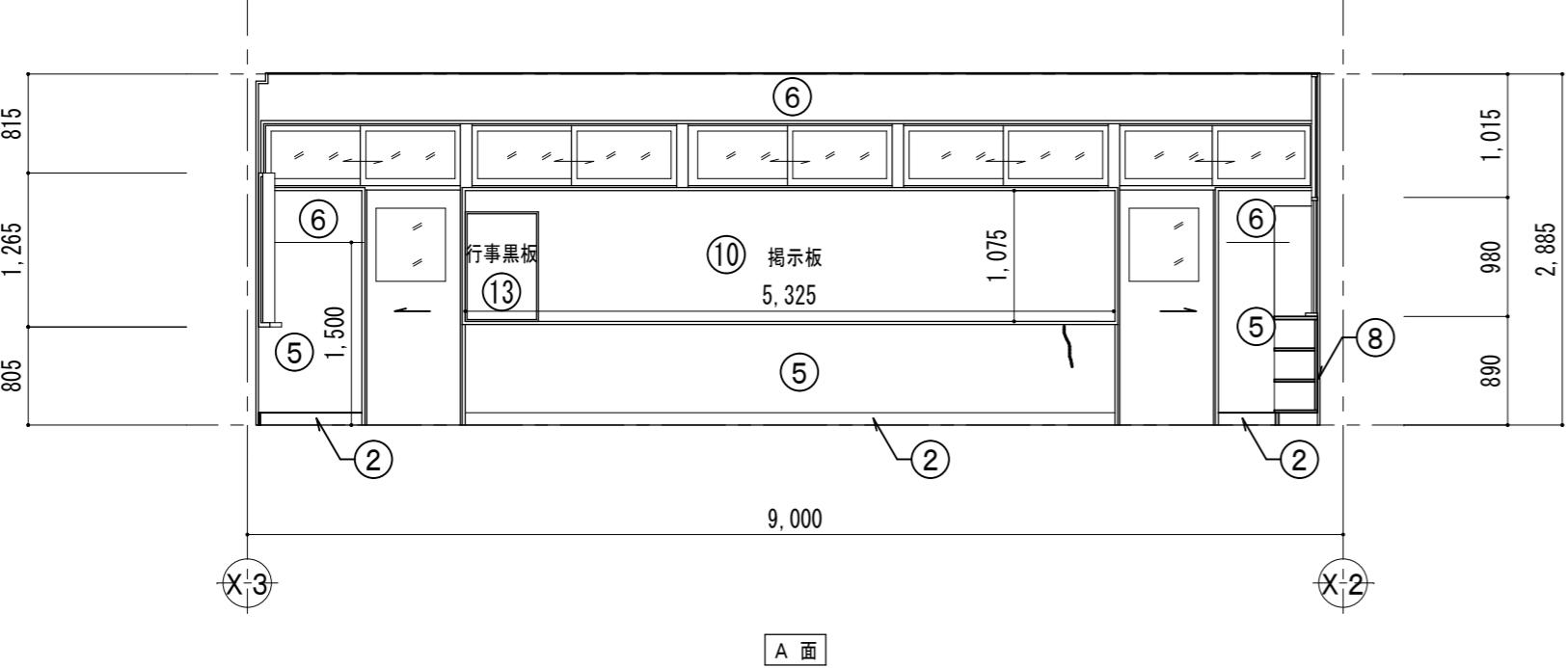
普通教室棟 A 2F教室 (2-2) S=1/60



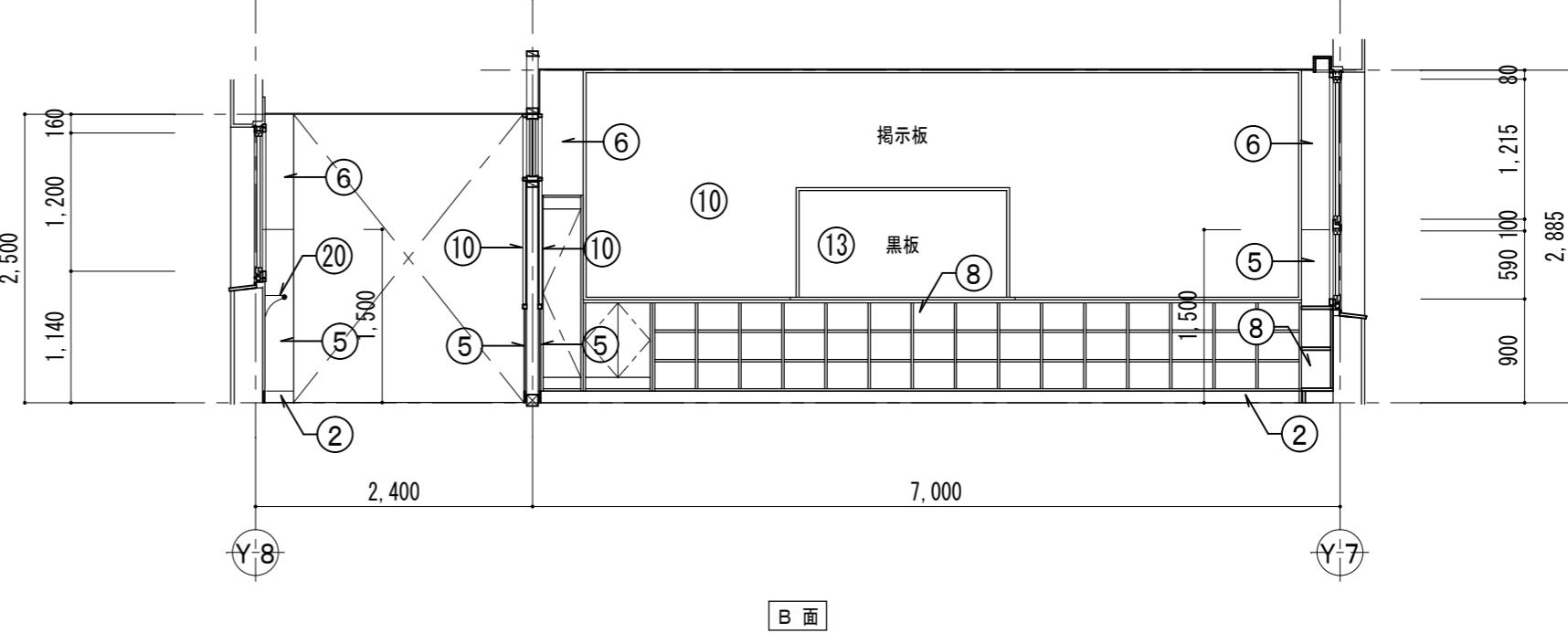
普通教室棟 A 2F教室 (2-2) S=1/60



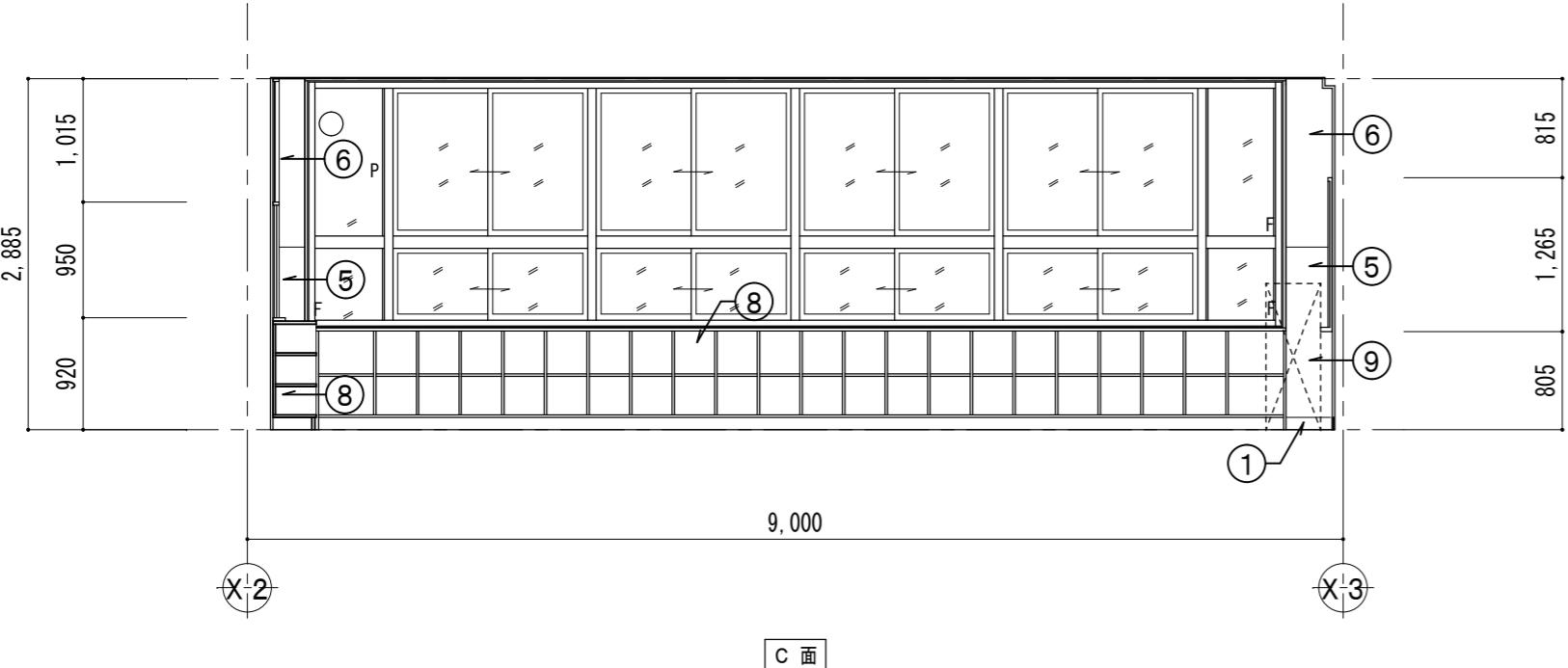
普通特別教室棟 2F教室 (2-3) S=1/60



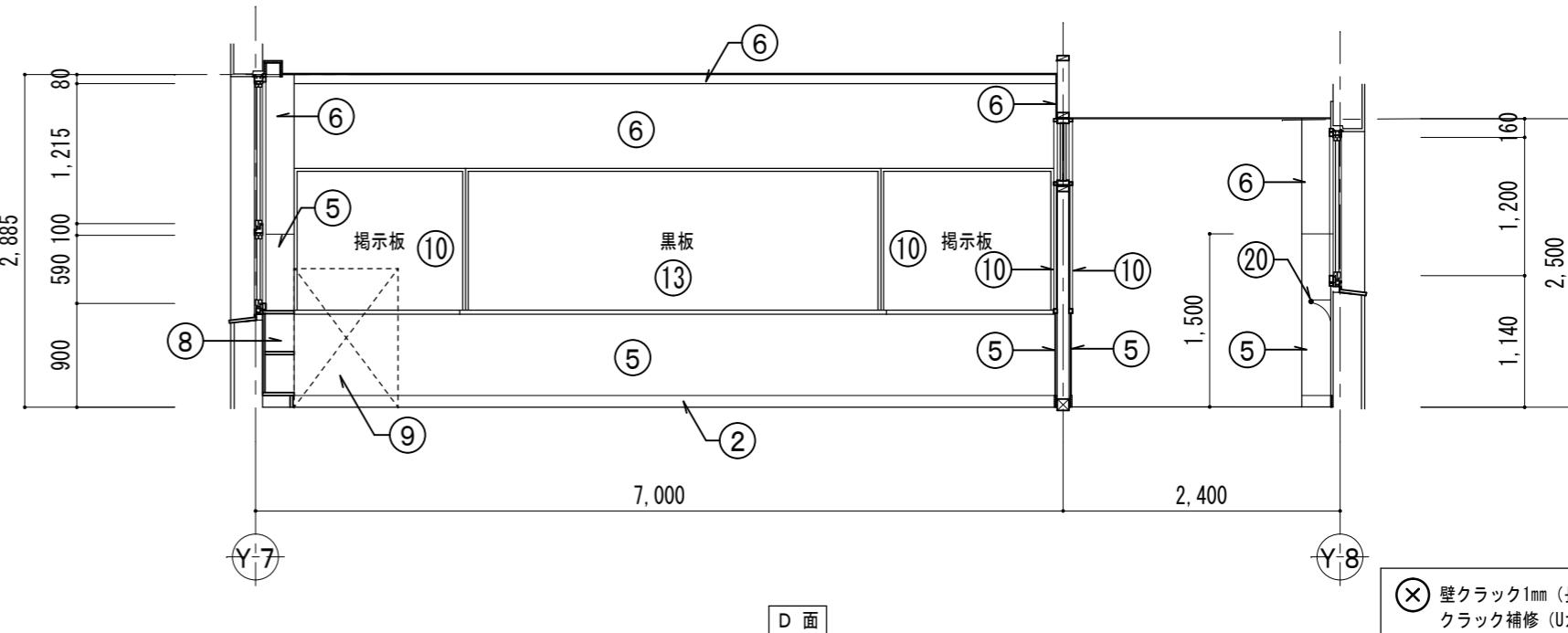
普通特別教室棟 2F教室 (2-3) S=1/60



普通特別教室棟 2F教室 (2-3) S=1/60



普通特別教室棟 2F教室 (2-3) S=1/60

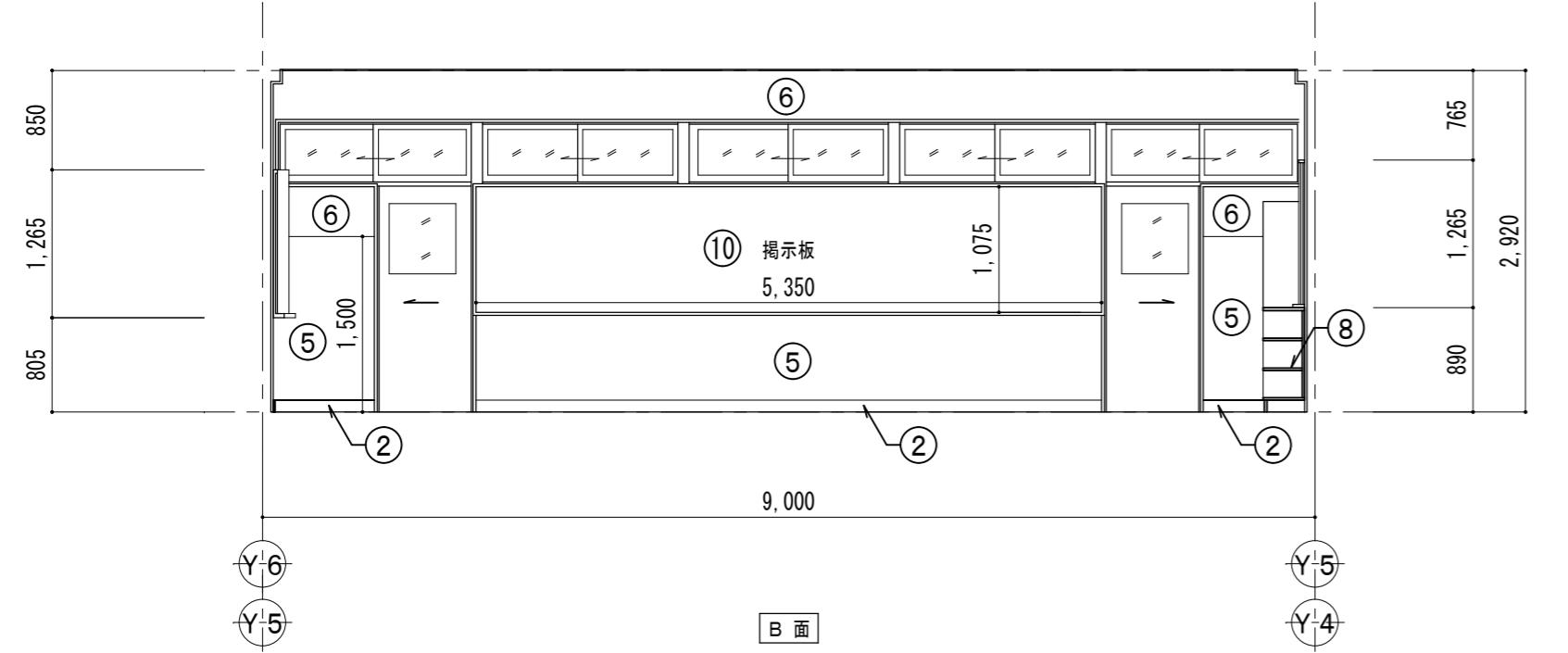


(X) 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

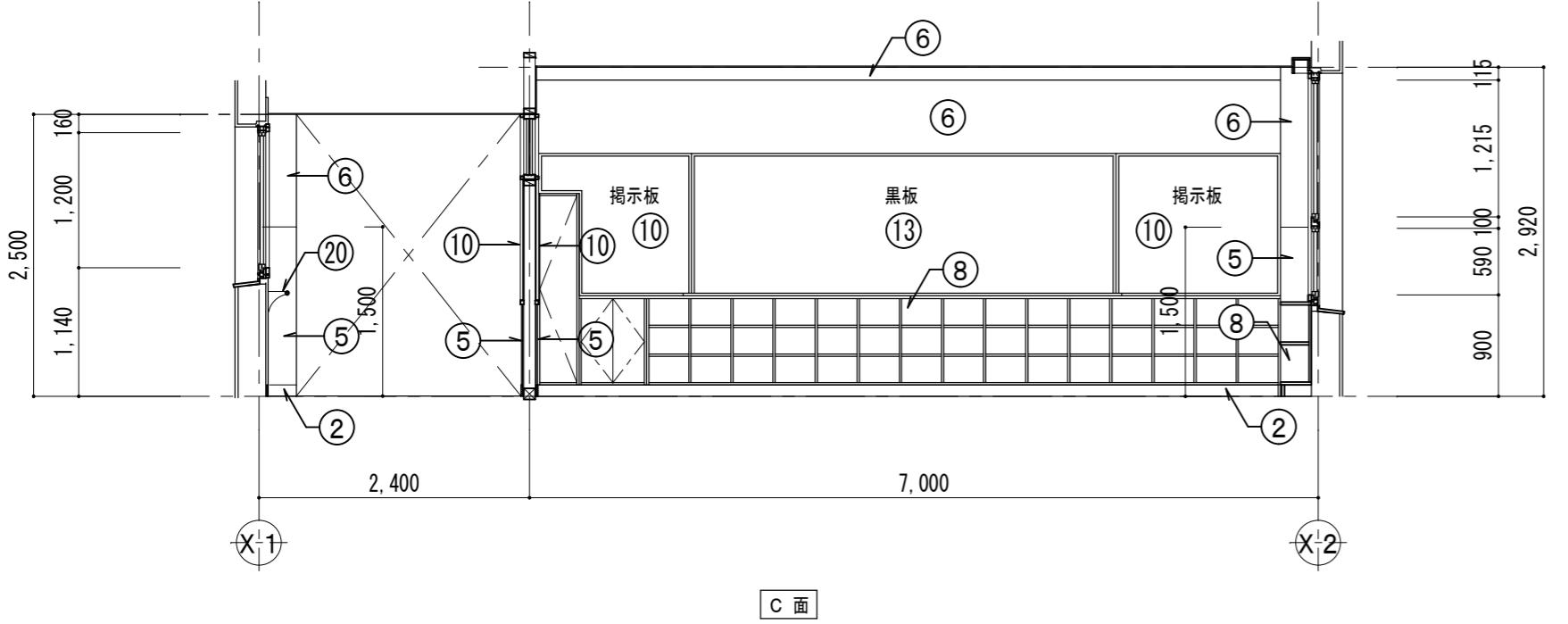
■ 仕上表

部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号
	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後	記号		
巾木	モルタル E P塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 E P-G塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	31
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P-G塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	26	アコードイオン カーテン	一時撤去 (鉄骨受材共)	復旧	32
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5 E P塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	21	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	27	建具	鉄鋼面 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	33
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 E P塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	29	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	35
壁及び梁型	プラスチック塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35

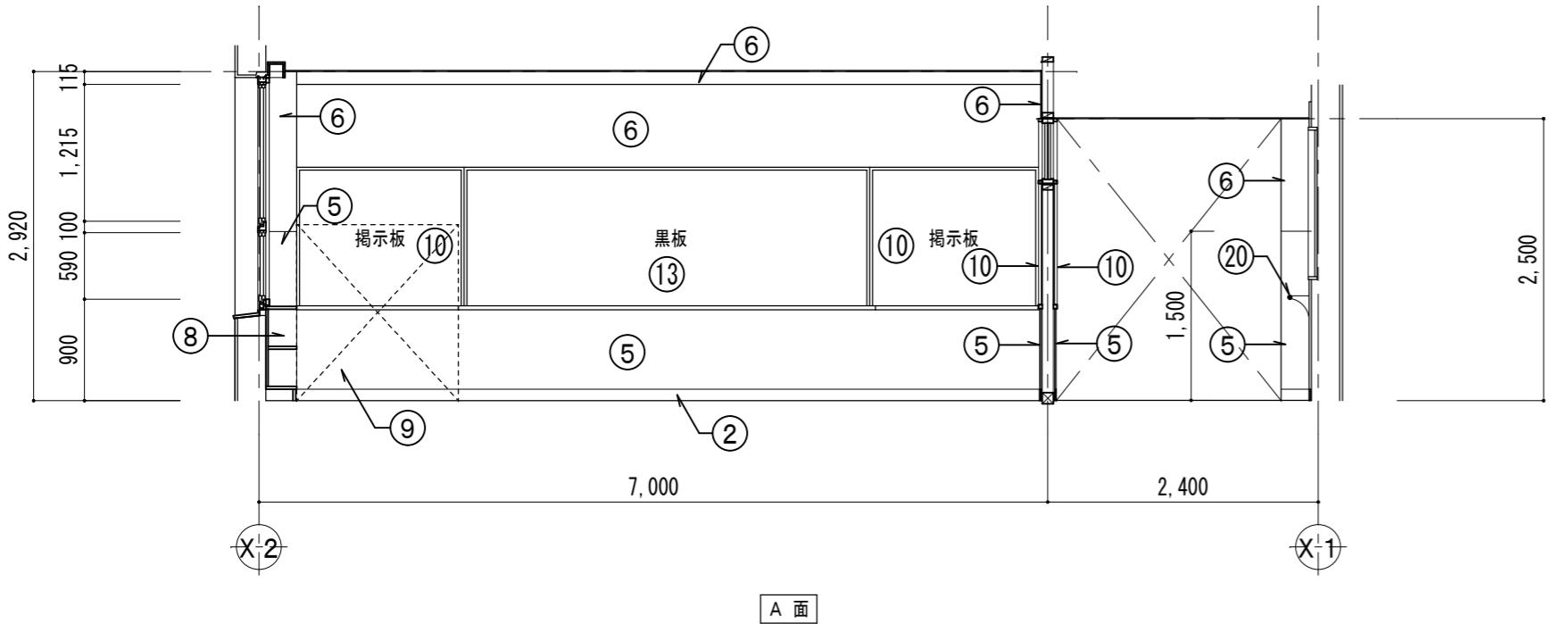
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事



普通特別教室棟 2F教室 (6-2) S=1/60



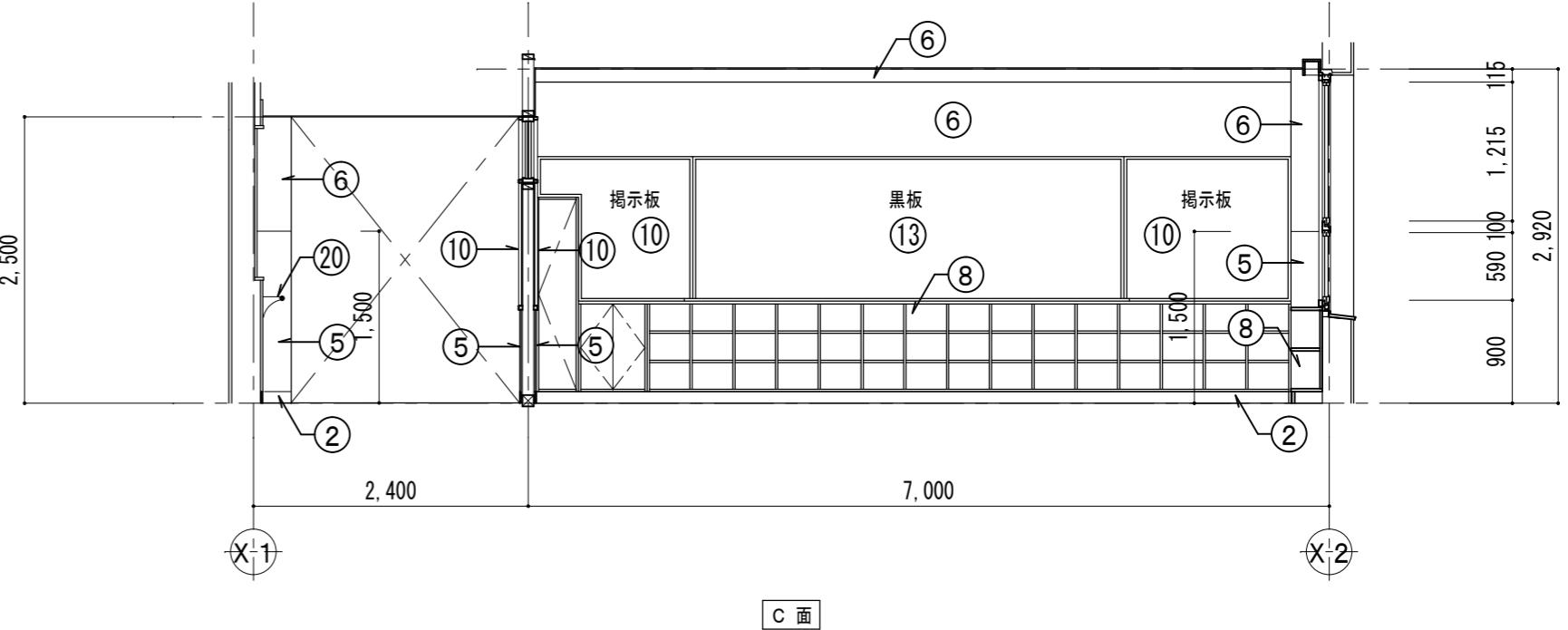
普通特別教室棟 2F教室 (6-1) S=1/60



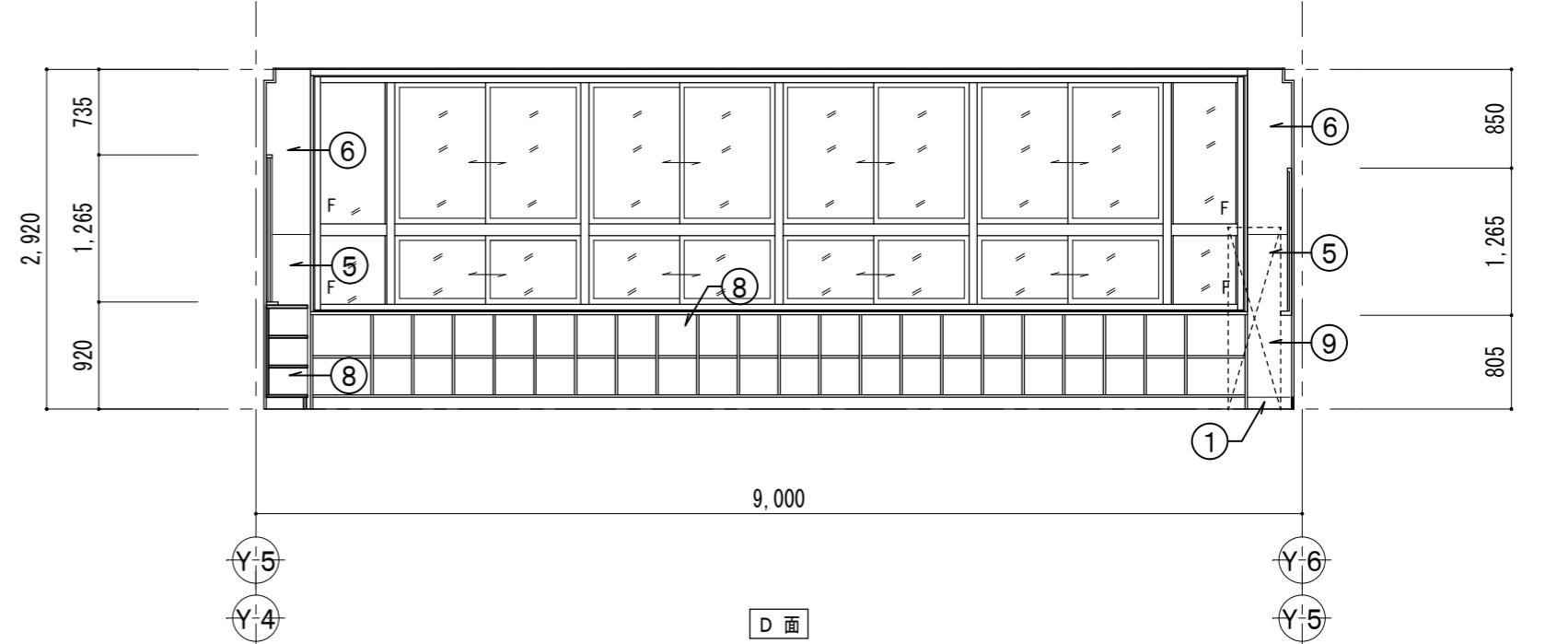
■ 仕上表

部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号
	改修前	改修後	記号	改修前	改修後		黒板	—	既存のまま	13		屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	31
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-P-G塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	31
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-P-G塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O.P塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	26	アコードイオンカーテン	一時撤去(鉄骨受材共)	復旧	32
巾木	既調合モルタル薄塗り厚5 EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設(ステンレス製)	21	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	27	建具	鉄鋼面 O.P塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	33
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他備品	—	一時撤去	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5張り O.P塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 EP塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 O.P塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	29	手洗い	撤去(ステンレス製)	新設(ステンレス製)	35
壁及び梁型	プラスチック塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-P-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35

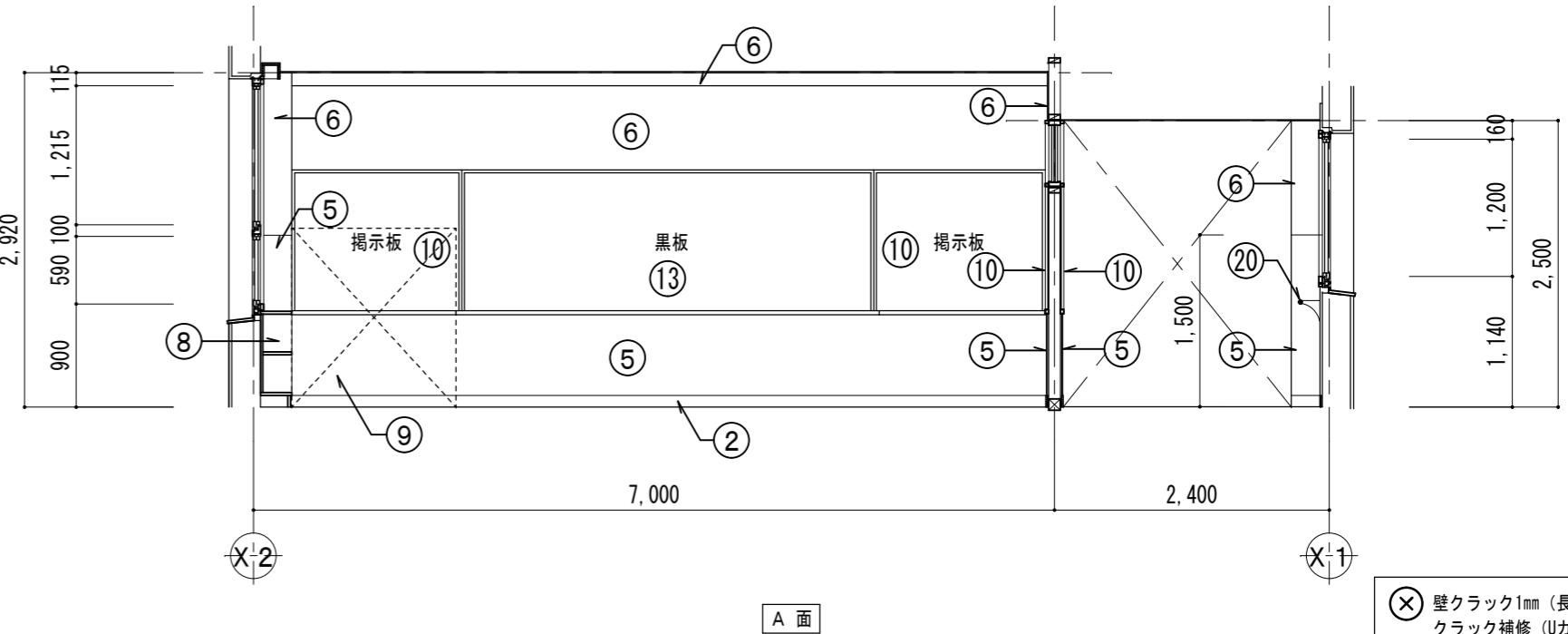
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事
(X) 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修(Uカットシーリング充填)



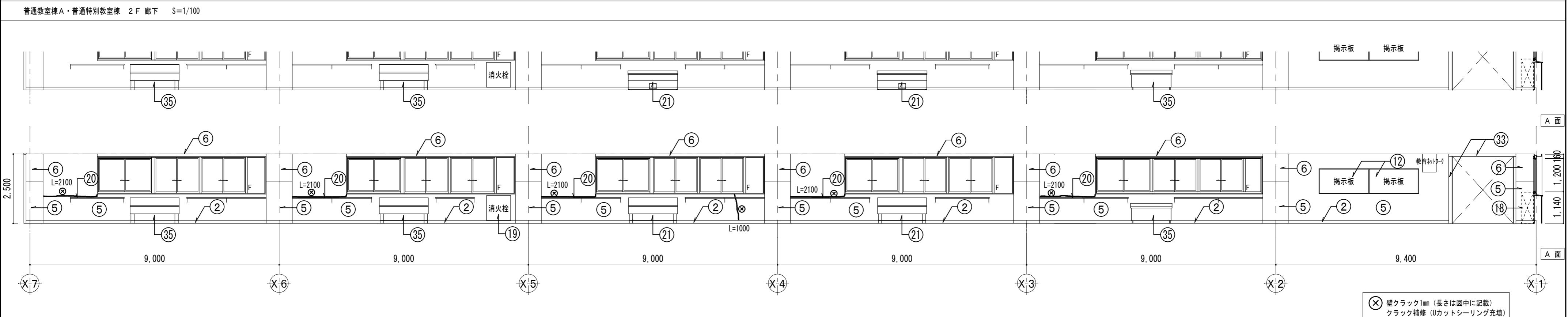
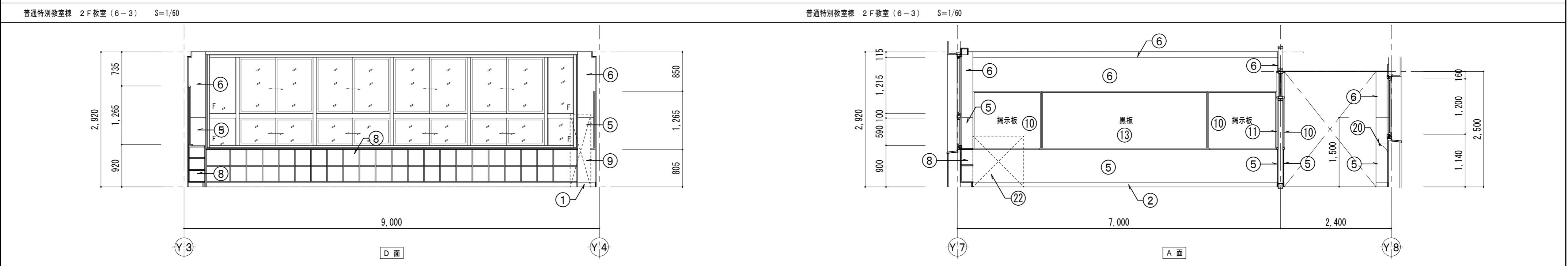
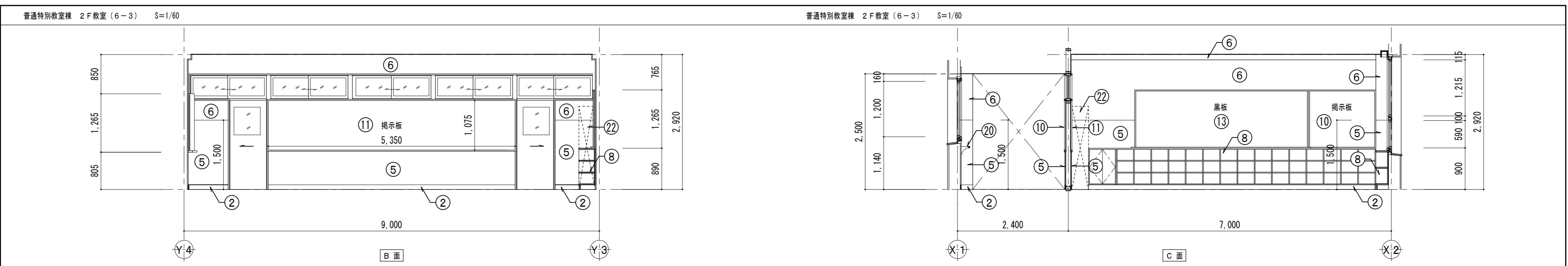
普通特別教室棟 2F教室 (6-1) (6-2) S=1/60



普通特別教室棟 2F教室 (6-2) S=1/60



A面



■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号				
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上EP塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上EP-G塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	31
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上EP-G塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	26	アコードィオンカーテン	一時撤去(鉄骨受材共)	復旧	32
巾木	既調合モルタル薄塗り厚5	下地処理RB種の上EP塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去(人研ぎステンレス包み)	新設(ステンレス製)	21	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	27	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	33
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り(壁部)	難燃ペニア厚5.5張りOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上EP塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り(枠組材)	ラワン材 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	29	手洗い	撤去(ステンレス製)	新設(ステンレス製)	35
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上EP塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去(人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2124号

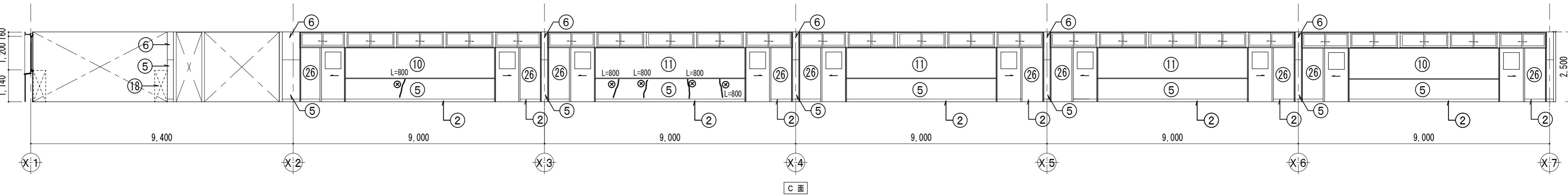
年月日 2024.5.20

EF-G座り

備考

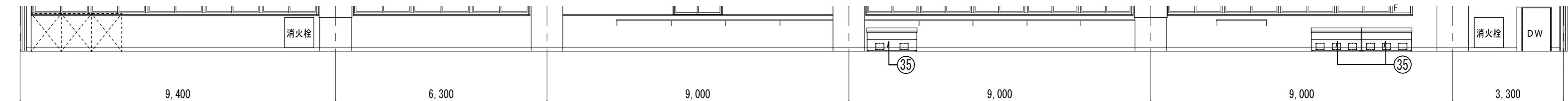
(人勘さへ)フレハ色ア

A3:1/85)	図面 No
	A-080
	原図： A 2

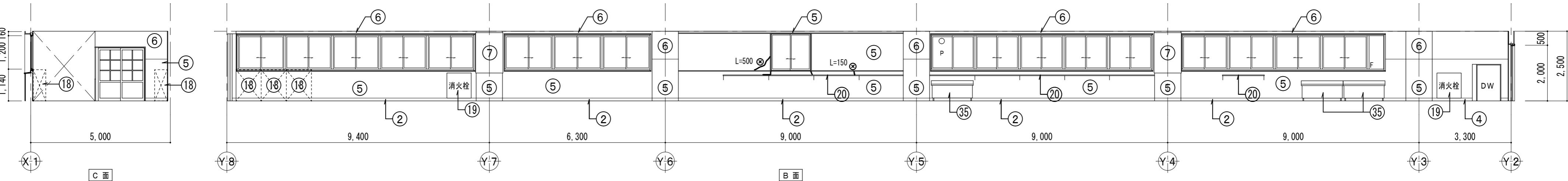


普通特別教室棟 2F 物置前廊下 S=1/100

普通特別教室棟 2F 教室前廊下 S=1/100

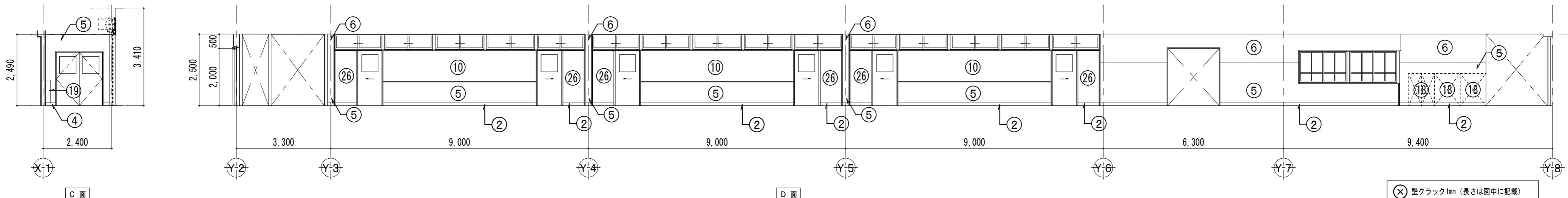


B面



普通特別教室棟 2F 教室前廊下 S=1/100

普通特別教室棟 2F 教室前廊下 S=1/100



D面

(X) 壁クラック1mm（長さは図中に記載）
クラック補修（Uカットシーリング充填）

■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号				
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	31
巾木	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	26	アコードイオン カーテン	一時撤去（鉄骨受材共）	復旧	32
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5 E P 塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設（ステンレス製）	21	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	27	建具	鉄鋼面 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	33
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5張り O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 E P 塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	29	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	35
壁及び梁型	プラスチック塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P - G 塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35

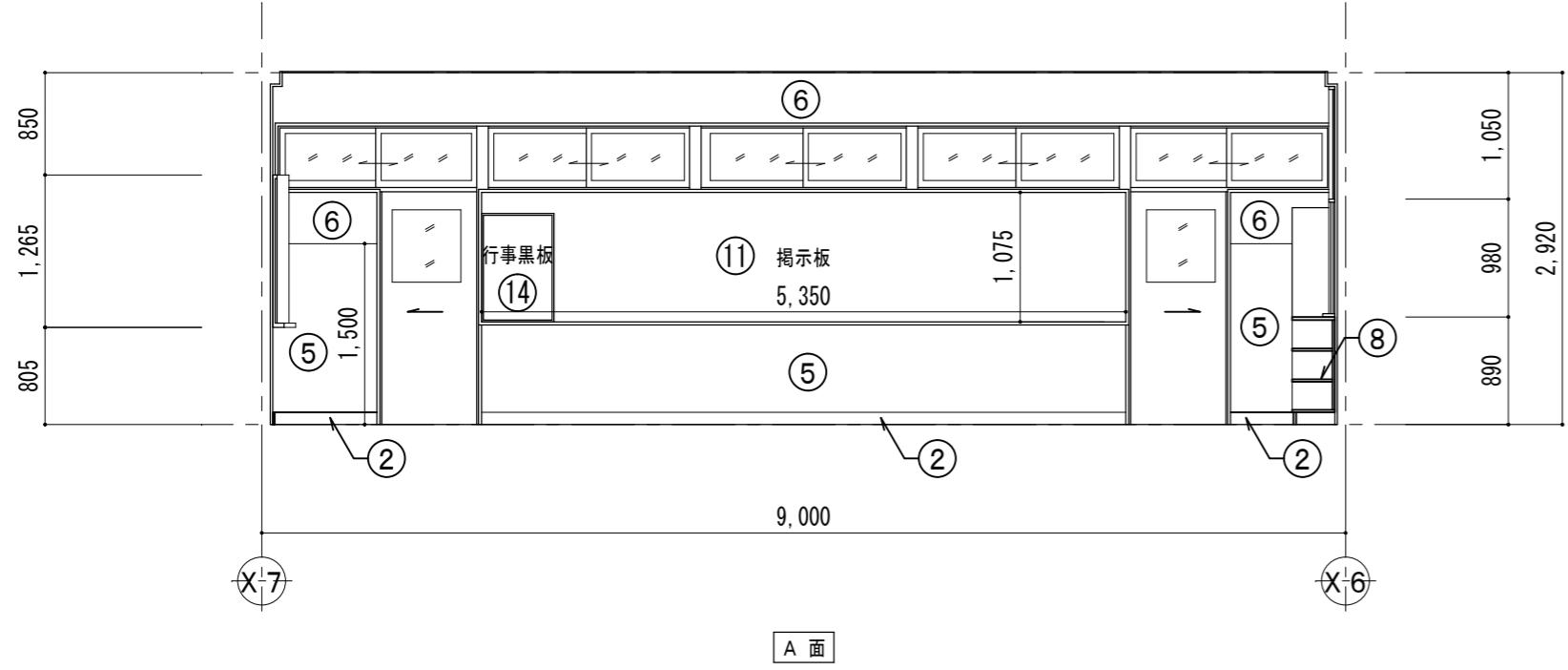
設計監理類建築設計事務所
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号 製図年月日 2024. 5. 20. 設計番号 N o
管理建築士 設計者 変更・訂正
一級建築士 一級建築士
第306854号 第306854号
田中 召開 田中 召開

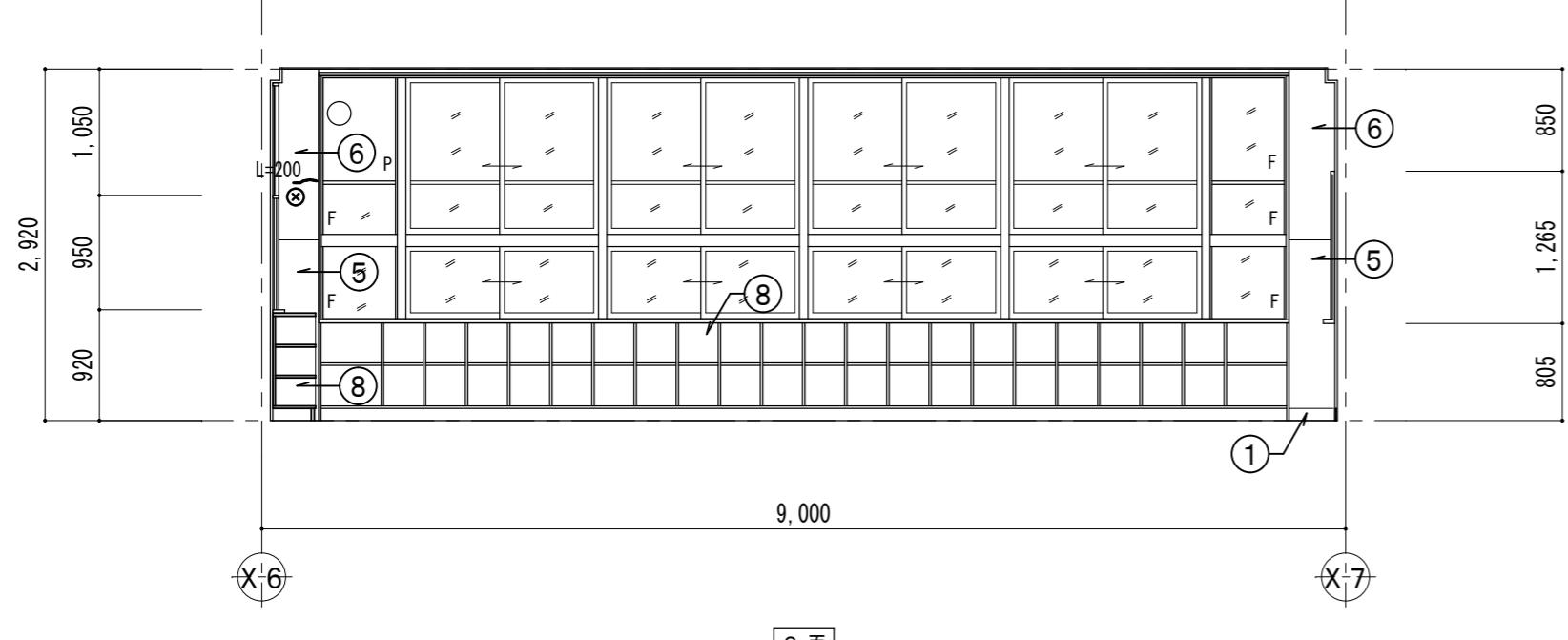
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考
図面名称 縮尺 図面 No
2階 展開図6（改修前・後） S=1/60 (A3:1/85)
【改修前・改修後】
原図 A-081
原図 A-2

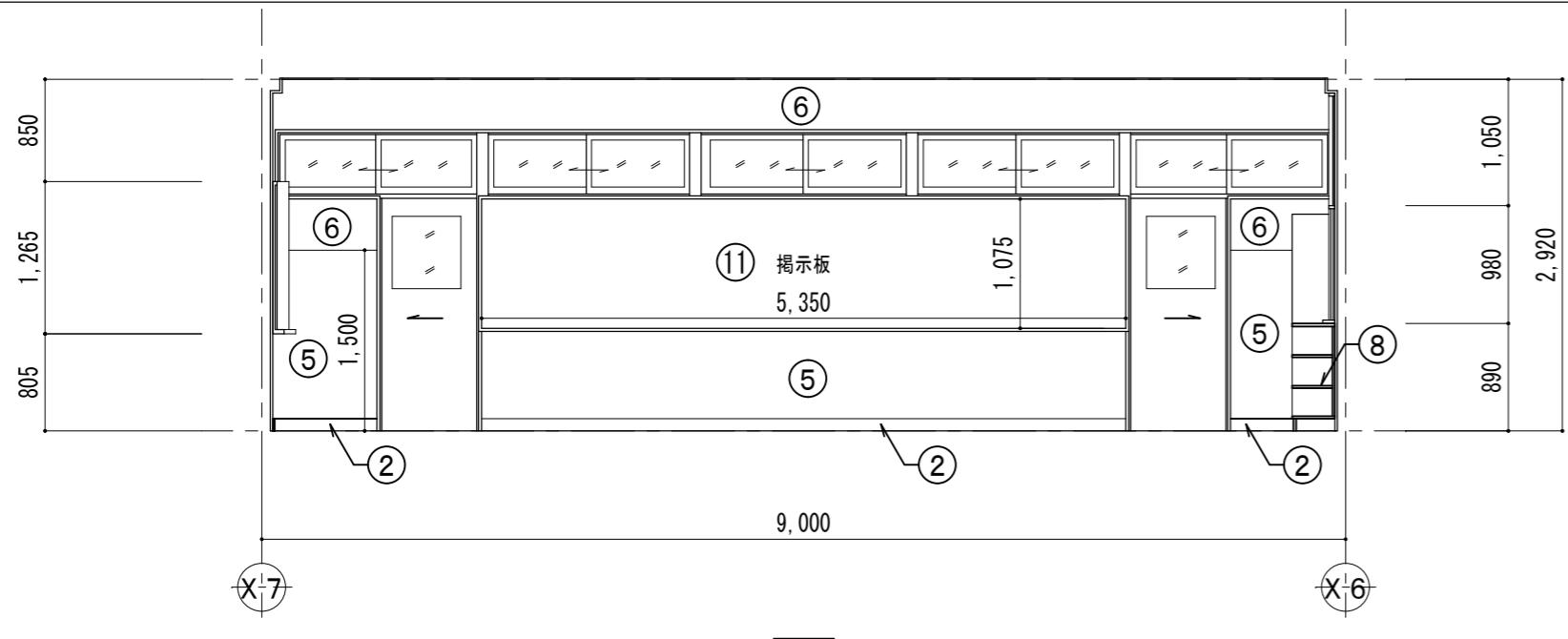
普通教室棟A 3F教室(5-3) \$=1/60



普通教室棟A 3F教室(5-3) \$=1/60



普通教室棟A 3F教室(4-1) \$=1/60

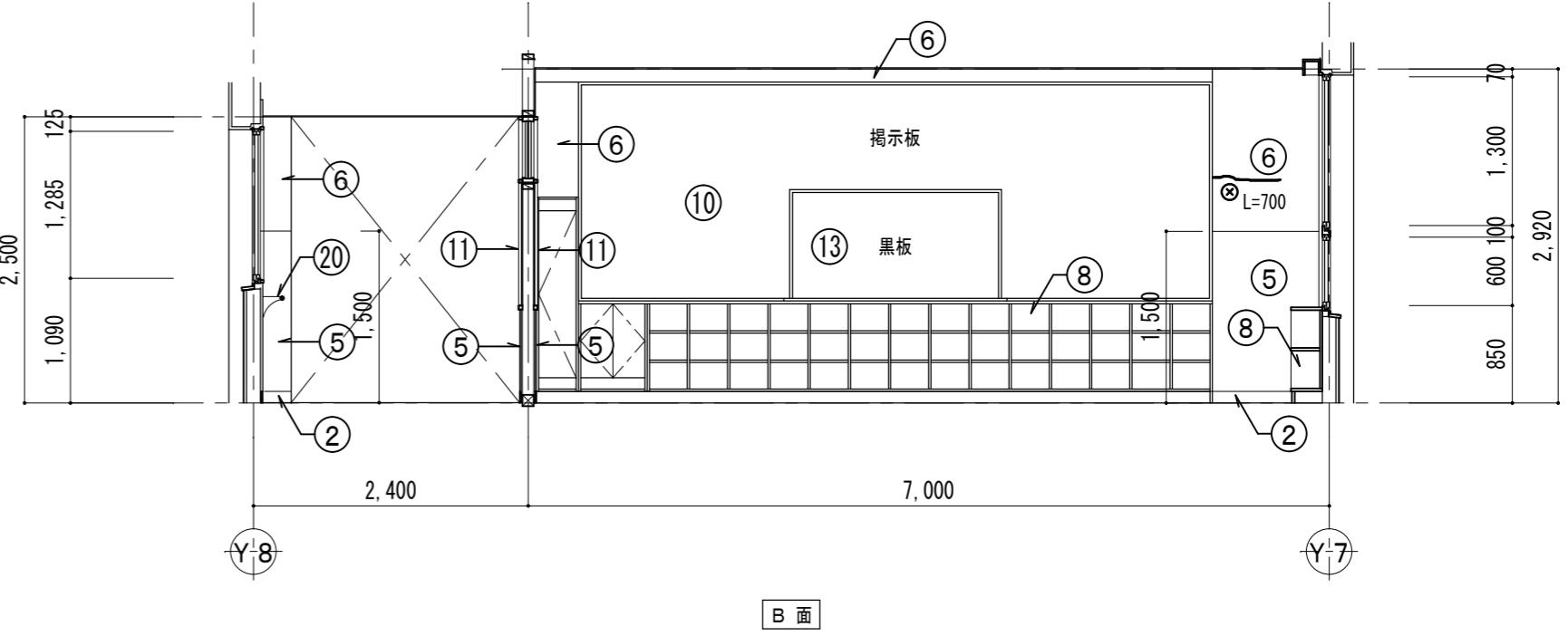


■ 仕上表

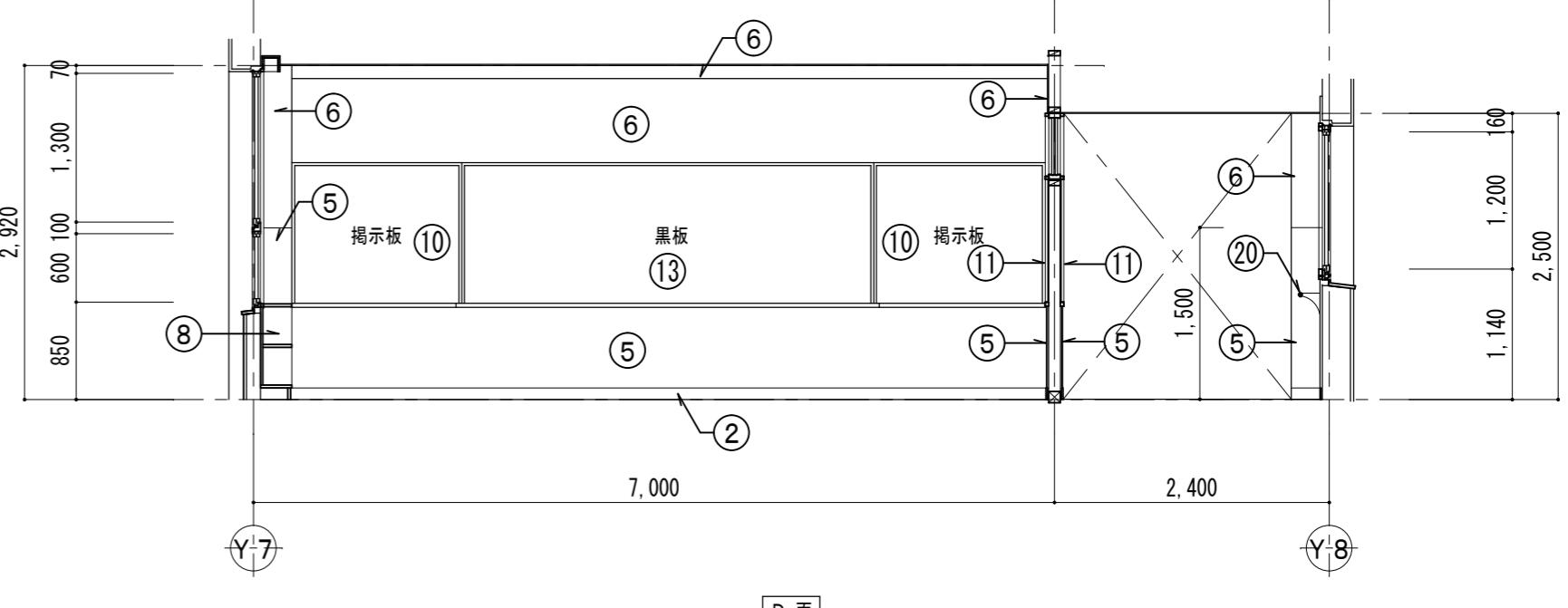
部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号
	改修前	改修後	改修前	改修後			改修前	改修後	記号	改修前	改修後		改修前	改修後	記号	改修前	改修後	改修前			改修後		
巾木	モルタル E P塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	柱巻き	鉄板巻き SOP	1	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	31		
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	家具	—	2	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P-G塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	26	アコードイオン カーテン	一時撤去(鉄骨受材共)	復旧	32		
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5	下地処理RB種の上 E P塗り	家具	一時撤去	3	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設(ステンレス製)	21	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	27	建具	鉄鋼面 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	33		
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 E P塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	29	手洗い	撤去(ステンレス製)	新設(ステンレス製)	35
壁及び梁型	プラスチ一塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35

(X) 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修(リカットシーリング充填)

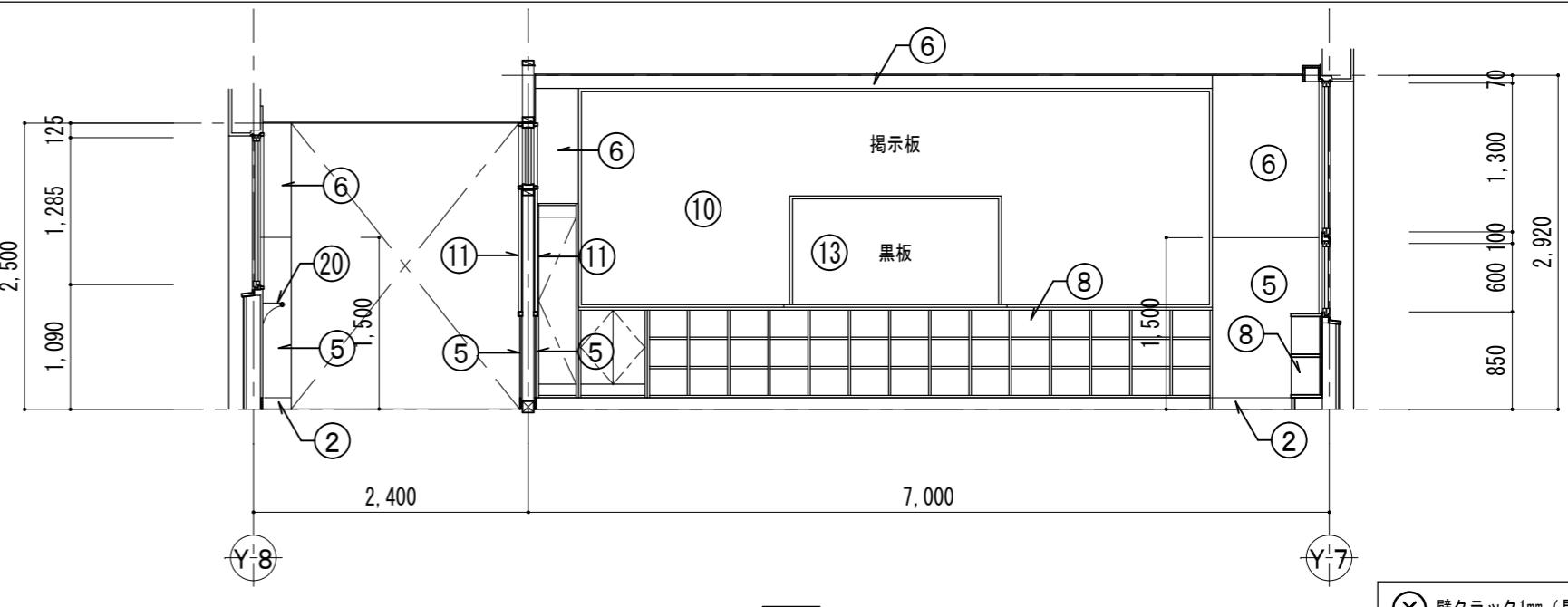
普通教室棟A 3F教室(5-3) \$=1/60



普通教室棟A 3F教室(5-3) \$=1/60



普通教室棟A 3F教室(4-1) \$=1/60



※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

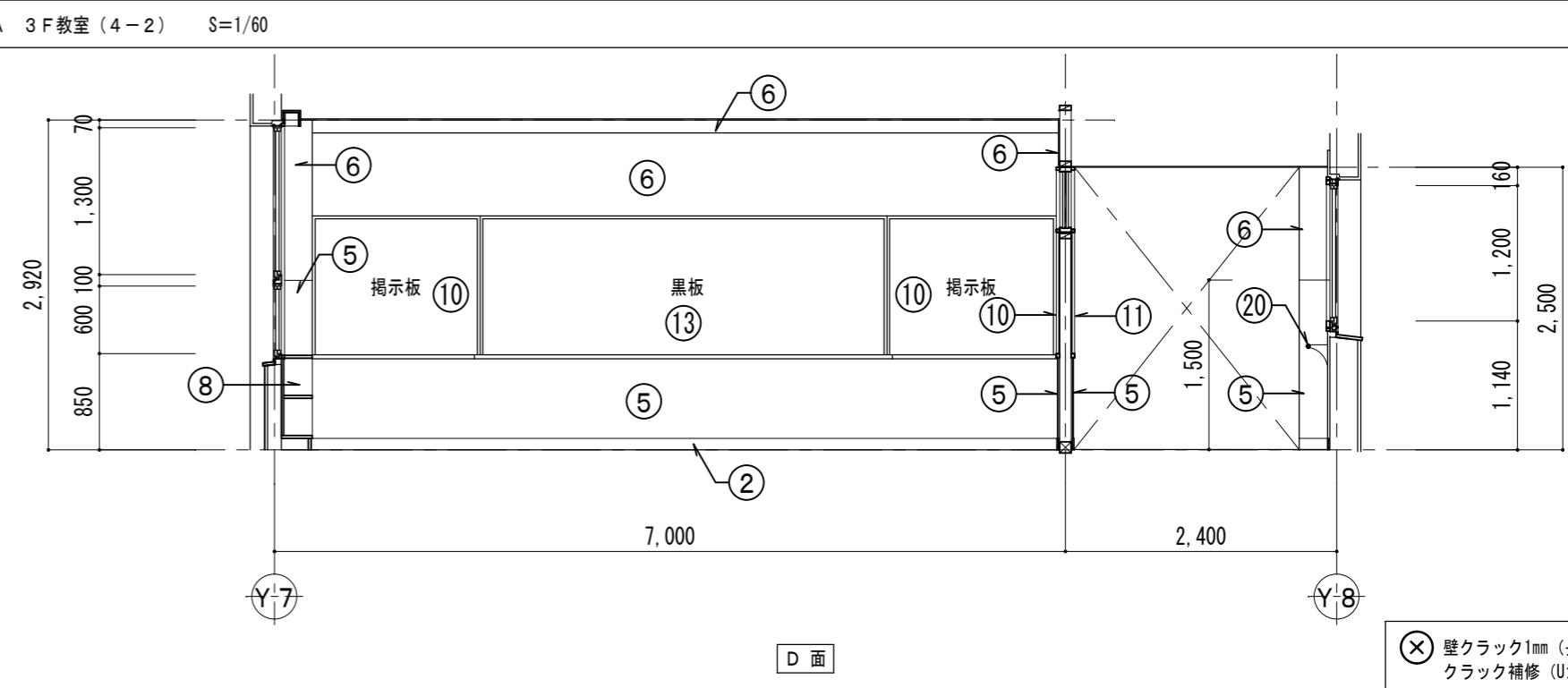
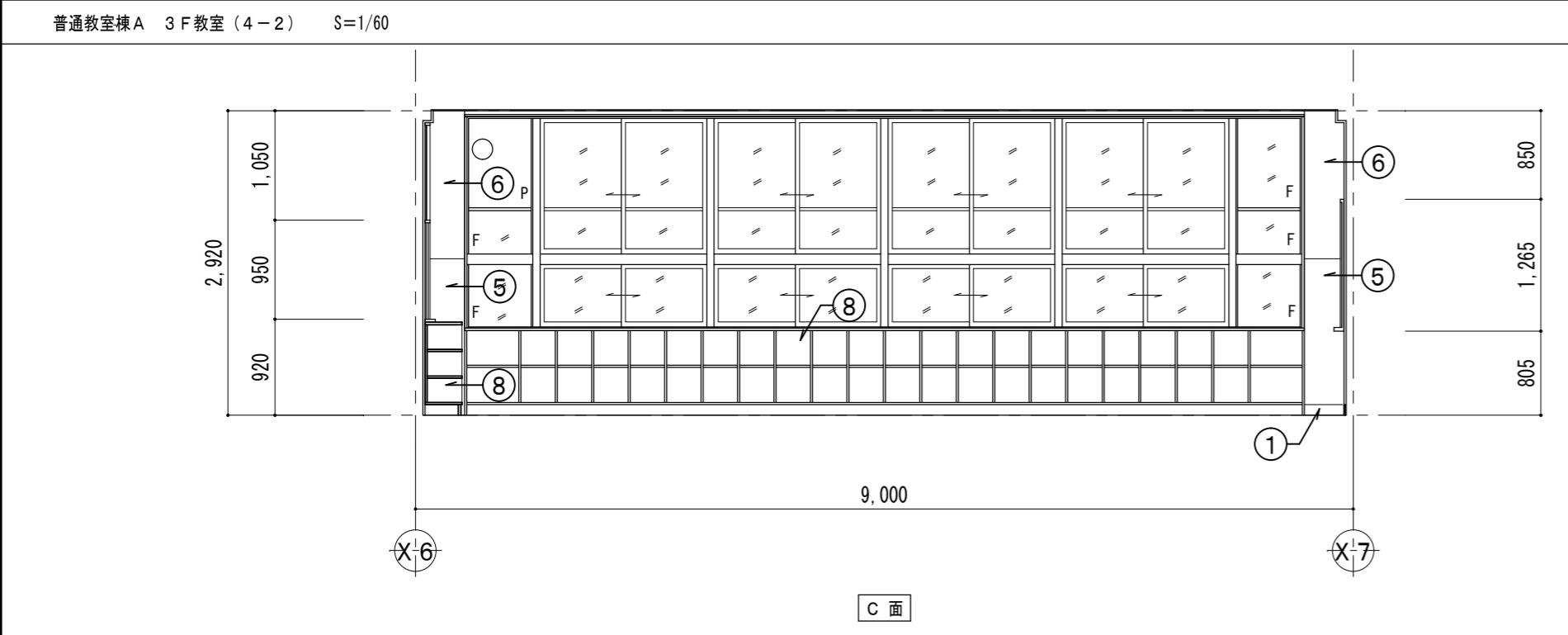
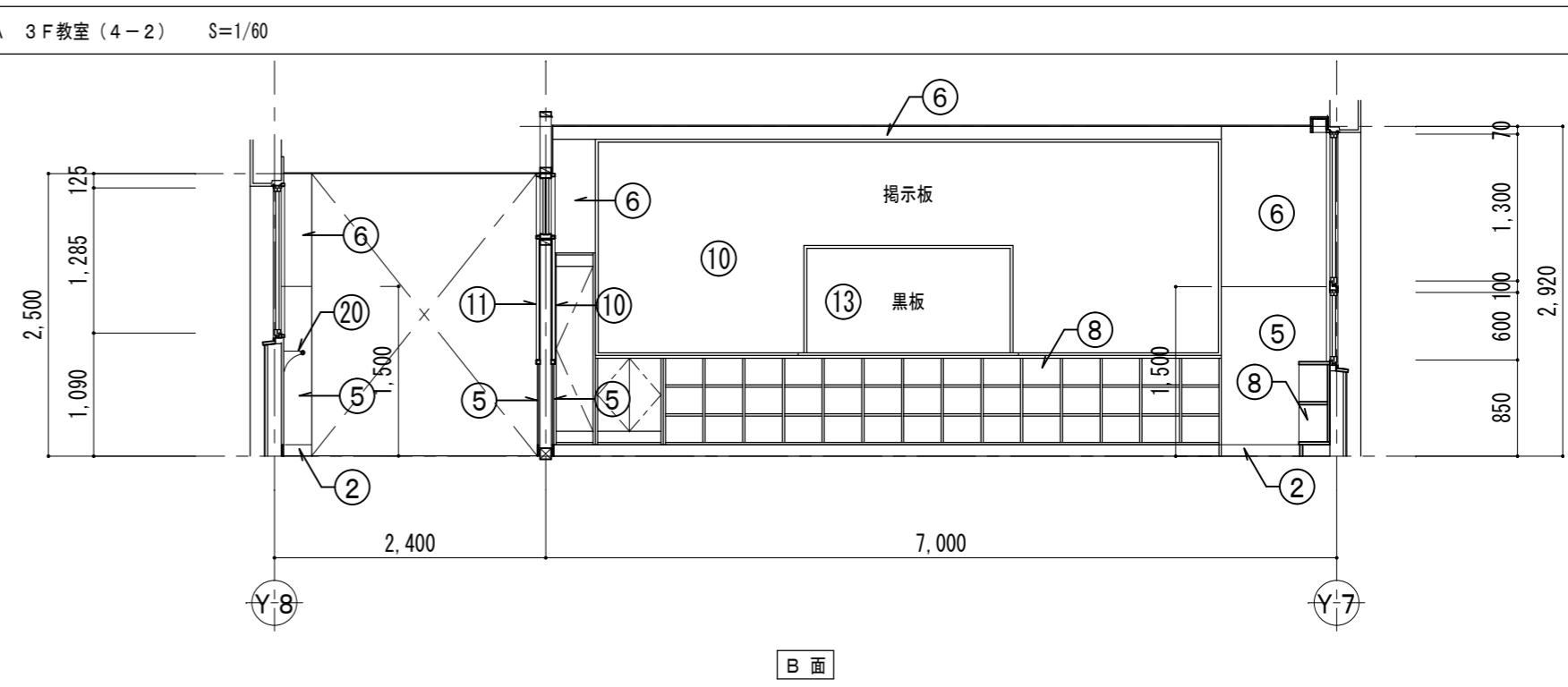
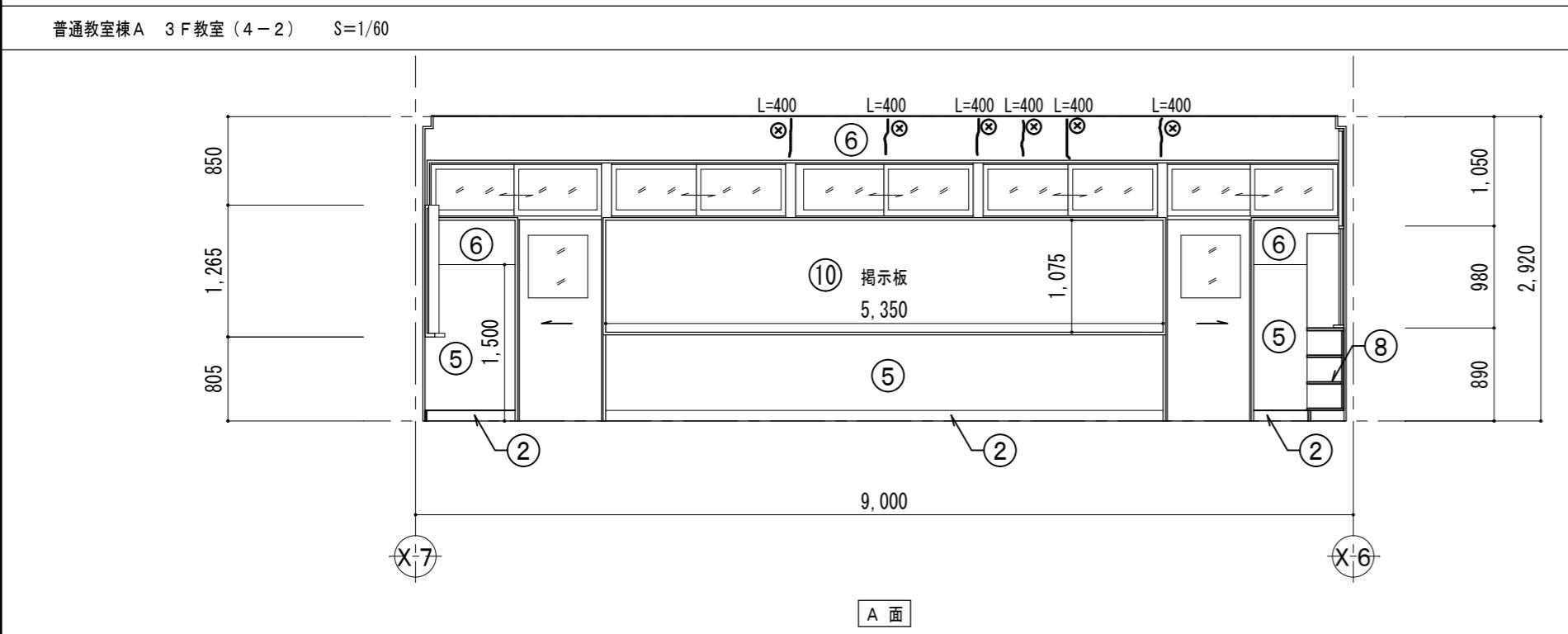
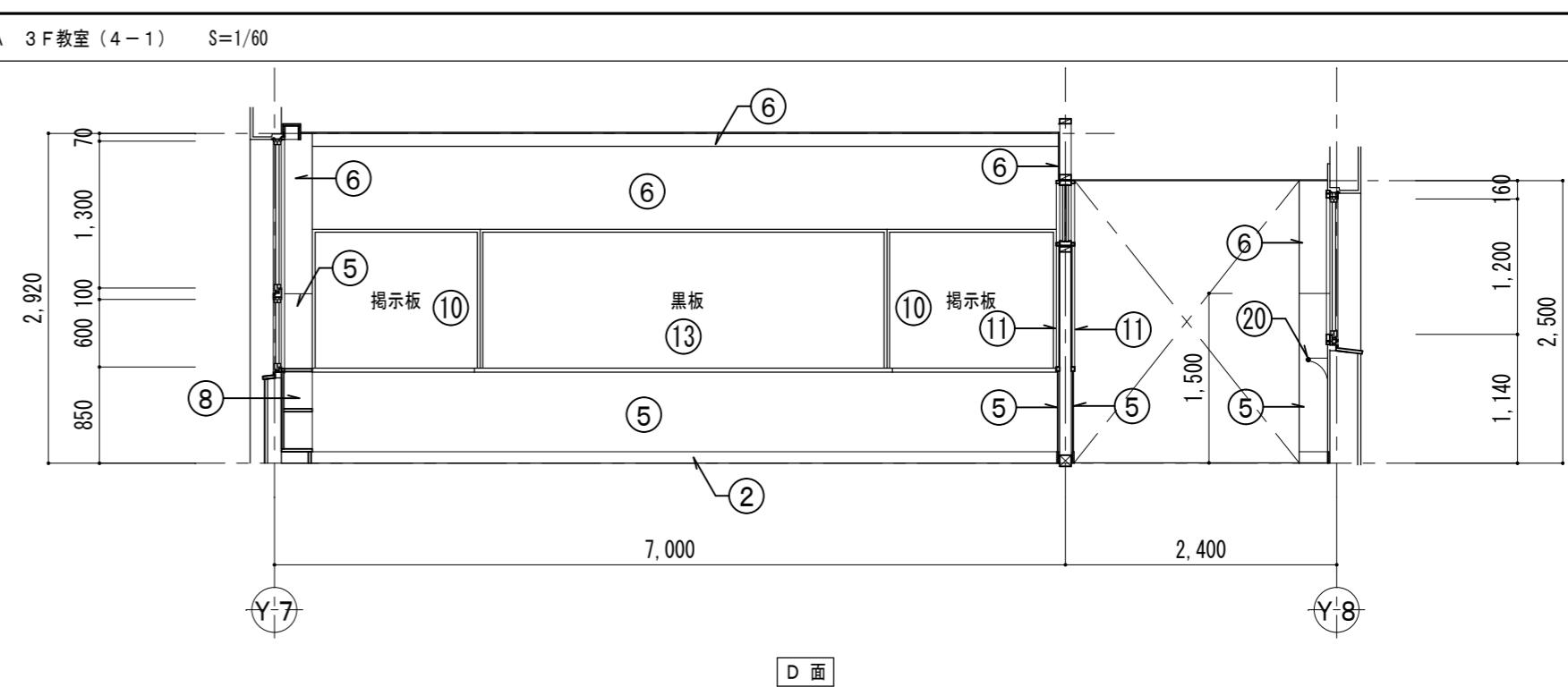
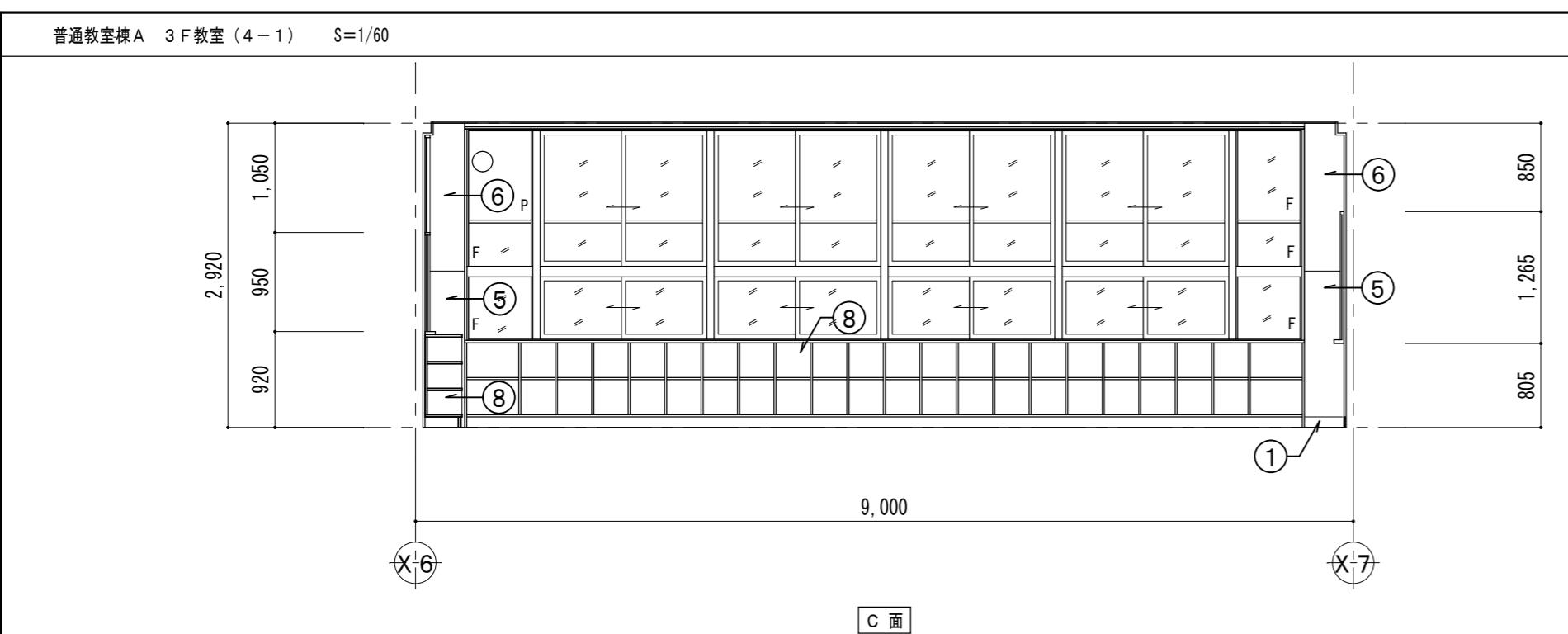
部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号	部位	改修前		改修後		記号
	改修前	改修後	改修前	改修後			改修前	改修後	記号	改修前	改修後		改修前	改修後	記号	改修前	改修後	改修前			改修後		
巾木	モルタル E P塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	柱巻き	鉄板巻き SOP	1	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	31		
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	家具	—	2	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P-G塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	26	アコードイオン カーテン	一時撤去(鉄骨受材共)	復旧	32		
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5	下地処理RB種の上 E P塗り	家具	一時撤去	3	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設(ステンレス製)	21	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	27	建具	鉄鋼面 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	33		
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 E P塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	29	手洗い	撤去(ステンレス製)	新設(ステンレス製)	35
壁及び梁型	プラスチ一塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35

設計監理類建築設計事務所
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号 製図年月日 2024.5.20. 設計番号 No
一級建築士 第306854号 田中 召剛 一級建築士 第306854号 田中 召剛

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考	図面名称	縮尺	図面 No A-082 原図: A 2
	3階 展開図1(改修前・後)	S=1/60(A3:1/85)	
	【改修前・改修後】		



（×）壁クラック1mm（長さは図中に記載）
クラック補修（Uカットシーリング充填）

■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事							
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上EP塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上EP-G塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上EP-G塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	26
巾木	既調合モルタル薄塗り厚5	下地処理RB種の上EP塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設(ステンレス製)	21	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	27
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5 張りOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	28
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上EP塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	29
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上EP塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

充電 BOX

年月日 2024.5.20

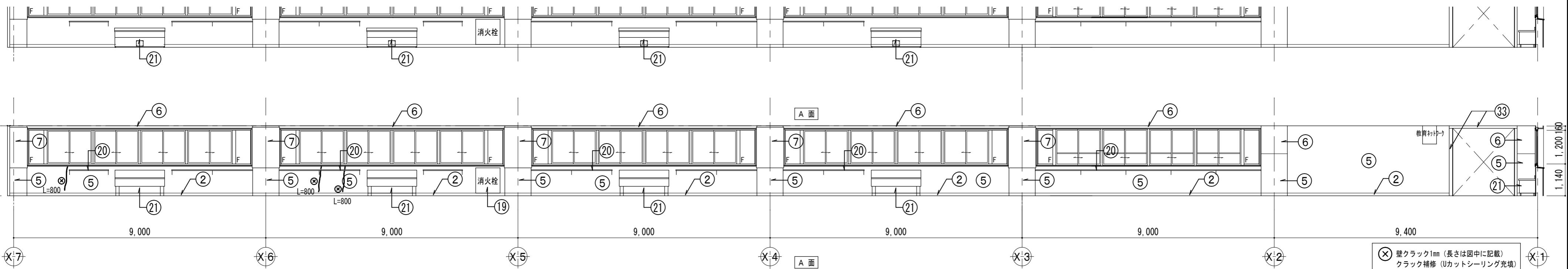
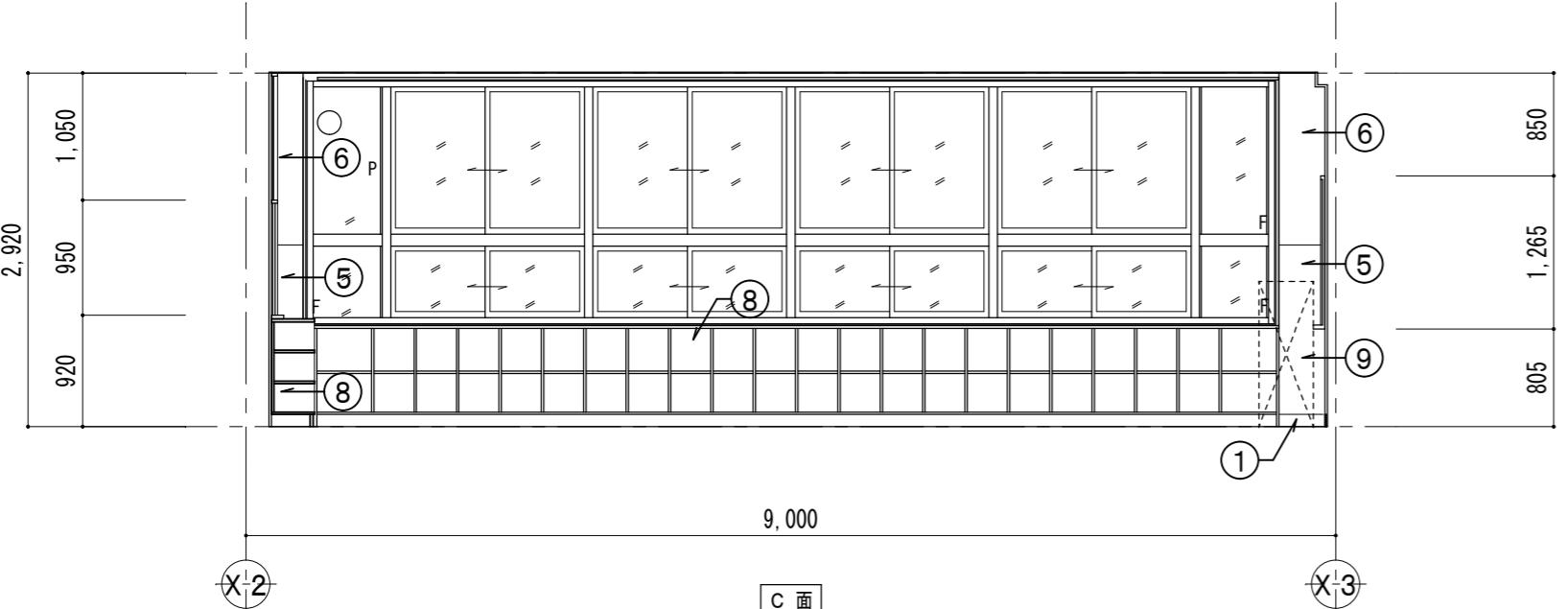
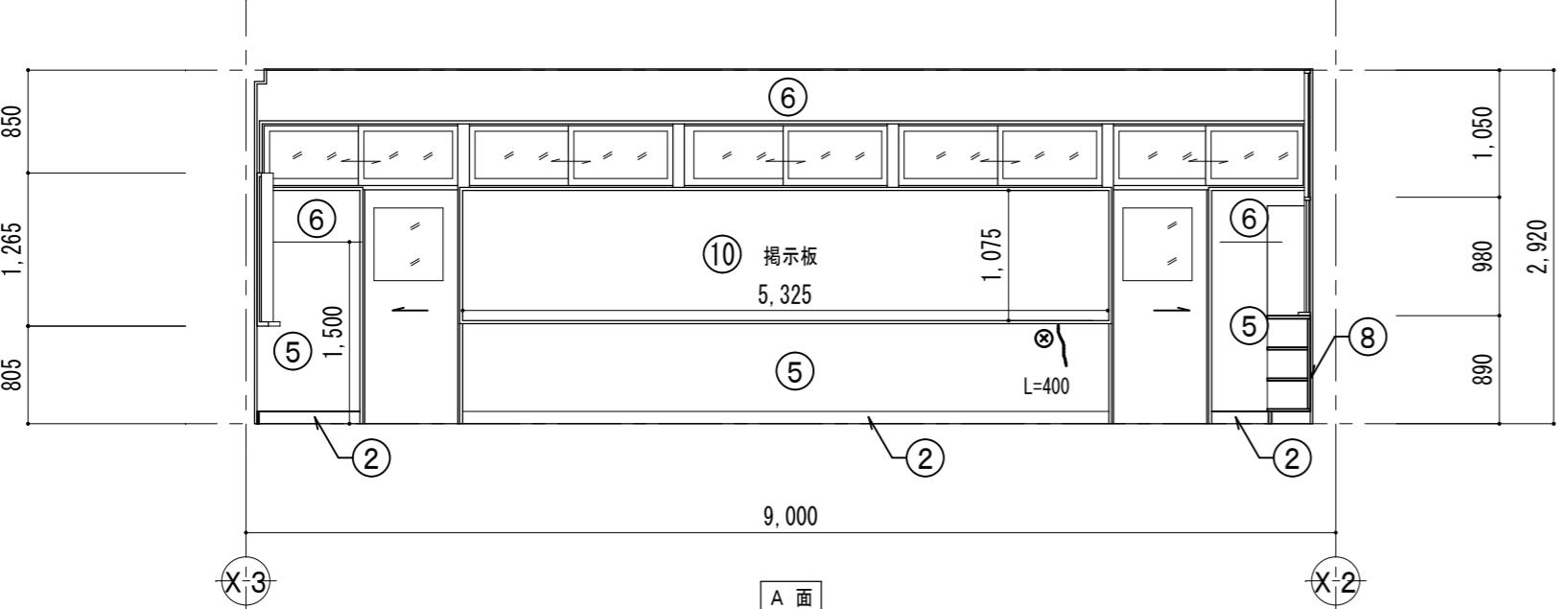
計番号 No.

EP-G塗り

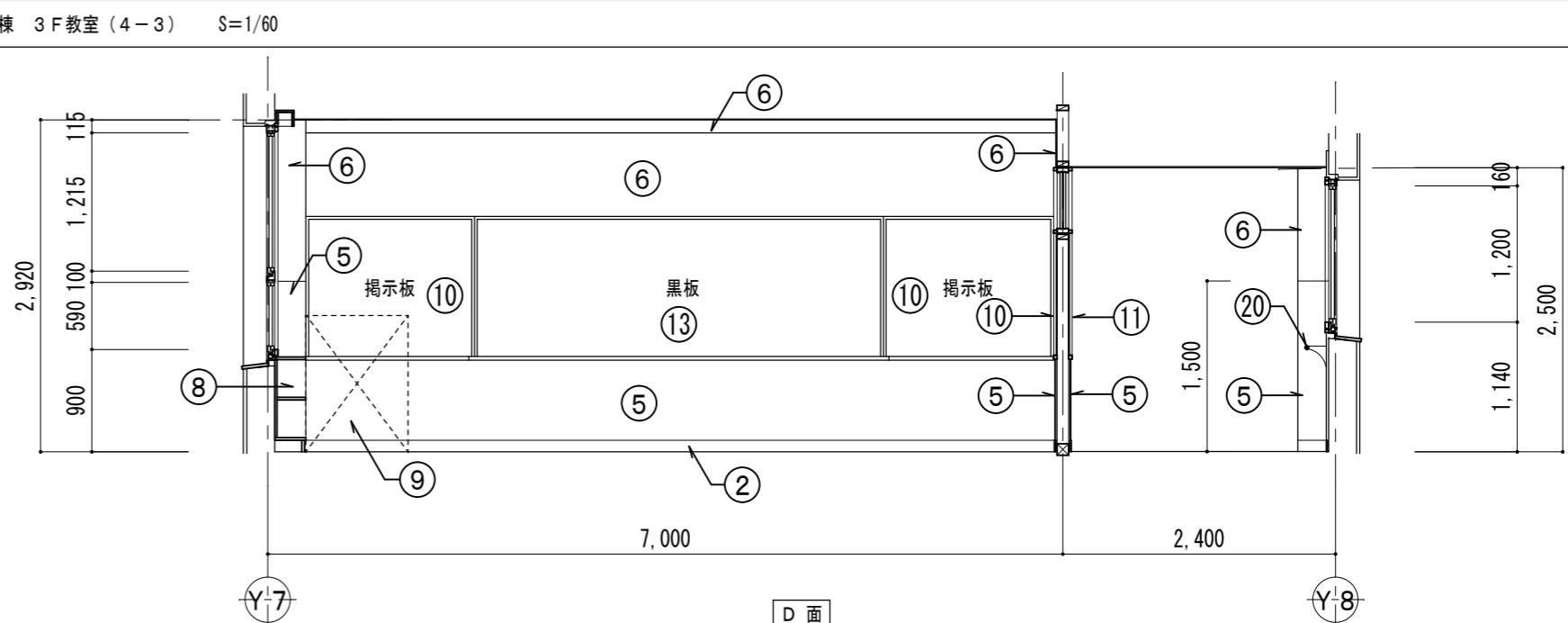
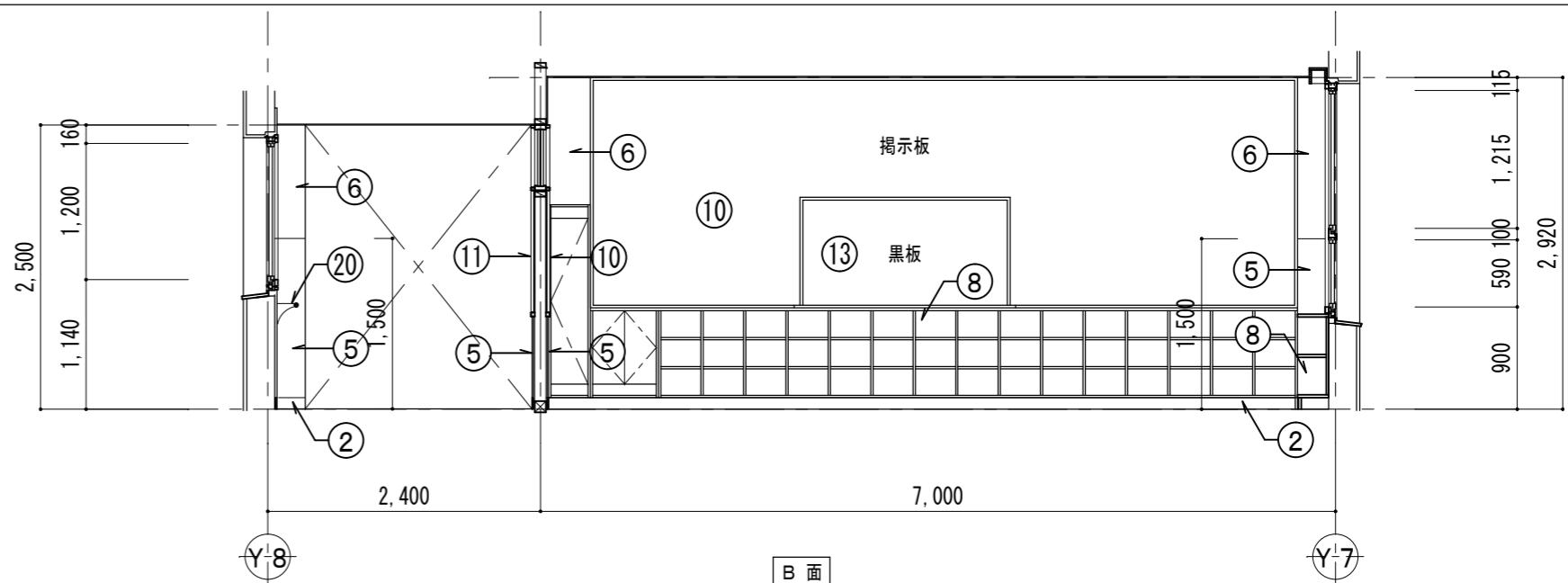
卷之三

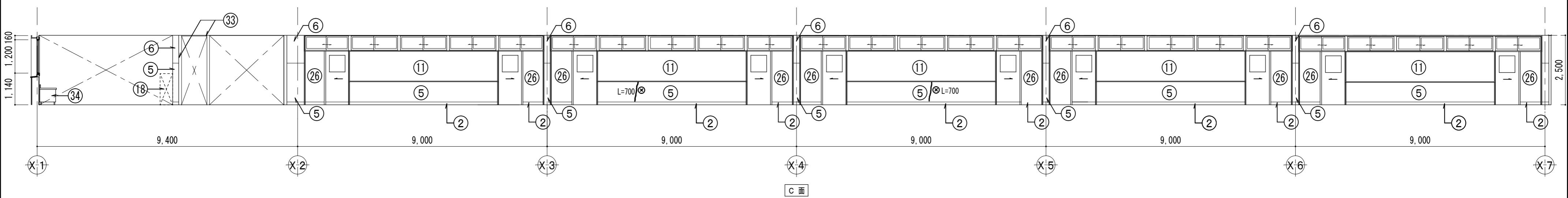
図面名稱 (人研ぎステンレス包み) 総目

図面 No
/85)
A-083
原図 : A 2



■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号				
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 E P-G 塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑯	壁	タイル貼り	既存のまま	㉕	見切り縁	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P-G 塗り	㉑
巾木	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P-G 塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P-G 塗り	㉐	壁	耐水ペニヤ 厚6 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P-G 塗り	㉖	アコードイオン カーテン	一時撤去 (鉄骨受材共)	復旧	㉒
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5 E P 塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉑	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P-G 塗り	㉗	建具	鉄鋼面 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P-G 塗り	㉓
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	㉒	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5張り O P 塗り	下地処理RB種の上 E P-G 塗り	㉘	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉔
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 E P 塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	㉑	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉓	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 O P 塗り	下地処理RB種の上 E P-G 塗り	㉙	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉕
壁及び梁型	プラスチ一塗り	下地処理RB種の上 E P 塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉑	三方枠	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 E P-G 塗り	㉔	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	㉚	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	㉖

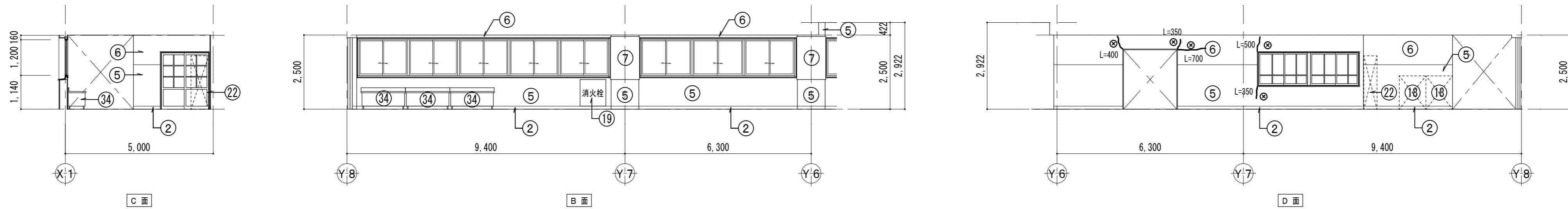




普通特別教室棟 3F倉庫前 廊下 S=1/100

普通特別教室棟 3F廊下 S=1/100

普通特別教室棟 3F廊下 S=1/100

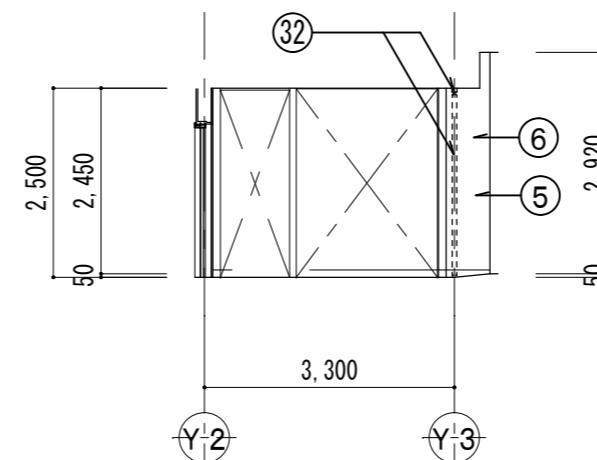
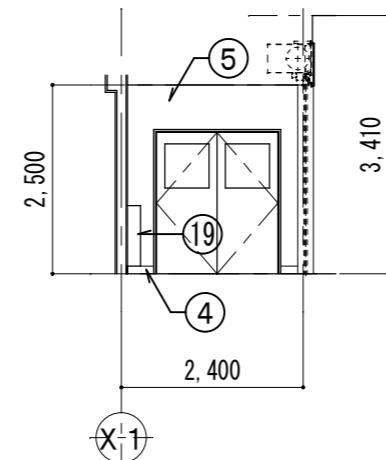
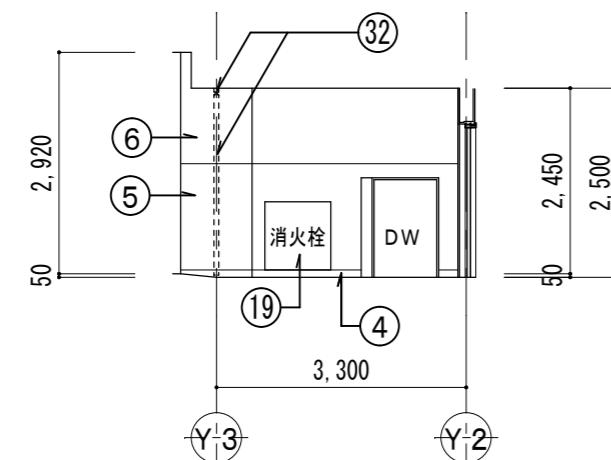
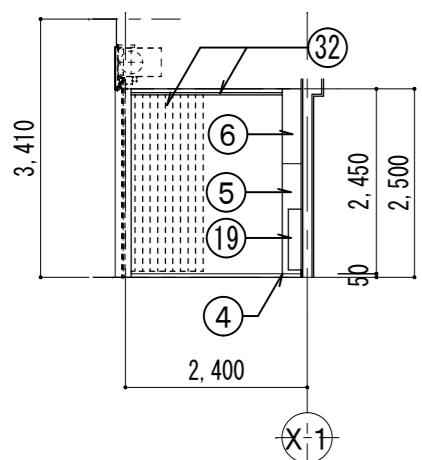


普通特別教室棟 3F東階段 S=1/100

普通特別教室棟 3F東階段 S=1/100

普通特別教室棟 3F東階段 S=1/100

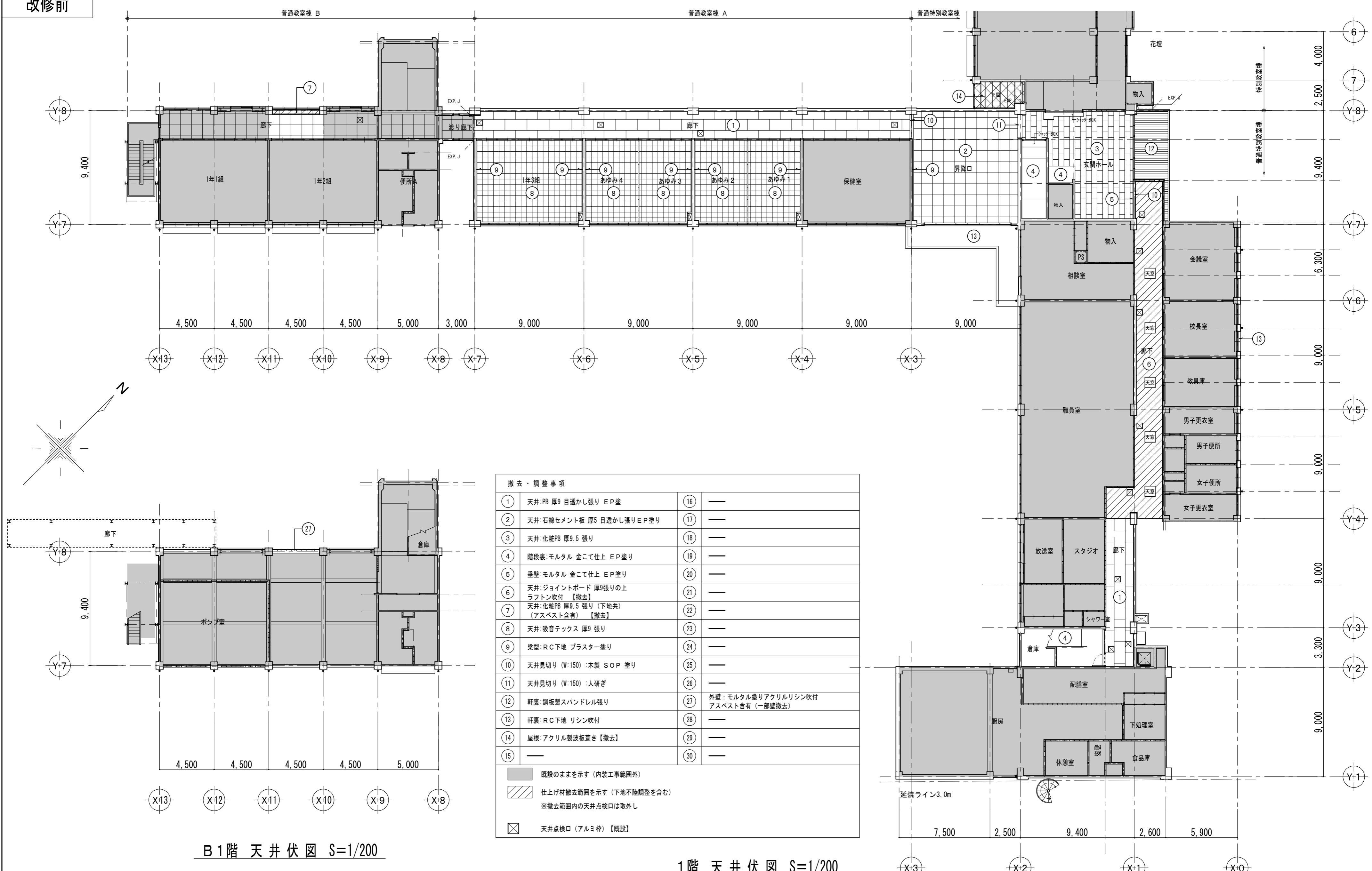
普通特別教室棟 3F東階段 S=1/100



(X) 壁クラック1mm（長さは図中に記載）
クラック補修（Uカットシーリング充填）

■ 仕上表																※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事									
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号						
巾木	モルタル E P塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 E P-G塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	31		
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 E P-G塗り	20	壁	耐水ペニヤ 厚6 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	26	アコードイオン カーテン	一時撤去（鉄骨受材共）	復旧	32		
巾木	既調合モルタル 薄塗り厚5 E P塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設（ステンレス製）	21	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	27	建具	鉄鋼面 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	33		
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ペニヤ厚5.5張り O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34		
壁	モルタル塗り VP	下地処理RB種の上 E P塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 O P塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	29	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	35		
壁及び梁型	プラスチック塗り	下地処理RB種の上 E P塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 E P-G塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	既存のまま	35		

改修前



類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

製図年月日 2024. 5. 20.

設計番号 No

備考

図面名称 縮尺

図面 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

変更・訂正

B 1・1階 天井伏図【改修前】 S=1/200

A-086

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

:

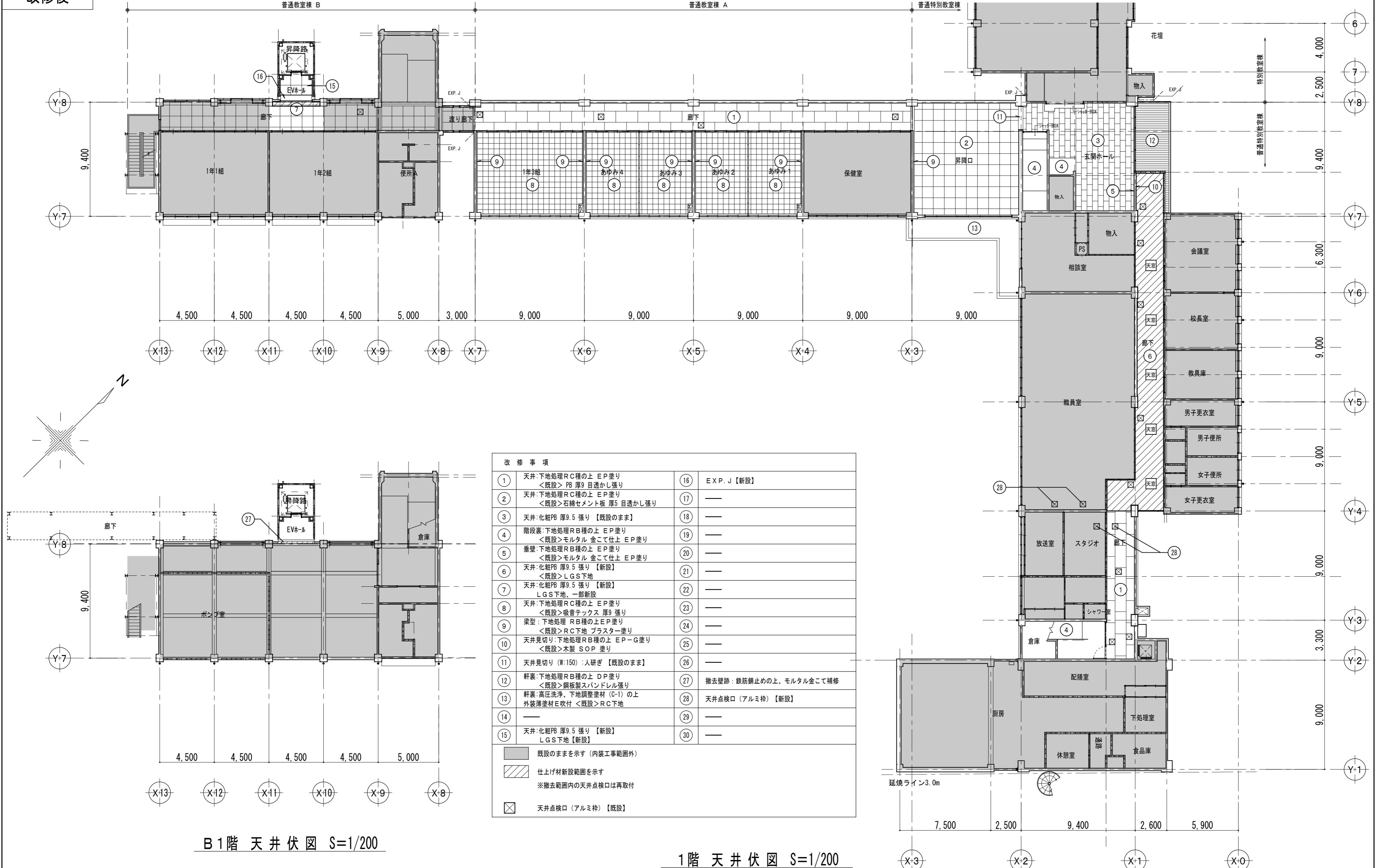
:

:

:

:

改修後



類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

製図年月日 2024. 5. 20.

設計番号 No

備考

図面名称 縮尺

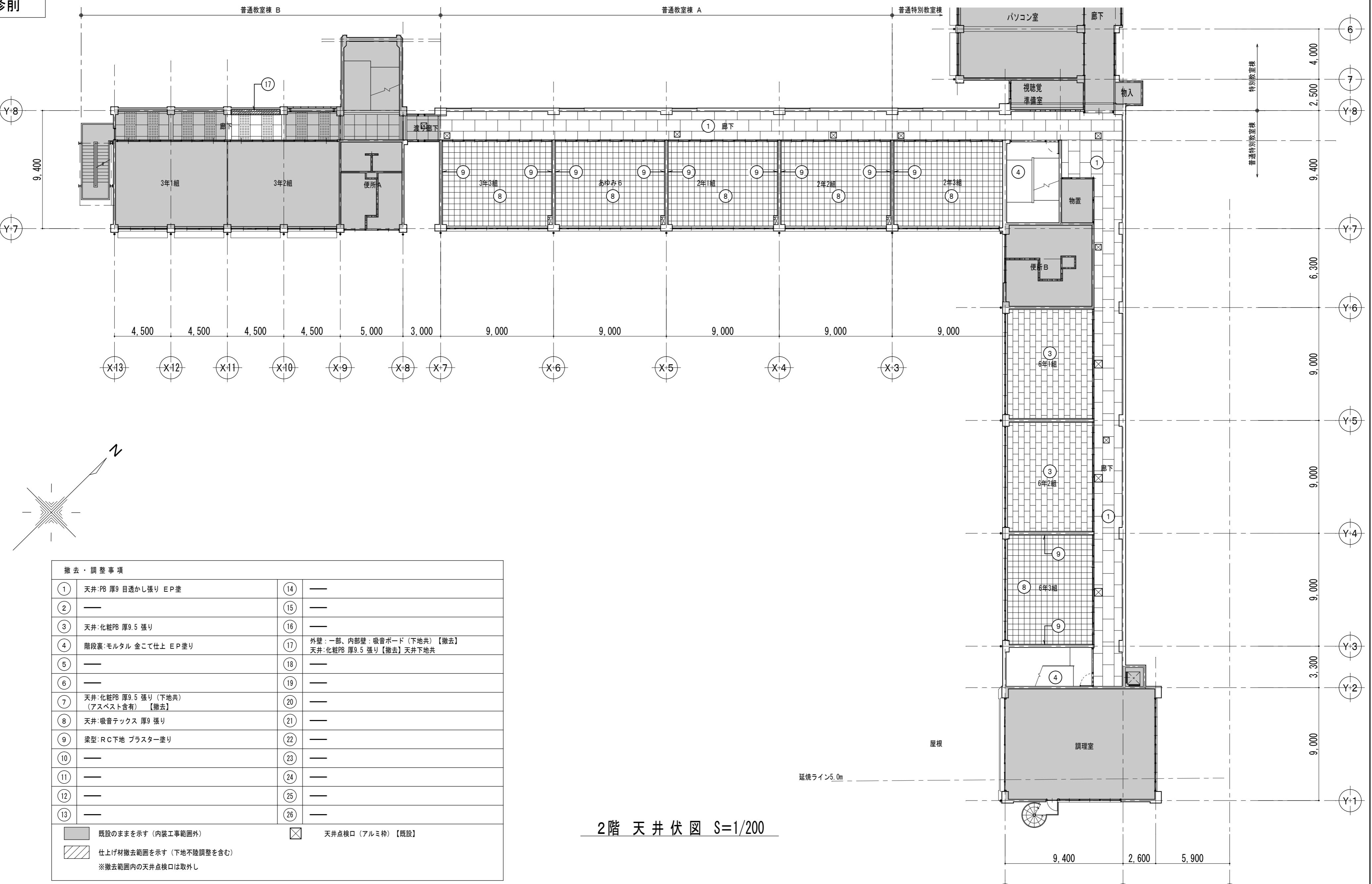
図面 No

A-087

原図: A2

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

改修前



類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

製図年月日 2024. 5. 20.

設計番号 No.

備考

図面名称

縮尺

図面 No

管理建築士 設計者

変更・訂正

.

.

2階 天井伏図【改修前】

S=1/200

A-088

一級建築士 第306854号 第309854号

田中 啓剛 田中 啓剛

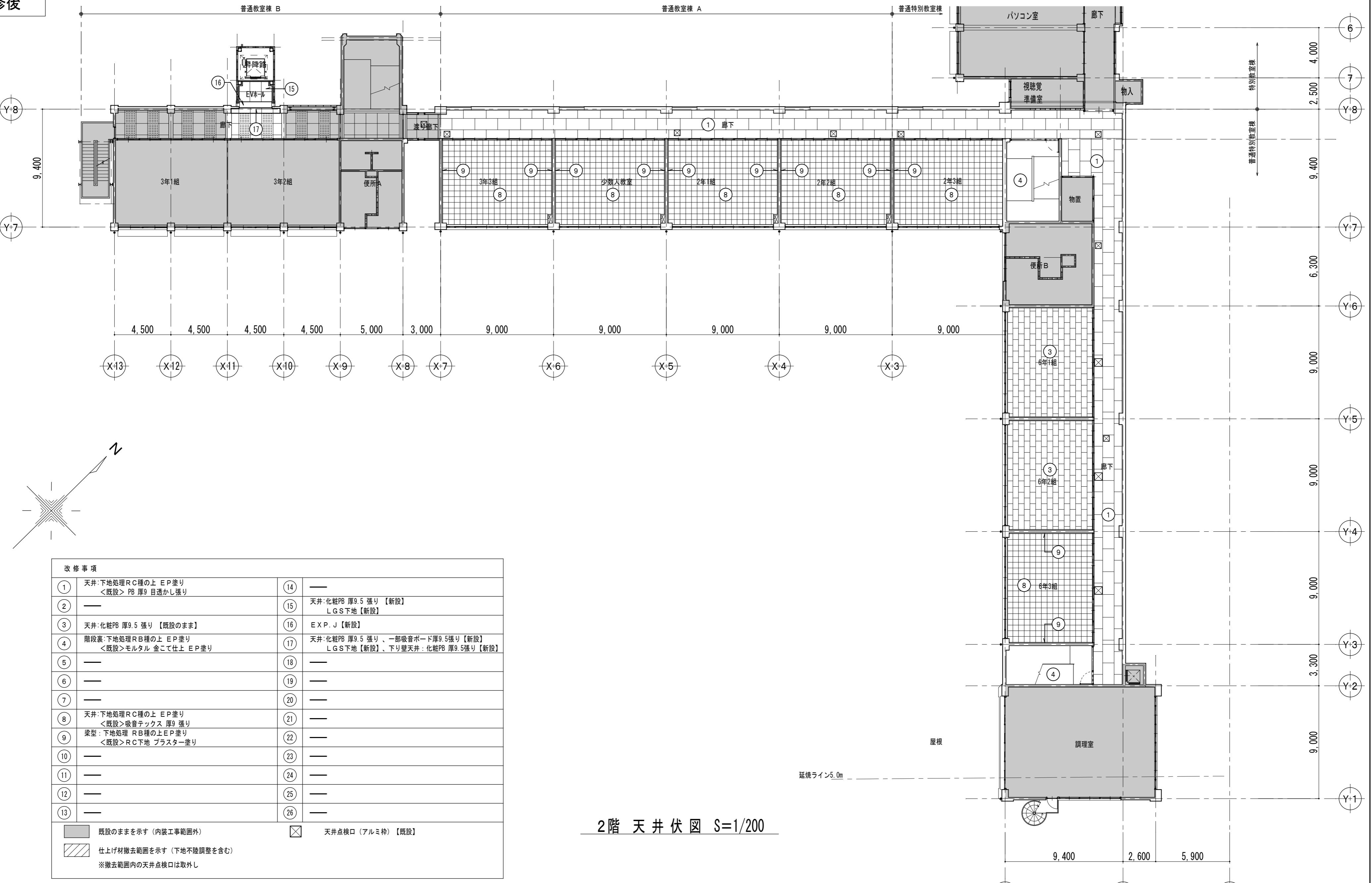
.

.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

原図: A 2

改修後



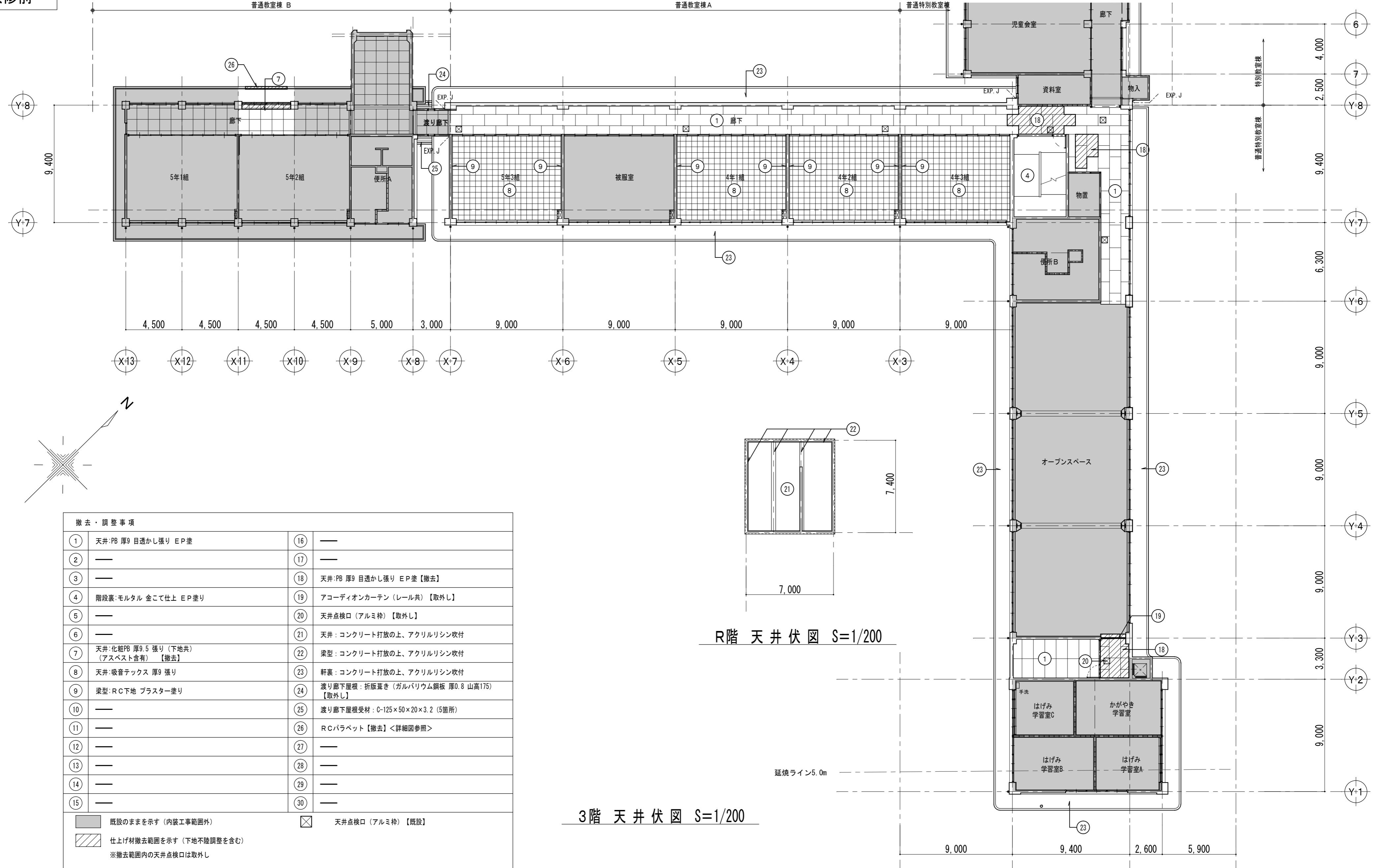
設計監理 類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No.	備考	図面名称	縮尺	図面 No.
管理建築士	設計者		変更・訂正	.	.	2階 天井伏図【改修後】	S=1/200	A-089
一級建築士 第306854号	一級建築士 第30854号	田中 啓剛						原図: A 2

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

改修前



計理 類建築設計事務所

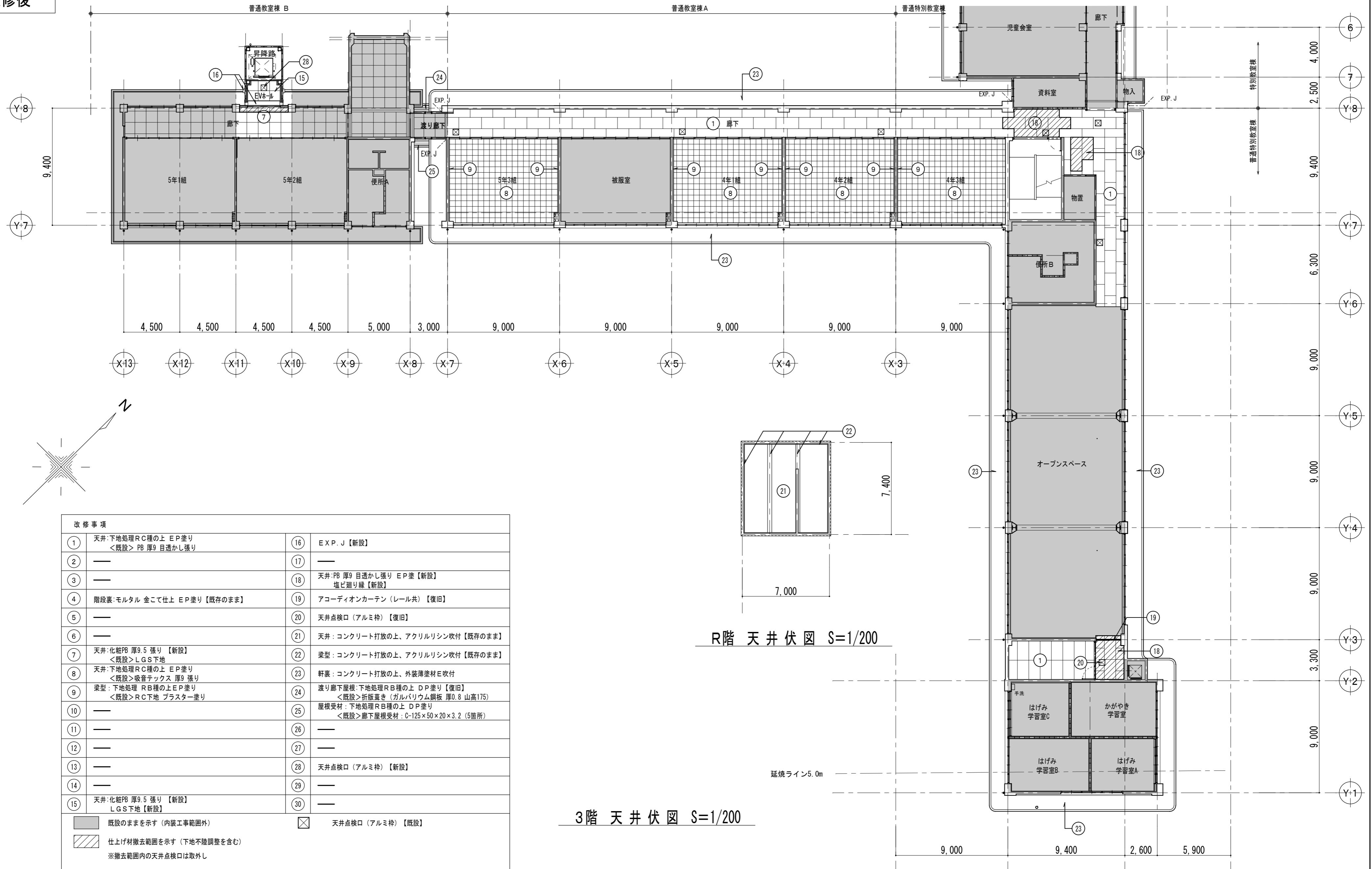
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号					製図年月日 2024. 5. 20.
	管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				----- . . .
						----- . . .
						----- . . .

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考	図面名称	縮尺	図面 No
	3階・PH 天井伏図【改修前】	S=1/200	A-090
		.	
		.	
		.	
		.	

改修後



類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

変更・訂正

製図年月日 2024. 5. 20.

設計番号 No

備考

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

図面名称 縮尺

3階・PH天井伏図【改修後】 S=1/200

図面 No

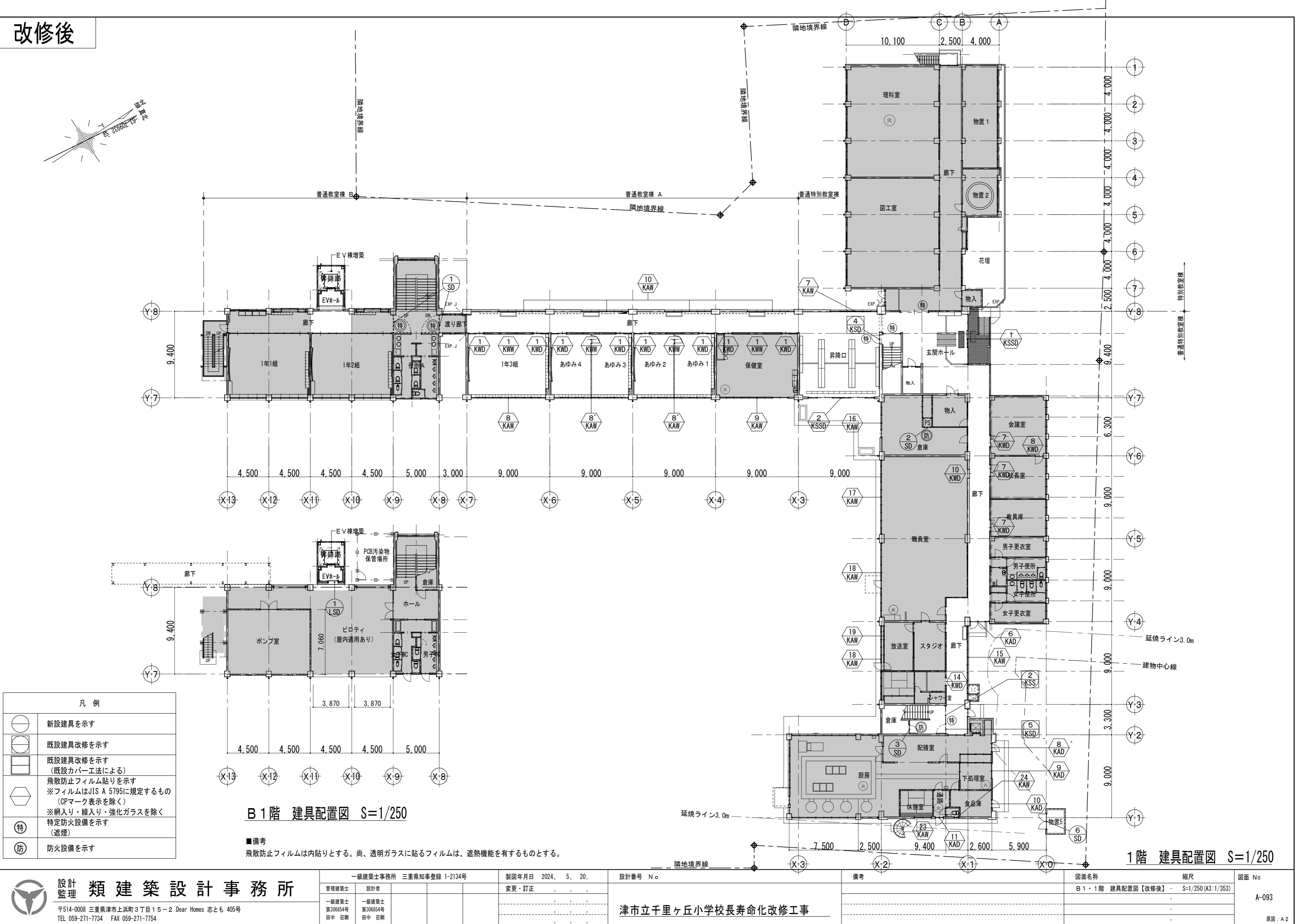
A-091

原図:A2

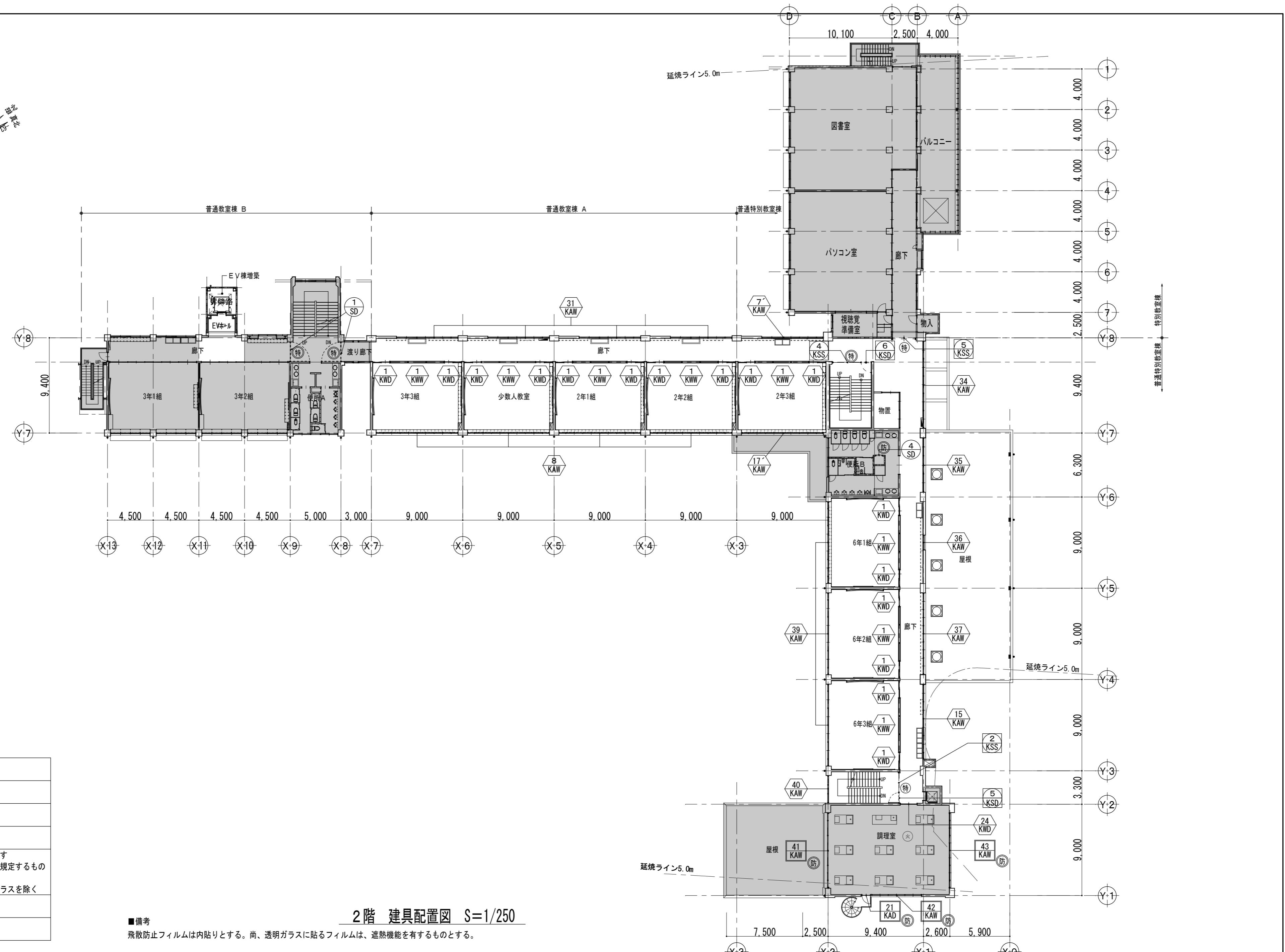
改修前



改修後



改修後



凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具改修を示す (既設カバー工法による)
	飛散防止フィルム貼りを示す ※フィルムはJIS A 5795に規定するもの (CPマーク表示を除く) ※網入り・線入り・強化ガラスを除く
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す

2階 建具配置図 S=1/250

■備考 飛散防止フィルムは内貼りとする。尚、透明ガラスに貼るフィルムは、遮熱機能を有するものとする

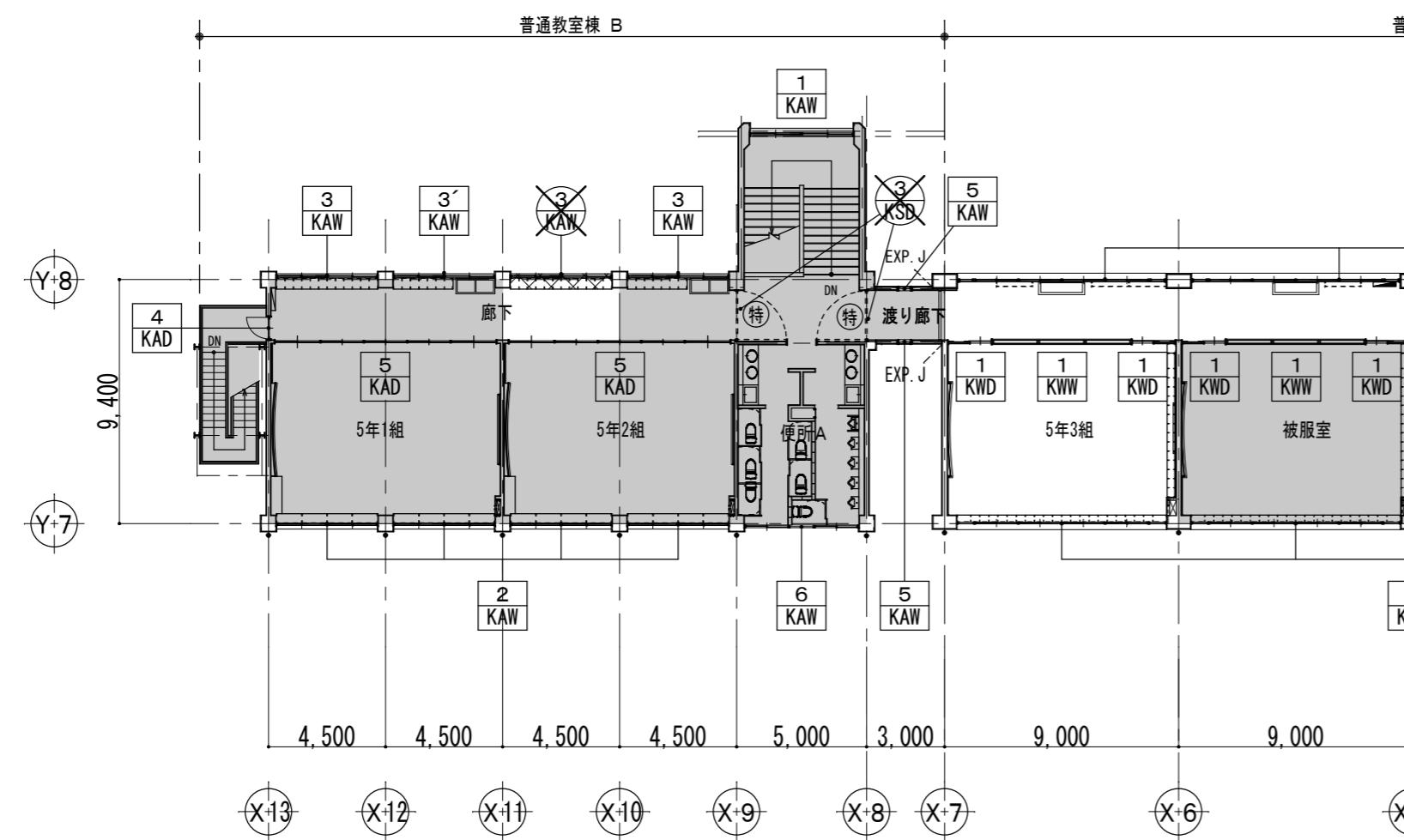
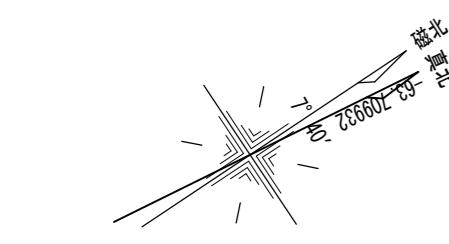


設計監理類建築設計事務所

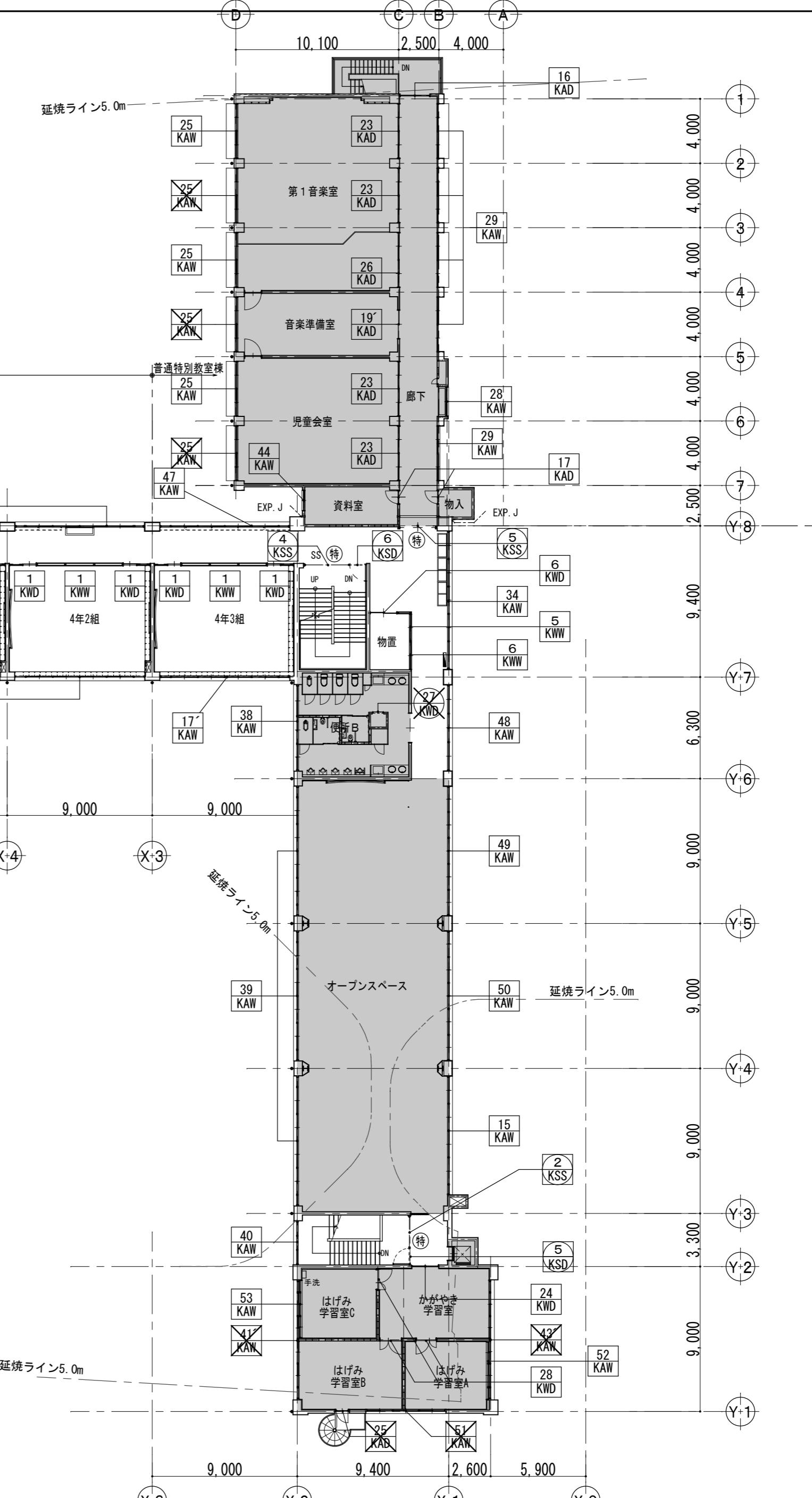
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

斤	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号					製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N o	(X+3)	(X+2)	(X+1)	(X+0)	図面名称	縮尺	図面 No A-095 原図 : A 2
	管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事					2階 建具配置図【改修後】	S=1/250 (A3:1/353)	
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛					
							

改修前



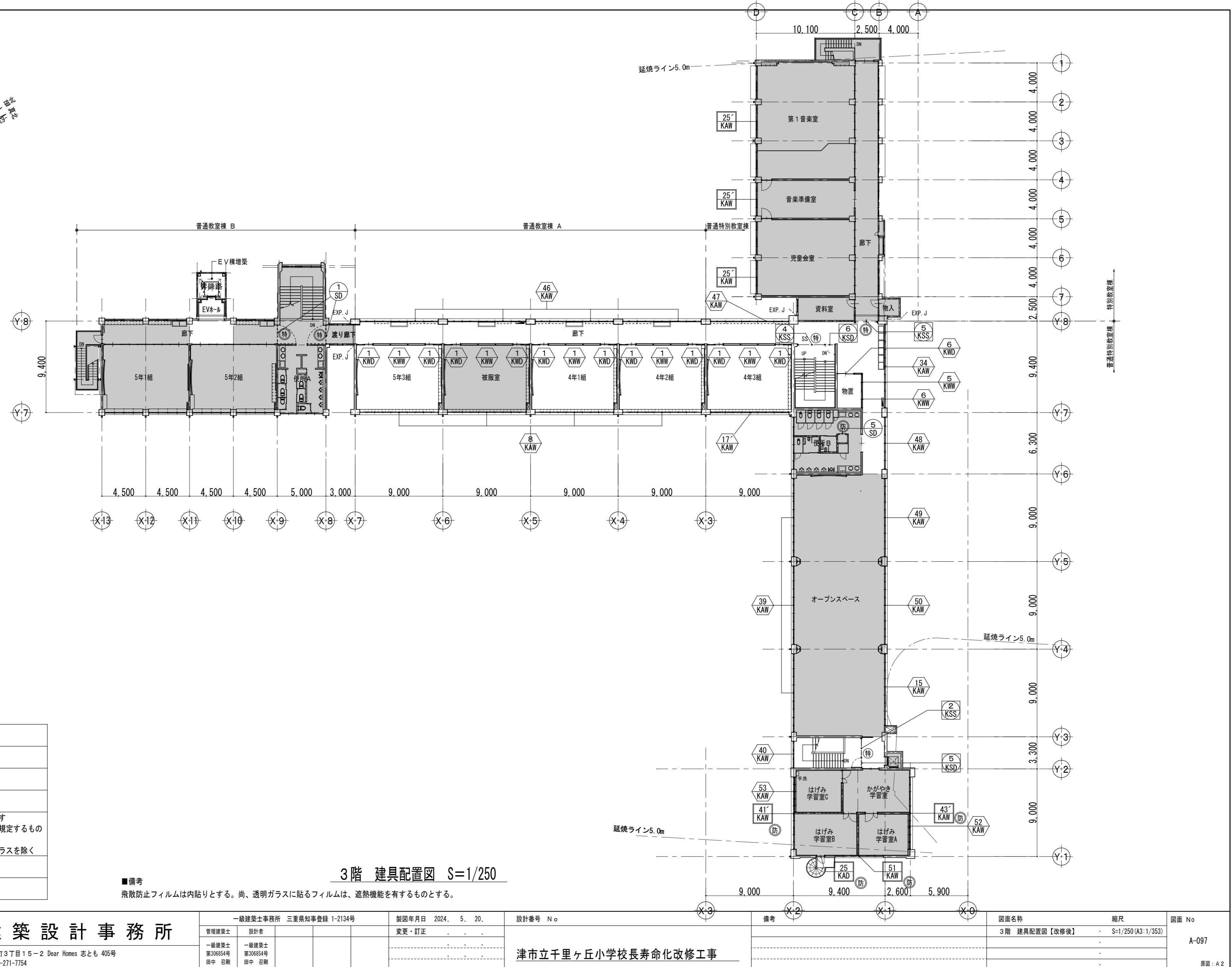
普通教室棟 A



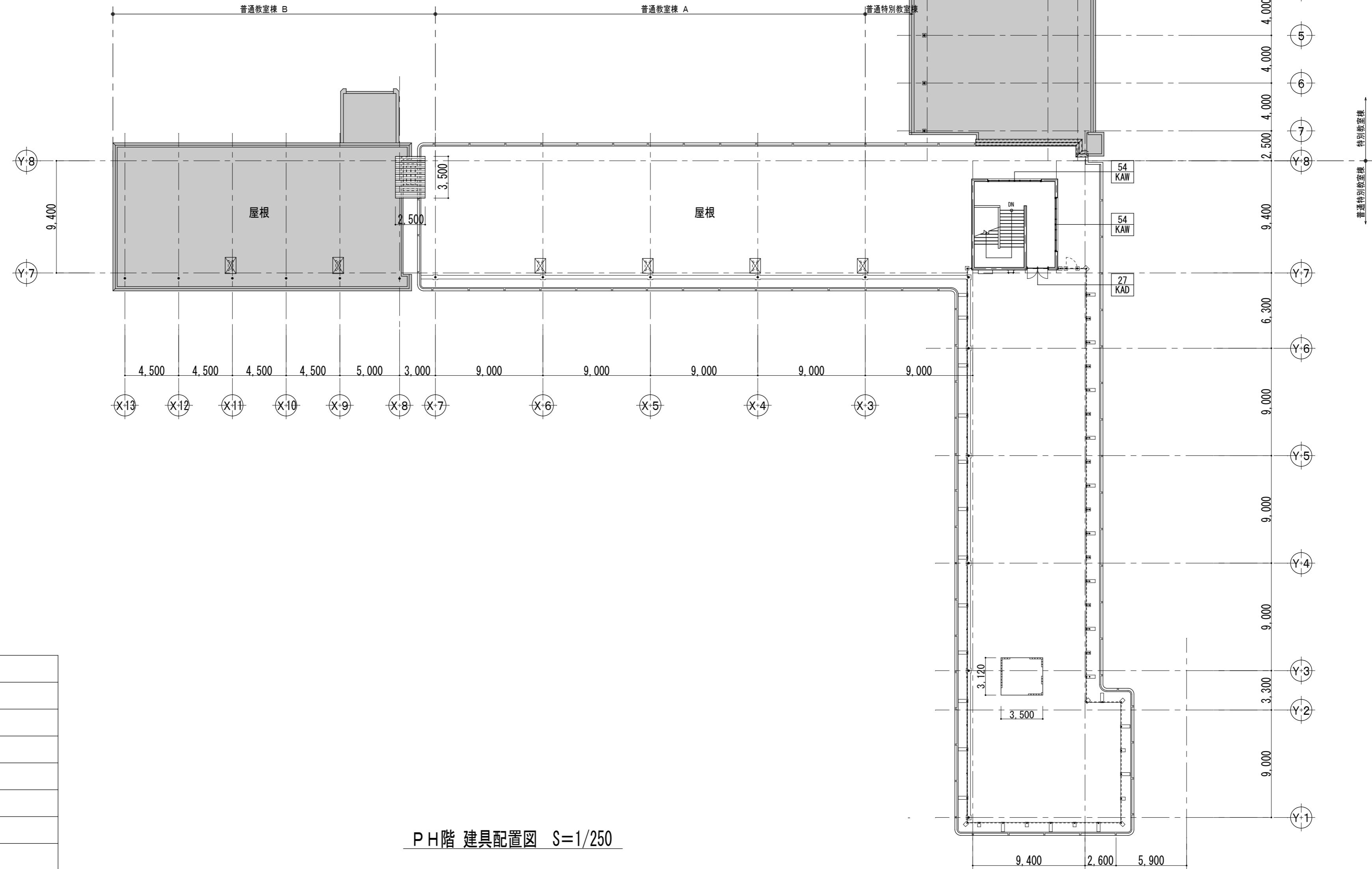
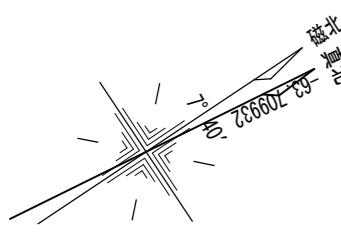
3階 建具配置図 S=1/250

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能無し)
	既設防火設備を示す

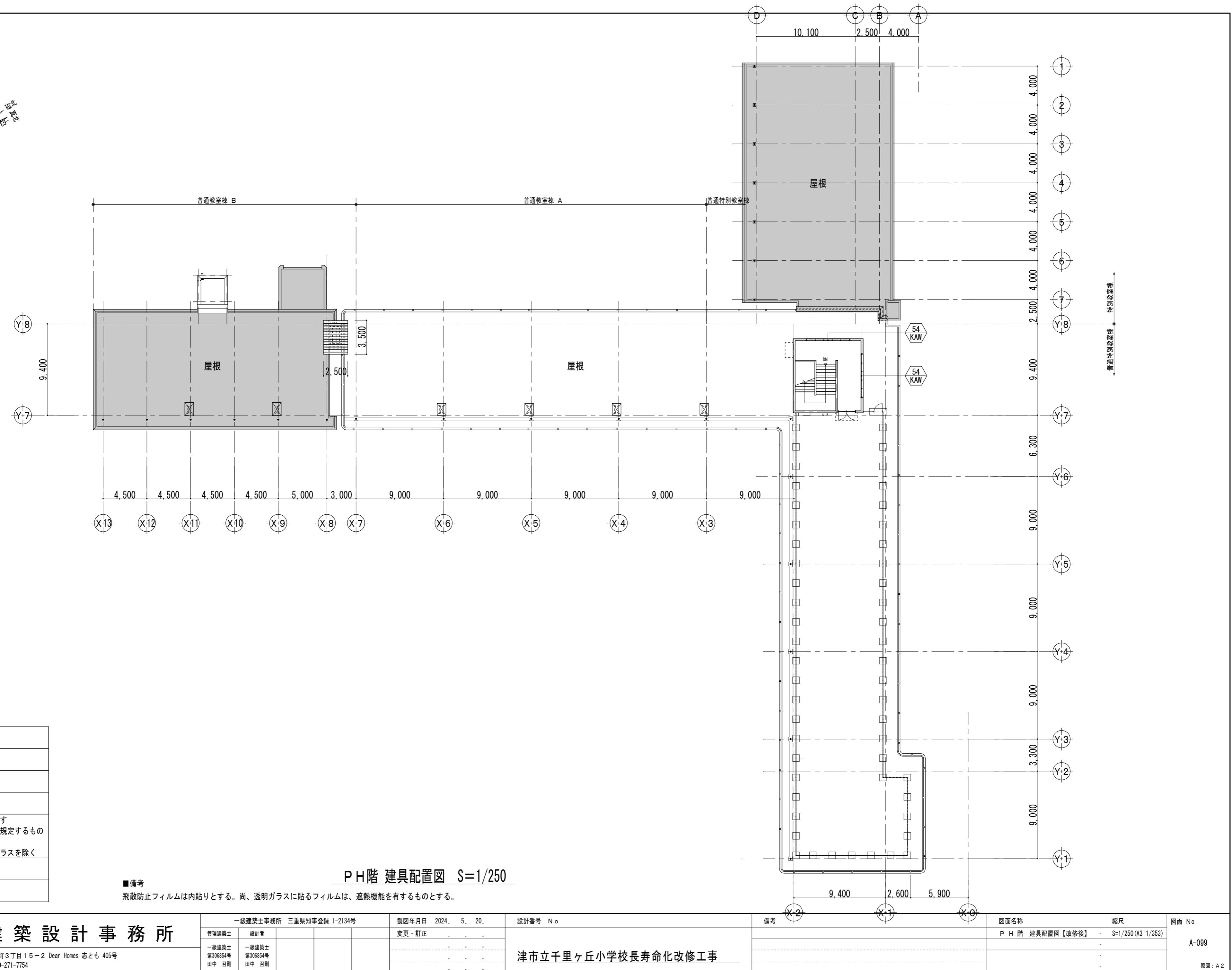
改修後



改修前



改修後



凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具改修を示す (既設カバー工法による)
	飛散防止フィルム貼りを示す ※フィルムはJIS A 5795に規定するもの (CPマーク表示を除く) ※網入り・線入り・強化ガラスを除く
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す

PH階 建具配置図 S=1/250

■備考
飛散防止フィルムは内貼りとする。尚、透明ガラスに貼るフィルムは、遮熱機能を有するものとする。



設計監理類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

丁	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号					製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N o
	管理建築士	設計者				変更・訂正 . . .	
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				. . .	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事